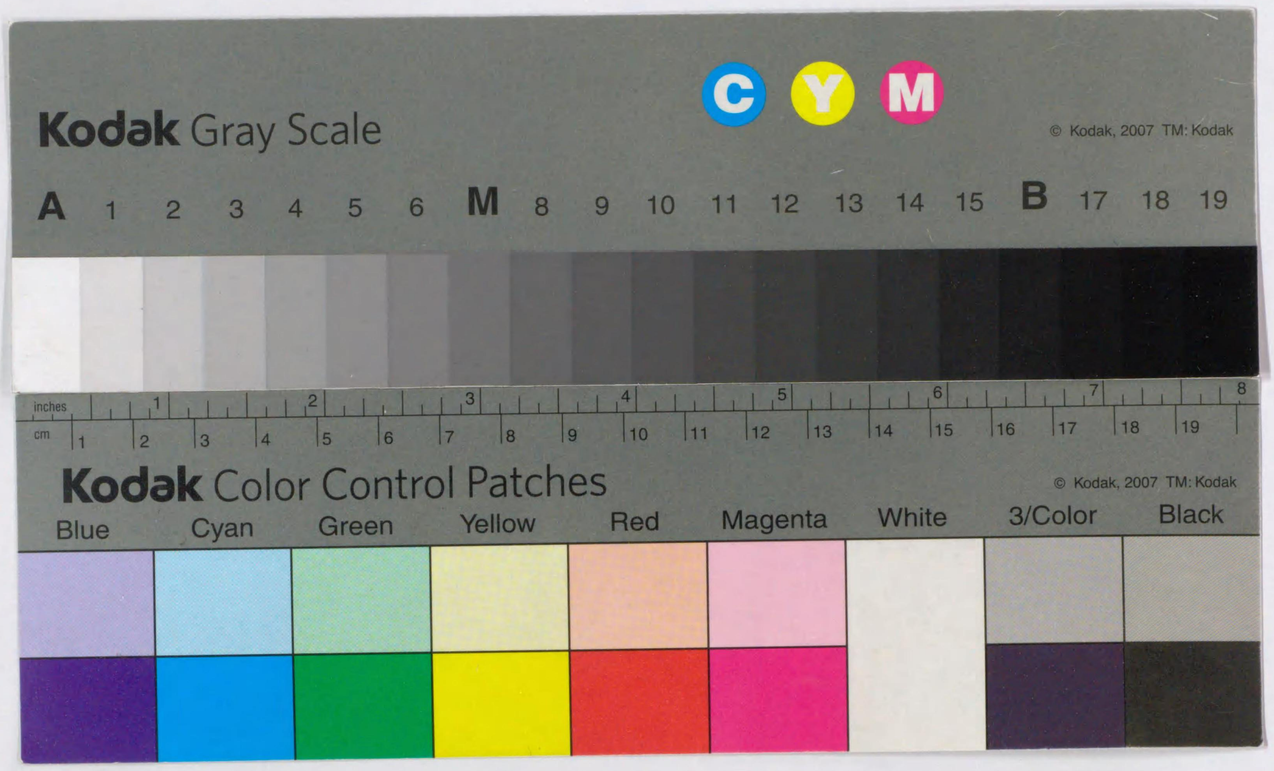


540 127
0 複写
540-127
1200501502480

309

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號（延長許可）特許新案登錄十數件併用

大野式防火捲上ケ戸

〔特許大野式シヤッター〕

弊所ノ創業及經歷　各種防火扉ノ發明ハ明治三十三年以來ノ研究ニ係リ本品營業ノ創始ハ同三十八年ニシテ發賣當時既ニ歐米國製品ニ比シ優ニ數等ノ進歩發達ヲ示セルモノトシテ斯界ノ歡迎ヲ受ケ其後約十年ニシテ全ク外國製品ノ輸入ヲ阻止シ得タル而已ナラズ弊式特長ノ一ナル自働閉鎖裝置ハ今ヤ世界的ニ斯界ヲ風靡セシメタルコトハ聊カ弊社ノ誇リト致ス處ナリ。

弊式製品ノ構造並ニ特長　捲上ゲ極メテ輕ク閉鎖ハ把手函表面ノ小蓋ヲ半周スル而已ニテ本品特殊ノ機構ニ依リ靜穩ニ自動降下シ、融金裝置付最新型ノモノハ火災ニ際シ附近ノ氣溫稍々上昇スル時ハ「フユーズ」ノ融解ニ依リ毫モ人手ヲ要セズ直ニ自働閉鎖ス又戸鈑各個ノ連綴最モ堅實强大ニシテ且ツ上方捲込口ニ煙返ヲ附シ戸鈑ト溝金トノ間隙少クキヲ以テ防火耐熱力並ニ耐久力特ニ優秀ナリ。尙電氣捲上裝置ニ就テモ亦十數年來豐富ノ經驗ヲ有ス。

事實上ニ證明　多年ノ經驗ニヨリ改良ヲ加ヘタル弊式製品ガ世界最優秀品トシテ定評ヲ蒙リ爾來既ニ十數年數多ノ實例ニ於テ悉ク之ヲ立證シ殊ニ這般ノ大震火災ニ於テ歐米國品ニシテ奏効ノモノ絕無ナリシニ比シ獨リ弊式製品ノ成績良好多數ノ奏効實例ヲ擧ゲ得タルコトハ弊式戸鈑ノ構造堅牢、自働裝置優秀ナル事實上ノ證明ニシテ國産振興東京博覽會ニ於テモ優良國産賞及ビ時事新報社ノ時事賞牌ヲ受ク。

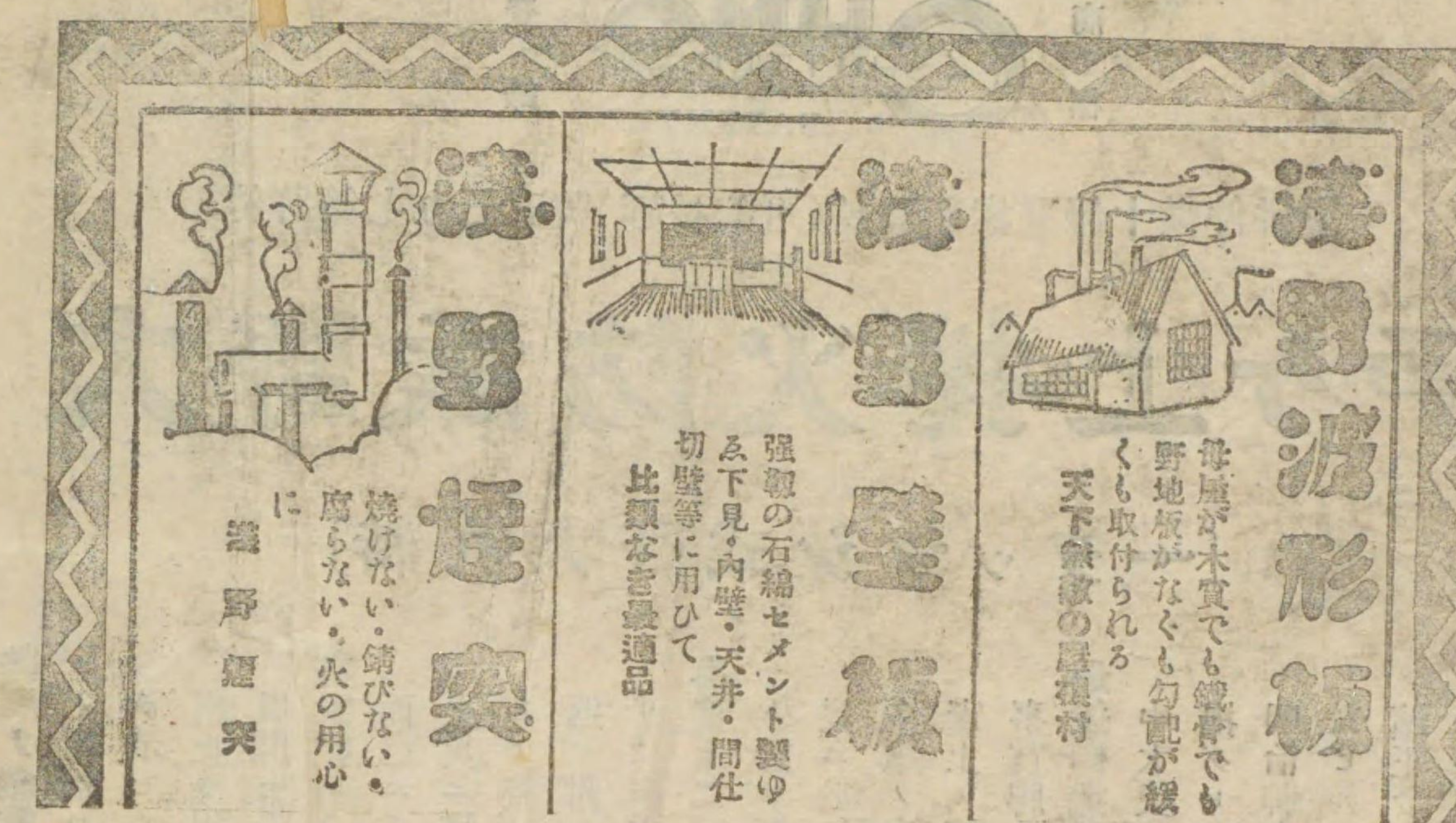
最近御採用ヲ蒙リタル主ナル建物　各大都市ニ於ケル有數建築物ニ採用セラレ就中大災後ハ他製品ノ取換等モ亦尠ナカラズシテ最近數年間ノ主ナル建物ヲ左ニ揭グレバ、

明治神宮記念繪畫館、貴衆兩議院假廳舍、鐵道横濱倉庫、東京市電氣研究所、丸ビル（一部取換）電氣俱樂部、東京株式取引所、三越呉服店、日本銀行、横濱正金銀行本支店、三井銀行、三菱銀行、川崎銀行、加島銀行東京支店、明治生命大阪支店、前田侯爵邸、大倉男爵邸、岩崎男爵邸、八重州ビル、大阪京都各中央電話局、三井合名本館、松阪屋呉服店、簡易保險局、東京貯藏銀行等。

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地（電話高輪（長）三三二二 五五七七）

出張員詰所・大阪此花區上福島中二（電話土佐堀二七二五）



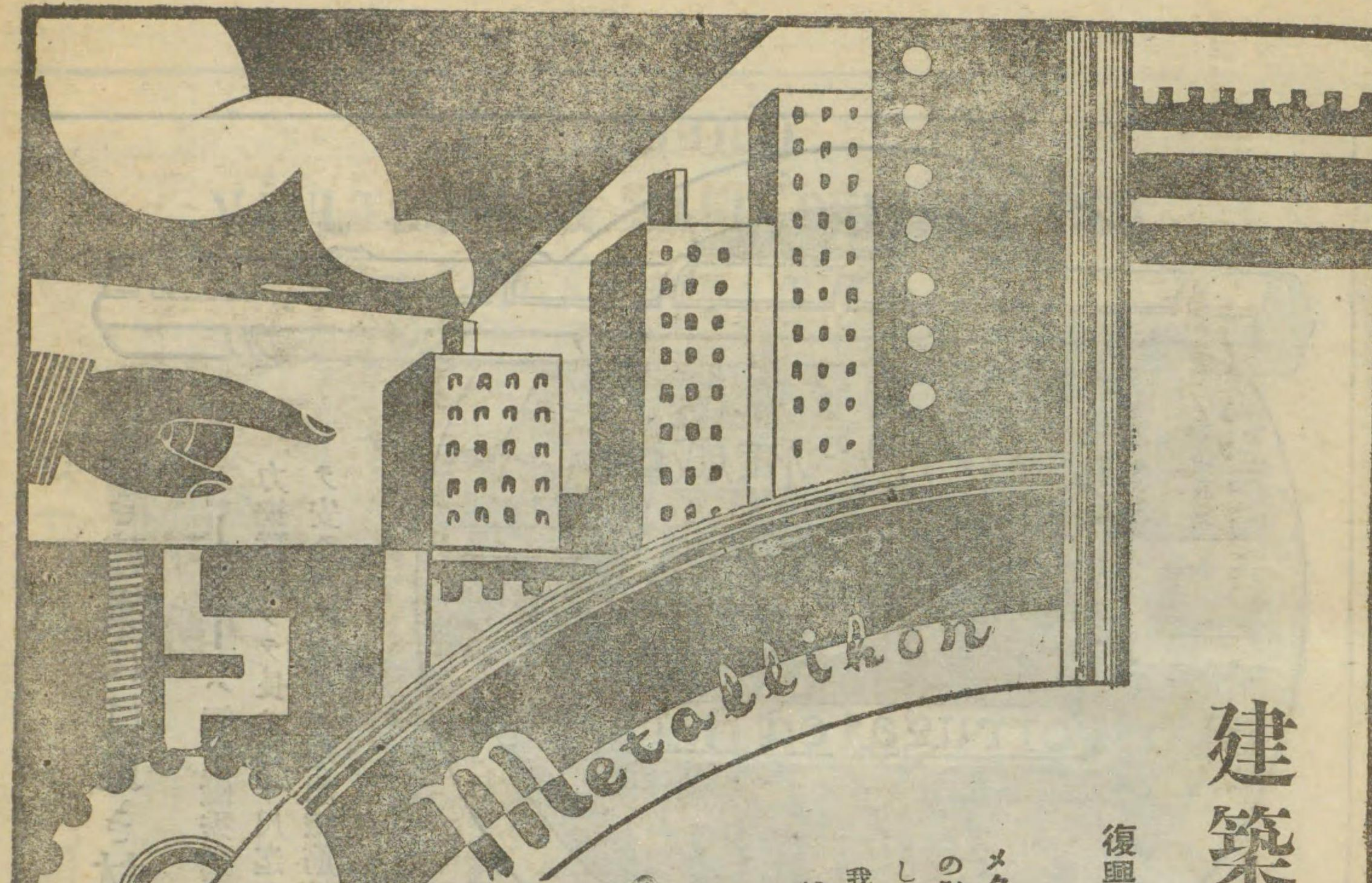
石綿セメント製品は

我建築界の

……新興勢力……

淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	名古屋	札幌
京橋區三十間堀三 電話 銀座 一八六〇 一八六一 一八六二	北區曾根崎新地三 電話 北 五〇八一 五〇八二	白木崎 電話 長 一九三一 一二三八	中區南鍛冶屋町三 電話中 一〇九七	北三條東四ノ一 電話 長 五九八



建築美の新開拓

復興の都市建築美として異彩を放つは

メタリコンの應用装飾である

メタリコンの發明が金屬界の驚異として有ゆる金屬工業各方面に著大の影響を與へつゝあるは顯著の事實であるが、就中建築各要部に應用して装飾に或は從來曾てなき美觀を添へ且構造的强固を加へたるは我が建築界近時の進歩として承認せらる、事實最近の大建築たる三越、郵船ビル、東株ビル、朝鮮景福宮總督府、片倉ビル、千代田館丘金、大阪ビル、大阪第一銀行其の他の建築装飾にメタリコンを應用せざるはなく文化的小住宅にも亦メタリコンを加工して部分的强固を增し壯美と高雅とを發揮した實例が多い新建築とメタリコンとは今は離るべからざる關係でメタリコン應用の工風とメタリコン加工の部分の多少とが建築美の重大要件となつてゐます。

◆於平和博 名譽金賞牌受領
◆於發明博 最高大賞牌受領

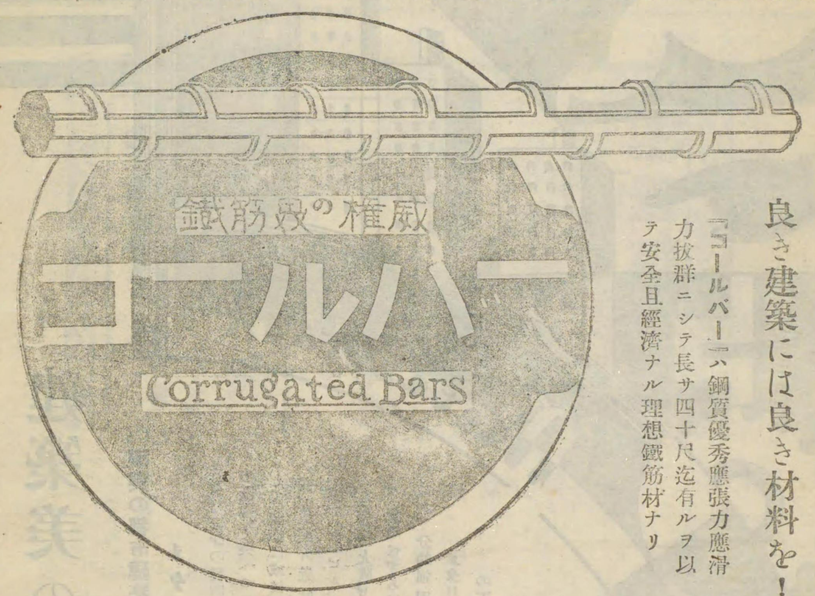
建築共同型錄參照解說書送呈

東京市銀座尾張町天賞堂内

日本メタリコン工業所營業部

電話銀座三三三・三三四・一三〇三・一三〇四・一二五四・三六三五

工場…市外荏原町戸越四五〇 電話高輪一四六四・荏原二七二二



良き建築には良き材料を！

「コールバー」ハ鋼質優秀應張力應滑力抜群ニシテ長サ四十尺迄有ルヲ以テ安全且經濟ナル理想鐵筋材ナリ

日本一手販賣店

第一土地建物株式會社 鋼材部

東京 電話 京橋 四四七四 八四九 地番七十目丁三座銀區橋京市京東

三菱商事株式會社 元入輸

高砂タイル

二四丁掛 小口丁掛 張

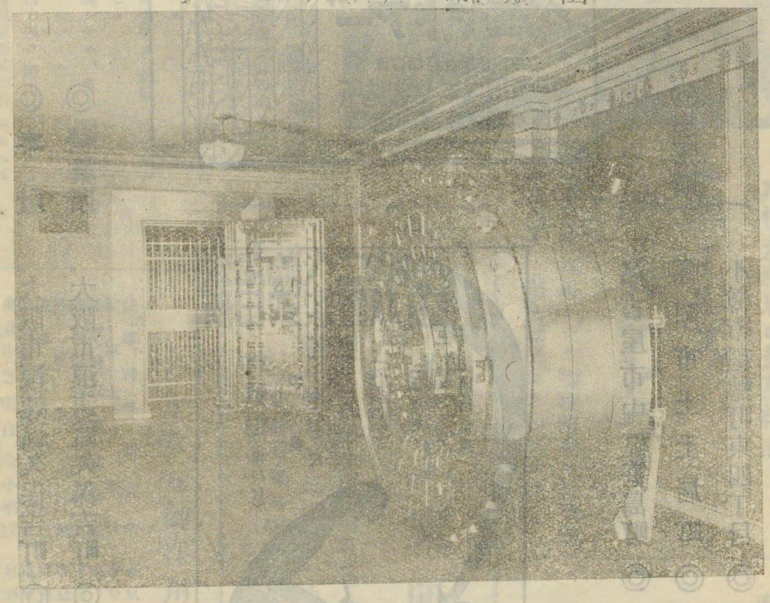
◇雅優調色◇
◇趣野面粗◇
◇廉低格價◇

臺灣煉瓦株式會社 元造製

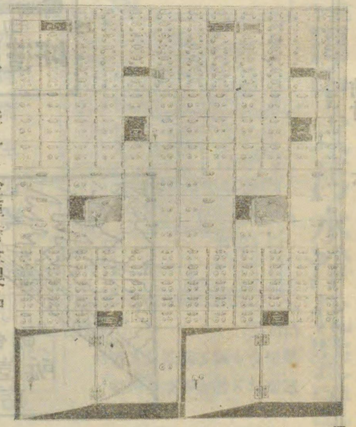
第一土地建物株式會社 元賣發

東京 電話 京橋 四四七四 八四九 地番七十目丁三座銀區橋京市京東

DIEBOLD
VAULTDOOR & SAFE DEPOSIT BOX
デーボルト金庫扉ト保護預リ函



扉板鋼形方長ルタレサ備設ニ口入室庫金庫行自ト扉板鋼形圓ルタレサ備設ニ口入室庫金貸リ預護保



デーボルト金庫會社製品

部一ノ匣貸ルス備設ニ内庫金貸リ預護保

金庫扉
銀行信託會社自用金庫室保護預リ貸金庫室入口設備用
總鋼板製防火防盜扉（圓形、長方形）

保護預リ貸匣
銀行信託會社保護預リ貸金庫室內部設備用
保護預リ匣（大小各種）

其他金庫室保護預リ貸金庫建設設備材料用品一式

左記ノ諸品一切ノ日本總代理店トシテ一手輸入取扱致シ居リ候間何卒御用命仰ケ付被下度型錄ハ御請求次第御手許ニ御送附申上候

デーボルト金庫會社日本總代理

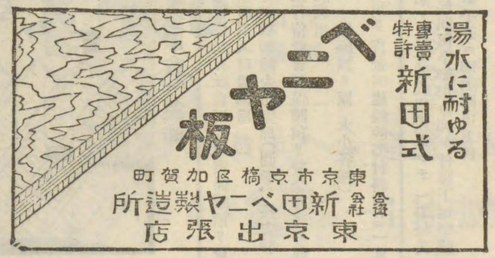
大倉商事株式會社機械係

東京市京橋區銀座二丁目七番地
取扱支店出張所々在地
大阪、門司、名古屋、京城、大連、臺北

◎工　場　十勝國中川郡止若驛◎
◎本　社　大阪市浪速區久保吉町◎
◎營業所　大阪市浪速區久保吉町◎

◎出張所

名古屋市中區笹島町◎
福岡市上土居町◎
小樽市稻穗町東四丁目◎



英國帝室御用

シッソンス・ブラザース會社特製品
ホールス・デ・ステンパー特約發賣元

主なる特徴

色相百種、鮮明デス
泥狀デ用法簡便デス
塗裝面ニ艶ナク、水洗御自由デス
殺菌力強ク、剝脫、褪色致シマセン
接觸シテモ、色ハ絶對ニ著キマセン
被覆力強ク屋内外ニ適シマス
價格低廉新裝補裝何レニモ御徳用デス

水性塗料界の最高權威

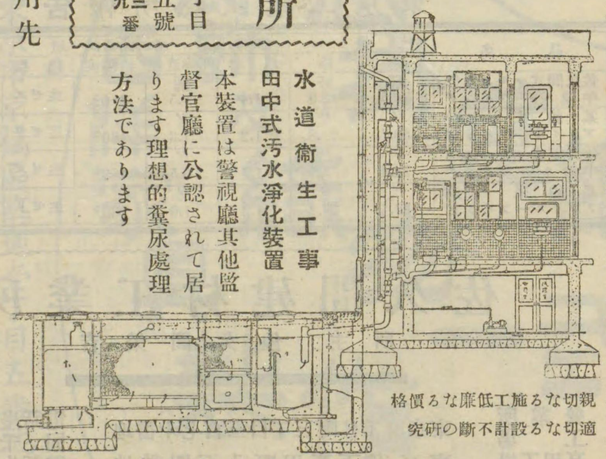
▲ホールス
ディステンパー

◎粧室水性塗料トシテ物理的ニモ化學的ニモ總テノ點ニ冠絶シテ居リマス

合資會社 田中工業所

東京市京橋區南傳馬町三丁目
第一相互館三階三一五號
電話京橋(56)三五一三番
〇二〇九

最も進歩せる 田中式汚水淨化裝置



水道衛生工事
田中式汚水淨化裝置
本裝置は警視廳其他監督官廳に公認されて居ります理想的糞尿處理方法であります

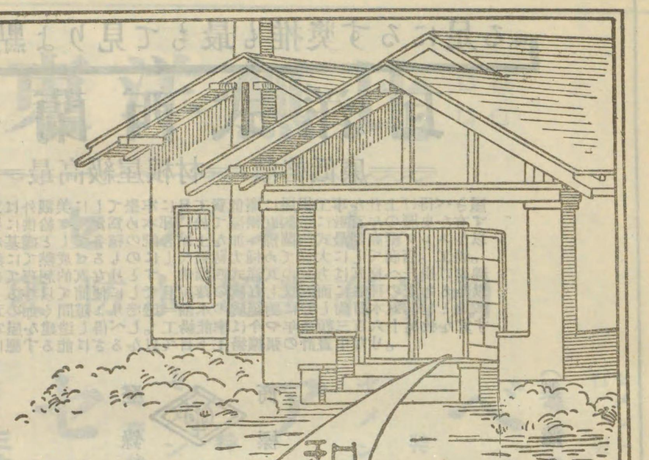
適切なる設計不斷の研究
親切なる施工低廉なる價格

主なる御採用先

陸軍科學研究所
陸軍軍士學校
陸軍飛行第五聯隊
陸軍第一銀行
陸軍名古屋病院
東京市立球工學校
東京市芝區白金小學校
東京市本所區外手小學校
東京市本所區二葉小學校
東京市本所區本橫小學校
東京市日本橋區濱町小學校
東京市小石川高等小學校
東京市芝區神明小學校
東京市麻布區南山小學校
東京市日本橋區箱崎小學校
東京市神田區小川小學校
東京市芝區愛宕小學校
東京市浅草區金龍小學校
東京市本鄉區役所廳舍
富士製紙株式會社
日本貿易協會
濱ファエリス女學院
明治學院
同潤會深川アパートメント
日本醫師共濟生命保險會社
京成電氣軌道株式會社
東京市電氣局
東京鐵道省新橋運輸事務所
陸軍車庫

須賀商店

須賀隆



和洋敷物窓掛
壁紙
室内装飾及織物一式
西洋家具製作

営業所　東京市京橋區築地壹丁目五番地
　　電話京橋三六五三番
陳列所　東京市京橋區金六町二一番地
　　電話京橋四七八四番
製作所　東京市京橋區築地壹丁目五番地

佐久間式マルエス印便利瓦

受賞　國産優良賞牌
同　第七五、六二七號
國産品　陸屋根地下室防水材料

御用命先

コンパウンド　三菱地所部殿　久原鑛業株式會社殿
パーマネント　東京府殿　藤田鑛業株式會社殿
ルーフイング　東京市殿　帝國ホテル殿
大藏省殿　藤倉電線株式會社殿
疊下用紙　文部省殿　富士製紙株式會社殿

建築用紙　鐵道省殿　慶應大學殿
フエルト　陸軍省殿　南滿洲鐵道株式會社殿
C印フエルト　警視廳殿　三菱製紙株式會社殿
ルーフイング　遞信省殿　三菱造船株式會社殿
清水組殿　橋本組殿
大林組殿　戸田組殿
大倉組殿　竹中工務所殿
安藤組殿　藤本組殿
（其他土木建築界各方面）　鐘高組殿

東京工業試驗所報告

品名	抗張力 縱	抗張力 橫	吸水率	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 屈曲角度	屈曲試驗 龜裂	試驗時間
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	耗 70.5	耗 42.9	1.4	耗 0.5	180°	生ゼズ	大正十四年二月二十六日
某舶來一流プライルーフイング	〃 53.7	〃 21.8	1.2	〃 1.3	180°	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	〃 74.4	〃 35.9	1.7	〃 0.5	180°	生ゼズ	大正十五年二月十日
某舶來一流プライルーフイング	〃 80.3	〃 39.3	1.2	〃 1.0	180°	生ゼリ	同上

佐久間建材工業所

主所　佐久間吉榮

營業所　東京府千住町三丁目三百七十番地　電話淺草五〇六番
工場　同　千住四〇二番
高田工場　東京府下高田町八百四番地　電話牛込二五六二番

何れの點より見ても最も推奬するに足る

佛蘭西式洋瓦

最高級屋根材＝＝價格低廉

佛蘭西式洋瓦は外觀美にして堅牢に且工費低廉に屋根工事を仕上げ得べき屋根瓦なり建築界に供給せんが爲め本邦に於て屋根瓦製造に數百年の歴史を有する三州粘土を基礎として各種の配合粘土を加へ佛蘭西式最新高壓プレスを以て製型し高熱にて熱成せるものにして強靱力極めて偉大にして商店。工場。倉庫等に用ひて理想的瓦なりとす。佛蘭西式洋瓦の葺方は瓦棧へ仕掛け銅線にて結び付くるを以て簡便にして且脱落の虞なし又瓦面に各種の溝あるを以て他種類の瓦の如く間隙より滲透＝漏水の虞絶對になし尚日本瓦其他と比較して美術的家屋を建造し得べし。工場能率は今や年産額三百六十萬枚を算するも尚注文に應ずる能はざるを以て目下工場擴張の計畫中なり。

（屋根葺上）

登録商標

（製造販賣）

洋瓦の十大特長

實質堅牢　形態合理　色彩優美　吸水殆無　凍害絶無　雪止不用　重量最輕　製品統一　葺土無用　葺上簡易

◎化學工學界の泰斗工學博士高松豐吉殿より眞に理想的にして優秀なる屋根材なりとの御證明を得たり。
◎商工省より特に製瓦機械の御貸下げを得
◎年産額參百六十萬枚七萬坪を供給するを得
◎模造品あり弊社製品と御指定を乞ふセメント製に非ず高熱燒成品にして製品には全部商標を押捺してあります。

赤色　赤褐色　銀黑色　黑褐色　緑色（マンガン入）　日本瓦各種　竹瓦　スパニシュ　・タイル　S字瓦

日本洋瓦株式會社

東京市京橋區本材河岸三丁目
電話京橋(56)三三二番五四三〇番
振替東京三四六七八番

大阪出張所
大阪市北區曾根崎中二丁目第一曾根崎ビルデイング
電話北二一五五・二一五六番

三河工場　愛知縣碧海郡新川町　電話新川局四六番
高濱分工場　愛知縣碧海郡高濱町

東洋無比

セメント

急硬・防水・絶對有效劑

ベスタ（粉末）

專賣特許

セメント石灰 兩用龜裂防止劑

特徴・防水・龜裂防止・光澤

アポロ（液體）

セメント・石灰兩用防水劑

特徴・防水永久有効使用簡單

セットロー（粉末）

專賣特許

セメント急硬防水劑

三大特徴・急硬・防水・耐寒

ドラゴン（液體）

セメント急結防水劑

特徴・噴水・湧水・防止用

說明書進呈

製造發賣元

東京市本所區東兩國元町一五番地

吉村工劑商會

電話本所(73)5129番

福井市豊島中町・(電話513番)

鐵平石

採掘
（型錄進呈）
建築內外裝飾
埋設線蓋石
陸屋根敷石
大諸般敷石
販特許鐵平石貼タイル
責其他各種

近來贋店名義又は類似の名を以て不都合を相働き候者有之候に付御取引の節は一應電話にて御照會下され度候

支店 福沢山礦主
本店 長野縣上諏訪駅前 主 藤森權之助
電話上諏訪二五五番

藤森鐵平石商會

支店 東京市本郷區向ヶ岡弥生町三
電話小石川四五〇六番

工場及 東京府南千住潮ハ七〇一
貯石場 鐵平石貼タイル工場

前付 一二

純國産

エンボード

壁・天井・間仕切用材

北洋材ノ純繊維ヲ化學的ニ精製シ本邦風土ニ適合スル様貼合セタ厚キ「紙のベニヤ板」

冬季ニモ雨季ニモ手輕ク工事ガ出來テ温度調節力ニ富ム衛生品……

地變ニ遭フモ龜裂、崩壞等ノ憂ヒナキ堅牢品……

電氣ニ對シテ絶緣的デ不快ナ反響ヲ防止スル文化的新資料……

褐色及白色ノ二種ヲ有シ、エンリボードニ美術的ノ模様ヲ附ケタ「大和ボード」ハ生地

其儘ヲ用ヒラレ塗料加工亦自由……

寸法・巾三尺×長六尺
厚サ・一分二厘・一分六厘・二分

エンソボードハ
國産振興東京博覽會カラ優良國産賞
ヲ受領シタ本邦ニ於ケル唯一ノ純繊維性ボード

大阪市南區安堂寺橋通三丁目 丸井洋紙店内
三稜社出張所
電話船場三二七一番

横濱市本町六丁目七十七番地
代理店 三寶商事株式會社
電本局 六二三番 二六二三番

製造發賣元
東京市京橋區南八丁堀（櫻橋南詰）
三稜社
（電話京橋六八一三番）

見本進呈

（品質本位）

建築用
家具用
車輛用
船舶用
飛行機用

山葵板

（特約店募集）

日本樂器會社木工品
販賣代理店
（舊共益商社）

發賣元

都商會

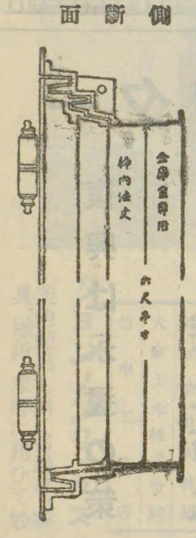
電話芝二一二七番
東京市芝區愛宕下町二丁目參番地
（新橋驛下車）櫻田小學校前

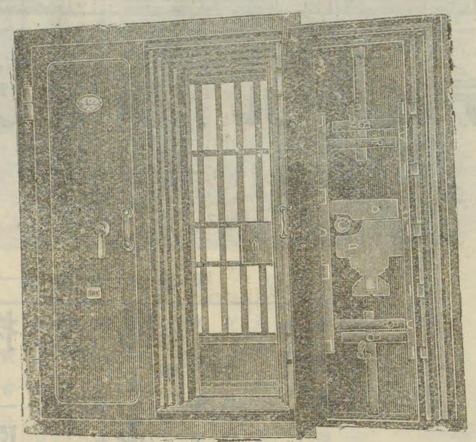
安全第一

金庫式防火扉

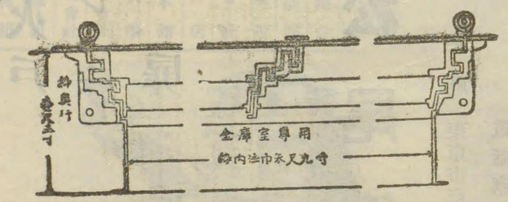
金圖書專用

側斷面





平斷面



吉川特製品其二

在庫品澤山有リマス
寸法ハ新規ニ製作シマス

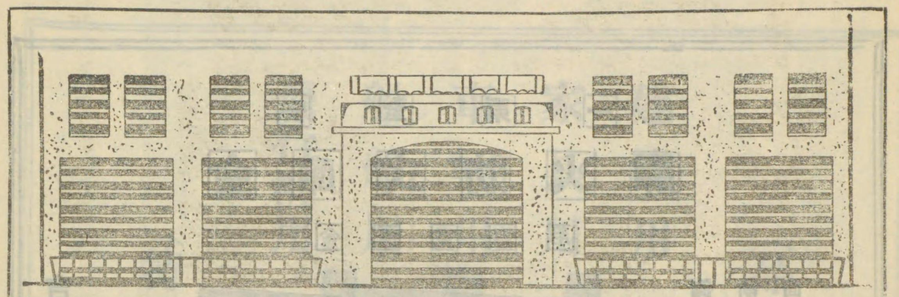
値段表は本紙の時價表を御覽下さい

吉川商店

東京市日本橋區通油町六番地
電話浪花(67)六三四五番

西店　日本橋區大門通リ小傳馬町三丁目廿一
電話濱花(67)七二五六番

工場　本所區中之鄉横川町・電話靈田(74)一四二〇番



スティール・シヤッター

復興は永遠の策

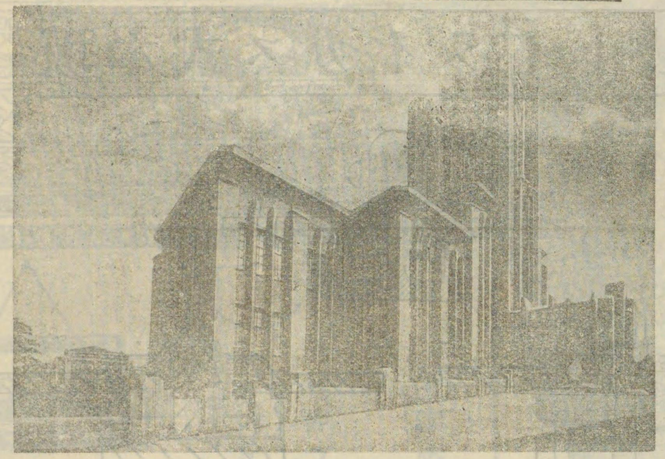
捲上防火戸
サッシュ
防火扉

合資會社 **松尾鐵工所**

本社 東京市京橋區南傳馬町三丁目一四
電話京橋四一九、同五四五四

工場 東京府蒲田町北蒲田二三五
電話蒲田一二四

Certain-teed



東京 帝國大學講堂

世界建築諸大家指定品

サーテンティード便利瓦（ルーフイング）◎

（品質優秀、價格至廉）

サーテンティード製品にて施工の屋根

丸之内ビルヂング
日本郵船ビルヂング
東京帝國大學
東北帝國大學
早稻田大學講堂
丸之内三菱地所部
丸之内有樂館
久原鑛業會社
三越吳服店
上野松坂屋本館
東京女子大學
横濱スタンダード會社
横濱ライジングサン會社
合資會社清水組
株式會社大林組
大倉土木株式會社
竹中工務店

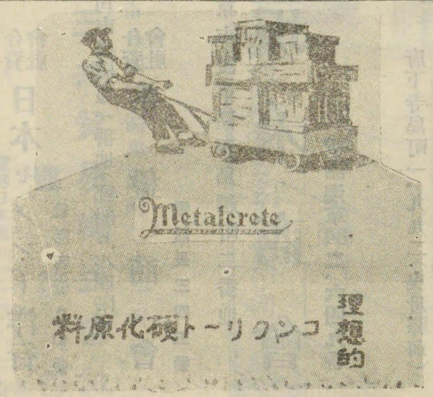
ルーフイングの主なる御使用先

Certain-teed

リノリューム ペイント各種

ジョンソンワックス

美的艶出し料、自動車、家具、階段、床等に用ひて妙



米國メタルクリート製造會社

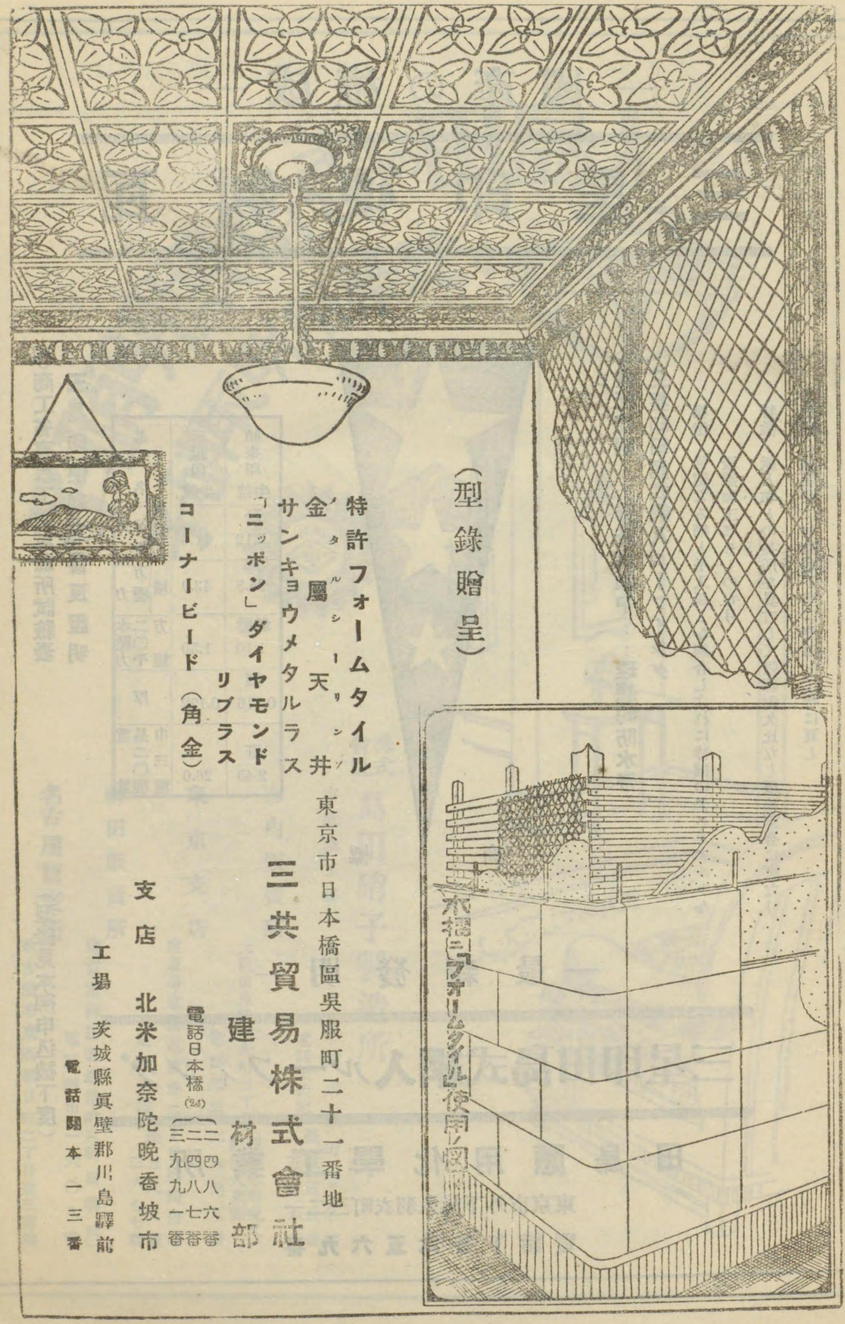
メタルクリート

本品は內外の大建築物に使用せられて其の功顯著なり是を使用して作りたる床は其の上層從來のコンクリートの堅牢さに數倍の硬質を加へ且つ水分の吸收を防ぐ、道路、工場、倉庫、自動車ガレージ等の床に必要の原料なり

日本總代理店
合資會社 **デュエット商會**

東京市麹町區內幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番



（型錄贈呈）

特許フォームタイル
金属天井（タンシー）
サンキョウメタルラス
「ニッポン」ダイヤモンドリブラス
コーナービード（角金）

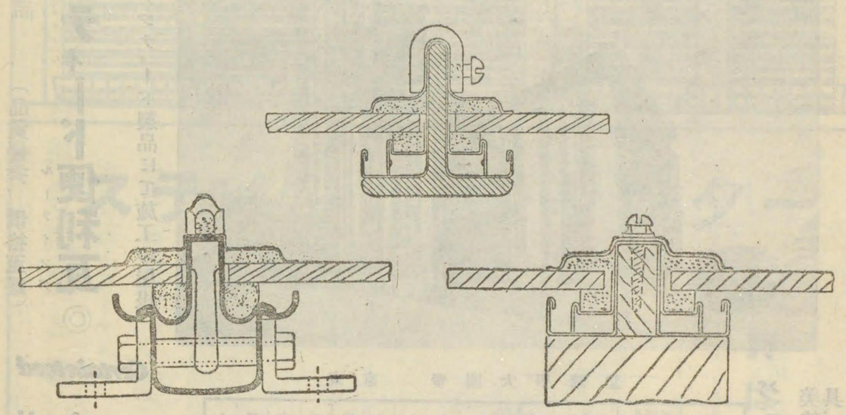
東京市日本橋區呉服町二十一番地
三共貿易株式會社
建材部
電話日本橋(24)二二四八六番
三四九四九一七番

支店　北米加奈陀晩香坡市
工場　茨城縣眞壁郡川島驛前
電話關本一三番

前付　一九

特許

置裝トイライカス式本坂



東京市日本橋區大傳馬町二番地
取扱店
鶴谷商店
電話浪花(34)二、五八五番

名古屋市中區蘇鐵町（內屋敷電停前）
合資會社日本セメント洋行
電話西七八〇番

門司市棧橋通一番地（郵船ビル四階）
合資會社常盤商會
電話長三四五番

東京市淺草區西鳥越町二番地
合資會社坂本商會
電話淺草(84)二、六四九番

東京工場
府下寺島町一、九九二（曳舟驛前）
電話墨田(74)二、四一九番

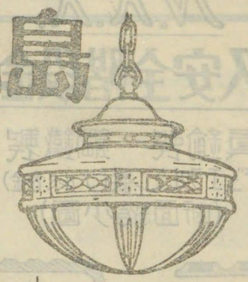
大阪出張所
大阪市西區薩摩堀南之町一番地
電話新町四、三五九番

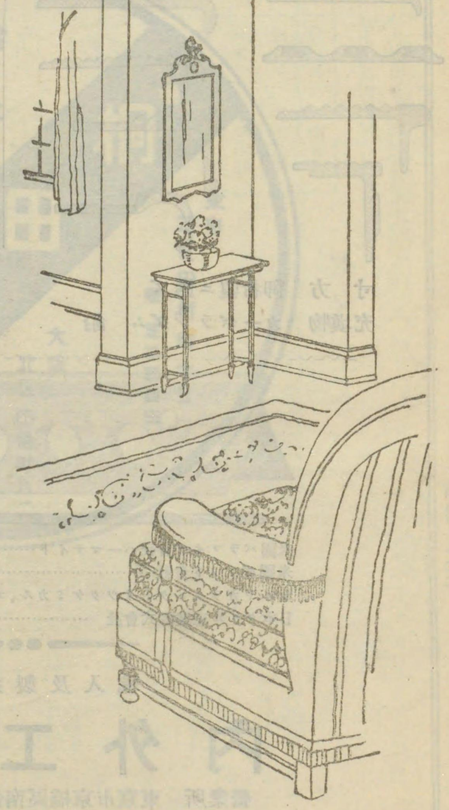
御申越次第型錄送呈

前付　一八

島田の電燈照明硝子

建築用照明硝子





株式會社 島田硝子製造所

本社及工場　大阪市西淀川區海老江町
電話土佐堀一長五五五番

市内販賣所　大阪市東區南本町二丁目（堺筋本町交叉點南入東側）
電話船場二九四八番

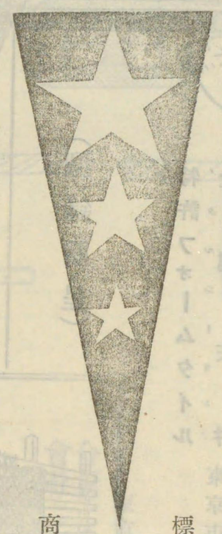
東京支店　東京市京橋區銀座二丁目拾四番地
電話京橋（長五八三番）三六七七番

神田販賣所　東京市神田區鍛治町（神田驛前）
電話神田一六〇八番

名古屋販賣所　名古屋市東區朝日町二丁目拾三番地

—國産の權威—

三星印便利瓦



◇商工省東京工業試驗所試驗表

三星印便利瓦優良證明

（型錄見本御申込被下度）

品名	抗張力 每平方糎 縱	抗張力 每平方糎 橫	水壓力 二〇平方糎 厚	重量 長二〇糎 巾三糎
舶來印半號	斤 7.12	71.6	瓩 34.8	43.9
三星印半號	氣壓 1.10	1.50	糎 0.116	0.122
	糎 0.116	0.122	斤 2.45	26.0

◇最新發明……特許出願中……理想的防水帶

三星印田島式網入ルーフイング

構造：強靱なる網と毛入紙とを練合し之れに特種のアスファルトを浸透加工せるものなり

特徴：紙と布との長所を具有して強靱耐久比なし價格割合に廉なり

用途：陸屋根は勿論地下室に使用して特に良し

商標

—最新發明—

三星印田島式網入ルーフィング

田島應用化學工業所

東京市外下尾久羽衣町一二三

電話下谷六五六九番

給水衛生
煖房

桐田商會

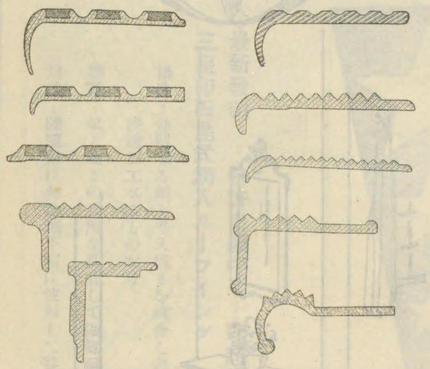
東京市芝区田村町十五
電 芝二三四三

大阪
北区木幡町八二
電 北二七五一

N.K.K.

耐久安全階段金具

眞鍮製　鋼鐵製
デュエラルミン製(アルミ合金)
(断面縮少圖)

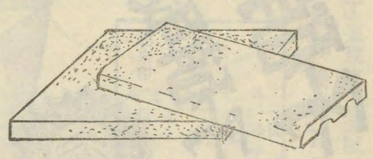


寸方　御希望ニ應ズ
充填物　カーボランダム　鉛

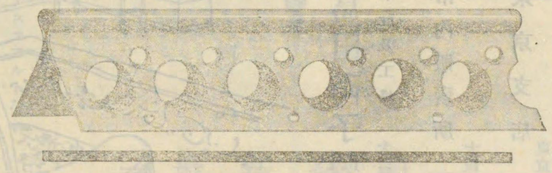
階段の磨滅損減を永久に至り
滑らず　轉ばず
建築の美觀を愈々添ふ
耐久無比

カーボランダムタイル

一名（アランダムタイル）



階段用
4"×6"×1/2"～3/8"
4"×9"×3/4～5/8"
床敷用
6"×6"×1/2"～3/8"
6"×6"×3/4～5/8"



米國パラフキン會社パーマナイト……日本總代理店
米國ダトツト會社……日本總代理店
ナイヤガラエレクトリツクケミカル、コーポレーション……總代理店
日本タイル工業株式會社……東京販賣部

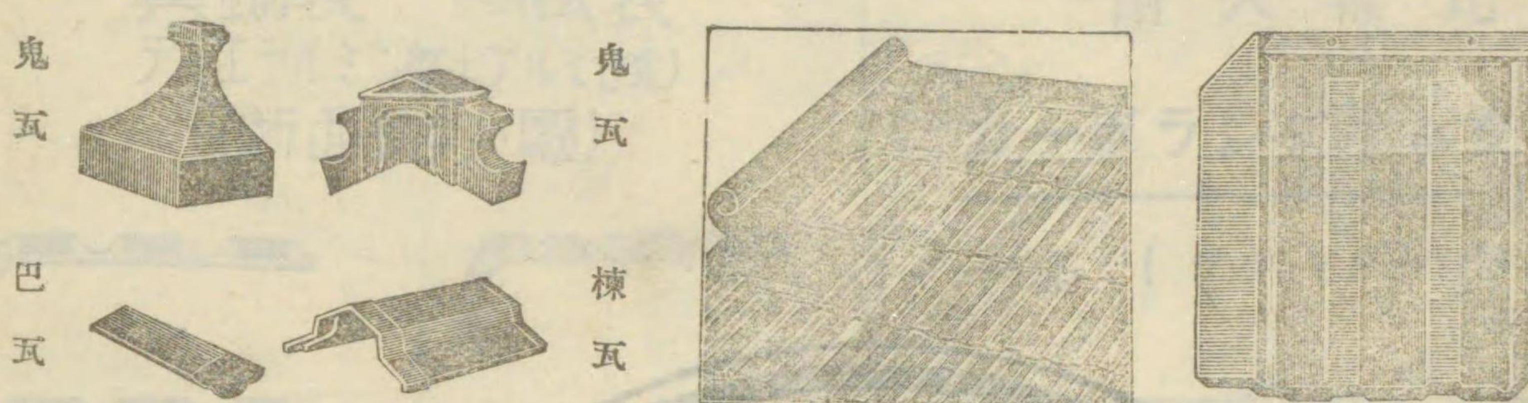
輸入及製造販賣

内外工材社

營業所　東京市京橋區南鍋町一ノ九
電話銀座(57)四七二八番

專賣特許

王子石綿スレート



一、坪當り　四十二枚葺
一、重量（一坪）　卅一貫五百目
（一枚）　七百五十匁
一、寸法
縱　一尺一寸
横　一尺一寸
厚サ　四分五厘
一、働キ寸法
縱　九寸
横　九寸五分
一、吸水　百分ノ五
一、色合　白色及紺紫色チヨコレート
一、葺方　野地板ノ上ニフエルトヲ敷キ亞鉛引釘打止メトス

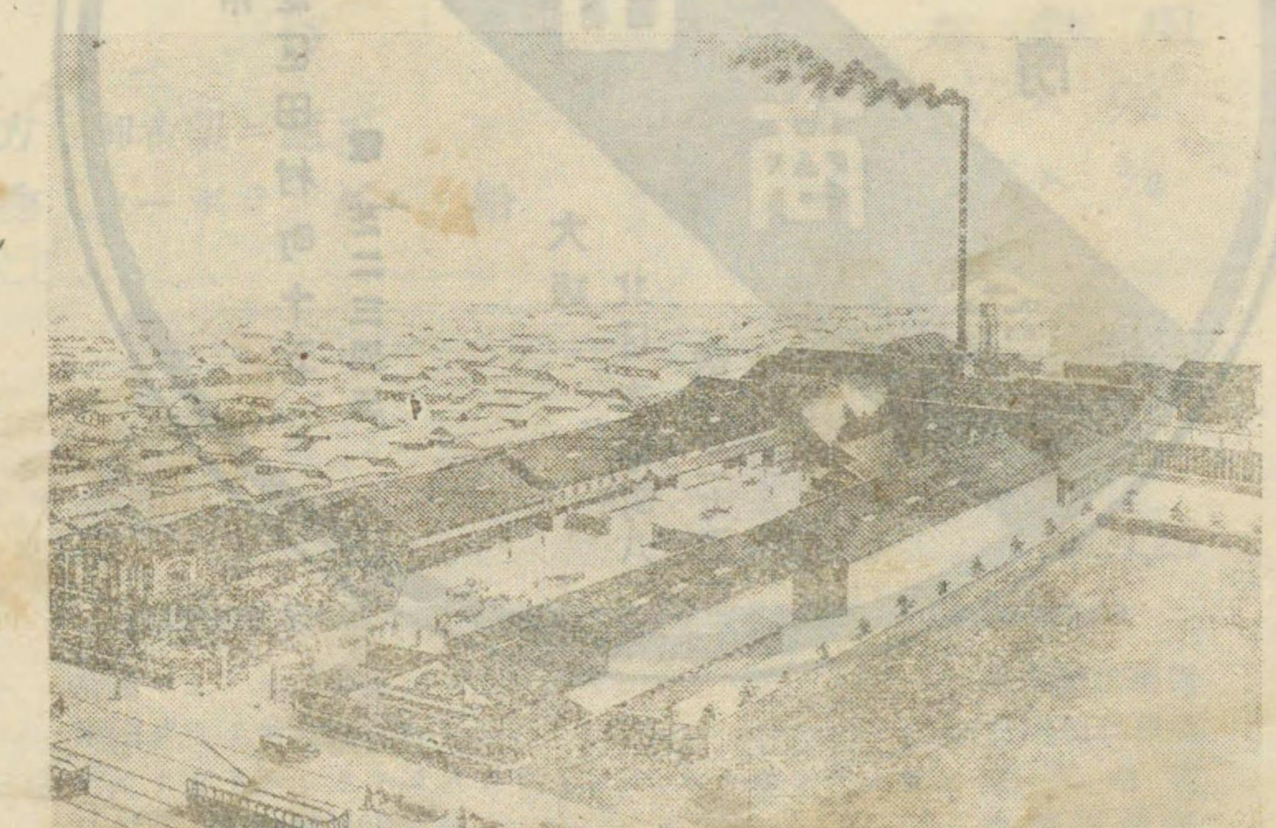
値段（當社渡シ一板ニ付）

品名	單價
棧瓦	貳拾壹錢
ケラバ	參拾六錢
唐草	四拾貳錢
棟瓦	六拾參錢

葺上屋根坪値段
一坪金拾一圓五拾錢ヨリ
色物ハ白ノ一割高

新案登錄
製瓦機販賣

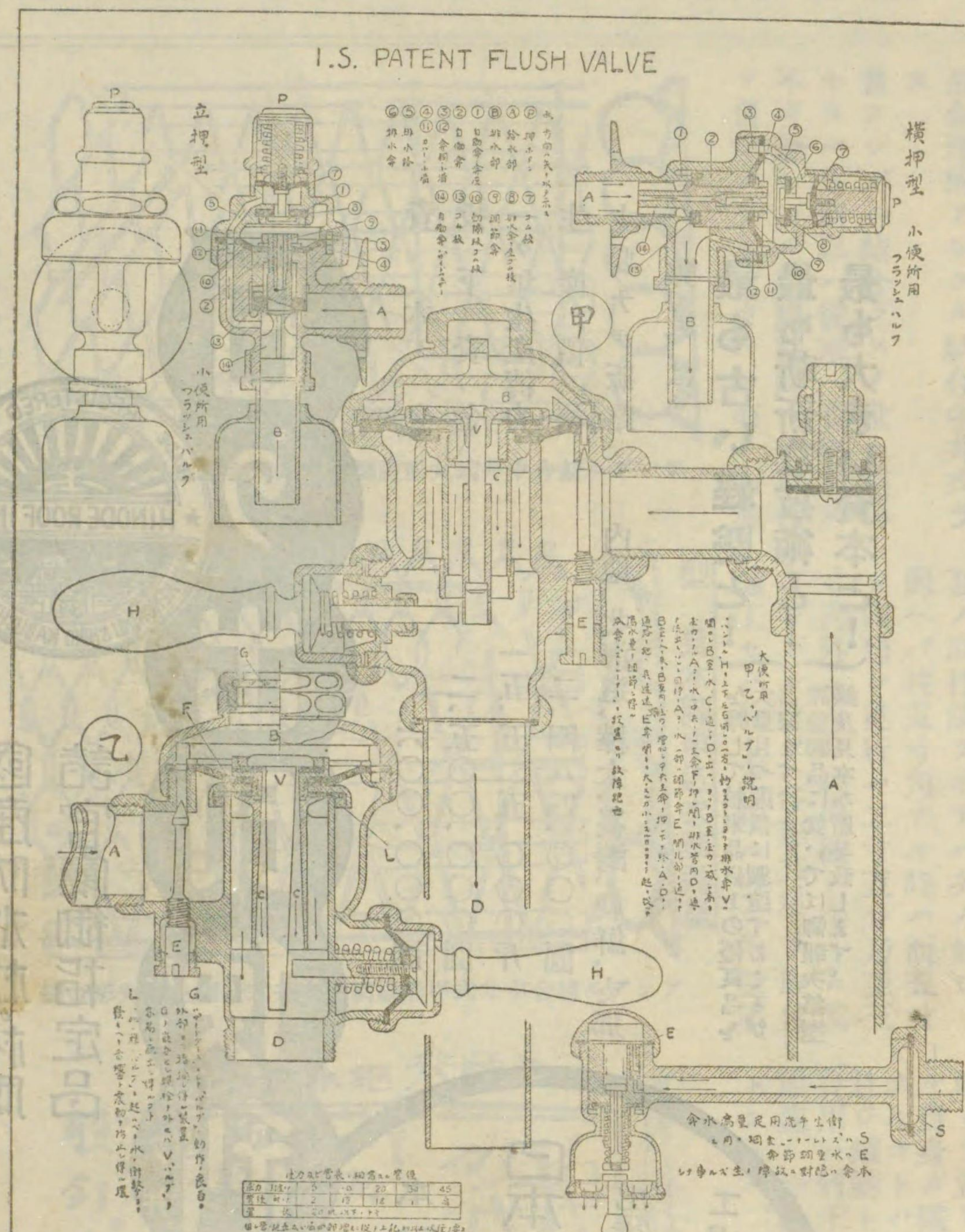
セメント
ブロック各種



東京府王子町
王子製瓦株式會社
電話 特長 王子 長一五五番
長 小石川 二五五番
王子 二五七番
長 五一五番

國產

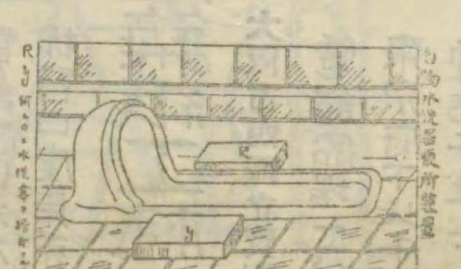
伊勢式特許自働型把手型大小便所水洗弁製造販賣元



カタログ進呈

◎圖中Rハ特許安全弁附自働水洗器（實用新案ノ如キモノニアラズ）

本器ハ用便者ノ自然力應用ニヨリテ自働ニ瀉水シ汚物ヲ絕對洗滌シ得ル最新文化ノ利器ナリ最早把手型ハ時代遲レ「サイホン」式ニ至リテハ其最モ甚シキモノナリ



苦辛は過去十ケ年

◎故障絕無

世界的ニ誇トスル獨占器デアリマス御安心シテ使ヒナサイ御勸メスル

◎機先ヲ制セヨ

帝大モ使ヒ陸軍衞戍病院軍醫學校ヲモ使フ旅館、病院、料理店、等ノ民間ノ使用箇所ト注文亦夥シ

東京市芝區白金三光町二百七十三番地大正館一丁坂下
アイヱス工業會
電話高輪(44)八三〇四番 ヤサーシ

日の出印便利瓦（ルーフイング）

國産防水材の權威
諸官廳御指定品

資本金　六〇〇、〇〇〇圓
投下資金　二、五〇〇、〇〇〇圓
一ヶ年生産能力　一五、五二五、〇〇〇斤
生産價格　二、四八四、〇〇〇圓
主要ナル販路　内地、北海道、樺太、臺灣、朝鮮、支那

弊社は
最も古い經驗と！
最も斬新な技術と！
最も大きい資本と！

（大量且つ廉價に製造することが出來ますから他製品に就いては御報次第型錄及見本を贈呈致します。）

見本送呈

日本建築紙工株式會社

本社　東京市神田區小川町一　電話神田六六三・六三六　振替口座東京二七〇五九
出張所　大阪市西區立賣堀南通四ノ九　電話船場一六九〇・三一三五
工場　東京府下北千住町　電話千住七六

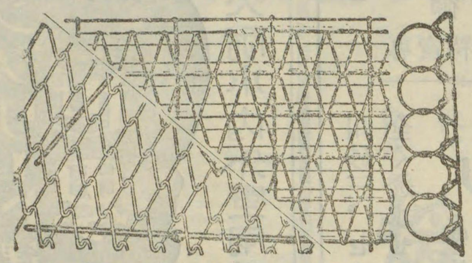
TRADE REGISTERED MARK ★HINODE ROOFING★ NIPPON KENCHIKU-SHIKO KABUSHIKI KWAISHA

◆金網界ノ革命兒中井式鐵網ラス◆

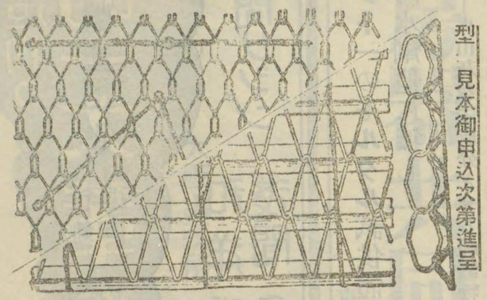
類例ナキ木摺裏板絶對不用ナル最合理的アングル結合中井式ラス

當アングル結合ラスノ世ニ喧傳セラルヽ所以ハ從來一般鐵網ノ不可能トセル柱建柱間ヘノ取付ヲ自由ナラシメタルニ有リ尚施工時ノ異彩ノ一例トシテ内壁不要ノ取付法ヲ示サバ次ノ如シ

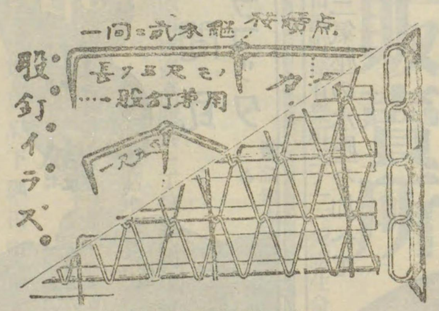
例ヘバ柱五寸角ナル時ハ面五寸ト假想シ奥行ハ二寸五分乃至三寸内外トセバ柱内面ニ平一ニ當アングルラス（各形共通）ヲ取付施工セバ仕上ゲ時ニ於テ内壁不要トナリ經費ハ確實ニ半減ス而シテ當アングルラスハアングル自身ガ鐵筋ニ代ルヲ以テ堅固ナルコトハ今更ラ贅言ヲ待タズ且ツ鐵筋ト比シ一點ノ遜色ナク費用ハ何十分ノ一ニモ該當セズ用途　壁湯殿土臺塀陸屋根天井トンネル、エントツ間仕切等



アングル結合中井式丸形鐵網・中井式金網止器丸形金網



アングル結合中井式甲形鐵網・中井式金網止器丸形金網



アングル結合中井式菱形鐵網

中井式力骨入甲形丸形菱形網

甲形、丸形、菱形、各網ニ當力骨ノ應用ハ面目一新シ金網固定力ハ彈大ニシテ龜裂等ノ不安ハ一掃サル

中井式力骨（ステーブル不要）

當力骨ハステーブルヲ兼用シ金網ヲ固定セシムルコトノ強力ナル他ニ類ナク力骨トステーブルガ同一身ニアルヲ以テ龜裂防止ノ秘策トシテ識者間ニ愛用セラレ形付形モ直線、稻妻等自由也

特許　**中井式鐵網ラス工場**　専責

振替東京七〇五七三番・電話　三八七九

東京市神田區豐島町十二番地
分工場　神田區佐久間河岸　卅五號地

自然美にして・施工簡易なる

浅間天然壁材料

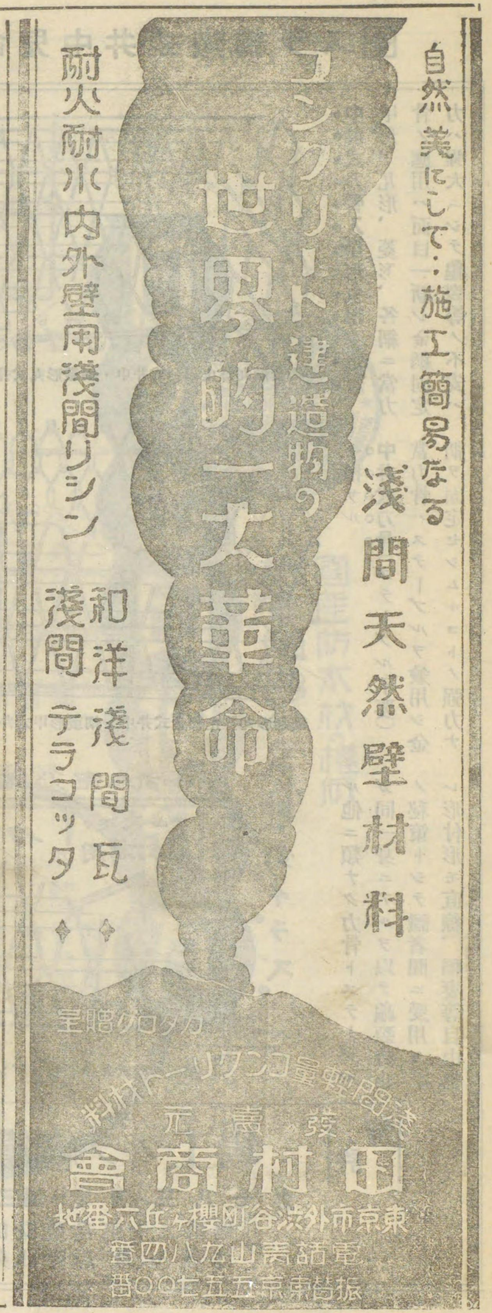
コンクリート建造物の

世界的一大革命

耐火耐水内外壁用淺間シン

和洋淺間瓦

淺間テラコッタ



仙臺高等工業學校
御證明
專賣特許七二三〇九號

川砂三、セメント一のモルタル試供體で三氣壓の水壓を加へて全く透水せぬ防水劑他に無し

特長——火山灰を主成分とせる純鑛物質

カツ KATU セメント防水劑

特長——比重がセメントと同一

本劑を以てせばアスファルト其他の防水工事を絶對要せざる確信を有す

實驗比較表進呈

煖房裝置用放熱器

株式會社 **煖房器共同販賣所**

東京市麹町區有樂町三ノ三(愛國生命社三階)
電話銀座(57)自二九〇五番 至二九〇九番
代表番號五五五一番

大阪出張所 大阪市東區高麗橋一丁目(愛國生命大阪支店内)
電話本局長二九八六番

製造工場 高砂鐵工株式會社
東京府下大崎驛前
六一〇番
電話高輪四六五三番

製造工場 株式會社 **前田鐵工所**
東京府下隅田町一六二九一番
電話墨田二〇五三番

大阪出張所 大阪市東區高麗橋一丁目(愛國生命大阪支店内)
電話本局長二九八六番

長野工場 長野市上岡田四五番地
電話九五四番

煖房
冷房
換氣
工事
請負

高砂煖房工事株式會社

東京市京橋區五郎兵衛町拾番地
電話京橋(56)〇五二六番
一八七三番
三五七〇番

前付 三〇

煖房
冷藏
水道
衛生
工事
設計
請負

合資會社

日本煖房商會

東京市京橋區南槇町一番地
電話京橋(56)二一〇二番

設計・工事請負・材料販賣

營業種目

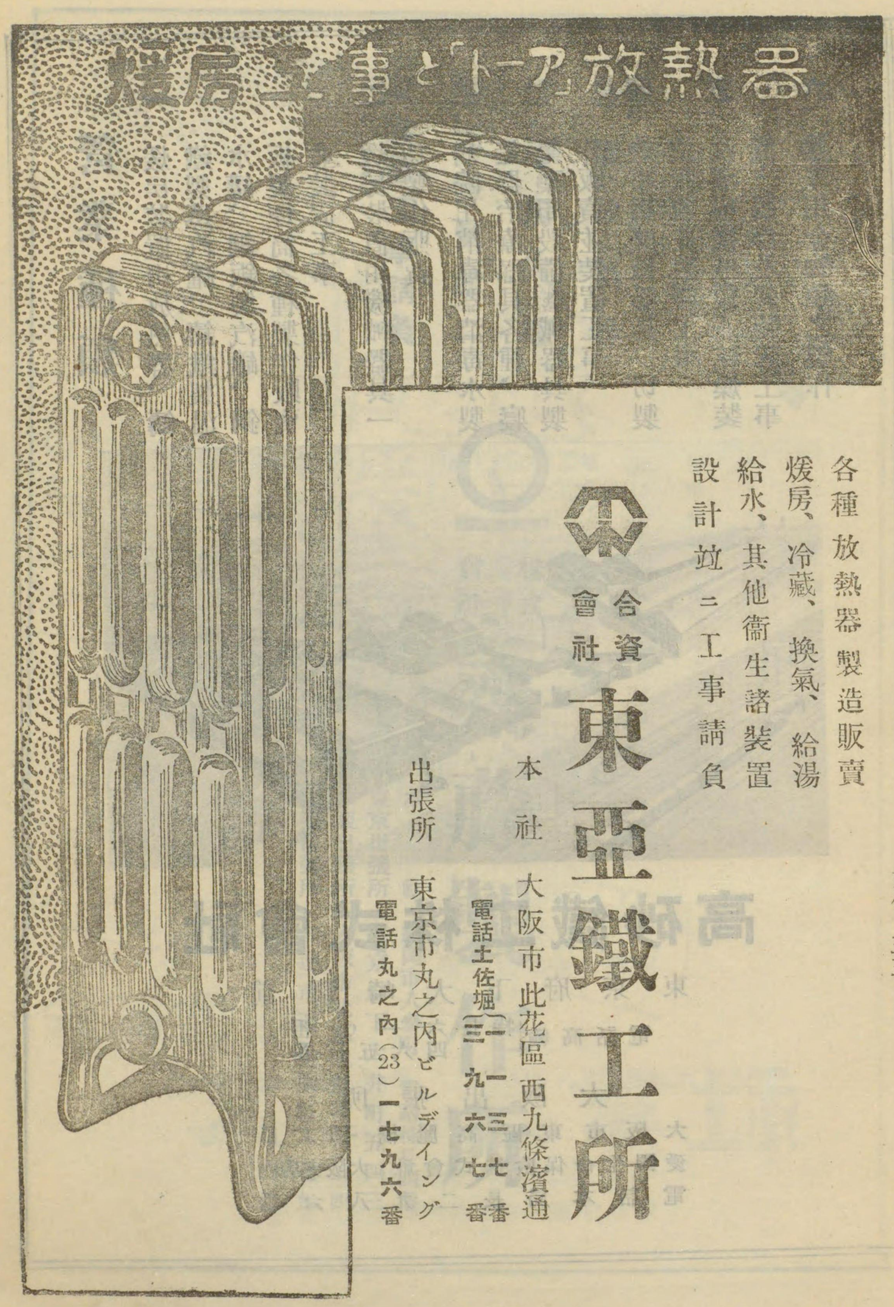
煖房　換氣
排塵　除塵
衞生　水道
給湯　給水
製氷冷房冷藏
蒸氣炊爨蒸氣消毒
スプリンクラー
バキュームクリーナー
文書及金錢空氣輸送
一般機械設備
其他各種外國製機械器具ノ材料輸入販賣

大和工業株式會社

本店　大阪市北區曾根崎上四丁目三十三番地
電話北一〇七八番・六二九一番
電略【オサカダイワ】

支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五番地
第一相互館二一六號
電話京橋三二三七番
電略【トウケイダイワ】

煖房工事と「アート」放熱器



各種放熱器製造販賣
煖房、冷藏、換氣、給湯
給水、其他衞生諸裝置
設計竝ニ工事請負

合資會社

東亞鐵工所

本社　大阪市此花區西九條濱通
電話土佐堀(一)三七一三番
(三)九六七七番

出張所　東京市丸之內ビルデイング
電話丸之內(23)一七九六番

營業種類

一、煖房裝置用放熱器、鑄鐵製蒸汽罐、鑄鐵製温水罐、銅鈑製汽罐、銅板製煙筒各種製作販賣並裝置工事

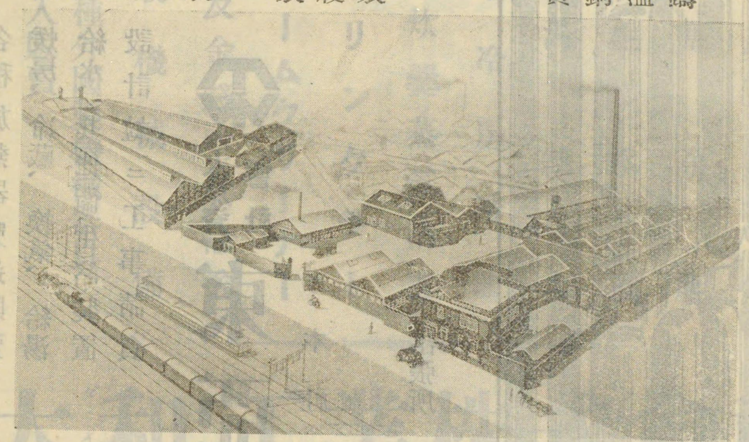
二、煖房裝置用機械器具一切製作販賣

三、病院用消毒器消毒水製造器治療器具各種、寢臺藥局設備機械器具製作販賣並裝置工事

四、炊事場機械器具一切製造販賣並裝置工事

五、洗濯場機械類並乾燥裝置之製作及其裝置工事

六、建築用金物類之製作



高砂鐵工株式會社

東京府下大崎驛前

電話高輪特長六一〇番
四六五三番

大阪出張所

大阪市東區高麗橋一丁目
大阪支店内
愛國生命保險株式會社
電話本局長二九八六番

各種放熱器
煖房用汽罐
製造販賣並ニ
其裝置工事請負

株式會社

齋藤製作所

本　社　福岡市人參町　電話特長四番
東京出張所　東京府下大井町五四三
大阪出張所　大阪市北區兎我野町一一四
大連出張所　大連市西公園町一七九

合資會社 大阪電氣暖房會

本店

大阪市西區江戸堀南通一丁目三十七番地

電話土佐堀五四四番一四四六番

支店

東京市麹町區八重州町一ノ一昭和ビル三一二

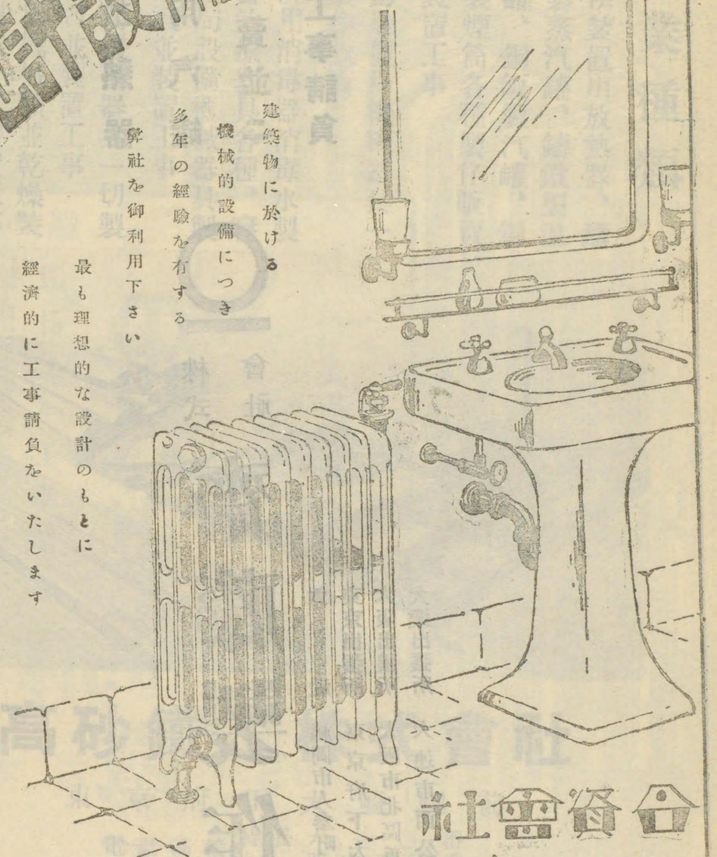
電話丸ノ内（23）七五〇番二七五〇番

名古屋市中區南大津町二ノ三

電話中區一三六二番二〇八五番

煖房衛生設備設計施工

建築物に於ける
機械的設備につき
多年の經驗を有する
弊社を御利用下さい
最も理想的な設計のもとに
經濟的に工事請負をいたします



社會資

文化工業社

東京府大崎町桐ヶ谷六一一番地

電話高輪三七四九番

煖房換氣
材料供給
工事請負

内田商事株式會社煖房部

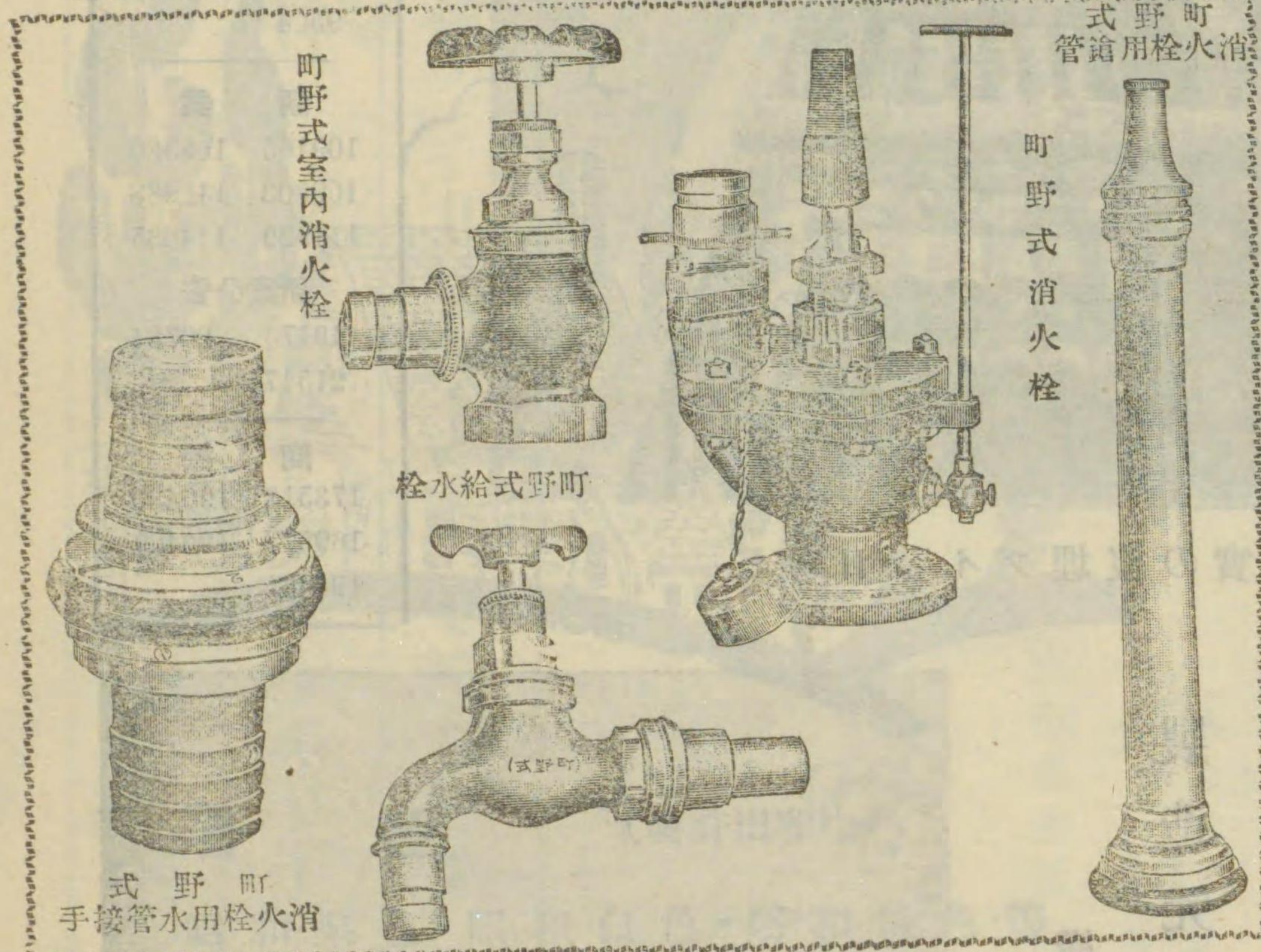
東京市麴町區八重洲町一ノ一
電話丸ノ内(23)自一五〇一番至一五〇六番
煖房工事部専用電話丸ノ内(23)一七二〇番

消防の要求する消火栓

そは

日米特許 **町野式消火栓** なり

如何となれば、『町野式消火栓』は左記の如き獨特の長所を有し、總べての消防の要求を充たし得て遺憾なく、而も全く傑出して他に追隨比肩するものを見ざるが故なり。



日米特許町野式消火栓の特長概要

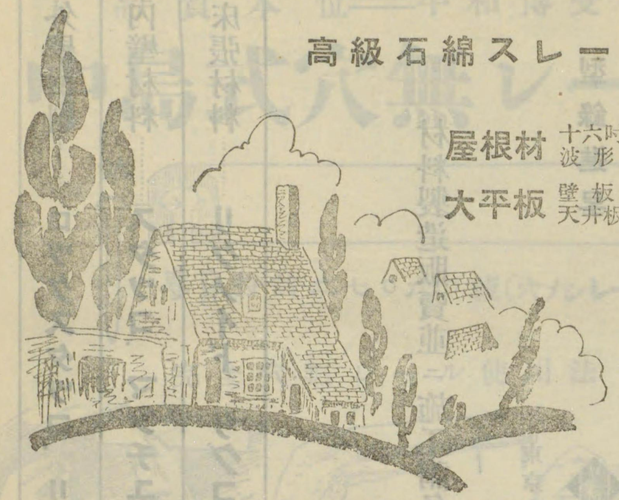
(1)水管の結合及離脱自動的にして嵌合、捻轉等の操作を要せず瞬間に放水を開始し得
一、全然時間を要せず咄嗟の間に消防を開始し得
二、少しの熟練も要せず何人にも容易に使用し得
三、腕長の達する限り**スタンドパイプ**を用ひずして容易に**ホース**を結合し得
四、**スパナ**等の補助器具を要せず
五、如何なる大型のものにても一人にて容易く使用し得
六、全く腕力を要せず婦女幼童と雖使用容易なり
七、暗夜雨風の場合或は周章狼狽せる場合にも迅速確實に使用し得て些の困難を感ぜず
(2)**ホース**伸長の際生ずる「撚れ」を戻さずして直ちに放水を開始し得(送水により接手廻轉し自動的に調整さる)
(3)放水中これを中止せずして**ホース**の「繼ぎ增し」或は分離を爲し得
(4)高所又は狹所等の不便危險なる位置に於ても**ホース**の接合分離容易なるのみならず操縦亦至便なり
(5)喞筒吸水管を結合する場合其簡便容易なる事他に其比を見ず
(6)構造簡單堅牢にして破損の憂無く作用完全確實にして故障を生ずる事無し

(說明書進呈)

東京市京橋區疊町八番地(片倉ビルデイング内)
製作發賣元 **チヨイント商會**
電話京橋長三一六〇番・三一六一番
振替東京二四六二一番

〔營業所〕
名古屋市東區千種町塚越甲六三番地(電話東一八二四番)
大阪市東區今橋二丁目廿一番地(電話本局三〇四六番 長三〇四七番 特長三〇四八番)
福岡市住吉町三〇五番地
仙臺市柳町通八十番地(電話二九八一番)

高級石綿スレート製品



屋根材　十六吋板　波形板　十二吋板（特許出願中）

大平板　壁板用　天井板　下見板用

著色（特許出願中）

昭和栗色・昭和白色・昭和緑色等

共板平大・材根屋・品製色著水耐

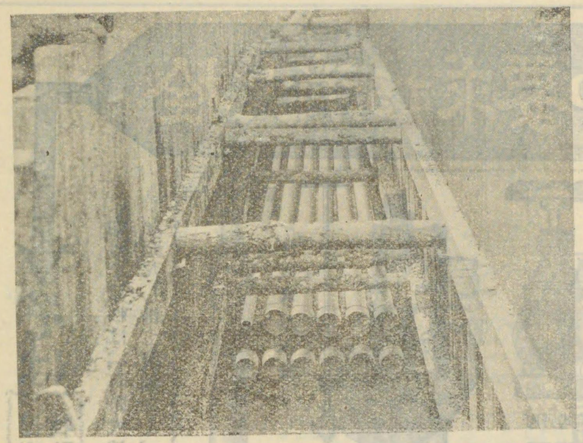
昭和スレート株式會社

本店　東京市外板橋町下板橋百三十六番地

電話大塚（86）二六三一番

出張所　東京市京橋區山下町一番地

電話銀座（57）五五五七　一〇一二番



朝日パイプ埋設の實況

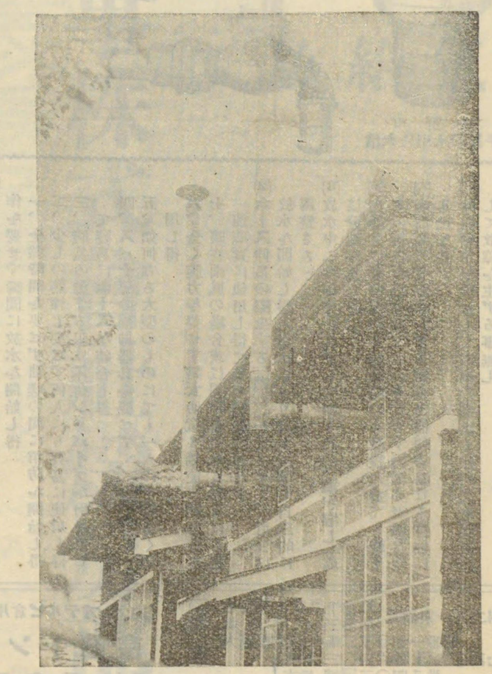
特許
68854　69194
68170　67558
66191　70957
74889

特許願
9504

新案
109165　108530
109003　112988
111929　114335

新案公告
19175　20784
21517

商標
173513　190430
169577　190429
190431



朝日煙突貯藏場の一部

製造元　横濱市鶴見區鶴見町

朝日スレート株式會社

發賣元　横濱市中區本町六丁目

朝日販賣株式會社

外壁材料……ロックスタッコ、リソイド

内壁材料……スタッコ、マンチユリア、ドロマイト

床張材料……リグノイド、リグコツタ

材料製造販賣並ニ施工請負

型錄進呈

東京市芝區田町一丁目十二番地

南滿建材工業所

寺西定次郎

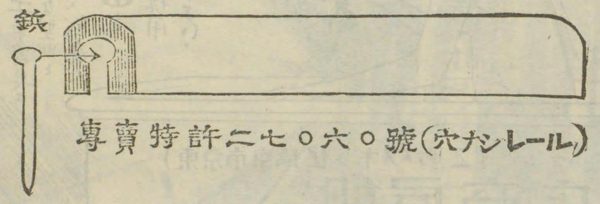
電話高輪二七八一番　電信略號（ナンマ）

代理店　函館、大阪、仙臺、熊本

工場　東京、大阪、大連、

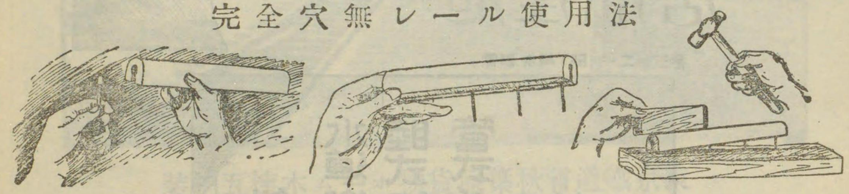
品質本位——平和博受賞

中島式穴無レール



特許二七〇六〇號（穴ナシレール）專賣

完全穴無レール使用法



（1）附屬取附ケ

鉄ヲ一間ニ對シ十二本程度ニレールノ横穴ヨリ差入レ

（2）差入タル鉄ヲ五寸間位ニ配付シ

（3）先ニ打付ク可キ彼所ニ錐揉シタル穴ニ配付ノ鉄ヲノゾカセ一端ヨリ當木シテ準次打付ケル可シ

諸官省指定ノ戸車レール（穴無レール特徴）

◆普通ノレールノ如ク釘穴ヲ明ケザル爲メ釘穴ヨリ折レル事ナク且ツ隱シ鉄ナル故ニ上部ニ釘頭無爲車ノ滑走最モ輕快ナリ

◆何間何尺ノ長尺使用ニモ一本ノ釘頭ヲ現サズシテ繼合自由也

◆隱鉄ノ故ニ幾筋使用アルモ體裁優美也

東京市芝區三田二丁目十九番地

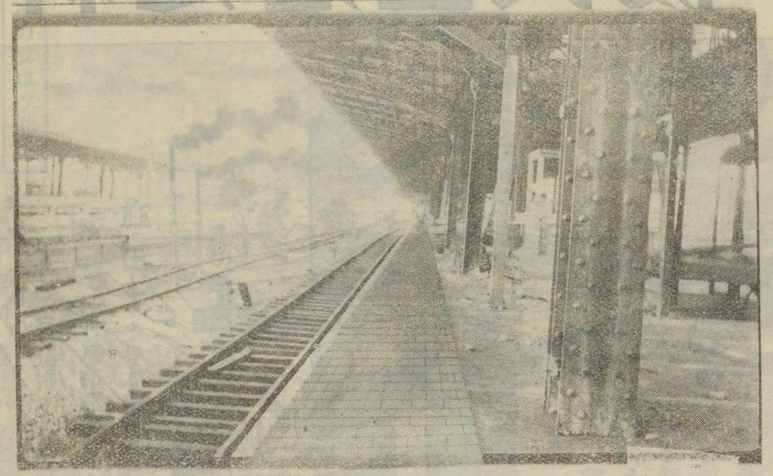
建築金物製造發賣元

中島平次郎商店

電話高輪園一一八六番

振替東京一二四四八番

アスファルトと木煉瓦



東京鐵道省秋葉原貨物ホーム木煉瓦鋪裝

日本石油株式會社アスファルト類販賣及朝鮮支那一手販賣
日本木煉瓦株式會社販賣所

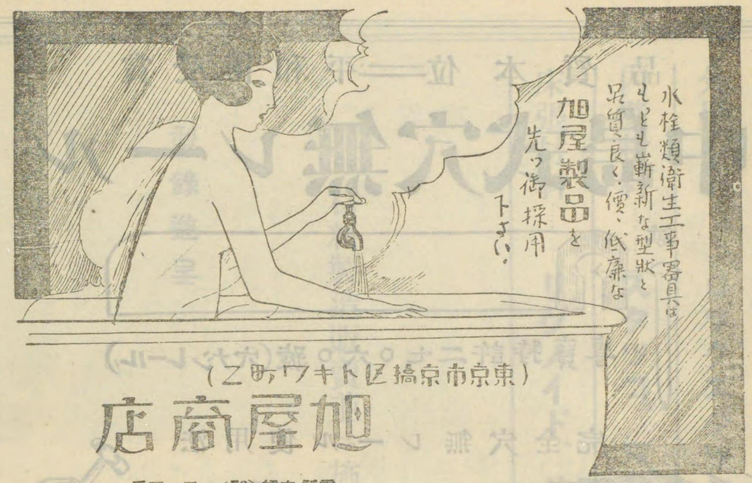
東京市日本橋區西河岸町十六番地

中西商會

電話日本橋(24)一七九〇番

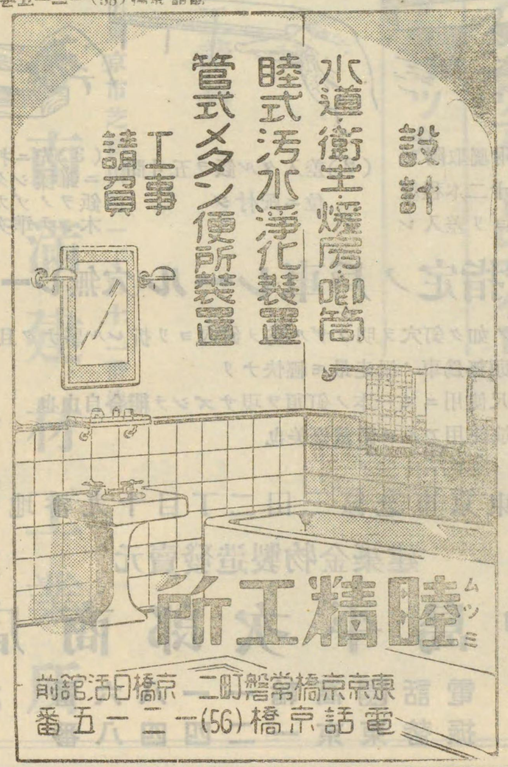
營業品種目

- 內外アスファルト類及加工品
- 防腐木煉瓦
- シヤチ印便利瓦
- シヤチ印アスファルト、フエルト
- シヤチ印アスファルト、クロース
- 伸縮接合部用萬代氈
- 內外重油類

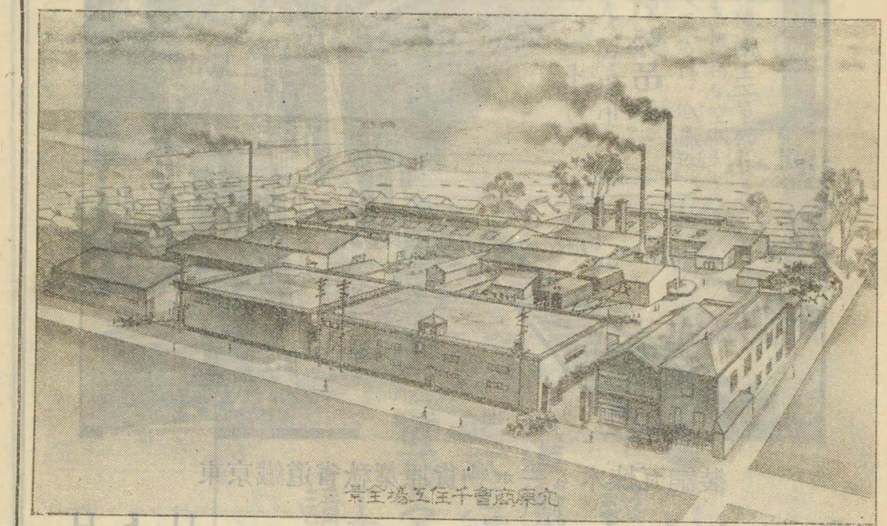


(東京市京橋區トキワ町乙)

加屋商店



優良國産建材



完備せる工場より
完備せる製品

◉トーゴー、ルーフィング
—陸屋根、地下室防水材

◉鷲印アスファルトフェルト
—スレート、銅、亞鉛板下葺用

◉穴原式コーナービード
—柱壁角ノ毀損絶對防止
穴原式(特計)

◉ノンスリップ階段金具
—階段永久保護ト完全辷止

◉其他アスファルト加工品各種

(創立明治廿七年)

穴原商會

本店工場 東京市外千住町中組一、〇六三
電話淺草五六〇

出張所代理店
大阪、名古屋、仙臺、京城、大連

—〔上參時卽員社・呈送錄型・本見〕—

理想的壁天井間仕切用材

純國産

登録商標 タイガーボード

特許 専賣

見本カタログ進呈

タイガーボード

特長

龜裂……地震に逢ふても龜裂崩壞の虞なし
伸縮……伸縮や反りかへりの憂ひなし
保温……冬は寒氣を防ぎ夏は暑熱を防ぎます
遮音……室内の反響を防ぎ隣室の音響を防ぎます
防濕……濕氣を防ぎ氣候の變化により絶對に伸縮せず
耐火……石膏を原料としたものですから火に安全です
衞生……華氏百度の熱度にて乾燥してありますから極めて衞生的です

施工

長六尺、幅三尺、厚二分 一枚重量二貫五百目

切斷……小刀で兩面の紙を切つて折ると容易に切斷せられ誰でも張付けられます
仕上……日本室なれば砂摺、西洋室なればペンキ塗、壁紙張等何んでも普通壁以上に仕上ります
釘……張付するには亞鉛鑛金釘を用ひます
工事……張付から仕上まで實費て御引受いたします

◎近來粗惡なる類似品や紙製擬造品が多數あり升特に弊所製造品タイガーボードの名稱及ひ虎首商標に御注意を乞ふ◎

製造發賣元
東洋建材工業所改稱
日本タイガーボード製造合資會社

東京市丸ノ内仲通十一號 電話丸ノ内(23)一六三六番
同工場
東京府荏原郡荏原町字戸越 電話高輪三一四九番

敷物、窓掛、壁紙

內外敷物
室內裝飾 家具用 織物
壁紙類一式

東京銀座

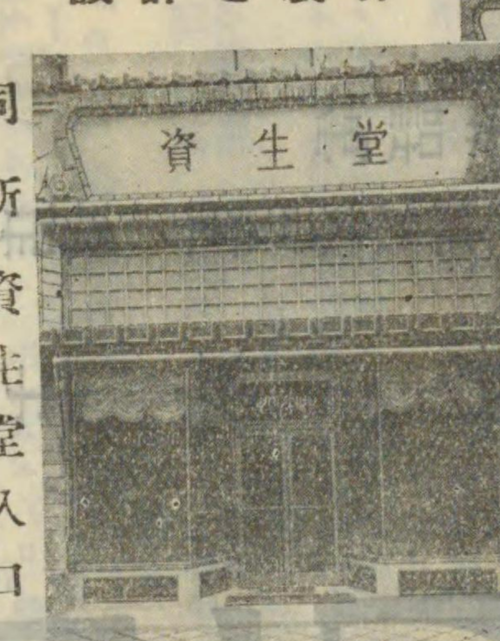
睦屋商店

高級品及格安品新柄各種澤山取揃御光來待上居候
新裝カタログ出來！御申込次第御郵送可仕候

店主 富澤半四郎
東京市京橋區銀座壹丁目
電話京橋(56) 特 四九番 長 九二六番 七七二番
振替口座東京二〇九一八番

壽崎式防火シャッター　スチールドアー　上ゲ下ゲサッシュ

設計と製作


同所資生堂入口

大阪高麗橋野村ビルディング玄關

弊製作所施工

主なる納入先

秩父宮御殿
橫濱正金銀行本館
同附屬家
同伊勢崎接待所
同東京支店
山口銀行東京支店
同銀座支店
同四谷支店
同神田支店
個大阪南支店
安田銀行盛岡支店
同黒門町支店
同小田町支店
同新宿支店
三井銀行日本橋支店
同廣島支店
三井信託株式會社
三共製薬株式會社

名古屋銀行本店
同神戸支店
日本銀行北分館
帝國商業銀行
中野銀行淀橋支店
日本工業倶樂部
日本橋劇場
東京電力株式會社
東京火力發電所
中澤銀行月島支店
中外商業新報社
岡谷合資會社
十五銀行京都支店
森永製菓株式會社
同塚口工場
同鶴見工場
橫濱生絲檢查所
大同生命保險東京支店
加島銀行東京支店

日本銀行神戸支店
橫濱指路教會
加島銀行四谷支店
橫濱野澤屋呉服店
上野松阪屋呉服店
ほてい屋呉服店
東京朝日新聞社
開成中學校
東京京橋第一相互館
理科學研究所
鐵道省大井機關庫
同池袋機關庫
芝浦東神倉庫
東京製糖株式會社
鴻池銀行本店
大阪進藤商店
秋田釀造株式會社
鴻池銀行阿部野支庫
帝國大學航空研究所

六十八銀行奈良支店
帝國生命保險金澤支店
三井銀行小樽支店
川崎第百銀行王寺支店
同大塚支店
同淀橋支店
日本銀行大阪支店別館
天王寺噴泉浴場
大阪市電氣局桃谷變電所
野村高麗橋ビルディング
野村銀行阿部野支店
京都安田ビルディング
大阪府立浪速高等學校
東京府同愛病院
東京電力鶴見變電所
大阪市關警察署
德島三河病院

營業科目

壽崎式スチールシャッター
同スチールドアー
同上ゲ下ゲスチールサッシュ
鋼鐵製書架類
鋼鐵製ショーウインド
鋼鐵製スクリーン並ニ造作
鋼鐵製コンクリートドアー
一般建築用金物製作

設計製作

東京鋼鐵扉製作所

米山淺治
壽崎源太郎

本工場 東京市外南千住町千住南四三三・四三四番地 電話淺草六三四一番
關西營業所 大阪市東區上本町壹丁目六番地 電話長東一一三〇九番 一一三一〇番
金庫部工場 神戸市兵庫三番町二丁目三八番地 電話本局三三七番

室内裝飾、家具一式製作請負
店舗設備、及造作類一式
寄木床張工事、諸敷物窓掛地

設計圖案見積書即時呈出可仕候

弊店は明治廿三年以來斯業に從事致し居り候經驗上各種御建築物に適應致す可き樣品質の確實と意匠の清新なる事を聊か研究致し居候間多少に拘らず御下命に預り度く伏して願上候

日商會

店主 木村貞

店舗 芝區愛宕町二丁目一番地
電話 芝(43)二六一二

〔土木建築用〕

完全防水劑 シーカ

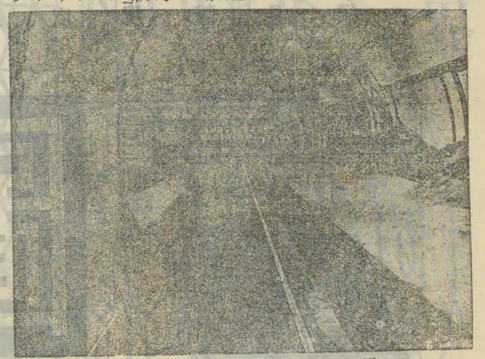
Sika WATERPROOFS UNCONDITIONALLY

（日本內地ニ於テモ既ニ「アスファルト」防水ヲ驅逐シツヽアリ）

「シーカ」防水劑ハ如何ナル狀態ノ箇所ニテモ使用スルヲ得

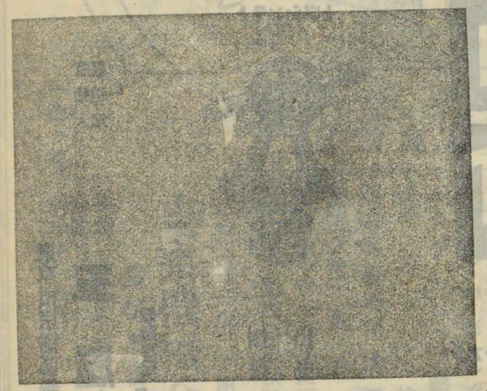
「モルタル」・「コンクリート」・鐵筋「コンクリート」等ノ混和液トシテ用ヒ下記ノ效果ヲ奏ス

1. 强度及ビ粘着力ヲ增加ス
2. 水頭100呎以上ノ水壓ニ對シテモ絕對ニ防水ス
3. 伸縮性ヲ抗止ス
4. 有害ナル物質及化學作用ヲ有スル溶液ニ冒サレズ
5. 凝花及ビ菌類ノ發生ヲ防止ス
6. 凝固時間ヲ數秒ヨリ種々調節シ得



「ロンドン」地下鐵道、液狀「シーカ」ヲ用ヒタル「セメントモルタル」ニテ內面ヨリ防水セルモノ

SIKA SIKA 防水 防濕 耐天候 SIKA SIKA



- 瑞西、墺地利、獨逸、スカンデイナビヤ國等ノ政府鐵道、水力會社、水道會社等ニ常用サル。
- 「ロンドン」及「マドリツド」地下鐵道等ニ引キ續ギ實用サル「サンゴータード」隧道ハ全部電化ノ際「シーカ」ヲ用ヒ修理セリ。
- 銀行、旅館、公會堂、別莊、浴場等建造物ノ防水、濕潤、濕氣除ケ等ノ絕緣物トシテ推奬サル
- 强大ナル溫度變化ニ影響ヲ受ケザルヲ以テ露臺、陸屋根等ニ最適ノモノナリ。
- 硫化水、海水、煤煙、暖氣及濕氣等ニ耐ユルヲ以テ瓦斯事業、鑛山業、化學工業、釀造業、製紙業、洗濯業、溫泉、運河、船舶、海事工作物等ニ絕對的有效ノモノナリ

水壓加持中ハ500lbs/sq.inch等水迸ビ及濕潤ニ於テ直ニ塞止シ得、又油汚面ニテモヨク密着ス。

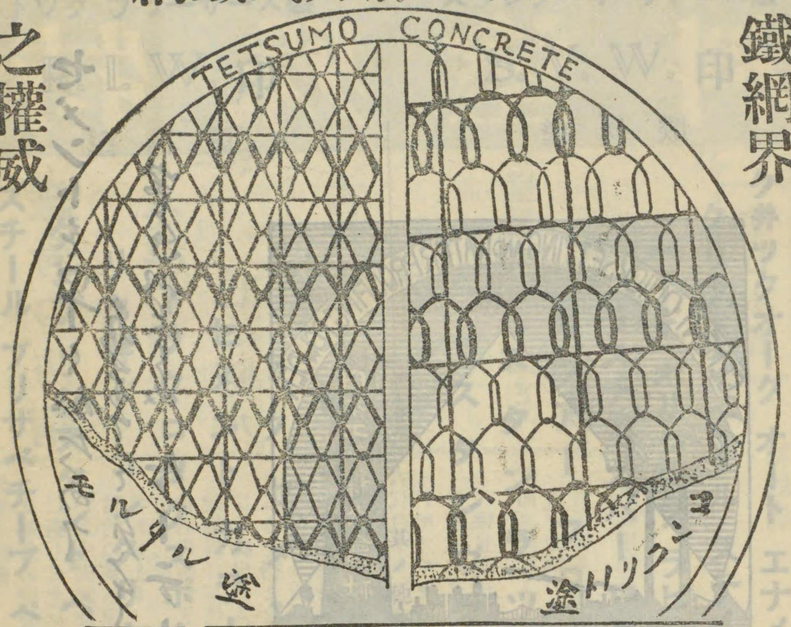
元入輸店代理店總本日
海外通商株式會社
東京 大阪

本社 東京市京橋區木挽町二丁目十番地 電話京橋六七三七

大阪出張所 大阪市北區中之島二丁目二十五番地 江商ビル三階十五號 電話本局五三五九

完全無比藤井式鐵網

鐵網界之權威



◇建築界の要求せる理想的新材料

藤井式鐵網は横縦に組合せたるクリンプ力線を以て螺旋金網を固く緊張せしめ横縦斜何れの方面へも伸縮なく堅牢に構成せられ編込ある太き線は鐵筋作業を完全になし且つコンクリートの包擁力の絶大にして龜裂脫落を絶對に防止し而も價格廉にして用法の簡易なる眞に理想的鐵網なり尚詳細は月報御一覽下さい

營業種目

- ◈藤井式鐵網各種
- ◈菱形甲形丸形鐵網
- ◈クリンプ金網各種
- ◈クリンプ棒各種
- ◈木摺板不用鐵網各種
- ◈角形金網各種
- ◈其他一般土木建築用金網類
- ◈各種金網製造機械設計製作

東京市芝區白金三光町一五九番地

東京機械金網工場

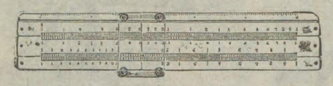
電話高輪六二五八番

電信略號(トキ)又ハ(トカミ)

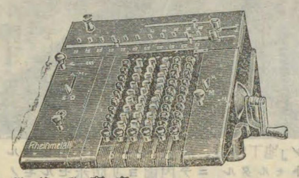
御一報次第見本型錄送呈

製圖器械

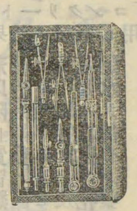
學生用
技術家用
定規鉛筆分度
製圖用紙尺度
方眼紙消護謨
其他製圖用具
計算尺
計算尺計算機



イラメンタル計算機

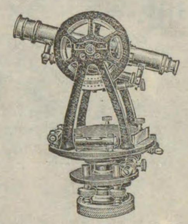


青寫眞修整液

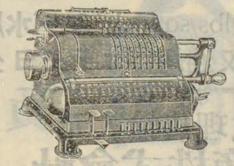


白黃赤褐黑線各色三十五錢

トランシット



測量器械各種
出動記錄時計



アリシット計算機

輸入製造元
合名會社 **玉屋商店**
東京市京橋區銀座三丁目
電話京橋(一)長三〇五・三〇六・三〇七
一八〇一・一八〇二

スタンダード ウアニス製

S.V.W.印 塗料類

クヰツクオーク オート エナメル
クリアトン オイル ステイン
ハード ポリシング ラビング
ヱラスチカ スパー ワニス
カヴアー フロアー
スタンラツク
スタンヴアー

其ノ他數百種

最高級自動車家具エナメル
木材用油性著色ステイン
木材用研磨及ビ摩擦ワニス
耐水耐熱性仕上ワニス
木工及ビ混凝土床用塗料
噴装用バイロキシリンラッカー
ワツクス磨ニ勝ル木材仕上液

トツク ブラーザース製

R.I.W.印 塗料類

トコリツス
トクセメント
セメントカラース
トツクロツクスポーア
リク井ド コンクリート
ダンプ リジスタント ペント
スチール プリザベチーブ ペント

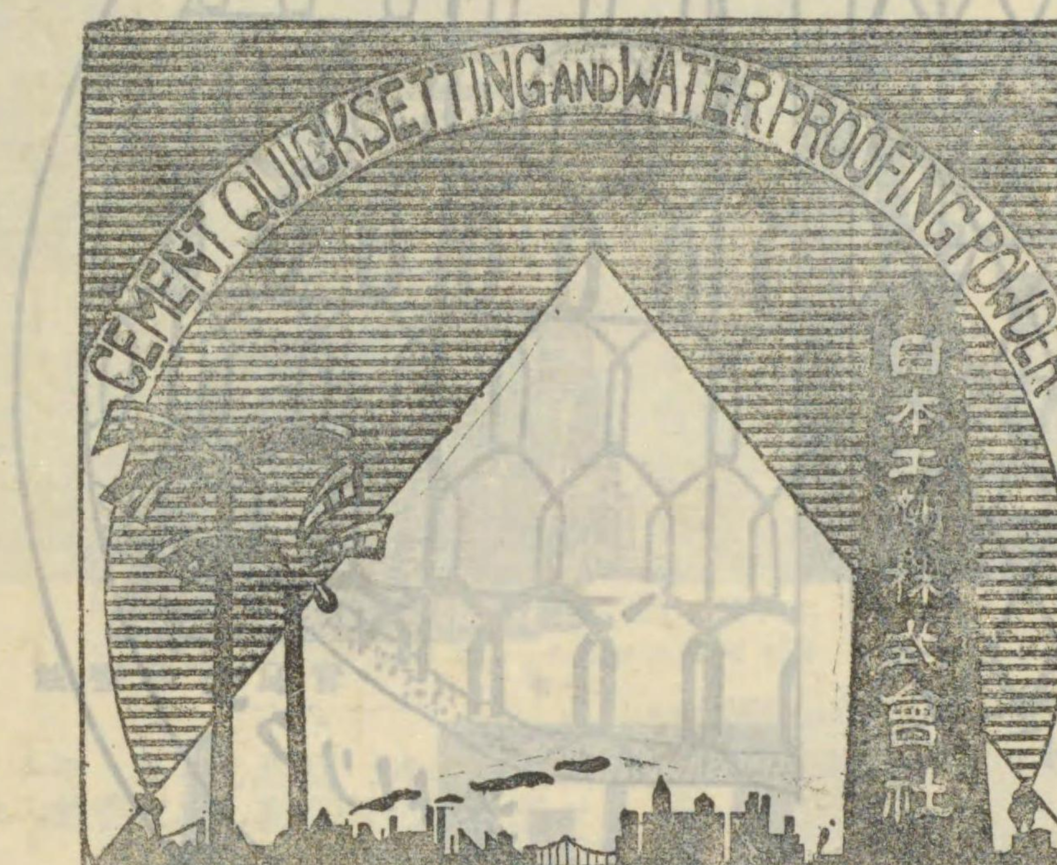
セメント性鋼鐵耐銹ペント
最高級コンクリート防水劑
セメント及モルタル著色劑
耐水性混凝土外面保護液
内外面用コンクリートコーチング
耐濕氣性建築ペント
耐銹性鋼鐵保護ペント

元輸入 スキツテフラクニ並機霧噴ラコデ

シイベル ヘグナー商會塗料部

東京市丸ノ内仲通十二號六　大阪市東區今橋三丁目鴻池ビル

セメントを早くかためて
ケーテーオー



セメント急硬防水絶對有効劑

セメント急硬防水劑
ケーテーオー

◉ 衛生的家屋に必要です
◉ セメントにまぜて素人にも使ひよし
◉ 五分でも十分間でも自由に固ります
◉ ふき水もれ水わき水完全に止ります
◉ どんな寒さでも凍らぬ中に固ります
◉ 堤防。水道。發電所。水路。貯水池。船渠。隧道。水槽壁。家根。倉庫。風呂場。流し場。其他どんな所にも必要です

專賣特許
登錄商標
KTO
說明書進呈

東京市芝區愛宕下町一丁目・電話芝(四三)一五一二番

フラーの特殊塗料

鐵骨の防錆
人造石の色と防水
古代色ブロンズ
壁面高級加工と粗面仕上材料

塗日引受

鐵骨の防錆光明丹の完全なる防錆力も曝露に對し又コンクリートのアルカリーに對して之を保護せざれば期月ならずして氣動となります。三井銀行及中央郵便局新築工事の御指定品なるフラーのアーモライトは此目的の爲め理想的塗料にして耐酸耐アルカリー及防水の力最も強大であります。

人造石の防水と色　人造石の防水と色彩が益々重要視さるるに際し我復興の帝都が單調氣味建築界にて色彩なる洗出し人造石と銅板にて覆はれんとするを見て誠に心寂しき感なきを得ません。殊に防水不完全なる木骨人造石建築の短命なるべきを思ふ時誰か曼如たるを得ませふか。此問題は二つながらフラーの特殊塗料の利用により最も簡易に且つ完全に解決するを得べきものであります。

古代色ブロンズ　古代色ブロンズドギッキ金銀色に飽きたる現代の我建築界に優雅なる金屬色調を提供するはフラーの古代色ブロンズであります。種類豐富にして撰擇に便且應用の範圍極めて廣きもので有ります。

壁面高級加工と粗面仕上材料　壁面高級加工と粗面仕上材料目下流行のテファニー。李目。プレンデング及粗面仕上等の高級材料各種あり。御利用を願ひます。

品物明細及使用法は特約店へ御照會を願ひます。

製造元　米國桑港　フラー塗料製造會社

特約店　東京市京橋區本八丁堀四、岡谷ビル　合資會社　紀屋

電話京橋　五八一一番

前付　五六

540-107

凡例

一、建築年鑑は本年で第三回の出版であります、内容は前回より非常に進歩してゐますが、尚ほ杜撰粗漏の誹を免かることは出來ません、版を重ねる毎に完璧に近きものが出來ることゝ思ひます。

一、本年鑑には前年度に竣工した全國の重なる建築物の寫眞を掲載しました次後毎年鑑に詳細調査して掲載することゝしますから、建築物の寫眞年鑑ともなります。

一、内容に就てはまだ〳〵意に滿たざることが澤山ありましやうから、御氣付の點は是非御注意願ひます。

一、昨年度には六月上旬に發行しましたから、本年は遅くも四月には發行したいものと努力しましたが、人間萬事塞翁の馬で印刷の故障で大分遅れたのは申し譯がありません、次年度の年鑑は早々發行出來ることゝ思ひます。

帝國圖書館藏書

序

明治初年我國建築界に歐米建築が移植せられ、夫が我國舊來の建築の間に繁茂し始めてから既に六十年の星霜を經て、終に鬱蒼たる彼我混成の大樹林となつた。其樹種も今は千種萬様となり、從てその木振り枝振りも互に其調子を異にし、其葉も花も千紫萬紅こりどりに美しく、其果實も苦澁甘酸の變化を示して居る。世の爲政者は如何にしてこの大樹林を扶殖し經營すべきかを苦慮し、建築專門家は如何にして樹種を改善し收穫を增加すべきかを研究し、一般國民は如何にして優良なる材を求め、馥郁たる花を尋ね、甘美なる果實を得んかに腐心して居る。然るに今日の場合、爲政者の眼はなほこの無邊の大樹林を透視する事が出來ないので、其措置には常に隔靴搔痒の憾がある。建築專門家は各自にその立場から己れに適する部分のみを取扱ふので、博くこの廣大なる大樹林を達觀することが出來ない。一般國民に至ては、この書なほ暗き大樹林に入るとき殆んど路を失つて途方に暮れるのである。此際この建築界の大樹林を觀測して、その大體の地圖を作り、何處に如何なる種樹があるかを指示し、なほ其地質、地勢、氣象等苟も之に關係ある事項を網羅して之を示すことを得たならば、爲政者、專門家、一般國民の何れを問はず、之に由て多大の利益を享けることは言ふに及ばない。

斯の如き計畫の必要であることは、專門家も一般國民も夙に之を痛感して居たのであるが、未だ何人も之に着手しなかつた。夫は事が非常に複雜で面倒であり、多大の頭腦と勞力と資金とを要する割合に餘り榮えない仕事で、結局引き合はぬと考へた爲であらう。然るに今度建築世界社が率先して玆に建築年鑑の編纂を企て、兎も角もこの難事を遂行したことは、洵に敬服すべき獻身的態度である。眞に之れ空谷跫音を聞くの感がある。

本書は蓋し我が建築界の好個の鳥瞰圖である。未だ周到なる實測圖とは云ひ難いが、之に由て我が大樹林の大體の樣子が手に取るが如く一眸の裡に瞰取される。苟も建築に關係ある人は勿論、心を社會研究に寄する人々は、之に由て多大の便益を得ることは疑ひを容れぬ。但その最初の試であるが爲に、其編制の組織、事實の內容、記述の體裁、その他諸般に亙つてなほ可なり物足らぬ節もあると思ふ。その詳細の評論は、今は之を述べることを遠慮するのであるが、之等は實際已むを得ないことゝして寬假せねばならぬ。將來に於て、年一年改善を加へたならば數年ならずして終に完璧に近いものになるのである。余は建築世界社が益々奮勵努力して、是非共この鳥瞰圖から周到なる實測圖に邁進し、その目的を徹底的に完成されんことを希望して止まぬものである。聊か所感の一端を述べて本書の序に代ふるのである。

大正十五年四月

東京帝國大學教授
工學博士　伊東忠太

昭和三年度版

建築年鑑目次

序文
凡例
第一編　昭和貳年の我が建築界
第二編　工政
都市計畫……（一）
土地建物……（九二）
建築資金……（一〇六）
第三編　建築材料
建築材料……（一）
入札調……（四）
材料製產高……（五五）
東京大阪主要材料價格竝指數表……（六二）
第四編　學藝會
建築關係學校……（一）
建築協會……（七）
學會及協會動靜……（一〇）
懸賞競技圖案規定竝當選者發表……（一五）
學事及會合……（一七）
各建築物工事概要……（二一）
建築雜誌主要口繪及記事……（六二）
建築圖書一覽……（八一）
特別保護建造物指定……（八二）
建築關係特許品一覽……（八八）
建築圖書並建築雜誌發行所……（九二）
第五編　建築關係者
監督官廳……（一）
全國建築技術者一覽……（二）
全國建築事務所一覽……（一六）
土木建築請負會社及組……（二四）
東京方面土木請負並材料商……（二七）

目次

横濱方面土木請負並材料商……（一八五）
神奈川縣土木請負並材料商……（一九三）
千葉縣土木請負並材料商……（一九八）
茨城縣土木請負並材料商……（二〇一）
埼玉縣土木請負並材料商……（二〇四）
栃木縣土木請負並材料商……（二〇七）
群馬縣土木請負並材料商……（二一一）
靜岡縣土木請負並材料商……（二一四）
名古屋方面土木請負並材料商……（二二三）
山梨縣土木請負並材料商……（二二九）
長野縣土木請負並材料商……（二三〇）
新潟縣土木請負並材料商……（二三六）
京都方面土木請負並材料商……（二四一）
大阪方面土木請負並材料商……（二四七）
神戸方面土木請負並材料商……（二六九）
福岡方面土木請負並材料商……（二七六）
北海道函館土木請負並材料商……（二七八）
朝鮮方面土木請負並材料商……（二七九）
大連方面土木請負並材料商……（二八三）
商業組合……（二八八）
職工組合……（二九二）
火災保險普通物件料率……（二九三）
火災保險會社一覽……（三一一）

附錄

建築材料規格……（一）
ボートランドセメント製造法……（一〇〇）
構造強度計算規準……（一一〇）
標準建築工事仕樣書……（一一五）
裝置建築工事仕樣書……（一八九）
標準建築工事請負規定……（二〇九）
實費精算式工事委託契約書……（二一三）
建築士の業務報酬規定……（二一四）
建築屆出及申請書式……（二一五）
ビルディリグ賃借證書式の例……（二一九）
租稅……（二二一）
東京大阪職工勞銀並指數表……（二三七）
市街地建築物關係法令……（一）
震災關係建築物法令……（五七）
都市計畫關係法令……（六四）

第一編　建築界の體裁

昭和二年の我建築界

諒闇の年は、靜かに明けて、又靜かに暮れる。

業界特に活躍の跡はなく、特に沈衰の兆もなし、たゞ前年より引續く財界の不況は自ら建築の世界にも其陰映を示して暫く停滯の狀を持續しつゝあるものと見るべきである。

復興の帝都の現狀を觀れば、區劃整理の進捗に基いて移轉の實施は着々進行し、滿都一往年の震火災に於ける燒失區域に屬する部分には、到る處道路の擴築橋梁の新裝成つて、街衢の面目は正に一新せられつゝある。その間に鐵筋混凝土の所謂耐震耐火の建築は、隨所に兀立して其頑強なる胸壁を誇る、同時にこれらを緩つて立つ街路の建築の新系列の多くは、或は木造人造石塗或は木骨銅板張の正面を有し、而も軒高の起伏に一定の規矩なく、形容の統制に正常の準繩を缺けば、何れ皆とりどりの色彩を呈し夫々の細部の形相を具へ、千態萬樣誠に名狀す可らざる奇觀を呈して居る。正に是れ見て飽きる事なく、飽きる迄觀るの繁に堪えぬ狀景である。

大戰後の歐洲が、戰亂の慘禍の裡に如實の人間世界の實相を直視して、過去の美しく甘き夢の一切を失ふと共に、舊慣と傳統との一切に對する執着と信仰とを一蹴せんとするその止むなき反動の精神の端的なる表現として、其建築は古き衣の一切を一擲し去つて、一度び裸體の本體にと立ち戻つた。而も時代は、新しく身に纏ふべき衣の、その文を成すべき布地を紡ぐべき經緯さへもが、まだ裁ち揃はぬ文化の黎明期である、同時に一面建築の本來の性質上、住むべき人の實際の要求は瞬時も之を斥ける事が出來ぬ、而も裸體を以て街頭に立つ事は世の制が之を許さぬ、此狀勢に羈られて兎にも角にも身を蔽ふに足るべき一必ずしも充分ならざるも非常に處する當面の必要を正直に充す程の衣裝をば身に纏うて、かくして樣々なる形相の建築は隨所に出現したのである。

かゝる事情の下に於てクラシックの衣冠束帶の整容は之を望み得べくもない、ゴシックの絢爛にして而も嚴肅なる法服の偉容も亦之を仰ぐ事は出來ぬ、ルヰの金モールも軍服も、エコール・デ・ボザールの大禮服も、ロイヤル・インスティテュートのシルクハットとフロックコートも、何れもこの時代の衣裝ではない。事々しい威嚴、わざとらしい品位、滑稽味の多分なる表面の紛飾、齒の浮く如きロマンティシズムの詩歌の泣き言の如き表情、嘔吐を催す如きレネッサンス末期の氣障な所謂美術と裝飾、それ等のものは何れも今日の時代のものではない。それは當然の事である。斯の如くして今や吾々の眼前に勇ましく跳躍し亂舞するものは、見よ、「ワイシャツ」姿のアメリカと「印絆纏」の獨逸と塊地利、「半袖の網シャツ」の現代佛蘭西と、さては「腹掛姿」の勞農ロシヤ等々である。其處に「實用」と「單純と徹底」と「合理」と、「能率」と、そして「最小の勞果」と「最大の效果」の標語と合言葉の勇ましい合唱を聞くのである。そのディスコーダントにして渾沌たる大不調和の狀景の中にこそ、人よ新しき美を見出せと、世の新人は眉を扛げていふのである。

* * *

去り乍ら斯の如きは決して海外の異國に於てのみの狀景ではない、曩古の大慘禍たる大震災の後に於ける我國の建築界、殊に最近のそれに於て、等しくその縮圖は見られるのである。

嘗て建築は構造（コンストラクション）否建築は構造物（ストラクチュー）であると言はれた、その言葉に誤りはない、建築は昔も今も構造物であるに違ひない、然しその故に「建築は他の何物でもあるに及ばぬ」といはれ、

「あつてはならぬ」といはれ、やがて「構造即建築である」と叫ばれるに至つては、最早看過し得られぬ誤謬が其處にあるのである。そして幾多の謬想が其處に胚胎するのである。

正直はよい事である、構造物たる建築がその構造的部分なる內部の結構を正直に披瀝し、萬腔の誠意を吐露して之を萬人に訴へんとする事は、正に愛すべき眞摯の衆であり、此上もなく結構なる事である。然しながら單に其故を以て骨を露出せぬ建築は凡て建築に非ずといふ如き論理は成立たぬ、誠心を披瀝する自ら時あり處あり而して道もあるのである。四六時中哀心の感懷を露骨に吐き續けて喧囂の街頭に立ち盡せば、日ならずして心神は共に疲れて倒れるのである。浮世の風雨は屢々冷酷である、その暑熱は往々堪え難い、又時に刼火の難も思ふべきである、是故に建物の例へば鐵骨は常に適當なる他の材料に依て保護されねばならぬ、又萬止むを得ざる場合に於ける露出の鐵骨と雖も、必ず之をペイントせねばならず、而も屢々塗替へを要するのである、又鐵筋は必ず厚くコンクリートに依て被覆されねばならぬ、そのコンクリートも或時は他の材料を以て丹念に蔽うて保護されねばならぬ。既に之を蔽ふ、露骨のよろしからざる科學的の理由が、其處に存するからである。構造を無視し、「其精神を沒却する」所謂、沒構造」が建築の禍である事を知らぬ人はない、唯同時に、偏へに構造のみを偏重して「其形に執する」所謂「構造過重」といふ事が、同樣に誣妄である事も決して忘れられてはならぬ事である。凡を反動的の言辭の多くは多くの場合人の同情に値する、而もその尊重には値しない、眞理は天秤の兩端に亂舞して居るものではないから、邪道であるとして斥けられる。然るに一面人間の生活は時と共に進展する、その進展する生活上の諸々の必要に應ずべき建築の各部の形態と機能は自ら千態萬樣であるべきである。この複雜なる必要をばかの依稀として舊態を改めぬ固定の建築を以て蔽はんとする事は明かに至難の事である、而も建築の改革は衣食の改良の如く一朝にしてなし遂げ得ぬものである、即ち或時期に於ては、生活と其容器たる建築の間に喰ひ違ひが生ずる、建築は舊態を墨守せんとし生活は新樣式に從ふ。於是マンネリズム非難の聲は起る、同時に「建築は機能を表現するものでなければならぬ」と叫ばれ、否「機能こそ建築を作るものである」と論ぜられる、そしてそれは新說として取扱はれ又成程と肯かれる。乍去それは「當然の事が當然に述べられたに過ぎない、人文の黎明の曉以來建築は發生的に本來機能の表現であり、機能の外に建築を形造つたものはなかつた筈である。

繰り返していふ、生活の狀態に應じて建築の構造と樣式が自らなる進化を遂げて漸く固定せ

んとする時、常に進展して止まぬ生活はやゝに變移を遂げて其變移した新しい生活に應ずるが爲めには曩きに固定した建築の樣式と構造は僞りに古くなる、其古い建築の一過去に於ては其時代の生活の表現でもあり、其時代にあつては機能の表現でもあつた一型を相不變に作つてかの新しい生活を其處に盛らうとする時常然無理ずる、そこに新しい機能の表現の如きがあり得やう筈はないのである。此時に「建築が機能の表現でなければならぬ」事が叫ばれる、然し殊更に「これを機能主義（ファンクショナルセオリー）と稱する」といふ程の事はない、「新しき酒は之を新しき革嚢に盛れ」といへば足りるのである、建築は「主義（プリンシプル）」としては昔から機能主義でもあつた筈である。只建築の形と生活の狀態との間に常に着手の喰ひ違ひがあり、其喰ひ違ひの度に於て建築は勢ひ機能の表現ではあり得なくなる。蓋し舊型が部分的の糊塗に依て彌縫されて保存されて行くからである。只其度の小なる間は注意せられぬ丈である、そして其喰ひ違ひが高度に達する時、即多くは生活の狀態が極めて急激に改變する時そして其時は同時に人間の精神に急激の革新がある時であるが故に、從て極度にマンネリズムに對する嫌惡が感じられるのである、其時に今更らしく、「建築は機能を表現するものならざる可らず」と叫ばれ、そして「これを機能主義と云ふ」と尤もらしく論ぜられるのである、そして吾々は繰り返して成程と肯くのである。然しそれは決して新說ではなく、實は「最も古い說が新しく說かれた」に過ぎないのである。されば又論ぜられそしてかの「新しい酒は新しい革嚢に」事が叫ばれ又論ぜられる事が愚であるといふのでもない。爾か叫ばれ論ぜられそしてかの新樣式に從ふ、建築に進歩があり得るのである。何となれば、それに依つて吾々之に肯く毎に人は進むのである。何となれば、それは實は古きに復へるからである、憂き世の善惡は實は古きに復へるからである、憂き世の善惡に煩はされる事の絕えてなかつた幼時の己が獨自の本領にと立ち歸つて新しくそれを自覺し得るからである、即正しい意味に於て古きを溫ねるからである、そしてそれが、やがて眞の知新の道でもあるからである。

凡そ環境の急激なる變化に遇うて新しい初一歩の撰擇に迷ふ時、迷へるもの自らの採るべき道は、先づ一度び其搖籃の地に復歸して其主を確と踏む事である、新しき進歩は其處にある、建築の道も亦其處にあるのであらう。獨り機能主義のそれのみといはず、新しき主義、新しき所論、今の世は決してその歩きを憂へぬ、憂ふべきは徒にそれらの外面の聲色に煩はされて、其中に祕む力と生命—それは建築をば其故鄉の土に迄導いて其獨自の本領に勇ましく目醒ましむべき力と生命—を把握し得ざる事である。凡そ古きものゝ中に永久に繼承せらるべき生命を見出し、新しきものゝ中に古くより存續する精神を探求する事、それは總ての人の努むべき事であると共に、わけて建築に關しては缺かれてならぬ用意であらう。

* * *

荒天に岩を噛んで咆哮して飛沫を散らす大海の怒濤、其變幻の響と重疊の狀は誠に世にも壯觀である、其千變萬化の姿態と形容の眞相は容易に之を捕捉し難い。而も詳に之を見れば、時々の風の吹き廻しに依る幾多の仇波の間にも、其主要の波の中には、同じ海同じ磯に嘗て幾年月を、或は朝々たる春日を浴びながら、或は皎々たる秋月の明光を浴びながら、ヒタ〳〵と寄せては返しつゝ靜かに苦むす其同じ磯を洗つた同じ波の佛が其處にあるのである。たゞそれとこれとは其波長を異にし打ち寄する其週期が異なる、かれは緩徐の整調これは急迫の亂調、これはスタカートでありかれはレガートである、加ふるに氣壓と氣溫と風と雲乃至雨なる四圍の風物が、かの幾春秋の朝風夕風の情趣とは自ら異なるものがある、於是全然別箇の天地の觀が生ずるのである。或は又これを一つの交響の樂曲に見る、一曲のクライマックスに於ける急迫の一節は偶々人をば醉えるが如き恍惚の境地に導く、而も靜かに聞けば、錯綜を極むる各種の

樂器の樂音の中にも、其主旋律の流れは明かに辿られる、そして音度と音長に、增大と縮小と更には延長と短縮と、そして其配列の序次に幾變轉と繰り返へしはあるとも、何れも皆單一なるモーティヴの展開の姿ならぬはない。

或る樂曲の最高調、自然の荒天の狀景、その「スツルム・ウント・ドランク」の所謂波瀾萬丈の時期は、人の世に之を譬へれば、正に「國家國民の勃興又「一國興隆」の時代である。それは社會の有ゆる組織―政治に經濟に文藝に教育に宗教に或は産業の組織の上に、大なるそして急劇なる改變の行はれる改造（リコンストラクション）の時である、嘗て斯の如き時代に果して如何なる現象が文化の史上に存（そん）したか、そして如何なる建築がその如き時代に生れたか。

荒天の教訓は、萬丈の波瀾と千變萬化の怒濤の形と雖も、其主調は、その場所に於ける平常の波の誇張された變形であるといふ事であつた。樂曲の最高調の示す所は、その複雜なる樂音も要するに其曲の主題の單一なるモーティヴの變形に過ぎぬといふ事であつた、そして其根元を探ねる事がやがて萬丈の波瀾の實相を捕捉し又樂曲を正解する所以の道であるのである。社會の組織に急激の變轉と推移のある時に、そして其の如き時は建築の形態の上に急激なる變異を見る時である、此時に臨んで其現象の實相を理解して靜かに之に處するの道は、希くは錯綜せる渾沌の中に其根本的のものを探ねて、之をば颪の吹き廻はしに依るかの仇波と區別する事である、卽ち深く國土の眞相と國民の生活の實相に徹して其眞の必要を辨別し、以て其基音を探ねる事の外にはない。嘗古の大戰亂の後に於ける世界の大改造期、未曾有の天災の慘禍の跡を修める今復興の時代、これを以て偉大なる「スツルム・ウント・ドランク」の時代と感ずる事に甚だしい抗議のありやうはない。そして其故に今日が創造の時代であると信ずる事の爲めに吾々の上に甚しき害毒が釀されるといふ如き憂ひは恐らくはない。

* * *

時代は思想を生む、新しき時代は新しき思想を生む、その事は昔ながらの眞理である、建築とは何ぞや、この本質的の問題に對する解釋が時代の動きと沒交涉に永劫不變であるべきの理は寸毫もない、そして凡そ思想が建築を生むものである限り、新しい思想は常に新しい建築を生むのである。唯幾時代も、遂に變らぬ建築の建築たる本質なるものの存在するといふ事と、時代と時人の云爲するそのの言葉はよしや忽ちにして忘れ去られるとも、眞によい建築は、時代と時人を超越して恒によい建築として、永く人に忘れ去らるる事のないものであるといふ事の事實であるといふ事は之を忘れてはならぬ。

總ての肯定的の主張の言葉、その中には眞理がある、「實用」と「單純」と「徹底」と「合理」と「能率」と、何れも皆貴い、唯それらに執し只すらそれらを高調するの餘り、他の多くの同時に缺かれてはならぬ事柄を拒否せんとする所に、それらの主張の終に救はれ難き偏狹とそして誤謬があるのである。

例へば吾々が、一度び震火の災厄に遇へば、耐震耐火の外には亦建築の追求すべき目標はなきものの如くに、動もすれば、考ふる如き、又例へば鐵筋混凝土の美點を見るに急なるの餘り直にとつて之を以て其儘理想的の材料となし、その幾多の恐るべき缺點の除去を閑却して、一圖に不健全なる人の巢を作つて、われとわが身の生命を、ともすれば、自ら削り勝ちなる如き、其他建築の細部に就ていふも例へば防水を高調すれば强度を忘れ、强度に固執しては採光と換氣と美觀を無視し、偶々美觀と換氣と採光を追へば、寒暑に對する防護と音響と振動との傳達の遮斷の事を忘れ去る、かくして或は一つの主張の爲めに、或は一事の追求の爲めに、往々にして他の總ての要求を閑却し去つて亦顧みるの遑がない、斯くの如くして遂にはその追求する事それ自身の達成さへをもなし得ぬはかなさ

情けなさ、其處に狹きは人間の心と其知識の限界があるのである。

所謂科學的な「合理」と「徹底」とをば、眞に「合理的に徹底」せしめ、「單純」と「實用」との問題が、凡そ「問題の眞に單純なる解決」に依つて「誠の實用の實」を擧げ得るに至らんが爲には、吾々は『複雜なる智惠の働きの單純なる表はれ』に思ひを致さねばならぬ、そして只すら科學的たらんと努むる如き意識的の企てが、遂には單に科學的でさへもあり得ぬものなる事に深く思ひを潛めなければならぬ。そして『正しく爲された一事の裡に、萬事の正しき姿を觀る』といふ詩聖の言葉に聽く時に、誠や天才は吾々の心の上に、靜かなる慰めと、力と、そして更には喜びを齎らすものである事を思ふのである。

年々歲々相似たる花を開き又相似たる實を結ぶ樹々、而も今新緑のその樹々は、美しい生命の表現の中に、「萬事の正しき姿」が、「正しく爲された一事」の裡に存するものである事をば、無言に而も雄辯に物語る。其處に「可觀的の美」から遊離した「實用の結實」はなく、內部の「構造」と沒交涉の「外裝」は一片だにない、更に或は蠶蠢たる或は嫺々たる夫々の「興趣ある」形態、乃至は各々が粗滑の「面」の「面白さ」さては濃淡の「色」のとりどりなる「床しさ」を外にしては、所謂生長の爲めの「作用の能率」はなく、又馥郁たる「芳香」と無關係なる如き索然たる「機能」の露出と表現はない。其表現と內容との其間に些の欺騙もなく毫末の誇張もない、內容は其儘表現、表現は恰ながら內容、その樣と體との二つにして一つなる渾然たる調和の生命の相、而も下は或は深く地に沒して住む其毛根の尖端より、上は時に高く天に向つて唇を開く花の蕊の柱頭の末に至るまで、其根幹枝葉の總てを一貫してそこに滿ちて溢るる勇ましい生命の脈動と而もその靜かなるたたずまひは、「觀る人」の頭に嚴かに訴ふると共に、又「眺むる人」の心と胸に優しく物語る。思へば小さくも全き一つの存在は、それ自ら一つの天なる教訓ですらもある。そして、生命の盡きぬ物語を、靜かに明日の朝にと傳へ、かくして歲々年々、相似たる實を結び、又相似たる花をば開く。自然はかくの如くして永遠に「永遠の生命の科學」をば、人間の胸と心の上に美しく優しくこそは呟やくのである。

* * *

今日の時代の建築が「科學的」であり又あるべき事は言ふ迄もない、唯新しい時代の動きの傾向が、そしてその要求する建築の問題が、時代の成果たる「科學の基礎」の上に立ちながら、而も「古典」の丘に甞て之を仰いだ如き所謂『直截（ルーシデ）なる明快（イチー）』の佛と、「ロマンティシズム（サヂエスティヴネス）」の野に昔之を味うた如き所謂『嫋々たる餘韻』の流れとの兩者をば、果して如何に調和せしめんかの模索に在り、機械的の正確（アッキュラシー）と能率（エッヂェンシー）とをば、人間的情味の油を以て如何に圓融に取扱ふべきか、更には眞の人間性の建設の爲めに、かの機械的沒理想の能率と其一律性の正確とをば如何に調整し且つ整頓（レジュレート）すべきやの關心にかかつて存し、そして『最小の勞果を以て最大の效果を庶幾せん』とする量的打算的の小經濟思想の表出なる一般公式は、これに、在來棄てて顧みられなかつた「人間性（ヒューマニティー）」を新たに加ふる事に依て、其誤差を修正し新しく書き換へて、これを『眞正の勞果を以て最善の效果を庶幾する』といふ一段高次の一般公式とする事に努力する「新理想主義」のそれである事は、今日の時代が正に靜かに思ひを致すべき事であらう。

* * *

餘りにも多く事實を離れて傾向に就て語つた、而もその多くは決して所謂「昭和二年の我建築界」に卽する事柄のみではない、乍去同時にその總てはそれと全然無關係の事柄では斷じてない。

昭和二年の我建築の業界は、外見的には停滯

の狀を持續するものの如くである事をさきに述べた。市街の特殊の地區に於ける建築に對する建築物法の要求する構造上の規格に比して、復興途上に於ける建築資金が餘りにも不足と窮乏に過ぐるの實狀は、主要街路上に於ける耐火建築と木骨塗家乃至木造銅板張の準バラック建築との相起伏し錯綜する影畫（シルハウエット）の裡に之を認める事が出來る。又去る大正十三年八月に於て内務省令を以て制定された「防火地區建築補助規則」も、爾來其運用の實績に視、且つ復興事業界の現狀に鑑み、又民間經濟界の現況に察して、該規則並に其運用の上に於て相當の改善を要するものと認められたる結果、社團法人建築學會、財團法人東京市政調査會、東京商業會議所等が相前後して（八月、九月）當局に對し前記防火地區建築補助年度延長」に關する建議を試み、又日本建築士會は右補助金交付の期限延長の件の外、更に補助金坪當り金額五割增の件、補助金交付の建築坪數に建築申請の坪數を採用の件、補助金額算定の基礎床面積坪當りを容積單位に變更の件、補助金を受くべき地區の區域擴張に關する件等に就て是亦理由を附して當局に建議する處のあつた（八月）如きは、偶々時相に就て其一斑を物語るものといふべきである。

此年に竣成を見た大建築も其數は少くない、殊に歷史ある學園由緒ある學園が夫々完成した紀念の建築の如きは種々の意味に於て注意せられるべきものである。

保安衛生美觀有らゆる點に於て恰も放縱なる自然の推移に放任せられつつあるかの如き郊外の地を一步去つて都市に入れば、其處には分厘の毫末事をも假借する所なき嚴正なる建築法規の文字通りの正しき運用がある。そして其前に展開される映畫の數々は、一坪の建設に千金をも投じて猶足らじとする商業建築と、宏壯豪華なる邸宅と、さては社會政策に出づる建設事業の成果としてのアパートメント其他の建築と不良地區の改善事業の現場の狀景と、そして其間に依稀として舊態を改むる事のない所謂中流階級者の大多數の住居である。其等の映像の間を縫つて、所謂建築代願人の悲鳴と、建築監督官の叱咤の聲と、當業者の勇ましい競爭の喊聲と、建築材料輸入業者の目醒ましい宣傳の雄辯と、漸く進んで漸く精緻を極むる學術の研究とその謂々の響、そして青年建築家の就職難の悲痛の叫び、外來新建築思想の勇敢なる雄叫びそれらの狂ほしき程の交響が聞かれるのである。

此間に於て「國際聯盟會館の建築競技」の結果の發表（五月）があり、やがて（昭和四年）我國に於て開かるべき「萬國工業大會の準備としての工學會大會」は（十一月）催され、建築學會は初めて其公開の「建築展覽會」開催（十一月）の擧に出で、日本建築士會は其創立十年を機として會誌月刊「日本建築士」の刊行（七月）を創めた、何れも特記に値する事象である。

所謂停滯の狀態にある斯界に橫はつて幾多の宿題が其處に存する、建築に於ける業界が、夫々或は職業上の圈内に於て、或は商業的の範圍に於て、又は製造と販賣との組織に於て、更には附帶工業の領域に於て、何れも小異を棄てて大同に就き依て以て整然たる統制に進み、健全なる分業とその完全なる協同に依つて、願はくは蝸牛角上の小乘の爭鬪と其不健全なる競爭とを一掃し、斯の如くして凡そ世に正常なる努力が正當に報いらるべき正しき日を將來せんが爲めに、永き努力を致すべき事は正に時代の責務でなければならぬ。

海外の斯界の實狀に關する研究は、今や其外核を貫いて正に其精神に直入せねばならぬ、それは日本が眞に日本に目醒める爲めに缺く可らざる緊急の必要事である、そして所謂洋風の建築が、眞に國土に生れた吾等の建築であり得んが爲めには、國土の環境に關する徹底的の研鑽並に國土の天產に就ての特殊の研究と相俟つて其構造と體樣と二つながらの上に眞の創意が見出されなければならぬ。斯くして日本の建築が眞に日本の土に生ふる建築であり得る日の其曉にこそ、日本の建築は眞の意味に於て國際的であり得るのであらう。

遮莫、遠い夢を語れば現つの身には、語らぬにまさる淋しさの身に泌むものと知る。

諒闇の年は、顧みれば、靜かに明けて、又靜かにこそは暮れたのである。（昭和三年五月、圓爽亭）

第二編　工　政

都市計畫公告

京都都市計畫

（昭和二年二月一日　内閣總理大臣若槻禮次郎）

京都都市計畫街路左ノ通決定ノ件認可ス

街路ノ部

第一　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一　廣路　幅員四十四米以上

二　一等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員三十六米以上

第二類　幅員二十九米以上

第三類　幅員二十二米以上

三　二等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員十八米以上

第二類　幅員十五米以上

第三類　幅員十一米以上

第二　橋梁ノ主要部ハ鐵、石、鐵筋「コンクリート」等不燃質耐久材料ヲ以テ築造スルモノトス

第三　前二項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月内務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第四　街路ノ新設及擴築竝位置及幅員左ノ如シ

一　一等大路第三類

第一號線　幅員二十二米

上京區浄土寺西田町二十番地ノ二ニ於テ京都市區改正設計第四號線ヨリ分岐シ愛宕郡修學院村大字修學院小字壹町田二十番地ニ至リ左折シ高野川新架橋ヲ經同郡松ケ崎村小字河原田六番地ニ至リ左折シ鴨川新架橋ヲ經上京區大宮西野山町四十五番地ニ至リ左折シ同區鷹野花ノ坊町二十一番地ニ於テ京都市區改正設計第一號線ニ接續スルノ路線

第二號線　幅員二十二米

愛宕郡修學院村大字一乘寺小字樋ノ口十九番地ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ同村大字一乘寺小字地藏本二十三番地ニ於テ京都市區改正設計第一號線ニ接續スルノ路線

第三號線　幅員二十二米

上京區下鴨芝本町九十一番地ノ一ニ於テ京都市區改正設計第一號線ヨリ分岐シ愛宕郡上賀茂村大字上賀茂小字南野々神五番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第四號線　幅員二十二米（府縣道京都貴船線十一米　同上東側法敷内四米　同上西側法敷外七米）

上京區河原町通今出川上ル青龍町二百三十番地ニ於テ京都市區改正設計第四號線ヨリ分岐シ府縣道京都貴船線ヲ同區賀茂玄以町三十八番地ノ一ニ至ルノ路線

第五號線　幅員二十二米

上京區紫野御所田町六十七番地ノ一ニ於テ京都市區改正設計第一號線ヨリ分岐シ同區賀茂玄以町三十八番地ノ二ニ於テ前號路線ニ接續スルノ路線

二　二等大路第二類

第一號線　幅員十五米

下京區本町通七條下ル三丁目本町八丁目七十三番地ヨリ同區本町通ニ沿ヒ同區柿町大黑町西入東川原町同區松原大和大路東入弓矢町ヲ經大和大路通ヲ同區三條大橋東橋詰大橋町百十四番地ニ至ルノ路線

第二號線　幅員十五米

下京區三條通白川橋東入八丁目北側西小物座町三百七番地ヨリ同區三條通白川橋東入三丁目夷町百五十六番地ニ至ルノ路線

第三號線　幅員十五米

愛宕郡修學院村大字一乘寺小字地藏本二十三番地ニ於テ京都市區改正設計第一號線ヨリ分岐シ同村大字一乘寺小字拂殿ヲ經同村大字修學院小字壹町田十四番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

三　二等大路第三類

第一號線　幅員十一米

下京區四條通大和大路東入祇園町北側二百六

十九番地ヨリ同區三條大橋東入三丁目四十五番地ニ至ルノ路線

第二號線　幅員十一米

下京區清水寺門前清水一丁目二百八十四番地ヨリ同區清水寺門前西入二丁目清水二丁目、同區下河原通高臺寺門前下河原町ヲ經テ同區三條通白川橋東入三丁目夷町百五十六番地ニ至ルノ路線

第三號線　幅員十一米

下京區今熊野南日吉町二百十番地ヨリ同區今熊野寶藏町ヲ經同區今熊野池田町六番地ニ於テ京都市區改正設計第十三號線ニ接續スルノ路線

第四號線　幅員十一米

下京區清閑寺山ノ內町二十一番地ノ一ヨリ同區大佛馬町伏見街道五丁目常盤町四百五十七番地ニ至ルノ路線

第五號線　幅員十一米

下京區清水寺門前西入二丁目清水二丁目二百十一番地ノ一ニ於テ二等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ同區五條東但大谷前北入遊行前町五百五十九番地ノ一ニ至ルノ路線

第六號線　幅員十一米

下京區三條通南二筋目白川筋西入二丁目進之町五百八十九番地ヨリ同區大和大路通三條下ル東側大黑町百六十番地ニ至リ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

第七號線　幅員十一米

上京區吉田河原町五番地ノ二地先ヨリ鴨川新架橋ヲ經同區河原町通今出川下ル梶井町四百五十五番地ニ於テ京都市區改正設計第五號線ニ接續スルノ路線

第八號線　幅員十一米

上京區岡崎東福ノ川町十九番地ヨリ同區吉田神樂岡町ヲ經同區淨土寺西田町七十八番地ニ於テ京都市區改正設計第三號線ニ接續スルノ路線

第九號線　幅員十一米

上京區南禪寺草川町七十三番地ノ一ヨリ同區南禪寺下河原町ヲ經同區岡崎東天王町四十五番地ニ於テ京都市區改正設計第四號線ニ接續スルノ路線

第十號線　幅員十一米

上京區南禪寺下河原町六十一番地ノ二ヨリ同區鹿ケ谷法然院町ヲ經同區淨土寺石橋町九番地ノ三ニ於テ二等大路第三類第十三號線ニ接續スルノ路線

第十一號線　幅員十一米

前號路線起點ヨリ上京區南禪寺草川町十九番地ノ一 十八番地ノ二 合地ニ至リ二等大路第三類第九號線ニ接續スルノ路線

第十二號線　幅員十一米

上京區鹿ケ谷宮ノ前町七十四番地ノ一ニ於テ二等大路第三類第十號線ヨリ分岐シ同區岡崎東天王町四十一番地ノ一ニ於テ京都市改正設計第四號線ニ接續スルノ路線

第十三號線　幅員十一米

上京區銀閣寺町三十九番地ヨリ同區淨土寺西田町二十番地ニ至リ京都市區改正設計第四號線ニ接續スルノ路線

第十四號線　幅員十一米

上京區田中上柳町十四番地ノ二ニ於テ京都市區改正設計第四號線ヨリ分岐シ高野川左岸ニ沿ヒ愛宕郡修學院村大字修學院小字川端九番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第十五號線　幅員十一米

上京區田中樋ノ口町十一番地ニ於テ二等大路第三類第十七號線ヨリ分岐シ愛宕郡修學院村大字一乘寺小字四十、十二番地ニ於テ二等大路第二類第三號線ニ接續スルノ路線

第十六號線　幅員十一米

上京區北白川久保田町六十一番地ニ於テ京都市區改正設計第四號線ヨリ分岐シ同區北白川伊織町、疏水新架橋ヲ經愛宕郡修學院村大字一乘寺小字梅ノ木八番地ニ於テ一等大路第三類第二號線ニ接續スルノ路線

第十七號線　幅員十一米

上京區北白川仕伏町八十番地ヨリ高野川及鴨川新架橋ヲ經同區出雲路神樂町十八番地先ニ於テ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線

第十八號線　幅員十一米

上京區北白川上終町三十九番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ同區高野清水町高野川新架橋、同區下鴨蓼倉町、鴨川新架橋同區出雲路俵町、同區小山中溝町、同區大宮頭今宮御旅所前若宮竪町及同區紫野鄕ノ上町ヲ經テ同區衣笠天神森町七十一番地ニ至ルノ路線

第十九號線　幅員十一米

愛宕郡修學院村大字一乘寺小字清水八番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ同村大字一乘寺小字四十、七番地ニ至リ右折シ高野川新架橋ヲ經テ同郡松ケ崎村小字正田十三番地ノ一ニ至リ左折シ上京區下鴨北園町七十番地ニ於テ二等大路第三類第二十號線ニ接續スルノ路線

第二十號線　幅員十一米

上京區下鴨芝本町十七番地ニ於テ京都市區改正設計第一號線ヨリ分岐シ愛宕郡上賀茂村大字上賀茂小字前萩三番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第二十一號線　幅員十一米

上京區下鴨高木町九十八番地ニ於テ京都市區改正設計第一號ヨリ分岐シ愛宕郡松ケ崎村小字井出ケ海道一番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第一號ニ接續スルノ路線

第二十二號線　幅員十一米

愛宕郡松ケ崎村小字正田十三番地ノ一ニ於テ二等大路第三類第十九號線ヨリ分岐シ同村小字雲路九番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第二十三號線　幅員十一米

上京區下鴨上川原町九十一番地ニ於テ京都市區改正設計第一號線ヨリ分岐シ同町六番地ノ二ニ至ルノ路線

第二十四號線　幅員十一米

上京區紫野南船岡町七十四番地ノ二ニ於テ二等大路第三類第十八號線ヨリ分岐シ同區紫野今宮町ヲ經愛宕郡大宮村大字西賀茂小字林裏三十五番地ニ於テ二等大路第三類第三十號線ニ接續スルノ路線

第二十五號線　幅員十一米

上京區大宮頭今宮御旅所前若宮竪町七十八番地ニ於テ二等大路第三類第十八號線ヨリ分岐シ愛宕郡大宮村大字西賀茂小字椿原十五番地ニ於テ二等大路第三類第三十號線ニ接續スルノ路線

第二十六號線　幅員十一米

上京區小山中溝町三十二番地ニ於テ二等大路第三類第十八號線ヨリ分岐シ同區賀茂玄以町八番地ニ於テ二等大路第三類第二十九號線ニ接續スルノ路線

第二十七號線　幅員十一米

上京區小山上總町十五番地ニ於テ京都市區改正設計第一號線ヨリ分岐シ同區出雲路內河原町二十九番地ニ於テ二等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第二十八號線　幅員十一米

上京區出雲路內河原町四十番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ同區紫野大德寺町二十七番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第二十九號線　幅員十一米

上京區賀茂玄以町十三番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ愛宕郡大宮村大字東紫竹大門小字開三番地ニ於テ二等大路第三類第三十號線ニ接續スルノ路線

第三十號線　幅員十一米

上京區賀茂玄以町三十八番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ愛宕郡大宮村大字西賀茂小字山ノ前四十五番地ニ於テ左折シ同區大宮西野山町四十五番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第三十一號線　幅員十一米

葛野郡花園村大字花園小字巽南町十三番地ノ一ヨリ上京區大將軍阪田町及同區等持院北町ヲ經テ二等大路第三類第十八號線終點ニ接續スルノ路線

第三十二號線　幅員十一米

下京區西ノ京馬代町十二番地ノ一ヨリ上京區等持院南町ヲ經同區平野上柳町十番地ノ一ニ於テ前號路線ニ接續スルノ路線

第三十三號線　幅員十一米

上京區千本通仁和寺街道上ル仲御靈町七十六番地ヨリ紙屋川新架橋ヲ經葛野郡花園村大字花園小字猪ノ毛八番地ニ於テ二等大路第三類第三十一號線ニ接續スルノ路線

第三十四號線　幅員十一米

上京區平野宮本町三十八番地ニ於テ京都市區改正設計第一號線ヨリ分岐シ同區小松原北町七十一番地ニ於テ二等大路第三類三十一號線ニ接續スルノ路線

第三十五號線　幅員十一米

上京區千本通寺ノ内上ル西五辻北町四百二十六番地ニ於テ京都市區改正設計第九號線ヨリ分岐シ紙屋川新架橋ヲ經同區平野上柳町五十七番地ニ於テ二等大路第三十一號線ニ接續スルノ路線

都市計畫公告

（昭和二年二月十二日）
（內閣總理大臣若槻禮次郎）

岡山都市計畫街路左ノ通決定ノ件認可ス

街路ノ部

第十　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一　廣路　幅員二十四間以上

二　一等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員二十間以上

第二類　幅員十六間以上

第三類　幅員十二間以上

三　二等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員十間以上

第二類　幅員八間以上

第三類　幅員六間以上

第二　橋梁ノ主要部ハ鐵、石、鐵筋「コンクリート」等不燃質耐久材料ヲ以テ築造スルモノトス

第三　前二項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月內務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第四　街路ノ新設及擴築竝位置及幅員左ノ如シ

一　一等大路第三類第三號線（驛前縣廳線）幅員十三間半

第一號線（驛前原尾島線）幅員十二間

前號路線起點ヨリ萬町ヲ經テ南方字三十五ノ坪三十七番地ノ一地先ニ至リ右折シ旭川新架橋ヲ經字野村大字原尾島字舟屋千二百三十三番地地先ニ至ルノ路線

第二號線（柳川線）幅員十三間半

難波町五十七番地ニ於テ一等大路第三類第五號線ヨリ分岐シ奧田字村東四百四十八番地ニ至リ一等大路第三類第十四號線ニ接續スルノ路線

但シ內田字柳ノ內百三十五番地ノ四地先ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十二間トス

第三號線（瓦町線）幅員十三間半

船着町十九番地ノ二ヨリ大供字中道四十六番地ニ至リ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線

但シ起點ヨリ天瀨南町五十三番地ニ至ル區間ハ幅員八間トス

第四號線（驛前鹿田線）幅員十三間半

一等大路第三類第一號線起點ヨリ奧田字天神後二百九番地ニ至リ一等大路第三類第十四號線ニ接續スルノ路線

但シ大供字春日沼二百七十六番地ノ三地先ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十二間トス

第五號線（驛前原尾島線）幅員十二間

前號路線起點ヨリ萬町ヲ經テ南方字三十五ノ坪三十七番地ノ一地先ニ至リ右折シ旭川新架橋ヲ經字野村大字原尾島字舟屋千二百三十三番地地先ニ至ルノ路線

但シ起點ヨリ萬町七番地地先ニ至ル區間ハ幅員十三間半トス

第六號線（內山下線）幅員十二間

南方字中道四百七十一番地ニ於テ一等大路第三類第八號線ヨリ分岐シ兵團ヲ經テ天瀨東町五十七番地ニ至リ一等大路第三類第三號線ニ接續スルノ路線

第七號線（南方二門線）幅員十二間

南方字三十五ノ坪三十七番地ノ一地先ニ於テ一等大路第三類第五號線ヨリ分岐シ國有鐵道山陽本線線路及中國鐵道線路ヲ跨キ上伊福字苗代二百四十三番地ニ至リ左折シ巖井字東二ノ坪二百二十一番地ニ至リ右折シ同字中二ノ坪七百十五番地ノ一ニ於テ府縣道石井妹尾線ニ接續スルノ路線

第八號線（番町北方線）幅員十二間

六番町二十六番地ニ於テ一等大路第三類第五號線ヨリ分岐シ南方字後田四百二十四番地ノ一地先ニ至リ國有鐵道山陽本線線路下ヲ過キ北方字木ノ下九百六十三番地ノ四ニ至ルノ路線

第九號線（大學前線）幅員十二間

小原町百八番地ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ大供字鯨二百五十二番地ノ一地先ニ至リ左折シ西古松字頭田百四十番地ノ一ニ至リ左折シ同字カウケ端百七十五番地ノ一ニ至ル區間ハ幅員十二間

ニ至ルノ路線

第十號線（大供野田線）幅員十二間

大供字カモ百十五番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ大供字九ノ坪六百七十四番地ノ一地先ニ至リ國有鐵道宇野線線路下ヲ過キ同字西十一七百二十三番地地先郡市界ニ至ルノ路線

第十一號線（西部縱貫線）幅員十二間

東古松字思案橋二百四十番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第九號線ヨリ分岐シ島田字八ノ坪九十一番地ノ五地先ニ至リ國有鐵道山陽本線線路ヲ橫切リ同字野線線路下ヲ過キ巖井字東二十九ノ坪五十六番地ノ三地先ニ於テ中國鐵道線路ヲ橫切リ津島字金山田八百八十五番地ノ二ニ至ルノ路線

第十二號線（津島竹田線）幅員十二間

前號路線終點ヨリ北方字茶ノ木三百四十九番地ノ一地先ニ至リ中國鐵道線路ヲ橫切リ旭川新架橋ヲ經テ字野村大字西河原字北原百二十五番地先ニ至リ國有鐵道山陽本線線路下ヲ過キ同百二十八番地ノ二ニ至ルノ路線

第十三號線（旭東線）幅員十二間

前號路線終點ヨリ國富、古京町、門田屋敷ヲ經テ網濱字大橋詰千二百六十四番地ノ一ニ至ルノ路線

第十四號線（網濱大元驛線）幅員十二間

前號路線終點ヨリ旭川新架橋、二日市、奧田ヲ經テ一等大路第三類第九號線終點ニ至ルノ路線

第十五號線（福濱線）幅員十二間

奧田字村東四百四十八番地ニ於テ一等大路第三類第十四號線ヨリ分岐シ福濱村大字十日市字田住町十番地ノ一ニ左折シ同村大字福島字東九ノ坪三百八十五番地ニ至ルノ路線

第十六號線（網濱三蟠線）幅員十二間

一等大路第三類第十三號線終點ヨリ平井村ヲ經テ三蟠村大字江並字十二割西四百四十五番地ニ至ルノ路線

二　二等大路第二類

第一號線（下石井內山下線）幅員八間

下石井字桑五二百一番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ內山下字隼人邸二十八番地ノ三ニ至リ一等大路第三類第六號線ニ接續スルノ路線

第二號線（下石井島田線）幅員八間

下石井字桑十七二百十九番地ノ一地先ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ島田字十八ノ坪百三十三番地ニ至リ一等大路第三類第十一號線ニ接續スルノ路線

第三號線（天瀨二日市線）幅員八間

天瀨南町五十三番地ニ於テ一等大路第三類第三號線ヨリ分岐シ二日市字彌介地七十八番地

ニ至リ一等大路第三類第十四號線ニ接續スル
ノ路線
第四號線（小原町綱濱線）　幅員八間
小原町百七番地ニ於テ一等大路第三類第二號
線ヨリ分岐シ旭川新架橋ヲ經網濱字西溝七百
四十八番地ノ一地先ニ於テ一等大路第三類第
十三號線ニ接續スルノ路線
第五號線（中納言線）　幅員八間
門田屋敷八十一番地ノ三ヨリ同七十七番地ニ
至リ一等大路第三類第十三號線ニ接續スルノ
路線
第六路線（巖井線）　幅員八間
巖井字東十七ノ坪七十五番地ノ三ニ於テ一等
大路第三類第十一號線ヨリ分岐シ同字東二ノ
坪二百二十一番地ニ於テ一等大路第三類第七
號線ニ接續スルノ路線
三　二等大路第三類
第一號線（相生橋線）　幅員六間
內山下字日置邸七十二番地ノ一ヨリ旭川新架
橋ヲ經國富字堀ノ內七番地ニ於テ一等大路第
三類第十三號線ニ接續スルノ路線
第二號線（大元線）　幅員六間
一等大路第三類第九號線終點ヨリ西古松字カ
ウケ端百七十六番地ノ一地先ニ至リ國有鐵道
宇野線線路ヲ横切リ同字二町田三百四十四番
地ノ二ニ於テ國道二十二號線ニ接續スルノ路
線
第三號線（津島萬成線）　幅員六間
津島字金山田八百八十一番地ノ一地先ニ於テ
一等大路第三類第十一號線ヨリ分岐シ萬成字
龍王百九十三番地ニ至リ舊國道二號線ニ接續
スルノ路線
第四號線（津山街道線）　幅員六間
一等大路第三類第十一號線終點ヨリ國道十九
號線ヲ津島字笹ケ瀨三千三百六十五番地郡市
界ニ至ル路線
第五號線（北方三野線）　幅員六間
一等大路第三類第八號線終點ヨリ三野字釣四
百二十四番地ニ至リ府縣道岡山和氣線ニ接續
スルノ路線
第六號線（南方練兵場線）　幅員六間
南方字夫入道三百七十六番地ニ於テ一等大路
第三類第八號線ヨリ分岐シ同字平畔二百二十
八番地ノ一地先ニ於テ國有鐵道山陽本線線路
ヲ、北方字道越千五百九番地地先ニ於テ中國
鐵道線路ヲ横切リ同字川北千四百三十四番地
ノ一ニ至リ國道十九號線ニ接續スルノ路線
第七號線（原尾島線）　幅員六間
國富字森下出口八百四十七番地ニ於テ二等大
路第三類第十三號線ヨリ分岐シ國道二號線ヲ
一等大路第三類第五號線終點ニ至ルノ路線

和歌山都市計畫

（昭和二年二月二十四日
內閣總理大臣若槻禮次郎）

和歌山都市計畫區域左ノ通決定ノ件認可ス
一、和歌山市
一、海草郡　中ノ島村、宮村、宮前村、岡町
村、和歌浦町、雜賀崎村、雜賀村、湊村ノ
一部（紀ノ川左岸一圓）

新潟都市計畫

（昭和二年二月二十五日
內閣總理大臣若槻禮次郎）

新潟都市計畫街路左ノ通決定ノ件認可ス
街路ノ部
第一　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル
一　廣路　幅員二十四間以上
二　一等大路ハ左ノ三類トス
第一類　幅員二十間以上
第二類　幅員十六間以上
第三類　幅員十二間以上
三　二等大路ハ左ノ三類トス
第一類　幅員十間以上
第二類　幅員八間以上
第三類　幅員六間以上
第二　橋梁ノ主要部ハ鐵、石、鐵筋「コンクリ

ート」等不燃質耐久材料ヲ以テ築造スルモノ
トス
第三　前二項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋
梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月內務省令
第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル
第四　街路ノ新設及擴築竝位置及幅員左ノ如シ
一　一等大路第三類
第一號線　幅員十五間
東堀前通六番町千六十九番地ノ一ヨリ信濃川
新架橋ヲ經流作場ニ於テ國有鐵道信越線ヲ横
切リ同二百七十二番地ニ至ルノ路線
第二號線　幅員十三間半
前號路線終點ヨリ栗ノ木川新架橋ヲ經馬越字
町浦澤ニ於テ國有鐵道新越線ヲ横切リ新栗ノ
木川新架橋ヲ經石山村大字鴉又字野中ニ於テ
新潟臨港株式會社鐵道線路ヲ横切リ石山村大
字下木戸ヲ經テ大形村大字海老ケ瀨千八百二
十八番地ニ於テ國道十號線ニ接續スルノ路線
但シ石山村大字鴉又八百五十八番地ヨリ同村
大字下木戸百三番地ノ乙ニ至ル區間ハ幅員十
二間、同地點ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十一
間トス
第三號線　幅員十二間
東堀通六番町千三十六番地ニ於テ一等大路第
三類第四號線ヨリ分岐シ寄居町三百四十三番
地ノ十五ニ於テ左折シ醫學町通一番町ヲ經テ
關屋二百九十番地ノ三ニ至ルノ路線
但シ起點ヨリ寄居町三百四十三番地ノ十五ニ
至ル區間ハ幅員十五間トス
第四號線　幅員十二間
一番堀通町三百四十二番地ノ乙ニ於テ一等大
路第三類第五號線ヨリ分岐シ東堀通十三番町
ヲ經入船町通四丁目三千九百三十一番地ニ於
テ左折シ山田町二丁目三千八百六十九番地ノ
於テ右折シ入船町通四丁目五千三百四十二番
地ノ二地先信濃川左岸ニ至ルノ路線
第五號線　幅員十三間半
一番堀通町、學校町通、關屋及坂井輪村大字
青山ヲ經內野村大字五十嵐濱五千八百九十五
番地ニ於テ左折シ內野村大字五十嵐濱字川下
ニ於テ越後鐵道線路下ヲ過キ內野村大字五十
嵐濱五千七百番地ノ一ニ至ルノ路線
但シ學校町通二番町五千二百九十一番地ヨリ
關屋三百七十六番地ノ一ニ至ル區間ハ幅員十
二間、同地點ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員九間
トス
第六號線　幅員十三間半
前號路線起點ヨリ石山村大字鴉又八百五十八
番地ニ至リ二等大路第二類第一號ニ接續スル
ノ路線
但シ鳥屋野村大字笹口百七十九番地ノ甲ヨリ
終點ニ至ル區間ハ幅員八間トス
第七號線　幅員十二間
長嶺六百五十六番地ノ一ヨリ通船川新架橋ヲ
經沼垂字王瀬ニ於テ新潟臨港株式會社鐵道
線路下ヲ過キ大形村大字河渡新田ヲ經同村大
字松崎二千九百四十番地ニ於テ二等大路第三
類第五號線ニ接續スルノ路線
但シ沼垂二千三百十四番地ヨリ終點ニ至ル區
間ハ幅員十一間トス
第八號線　幅員十三間半
一等大路第三類第一號線終點ヨリ鳥屋野村大
字紫竹山三十一番地ニ至リ二等大路第三類第
一號線ニ接續スルノ路線
第九號線　幅員十二間
石山村大字鴉又八百五十八番地ニ於テ一等大
路第三類第二號線ヨリ分岐シ通船川新架橋ヲ
經山下五十二番地ノ一地先信濃川右岸ニ至ル
ノ路線
三　二等大路第一類
第一號線　幅員十一間
石山村大字下木戸百三番地ノ乙ニ於テ一等大
路第三類第二號線ヨリ分岐シ通船川新架橋ヲ
經大形村大字河渡新田己五百十番地ニ於テ一
等大路第三類第七號線ニ接續スルノ路線
三　二等大路第二類
第一號線　幅員八間

一等大路第三類第七號線起點ヨリ國有鐵道信越線ヲ横切リ新栗ノ木川新架橋、石山村大字紫竹及栗ノ木川新架橋ヲ經テ同村大字西山二ツ四百二十九番地ニ至ルノ路線

但シ石山村大字馬越五百九十六番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第二號線　幅員八間

沼垂四千九百十四番地ノ一ヨリ通船川新架橋石山村大字竹尾ヲ經同村大字石山字新田前ニ於テ國有鐵道信越線ヲ横切リ栗ノ木川新架橋ヲ經テ前號路線終點ニ至ルノ路線

但シ石山村大字鴉又五百五十四番地ノ一ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第三號線　幅員八間

關屋九十三番地ヨリ越後鐵道線路ヲ横切リ信濃川新架橋ヲ經テ島屋野村大字出來島五百五十七番地ニ於テ左折シ一等大路第三類第五號線起點ニ至ルノ路線

但シ島屋野村大字出來島百五十三番地地先ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第四號線　幅員八間

西船見町五千九百三十二番地ノ二十六ニ於テ二等大路第二類第五號線ヨリ分岐シ白山浦二丁目ニ於テ越後鐵道線路ヲ横切リ信濃川新架橋ヲ經テ島屋野村大字近江十六番地ノ一ニ於テ二等大路第二類第三號線ニ接續スルノ路線

但シ起點ヨリ學校町通三番町四百七十九番地ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第五號線　幅員八間

東堀通四番町四百五十番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ旭町通二番町ヲ經テ二等大路第二類第三號線起點ニ至ルノ路線

第六號線　幅員八間

東堀前通四番町三百九十九番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ信濃川新架橋ヲ經テ島屋野村大字紫竹山百六十四番地ニ於テ上等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

但シ島屋野村大字米山十九番地ノ甲ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第七號線　幅員八間

東堀通十三番町三千二十番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ四ツ屋町一丁目五千百四十七番地ニ至ルノ路線

第八號線　幅員八間

榮町二丁目四千八百十九番地ニ於テ二等大路第三類第三號線ヨリ分岐シ新島町通五ノ町二千二百三十二番地ニ於テ右折シ新島町通四ノ町二千二百四十五番地ニ至ルノ路線

但シ起點ヨリ横七番町通二丁目四千九百二十六番地ノ一ニ至ルノ區間ハ幅員六間トス

第一號線　幅員六間

一等大路第三類第五號線起點ヨリ鳥屋野村大字女池千三百十二番地ニ至リ左折シ栗ノ木川新架橋ヲ經石山村大字紫竹字櫟太郎前ニ於テ國有鐵道信越線ヲ横切リ一等大路第三類第二號線終點ニ至ルノ路線

第二號線　幅員六間

旭町通二番町五千二百三十番地ノ三ニ於テ二等大路第二類第五號線ヨリ分岐シ西大畑町、田中町ヲ經二等大路第二類第七號線終點ニ至ルノ路線

第三路線　幅員六間

四ツ屋町一丁目三千七番地ニ於テ二等大路第二類第七號線ヨリ分岐シ榮町二丁目、窪田町ヲ經テ山田町二丁目三千九百六十八番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線

第四號線　幅員六間

沼垂四千百十八番地ニ於テ一等大路第三類第九號線ヨリ分岐シ沼垂字古川ニ於テ新潟臨港株式會社鐵道線路ヲ横切リ松ケ崎濱村字下山千五百九十九番地ニ於テ右折シ大形村大字松崎ヲ經テ一等大路第三類第二號線終點ニ至ルノ路線

但シ起點ヨリ沼垂三千七百三十番地ニ至ル區間ハ幅員八間トス

◎内務省令第十一號

（昭和二年三月八日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

東京都市計畫事業道路（環狀線、放射線）受益者負擔ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　東京府ハ大正十年十二月内務省告示第二百四十五號ニ依リ東京府知事ニ於テ執行スル東京都市計畫事業道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依ル受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條　大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ附近ニ於テ道路ノ境界線ヨリ道路ノ幅員ノ七倍ノ地域トス

前項ノ地域内ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘等地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トスルコトヲ得

第三條　路線、道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ府知事ハ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

第四條　受益者ノ負擔スヘキ金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔區毎ニ之ヲ定ム但シ第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テハ第二條第一項ノ地域内ニ在ル限界外ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔スヘキモノトセハ其ノ負擔金ヲ負擔セサル土地アル場合ニ於テ其ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔スヘキモノトセハ其ノ負擔金額ニ付亦同シ

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築スヘキ部分ノ平均幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ負擔金ハ七年間ニ均分シテ納付セシム

第一項ノ負擔金カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條　府知事ハ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ一定ノ率ニ依リ各地帶ノ負擔額ヲ定ム

第六條　新設又ハ擴築スル道路ニ在リテハ其ノ地帶ノ負擔額ノ三分ノ一ヲ土地ノ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ土地ノ面積ニ比例シ、其ノ他ノ地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

第七條　同一ノ土地ニシテ重複シテ道路ノ新設又ハ擴築ノ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルモノニ付テハ其ノ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

地形ニ依リ斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

第八條　負擔金ハ事業費豫算額ヲ以テ其ノ負擔區劃ノ事業著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ第二項ノ納付期間内ニ受益者ニ異動アリタルトキハ新ニ受益者トナリタル者ヨリ殘額ヲ納付セシム

第九條　第二條第二項ノ規定ニ依ル負擔區劃ノ限界、負擔區、第五條ノ地帶及率、事業費豫算額及精算額竝事業著手ノ日ハ府知事之ヲ告示スヘシ

第十條　道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得府知事カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

◎内務省令第二百七十四號

（昭和二年三月八日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

東京都市計畫河川ノ改修及其ノ事業執行年割左ノ通決定スルノ件昭和二年三月三日内閣ノ認可ヲ得タリ

第一　東京都市計畫河川改修ノ件左ノ通定ム

名稱	區域	延長（約）	幅員（約）
澁谷川	天現寺ヨリ宮益橋上流ニ至ル	二千四百二十米	一〇乃至二三米

第二　前項ノ計畫ハ都市計畫事業トシテ昭和二年度ヨリ昭和五年度迄四箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

河川改修事業執行年割

昭和二年度	約八分七厘
昭和三年度	約三割二分六厘
昭和四年度	約二割八分五厘
昭和五年度	約三割二厘

◉内務省告示第二百七十五號

（昭和二年三月八日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

昭和二年三月八日内務省告示第二百七十四號東京都市計畫澁谷川ノ改修事業ヲ執行スヘキ行政廳ハ東京府知事トス

右都市計畫法施行令第三條ニ依リ指定ス

◉内務省告示第二百七十六號

（昭和二年三月八日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

大正十一年十二月二十三日内閣認可東京都市計畫目黑川改修事業中左ノ變更スルノ件昭和二年三月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

大正十一年十二月二十三日内閣認可東京都市計畫目黑川改修事業中左ノ通改ム

一　東京都市計畫事業河川運河ノ部

四等第二類　第三目黑川長約四千三十九間　幅員十四間

東京府荏原郡目黑町地内府縣道第一號東京厚木線ニ架スル大橋ヨリ海ニ至ル

但シ大橋ヨリ蛇崩川合流點ニ至ル長約八百三十九間ハ幅員六間四尺蛇崩川合流點ヨリ田樂橋ニ至ル長約二百五十八間ハ幅員六間現在陸地護岸線ヨリ埋立地護岸線ニ至ル長約九十五間ハ幅員二十間

◉内務省告示第二百七十七號

（昭和二年三月八日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

大正十五年三月六日内務省告示第二十二號東京都市計畫街路ノ改修事業ハ大正十五年度ヨリ同四年度迄四箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ其ノ執行年割ヲ左ノ通定ムルノ件昭和二年三月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ改修事業執行年割

大正十五年度　昭和元年度	約七割八分三厘
昭和二年度	約一割三分二厘
昭和三年度	約三厘
昭和四年度	約八分一厘

◉内務省告示第二百七十八號

（昭和二年三月八日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

大正十五年三月六日内務省告示第二十六號橫濱都市計畫河川改修事業ハ大正十四年度ヨリ昭和三年度迄四箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ其ノ執行年割ヲ左ノ通定ムルノ件昭和二年三月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

河川改修事業執行年割

大正十五年度　昭和元年度	約四割五分四厘
昭和二年度	約四割五分四厘
昭和三年度	約八分八厘

◉内務省告示第二百七十九號

（昭和二年三月八日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部一等大路第三類第三號路線ヲ左ノ通變更スルノ件昭和二年三月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

一等大路第三類第三

幅員十二間（中央車道九間左右歩道各一間半）

四谷區内藤町八十七番地先東京市區改正設計二等線ヨリ鐵道線路下ヲ過キ近衛第四聯隊裏ヨリ千駄ヶ谷町字竹ノ下ヲ經テ赤坂區青山南町四丁目東京市區改正設計第二等線ヲ橫切リ瀧布區笄町ニ至リ電車軌道ニ沿ヒ天現寺橋ヨリ四ノ橋北詰ニ至ルノ路線

◉内務省告示第二百八十號

（昭和二年三月八日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

大正十四年八月十一日内務省告示第百三十九號告示中第二項東京都市計畫街路ノ新設、擴張事業執行年度割左ノ通改ムルノ件昭和二年三月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中左ノ街路ノ新設、擴張ハ大正十四年度ヨリ昭和四年度迄五箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ大正十五昭和元年度ヨリ昭和四年度ニ至ルノ年度割左ノ通定ム

一等大路第三類第二號路線

一等大路第三類第三號路線中起點ヨリ千駄ヶ谷町府縣道第百八十三號千駄ヶ谷赤坂線ニ至ル區間及天現寺橋ヨリ四ノ橋北詰ニ至ル區間

一等大路第三類第十號路線中市部區間

二等大路第一類第七號路線

二等大路第一類第十二號路線中市部區間

二等大路第二類第一號路線中千駄ヶ谷町字北ノ脇三百三十八番地ヨリ大字代々木八十九番地地先明治神宮ニ至ル區間

二等大路第二類第十五號路線中市ヶ谷臺町九十三番地地先ヨリ同七十五號地地先ニ至ル區間

街路ノ新設、擴張事業執行年度割

大正十五年度　昭和元年度	約二割三分七厘
昭和二年度	約二割一分九厘
昭和三年度	約二割一分三厘
昭和四年度	約一割七分五厘

◉内務省告示第二百八十三號

（昭和二年三月十一日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

廣島都市計畫區域ニ昭和二年四月十五日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ之ヲ同法施行令第三十一條ノ規定ニ依リ指定ス

一、廣島縣安藝郡　牛田村、矢賀村、仁保村ノ一部（猿猴川以西）

一、同　安佐郡　三篠町

一、同　佐伯郡　己斐町ノ一部（字才崎谷、東、平原上堤、才崎新開、中堤、西、田中、横田、中郷、大歲、土井、影平、高林、大影、濱、石亀、七九、下堤、梅屋、關、一本松、天保、戸島、山崎新開）吉田村ノ一部（大字古江）草津町

◉内務省令第十二號

（昭和二年三月十五日　内務大臣臨時代理　遞信大臣安達謙藏）

防火地區建築補助規則中左ノ通改正ス

第四條ノ二　特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理施行ノ爲移轉スルコトヲ要スル外壁耐火構造ノ建物ノ敷地ノ換地又ハ換地豫定地ニ於テ第一條ニ該當スル建物ノ新築又ハ增築ヲ爲ストキハ補助金額ヲ減シ又ハ補助金ヲ交附セサルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【參　照】　大正十二年十二月二十四日公布　法律第五十三號特別都市計畫法抄錄

第五條　行政廳又ハ公共團體カ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テハ設計、換地處分及第八條第一項ノ補償金ノ配當ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者及借地法ニ謂フ借地權者ヲ以テ組織スル土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム

大正十三年八月二日内務省令第十九號防火地區建築補助規則抄錄

第一條　東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域内ニ於テル大正十二年九月ノ震災ニ因リ火災ニ罹リタル地區ノ中甲種防火地區内ニ於テ市街地建築物法施行規則第百四十三條ノ

規定ニ依リ認可ヲ受ケ建物ノ新築又ハ增築ヲ爲ス建築主ニ對シ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ本令ニ依リ補助金ヲ交附ス

前項ノ火災ニ罹リタル地區トハ大正十二年內務省令第三十三號第一條ニ定ムル地區ヲ謂フ

勅令第三十三號

（昭和二年三月十九日　內閣總理大臣若槻禮次郎　內務大臣濱口雄幸）

朕大正十二年勅令第四百十四號ノ建築物ノ除却期限ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

第一條　大正十二年勅令第四百十四號ニ規定スル建築物除却期限ハ左ノ如ク之ヲ延期ス

一　劇場、集會場、旅館、工場其ノ他ノ特殊建築物ニシテ內務大臣ノ命令ヲ以テ指定スルモノニ付テハ昭和八年八月末日迄

二　前號ノ規定ニ依ルモノヲ除クノ外甲種防火地區內ニ又ハ其ノ內外ニ亘リ建築シタル建築物ニ付テハ昭和十三年八月末日迄

第二條　前條ノ規定ニ依ルモノヲ除クノ外大正十二年勅令第四百十四號ノ規定ニ依リ建築シタル建築物ニシテ內務大臣ノ定ムル構造設備ヲ有スルモノハ行政官廳ノ認定ヲ受ケ昭和三年九月一日以後ニ於テモ之ヲ除却セサルコトヲ得

前項ノ建築物ニシテ內務大臣ノ定ムル構造設備ヲ有セザルモノハ昭和八年八月末日迄之ヲ除却セザルコトヲ得但シ昭和八年八月末日迄ニ其ノ構造設備ヲ有スルニ至リタルモノハ行政官廳ノ認定ヲ受ケ昭和八年九月一日以後ニ於テモ之ヲ除却セザルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【參照】大正十二年（九月十六日公布）勅令第四百十四號

東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域內ニ於ケル大正十二年九月ノ震災ニ因リ火災ニ罹リタル地區ニ於テ大正十三年八月末日迄ニ建築ニ著手シ大正十七年八月末日迄ニ除却スル假設建築物ニ付テハ市街地建築物法第二條乃至第十一條及第十三條乃至第十五條ヲ適用セス

東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域內ニ於ケル前項ノ地區外ノ地區ニ於テ大正十三年二月末日迄ニ建築ニ著手シ大正十七年八月末日迄ニ除却スル建築物ニシテ救護其ノ他應急的施設ノ爲ニスルモノニ付亦前項ニ同シ

第一項ノ地區ノ範圍、同項ノ假設建築物ノ構造竝前項ノ建築物ノ種類及構造ハ內務大臣之ヲ定ム

神戸都市計畫

（昭和二年三月二十五日　內閣總理大臣若槻禮次郎）

神戸都市計畫街路左ノ通決定ノ件認可ス

街路ノ部

第一　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一　廣路　四十四米以上

二　一等大路ハ左ノ三類トス

第一類　三十六米以上

第二類　二十九米以上

第三類　二十二米以上

三　二等大路ハ左ノ三類トス

第一類　十八米以上

第二類　十五米以上

第三類　十一米以上

第二　本計畫ニ定ムルモノヲ除クノ外街路ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月內務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第三　新設又ハ擴築スヘキ街路ノ位置及幅員左ノ如シ

一、一等大路第一類

第一號線　幅員三十八米

新在家町百四番地ノ一ヨリ同町百七番地地先ニ至ルノ路線

第二號線　幅員三十六米

脇濱町二丁目十四番地地先市郡界ヨリ同町三丁目ニ至リ國有鐵道小野濱線線路下ヲ過キ吾妻通、北本町通、小野柄通及加納町ヲ經テ三宮町一丁目三十六番地ニ至ルノ路線

但シ新三宮驛前ニ約五千二百平方米ノ廣場ヲ設ク

第三號線　幅員三十六米

相生町二丁目二十二番地地先ヨリ仲町通及湊町ヲ經テ塚本通八丁目六番地ニ至ルノ路線

二、一等大路第二類

第一號線　幅員三十三米

一等大路第一類第三號線終點ヨリ國道二號ヲ天井川ニ至リ弓場町及上一丁所ヲ經テ西須磨字上宿ノ道二十二番地ニ至ルノ路線

第二號線　幅員三十三米

加納町六丁目十二番地地先ヨリ東遊園地東側ヲ經テ三宮町五丁目ニ至リ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ布引町四丁目二番地ノ一地先ニ至ルノ路線

但シ東遊園地ニ接スル部分ニ於テ約千三百平方米ノ廣場ヲ設ク

三、一等大路第三類

第一號線　幅員二十七米

一等大路第一類第二號線終點ヨリ國有鐵道東海道本線線路ニ沿ヒ神戸驛線路下ヲ過キ一等大路第一類第三號線起點ニ至ルノ路線

第二號線　幅員二十七米

一等大路第二類第一號線終點ヨリ西須磨字下谷川十五番地ノ一地先ニ至リ都市計畫街路第十一號線ニ接續スルノ路線

第三號線ノ一　幅員二十七米

吾妻通三丁目四番地ノ一地先ニ於テ一等大路第一類第二號線ヨリ分岐シ南本町、眞砂町、新生田川新架橋、濱邊通、海岸通、神戸驛構內、東川崎町、佐比江町、西宮內町、東柳原町及正慶町ヲ經テ明和通四丁目ニ於テ國有鐵道和田岬線ヲ横切リ梅ケ香町二丁目八番地ノ一ニ至ルノ路線

但シ國有鐵道小野濱驛前ニ約千二百平方米ノ廣場ヲ設ク

第三號線ノ二　幅員二十七米

加納町六丁目十三番地地先ヨリ同十二番地地先ニ至リ一等大路第三類第三號線ノ一ニ接續スルノ路線

第四號線　幅員二十七米

三宮町一丁目官有地四十四番地ノ一地先ヨリ同一丁目三番地ノ三ニ至リ一等大路第一類第二號線ニ接續スルノ路線

第五號線　幅員二十七米

神戸驛構內ニ於テ一等大路第三類第三號線ノ一ヨリ分岐シ同構內ニ於テ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第六號線　幅員二十七米

神戸驛構內ニ於テ一等大路第三類第三號線ノ一ヨリ分岐シ前號路線終點ニ至ルノ路線

第七號線　幅員二十七米

濱崎通一丁目六番地ノ三ニ於テ一等大路第三類第三號線ノ一ヨリ分岐シ西柳原町ニ於テ兵庫驛線路下ヲ過キ羽坂通二丁目九番地地先ニ至リ一等大路第三類第九號線ニ接續スルノ路線

第八號線ノ一　幅員二十五米

國香通三丁目二番地ノ二ヨリ若菜橋、二宮町ヲ經テ布引町三丁目一番地ノ二地先ニ至ルノ路線

第八號線ノ二　幅員二十五米

吾妻通三丁目四番地ノ一地先ニ於テ一等大路第一類第二號線ヨリ分岐シ東雲通三丁目ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ熊內橋通三丁目一番地ノ一地先ニ至ルノ路線

第九號線　幅員二十五米

羽坂通二丁目四番地ノ二ヨリ同四丁目ニ至リ右折シ塚本通六丁目二十番地地先ニ於テ一等大路第一類第三號線ニ接續スルノ路線

第十號線　幅員二十五米

東尻池町八丁目十番地ノ一ニ於テ都市計畫街路第十二號線ノ二ヨリ分岐シ濱添通五丁目、苅藻通六丁目、新湊川新架橋及駒榮町ヲ經テ駒ケ林町六丁目四十四番地ニ至リ一等大路第

三類第十四號線ニ接續スルノ路線

第十一號線　幅員二十五米

都市計畫街路第十一號線終點ヨリ西須磨字西町十五番地ノ三地先ニ至ルノ路線

第十二號線　幅員二十五米

仲町通三丁目三番地地先ニ於テ一等大路第一類第三號線ヨリ分岐シ多聞通五丁目三番地ノ一ニ至ルノ路線

第十三號線　幅員二十五米

入江通二丁目一番地ノ一ヨリ濱崎通二丁目六番地ノ三ニ至リ一等大路第三類第三號線ノ一ニ接續スルノ路線

第十四號線　幅員二十五米

駒ヶ林町五丁目六十一番地地先ヨリ日吉町五丁目ニ至リ國有鐵道山陽本線線路下ヲ過キ平田町二丁目ニ於テ兵庫電氣軌道線線路ヲ横切リ前池町二丁目十一番地地先ニ至ルノ路線

第十五號線　幅員二十二米

坂口通一丁目五番地地先市郡界ヨリ上筒井通一丁目十四番地地先ニ至ルノ路線

第十六號線　幅員二十二米

朝蒙通一丁目一番地地先市郡界ヨリ國香通一丁目ヲ經テ同三丁目二番地ノ一地先ニ至リ一等大路第三類第八號線ノ二ニ接續スルノ路線

第十七號線　幅員二十二米

脇濱町二丁目二番地地先市郡界ヨリ國有鐵道小野濱線線路下ヲ過キ同町二丁目七十五番地地先ニ至リ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

第十八號線　幅員二十二米

都市計畫街路第四號線終點ヨリ湊川公園西側ヲ境川市郡界ニ至ル

第十九號線　幅員二十二米

海岸通一丁目十番地地先ニ於テ一等大路第三類第三號線ノ一ヨリ分岐シ同町石屋、同町横屋、本庄村西青木、同村青木ヲ經テ同村深江字南永井百一番地精道村界ニ至ルノ路線

第二十四號線　幅員二十二米

御影町東明字二番地六十八番地先ニ於テ一等大路第三類第二十三號線ヨリ分岐シ同町石屋同町御影、住吉村住吉ヲ經住吉川下ヲ過キ魚崎町横屋、本庄村西青木、同村青木及ヒ本山村小路ヲ經テ本庄村深江字上永井十九番地ニ至リ一等大路第三類第三十四號線ニ接續スルノ路線

第二十五號線　幅員二十二米

西灘村岩屋字茶屋二百九十三番地ノ一地先ニ於テ一等大路第三類第二十六號線ヨリ分岐シ國有鐵道小野濱線線路ヲ跨キ同村森字寺ノ脇八十三番地ノ一地先ニ至リ國道二號(新國道)ニ接續スルノ路線

第二十六號線　幅員二十二米

一等大路第三類第十七號線ヨリ分岐シ同村深江字永井百五十八番地ノ九ヨリ同字池ノ下ニ至リ阪神電氣鐵道線線路下ヲ過キ同字美ノ江六番地地先精道村界ニ至ルノ路線

四、二等大路第一類

第一號線　幅員十八米

上筒井通一丁目一番地地先市郡界ヨリ上筒井通三丁目八番地ノ一地先ニ至ルノ路線

第二號線　幅員十八米

熊内橋通七丁目二番地ノ一地先ヨリ熊内橋ヲ經テ布引町一丁目四番地ノ一地先ニ至ルノ路線

第三號線　幅員十八米

中山手通三丁目五十二番地ノ一地先ニ於テ都市計畫街路第一號線ヨリ分岐シ山本通四丁目同五丁目ヲ經テ神戸港地方字西谷九十七番地ノ六地先ニ至ルノ路線

第四號線　幅員十八米

前號路線終點ヨリ楠谷町、下祇園町、石井町及夢野町ヲ經菊水町五丁目ニ於テ右折シ市營火葬場前ヲ過キ空鞘池ヲ横斷シ長田村字寺内ニ於テ左折シ長田神社東側ヲ經テ五番町七丁目八番地地先ニ至リ都市計畫街路第五號線ニ接續スルノ路線

第五號線　幅員十八米

駒ヶ林町六丁目四十四番地ニ於テ一等大路第三類第十四號線ヨリ分岐シ外濱町二丁目ヲ經

路ヲ跨キ同村原田字原ノ内六百二十五番地地先ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第二十七號線　幅員二十二米

一等大路第三類第十六號線起點ヨリ西灘村岩屋字茶屋二百九十四番地ノ一地先ニ至リ一等大路第三類第二十六號線ニ接續スルノ路線

第二十八號線　幅員二十二米

一等大路第三類第十五號線起點ヨリ西灘村原田字西ノ口ニ至リ阪神急行電鐵線線路ヲ横切リ西灘村畑原、同村鍛冶屋、同村河原ニ六甲村都賀、同村八幡、同村高羽ヲ經石屋川下ヲ過キ御影町石屋、同町御影、同町郡家、住吉村住吉、住吉川新架橋、本山村野寄、同村岡本、同村田中、同村田邊、同村小路ヲ經同村森字西畑ニ至リ右折シ國有鐵道東海道本線線路下ヲ、本庄村深江字堤ケ内ニ於テ阪神電氣鐵道線線路ヲ横切リ同村深江字師松八百九十二番地ノ一地先ニ至リ一等大路第三類第二十三號線ニ接續スルノ路線

第二十九號線　幅員二十二米

本山村森字西畑五百十八番地地先ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ同村森字岡ノ前百五十五番地精道村界ニ至ルノ路線

第三十號線　幅員二十二米

西郷町新在家字西白濱四百八十一番地ノ二地先ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第三十一號線　幅員二十二米

御影町東明字七番三百十八番地ヨリ乙女塚西側ニ沿ヒ六甲村德井字中郷ニ至リ國有鐵道東海道本線線路下ヲ横切リ同字池ノ尻二百六十六番地ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第三十二號線　幅員二十二米

御影町御影字濱中四百二十四番四百二十五番ヨリ同字字柳ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ同字城ノ前千四百三十三番地ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第三十三號線　幅員二十二米

魚崎町横屋字澤村六百四十三番地地先ヨリ同字瀬戸ニ至リ阪神電氣鐵道線線路下ヲ、本山村田中字的場ニ於テ國有鐵道東海道本線線路ヲ過キ同村岡本高石三百五十一番地ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第三十四號線　幅員二十二米

テ若宮町三丁目一番地ノ一ニ至リ都市計畫街路第十號線ニ接續スルノ路線

第六號線　幅員十八米

濱邊通四丁目五番地ノ二地先ニ於テ一等大路第三類第三號線ノ一ヨリ分岐シ磯邊通二丁目及小野柄通六丁目ヲ經旭通五丁目ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ琴緒町五丁目四番地ニ至ルノ路線

第七號線　幅員十八米

海岸通四丁目三十番地地先ニ於テ一等大路第三類第三號線ノ一ヨリ分岐シ元町四丁目一番地地先ニ至リ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第八號線　幅員十八米

塚本通六丁目二十番地地先ニ於テ一等大路第一類第三號線ヨリ分岐シ下澤通七丁目三番地ノ二地先ニ至リ都市計畫街路第五號線ニ接續スルノ路線

第九號線　幅員十八米

西須磨字東町下五番地ノ一六番地ノ三合併地地先須磨驛前ヨリ一等大路第三類第十一號線起點ニ至ルノ路線

第十號線　幅員十八米

西灘村岩屋字茶屋二百九十四番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第二十六號線ヨリ分岐シ西灘村稗田、同村森、同村河原及六甲村都賀ヲ經テ同村高羽字常盤木十七番地ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第十一號線　幅員十八米

二等大路第一類第一號線起點ヨリ西灘村上野同村畑原、同村五毛、六甲村篠原及同村八幡ヲ經同村高羽字竹丸ニ於テ右折シ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ同村德井字池ノ尻二百六十番地ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第十二號線　幅員十八米

御影町御影字城ノ前千四百三十三番地ニ於テ一等大路第三類第二十八號線ヨリ分岐シ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ住吉村住吉、住吉川新架橋及本山村野寄ヲ經同村岡本字トノニ於テ右折シ同字ウラノ山ニ於テ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ同字高石三百五十一番地ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

五、二等大路第二類

第一號線　幅員十八米

一等大路第一類第二號線起點ヨリ脇濱町三丁目ニ至リ國有鐵道小野濱線線路下ヲ過キ南本町一丁目一番地ノ一地先ニ至ルノ路線

第二號線　幅員十五米

二等大路第一類第六號線終點ヨリ北長狹通一丁目二十四番地ノ一地先ニ至ルノ路線

但シ新三宮驛裏ニ約三百平方米ノ廣場ヲ設ク

第三號線　幅員十五米

飛松町二丁目十三番地ニ於テ一等大路第三類第十四號線ヨリ分岐シ大手、月見山ヲ經テ西須磨字谷川一番地地先ニ至ルノ路線

第四號線　幅員十五米

仲町通六丁目二十六番地ノ七地先ニ於テ一等大路第一類第三號線ヨリ分岐シ福原町八十七番地公園地ニ至ルノ路線

第五號線　幅員十一米

西郷町新在家字鳥居先濱四百八十番地ノ一地先ヨリ六甲村都賀字五反田ニ至リ國有鐵道東海道本線線路下ヲ橫切リ同字東開地三百八十番地ノ一ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第六號線　幅員十五米

住吉村住吉字吉田六百四十番地地先ニ於テ國道二號(新國道)ヨリ分岐シ國有鐵道東海道線本線線路ヲ過キ同字垣内ニ至リ右折シ住吉橋本山村野寄ヲ經テ同村岡本字高石三百五十四番地ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ線路

第七號線　幅員二十七米

住吉村住吉字吉田六百三十五番地ノ五ニ於テ國道二號(新國道)ヨリ分岐シ同六百三十五番地ノ三地先住吉驛ニ至ルノ路線

第八號線　幅員十五米

魚崎町魚崎字川西七百三十二番地ノ百十三地先ヨリ同字下松原ニ至リ阪神電氣鐵道線線路ヲ橫切リ住吉村住吉字花田千四百十三番地ニ於テ國道二號(新國道)ニ接續スルノ路線

第九號線　幅員十五米

本庄村西青木字寅新田三百三十七番地地先ヨリ同村青木字八反長ニ至リ阪神電氣鐵道線線路ヲ橫切リ本山村北畑字イヨド百四十三番地ノ一地先ニ於テ國道二號(新國道)ニ接續スルノ路線

第十號線　幅員十五米

本庄村青木字桑津二百八十七番地ヨリ同字西大茶園ニ至リ阪神電氣鐵道線線路ヲ橫切リ本山村小路字一ノ坪二百四十八番地ノ一地先ニ於テ國道二號(新國道)ニ接續スルノ路線

第十一號線　幅員十五米

本庄村深江字磯島八百四十四番地ヨリ同字榮畑ニ至リ阪神電氣鐵道線線路ヲ橫切リ本山村森字丈土ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ同字棚田二百三十番地ノ一地先ニ至リ一等大路第三類第二十九號線ニ接續スルノ路線

第十二號線　幅員十五米

本庄村深江字西永井三百二十一番地ノ二地先ニ於テ一等大路第三類第二十三號線ヨリ分岐シ國道二號(舊國道)ヲ同字下永井八十五番地ノ一地先精道村界ニ至ルノ路線

六、二等大路第三類

第一號線　幅員十一米

中島町一丁目六番地地先市郡界ヨリ籠池通ヲ經テ野崎通七丁目一番地ノ一地先ニ至ルノ路線

第二號線　幅員十一米

熊內町字三十二號三百八十五番地地先ヨリ北野町ヲ經テ山本通四丁目百三十八番地地先ニ至リ二等大路第一類第三號線ニ接續スルノ路線

第三號線　幅員十一米

長田村字寺內五番地ニ於テ二等大路第一類第四號線ヨリ分岐シ鷹取山麓ヲ經テ飛松町二丁目十三番地ニ至リ一等大路第三類第十四號線ニ接續スルノ路線

第四號線　幅員十一米

二等大路第二類第三號線終點ヨリ鐵拐山麓ヲ經テ敦盛塚東側御料地ニ至リ一等大路第三類第十八號線ニ接續スルノ路線

第五號線　幅員十一米

五番町一丁目二番地地先都市計畫街路第五號線ヨリ分岐シ重池ヲ經テ長田村字筐灰十六番地ノ一地先ニ至リ二等大路第一類第四號線ニ接續スルノ路線

第六號線　幅員十一米

西灘村岩屋字島田七十六番地ノ一地先ヨリ同六十三番地ノ四ニ至リ國道二號(新國道)ニ接

菟藻通六丁目三番地地先ニ於テ一等大路第三類第十號線ヨリ分岐シ西尻池村字東濱宮有地一番地地先ニ至ルノ路線

第七號線　幅員十一米

東須磨字墓ノ南二番地ノ一地先ニ於テ都市計畫街路第十一號線ヨリ分岐シ村雨町六丁目ニ於テ國有鐵道山陽本線線路ヲ、東須磨字月見口ニ於テ兵庫電氣軌道線線路ヲ橫切リ西須磨字下流川十四番地地先ニ至リ二等大路第二類第三號線ニ接續スルノ路線

第八號線　幅員十一米

西灘村岩屋字當免三百三十八番地ノ三地先ニ於テ國道二號(新國道)ヨリ分岐シ同字庄堺ニ於テ阪神電氣鐵道線線路ヲ、同字上澤ニ於テ國有鐵道小野濱線線路ヲ橫切リ同三百八十四番地ノ一地先ニ至リ一等大路第三類第二十六號線ニ接續スルノ路線

第九號線　幅員十一米

西灘村原田字下新田四百二十八番地四百二十八番地ノ一合併ノ二地先灘驛北口ヨリ同字西ノ口ニ至リ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同三百三十一番地ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第十號線　幅員十一米

西灘村岩屋字島田七十六番地ノ一地先ヨリ同六十三番地ノ四ニ至リ國道二號(新國道)ニ接

續スルノ路線

第十一號線　幅員十一米

西灘村岩屋字島田五十六番地ノ六地先ニ於テ國道二號（新國道）ヨリ分岐シ同村味泥字下飯田ニ於テ阪神電氣鐵道線線路ヲ橫切リ同字田中ニ於テ東灘驛線路下ヲ過キ同村上野字前田ニ於テ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同觀音寺五百六十一番地ニ至リ二等大路第三類第十三號線ニ接續スルノ路線

第十二號線　幅員十一米

西灘村原田字原ノ內六百二十五番地地先ニ於テ一等大路第三類第二十八號線ヨリ分岐シ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同村上野、同村畑原ヲ經テ六甲村篠原中岡千十二番地地先ニ至リ二等大路第三類第十五號線ニ接續スルノ路線

第十三號線　幅員十一米

二等大路第三類第一號線起點ヨリ西灘村上野ヲ經テ同村五毛字弓場九十番地ノ二ニ至リ二等大路第一類第十一號線ニ接續スルノ路線

第十四號線　幅員十一米

西灘村味泥字中新濱田三百五番地ノ三地先ヨリ同村森字池ノ下ニ至リ阪神電氣鐵道線線路ヲ橫切リ同字樋ノ口ニ於テ東灘驛線路下ヲ過キ同村河原、同村鍛冶屋ヲ經同村畑原字橫田ニ於テ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同村五毛字藥師九十六番地ニ至リ二等大路第一類第十一號線ニ接續スルノ路線

第十五號線　幅員十一米

西鄉町大石字二十三番四十五番地地先郡賀川河口ヨリ右岸ニ沿ヒ同字十五番ニ至リ阪神電氣鐵道線線路ヲ橫切リ同字田中ニ於テ東灘驛線路下ヲ過キ同村上野字前田ニ於テ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同觀音寺五百六十一番地ニ至リ二等大路第三類第十三號線ニ接續スルノ路線

第十六號線　幅員十一米

六甲村八幡字櫻口一番地ノ一ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ同村德井、石屋川新架橋ヲ經テ御影町御影字柳千二百四十二番地ノ一地先ニ至リ一等大路第三類第三十二號線ニ接續スルノ路線

第二十號線　幅員十一米

六甲村高羽字住田十番地ニ於テ二等大路第一類第十一號線ヨリ分岐シ同字天神山十九番地ノ一ニ至リ二等大路第三類第二十一號線ニ接續スルノ路線

第二十一號線　幅員十一米

六甲村高羽字楠丘十一番地ニ於テ二等大路第一類第十一號線ヨリ分岐シ御影町御影、住吉村住吉ヲ經御影町郡家字宮ノ裏ニ於テ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同字千本田百二十番地ニ至リ二等大路第三類第二十六號線ニ接續スルノ路線

第二十二號線　幅員十一米

御影町御影字濱東一番合併地ノ四地先ヨリ同町郡家字下リニ至リ國有鐵道東海道本線線路ヲ橫切リ同字寺ノ前百三十七番地地先ニ至リ一等大路第三類第二十八號線ニ接續スルノ路線

第二十三號線　幅員十一米

御影町郡家字宇殿二番地ニ於テ一等大路第三類第三十二號線ヨリ分岐シ住吉村住吉字垣內二百十七番地ノ一ニ至リ二等大路第二類第六號線ニ接續スルノ路線

第二十四號線　幅員十一米

住吉村住吉字新兵衛新田九百三十一番地地先ヨリ同字前田千四十番地ノ一ニ至リ國道二號（新國道）ニ接續スルノ路線

第二十五號線　幅員十一米

住吉村住吉字垣內二百十七番地ノ一地先ニ於テ二等大路第二類第六號線ヨリ分岐シ同字牛神東ニ於テ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ同千五百八十八番地ノ二ニ至リ二等大路第一類第十二號線ニ接續スルノ路線

第二十六號線　幅員十一米

御影町郡家字寺ノ前百三十七番地地先ニ於テ一等大路第三類第二十八號線ヨリ分岐シ二等大路第三類第二十一號線終點ニ於テ右折シ住吉川新架橋ヲ經本山村野寄字住吉川東堤ニ於テ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同村岡本字松尾田九百十三番地ニ至リ二等大路第二類第十二號線ニ接續スルノ路線

第二十七號線　幅員十一米

住吉村住吉字反高林千八百七十六番地ノ六十一ニ於テ國道二號（新國道）ヨリ分岐シ住吉川右岸ニ沿ヒ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ同千八百七十六番地ノ十七ニ至リ二等大路第二類第六號線ニ接續スルノ路線

第二十八號線　幅員十一米

本山村岡中字的場二百二十七番地ニ於テ一等大路第三類第三十三號線ヨリ分岐シ同村岡本、同村田邊、同村北畑及同村小路ヲ經テ同村田邊及同村小路ヲ經テ同村中野字道西四百三十七番地ノ一ニ至リ二等大路第三類第三十二號線ニ接續スルノ路線

第二十九號線　幅員十一米

本山村岡本字ト千八番地ノ一ニ於テ二等大路第一類第十二號線ヨリ分岐シ同村北畑同村中野ヲ經テ同村森字天神百三十二番地精道村界ニ至ルノ路線

第三十號線　幅員十一米

本庄村西青木字荒木六十九番地ニ於テ一等大路第三類第二十四號線ヨリ分岐シ本山村田中字六反田ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ同村岡本字中島ニ於テ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同字榮田二百五十五番地地先ニ至リ前號路線ニ接續スルノ路線

第三十一號線　幅員十一米

本山村岡本字榮田二百三十四番地ニ於テ二等大路第三類第三十一號線ヨリ分岐シ同字藥師前千九十七番地ニ至リ二等大路第三類第三十二號線ニ接續スルノ路線

第三十五號線　幅員十一米

本山村北畑字イヨド百四十三番地ノ一地先ニ於テ國道二號（新國道）ヨリ分岐シ同村岡本字清水ニ於テ國有鐵道東海道本線線路ヲ、同村田邊字西良寄ニ於テ阪神急行電鐵線線路ヲ橫切リ同字山田二百二十六番地地先ニ至リ二等

大路第三類第三十二號線ニ接續セルノ路線
第三十六號線　幅員十一米
本山村小路字一ノ坪二百四十八番地ノ一地先ニ於テ國道二號（新國道）ヨリ分岐シ同字五反田ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ同字辻畑ニ於テ阪神急行電鐵線路ヲ横切リ同村北畑字東町四百九十番地ニ至リ二等大路第三類第三十二號線ニ接續スルノ路線
第三十七號線　幅員十一米
一等大路第三類第二十九號線起點ヨリ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ同村中野字道東三百五十番地ノ一ニ至リ二等大路第三類第三十二號線ニ接續スルノ路線
第三十八號線　幅員十一米
本庄村深江字上永井十九番地ニ於テ一等大路第三類第三十四號線ヨリ分岐シ同字美ノ江百三十五番地精道村界ニ至ルノ路線
右公告ス

京都都市計畫
（昭和二年三月二十五日　内閣總理大臣子爵若槻禮次郎）

京都都市計畫事業中設計第二ニ依リ都市計畫京都地方委員會ノ議ヲ經テ變更シタルモノ左ノ如シ
左記ノ部分ニ付別紙圖面點線ヲ實線ノ通變更ス
（圖面省略）

一、第一號線中
一　上京區田中門前町十二番地ヨリ同町所在官有地（知恩寺境内）（東側）ニ至ル及同町四十八番地ノ一ヨリ同町五十七番地ノ二（西側）ニ至ルノ部分
二　葛野郡西院村大字西院小字三藏七番地ヨリ同字一番地ノ一ニ至ル及同村同字小字淳和院五十一番地ヨリ同字四十九番地ニ至ル部分（東側）
三　葛野郡西院村大字西院小字三藏五番地ヨリ同村同字小字淳和院六十番地ニ至ル部分（西側）
二、第四號線中
一　上京區聖護院山王町二十三番地ヨリ同町二十二番地ノ一（南側）ニ至ル及聖護院山王町十五番地ヨリ同町十八番地地先（北側）ニ至ル部分
二　上京區吉田本町所在官有地（京都帝國大學敷地）（南側）ニ於ケル及田中門前町所在官有地（知恩寺境内）（東側）ニ至ル及同町四十三番地ノ一ヨリ同町五十七番地ノ二（西側）ニ至ルノ部分
三　葛野郡西院村大字西院小字三藏七番地ヨリ同字一番地ノ一ニ至ル及同村同字小字淳和院五十一番地ヨリ同字四十九番地ニ至ル部分（東側）
三　葛野郡西院村大字西院小字三藏五番地ヨリ同村同字小字淳和院六十番地ニ至ル部分（西側）
二、第四號線中
一　上京區聖護院山王町二十三番地ヨリ同町二十二番地ノ一（南側）ニ至ル及聖護院山王町十五番地ヨリ同町十八番地地先（北側）ニ至ル部分
二　葛野郡西院村大字西院小字三藏十番地ヨリ同字一番地ノ一（南側）ニ至ル及同村同字小字淳和院七番地ノ一地先ヨリ同字五十一番地（北側）ニ至ル部分
四、第十二號線中
一　下京區大宮四條下ル四條大宮町十番地ノ二ヨリ壬生賀陽御所町三番地ノ二（南側）ニ至ル及大宮錦小路下ル錦大宮町百十九番地ヨリ壬生坊城町所在官有地（北側）ニ至ル部分
二　葛野郡西院村大字西院小字三藏十番地ヨリ同字一番地ノ一（南側）ニ至ル及同村同字小字淳和院七番地ノ一地先ヨリ同字五十一番地（北側）ニ至ル部分
右公告ス

◎内務省告示第二百九十三號

（昭和二年三月二十八日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十三年七月四日内務省告示第四百二十四號東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割中第七號橋本公園ヲ削ルノ件昭和二年三月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ

◎内務省告示第二百九十四號

（昭和二年三月二十八日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十三年三月二十一日内務省告示第百三十一號東京都市計畫土地區劃整理施行區域中及大正十三年四月内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修竝運河ノ改修中左ノ通改ムルノ件昭和二年三月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ

第一　大正十三年三月二十一日内務省告示第百三十一號東京都市計畫土地區劃整理施行區域中「赤坂區一、新町二丁目、同二丁目、田町一丁目同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、溜池町ノ全部、二、新町三丁目ノ一部、面積約七〇、五〇〇坪」ヲ削リ「深川區」ノ中「濱園町」ノ下ニ「洲崎町、平久町二丁目、鹽濱町」ヲ「越中島町」ノ下ニ「彌天前河岸」ヲ加ヘ面積約「一、七九九、二五四坪」ヲ「一、七二七、一五四坪」ニ改ム

第二　大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修竝運河ノ改修ノ件街路ノ新設、改修ノ部中前項土地區劃整理施行區域ノ變更ニ伴ヒ幅員六米、八米、十一米ノ區劃整理街路ヲ左ノ通改ム

街路ノ新設、改修ノ部

番號	名稱	區域	延長（約）	幅員	
一八	芝口一丁目ヨリ虎ノ門ニ至ル	新設	一、二四五米	三三米	
四七	木場町ヨリ彌天前河岸ニ至ル	改修	七〇	三	
四八	宮本町ヨリ濱松町一丁目ニ至ル	同	四〇三	二七	

運河ノ改修ノ部

番號	名稱	區域	延長（約）	幅員（深度（零點下））	
三	大島川ノ改修ヲ左ノ通改ムル	平富町二丁目地先ヨリ久川ニ至ル	一、三〇五米	一四米	一八米
		久川ヨリ諸町地先隅田川ニ至ル		一四米	

幹線ノ街路ノ部

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一八	芝口一丁目ヨリ虎ノ門ニ至ル	一、二四五米	三三米
四七	木場町ヨリ彌天前河岸ニ至ル	七〇	三
四八	宮本町ヨリ濱松町一丁目ニ至ル	四〇三	二七

◎内務省告示第二百九十五號

（昭和二年三月二十八日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線街路第十八號路線、同第四十七號路線、同第四十八號路線及大島川ノ改修ヲ左ノ通改ムルノ件昭和二年三月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ

幹線ノ街路ノ部

路線（起終點及經過地）　延長（約）　幅員

一　芝口一丁目ヨリ虎ノ門ニ至ル　一、二四五米　三三米

二　下水排除區域ハ東京府南足立郡千住町ノ内荒川放水路以南荒川堤防以北ノ大部（第一期事業ニ屬スル區域ヲ除ク）及荒川堤外地ノ内大字千住中組ノ一部ニ於テ總面積約五十萬六千坪トス

下水排除量ハ汚水量ハ千住町荒川放水路以南ノ人口ヲ約七萬四千人ト豫想シ一人當一日平均六立方尺ヲ十二時間ニ排泄スルモノトシ雨水量ハ三十分間三十二粍五トシテ之ヲ定ム

三　下水排除方法ハ合流法ニ依リ雨水及汚水ヲ同一管渠ニ收容シ自然流下ニ依リ荒川ニ排出ス

四　下水管渠ノ構造ニ付テハ總テ暗渠式トシ排水量ノ多寡ニ應シ土管、鐵筋「コンクリート」管及「コンクリート」矩形暗渠ノ三種ヲ併用ス

五　地勢ニ依リ下水排除區域ヲ熊谷道北部排

水區、熊谷道南部排水區及荒川堤外地排水區ノ三區ニ分劃ス

各區ノ區域面積及下水道延長左ノ如シ但シ實際工事ノ情況ニ依リ多少ノ增減ヲ見ルコトアルベシ

熊谷道北部排水區

區　域　荒川放水路以南熊谷道以北

面　積　約三十一萬二千坪

下水道延長　約二萬四千九百七十三米

熊谷道南部排水區

區　域　熊谷道以南荒川堤防以北

面　積　約九萬五千坪

下水道延長　約三千五百七十一米

荒川堤外地排水區

區　域　荒川堤外地

面　積　約九萬九千坪

下水道延長　約四千八十一米

（圖面省略）

第二　前項ノ計畫ハ之ヲ都市計畫事業トシテ昭和二年度ヨリ昭和六年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

下水道事業執行年割

昭和二年度　約二割二厘

昭和三年度　約二割三厘

昭和四年度　約二割一分七厘

昭和五年度　約二割二分四厘

昭和六年度　約一割五分四厘

◎内務省告示第二百九十七號

（昭和二年三月二十八日　内務大臣　濱口雄幸）

昭和二年三月二十八日内務省告示第二百九十六號東京都市計畫干住町下水道事業ヲ執行スヘキ行政廳ハ東京府南足立郡千住町長トス

右都市計畫法施行令第三條ニ依リ指定ス

法律第十四號

（昭和二年三月二十九日）

（内閣總理大臣若槻禮次郎　内務大臣　濱口雄幸）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル不良住宅地區改良法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御　名　御　璽

不良住宅地區改良法

第一條　公共團體ハ不良住宅密集シ衛生、風紀保安等ニ關シ有害又ハ危險ノ虞アル一團地ニ付本法ニ依リ改良事業ヲ行フコトヲ得

公共團體前項ノ規定ニ依リ改良事業ヲ行フコトスルトキハ主務大臣ニ申請シテ地區ノ指定ヲ受クベシ

第二條　主務大臣特別ノ必要アリト認ムルトキハ前條ノ申請ニ依ラズシテ地區ノ指定ヲ爲シ其ノ地區ノ屬スル公共團體ニ對シ本法ニ依ル改良事業ノ施行ヲ命ズルコトヲ得

第三條　主務大臣前二條ノ規定ニ依リ地區ノ指定ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ公告スベシ

一　地區ノ區域

二　改良事業施行者

第四條　前條ノ公告アリタルトキハ事業施行者ハ一年以內ニ改良事業方法ヲ定メ主務大臣ニ認可ノ申請ヲ爲スベシ

前項ノ認可アリタルトキハ事業施行者ハ三月以內ニ事業ニ著手スベシ

事業施行者第一項ニ規定スル期間內ニ改良事業方法ノ認可申請ヲ爲サズ又ハ第二項ニ規定スル期間內ニ事業ニ著手セザルトキハ主務大臣ハ地域ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第五條　事業施行者ハ地區內居住者ヲ一時收容スルニ必要ナル設備ヲ設クベシ

特別ノ事情アルトキハ事業施行者ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ設備ヲ設ケザルコトヲ得

第六條　事業施行者ハ地區內ニ於ケル土地ノ區劃形質ノ變更、道路下水ノ施設、地上物件ノ除去其ノ他地區改良ノ爲必要ナル事業ヲ行フベシ

第七條　事業施行者ハ地區內居住者ノ居住ニ充ツベキ住宅ヲ其ノ地區內ニ建設スベシ但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ地區外ニ之ヲ建設スルコトヲ得

前項住宅ノ數ハ地區ノ指定アリタルトキ現ニ

其ノ地區內ニ居住スル者ノ世帶數ヲ下ルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　改良事業ヲ施行シタル公共團體ハ前條ノ規定ニ依リ建設シタル住宅ノ管理方法ヲ定メ監督官廳ヘ認可ヲ受クベシ

第九條　國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業施行者ニ對シ其ノ事業ノ施行ノ爲支出スル經費ノ二分ノ一以內ヲ補助ス

第十條　本法ニ依ル改良事業施行ノ爲必要アルトキハ事業施行者ハ地區內ノ土地又ハ建物其ノ他ノ工作物ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

第十一條　前條ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニシテ改良事業トシテ行フ建物ノ建設及公共ノ用ニ供セザルモノハ第六條ノ事業ノ完了後之ヲ賣却スベシ

前項ノ事業ノ完了ハ主務大臣ノ認定ヲ受クベシ

第十二條　前條ノ規定ニ依ル土地ノ賣却ハ左ニ揭グル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ競爭入札ニ依リ之ヲ行フベシ

一　改良事業施行ノ爲收用セラレタル土地ノ全部又ハ一部ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者又ハ其ノ相續人

二　改良事業施行ノ爲收用セラレタル土地ニ關シ其ノ土地收用ノ際權利ヲ有シタル者（擔保權者ヲ除ク）又ハ其ノ相續人

三　改良事業施行ノ爲收用セラレタル土地ノ上ニ存シタル建物ヲ其ノ

シタル者

前項ニ揭グル者一人ナルトキハ其ノ土地ヲ賣却スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ賣却スル土地ノ賣却ニ付テハ一般ノ競爭入札ニ關スル規定ニ依ル一時收容設備ノ爲特別ノ必要アルトキハ事業施行者ハ地區附近ノ土地又ハ建物其ノ他ノ工作物ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ使用スル土地又ハ建物其ノ他ノ工作物ハ主務大臣決定シ之ヲ公告スベシ

第十四條　本法ニ依ル改良事業施行ノ爲必要アルトキハ事業施行者ハ地區內ノ建物其ノ他ノ工作物ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命ジ又ハ其ノ土地ヲ收用シ若ハ使用スルコトヲ得

第十五條　第十條又ハ第十三條第一項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ付テハ第一條第二項若ハ第二條ノ規定ニ依ル主務大臣ノ地區ノ指定又ハ第十三條第二項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ決定ヲ以テ土地收用法第十三條第二項ノ規定ニ依ル公告ヲ以テ土地收用法第十四條ノ規定ニ依ル公告ト看做ス

第十六條　第十條又ハ第十三條第一項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ付テハ第一條第二項若ハ第二條ノ規定ニ依ル主務大臣ノ地區ノ指定又ハ第十三條第二項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ決定ヲ以テ土地收用法第十三條第二項ノ規定ニ依ル公告ヲ以テ土地收用法第十四條ノ規定ニ依ル公告ト看做ス

第十七條　第十四條ノ規定ニ依リ移轉又ハ立退ヲ命ゼラレタル者其ノ移轉又ハ立退ニ因リ損害ヲ受ケタルトキハ事業施行者ハ其ノ通常受クベキ損害ニ限リ之ヲ補償スベシ

前項ノ規定ニ依ル補償金ハ收用審查會之ヲ決定ス

第十八條　第十四條ノ規定ニ依リ行政廳ノ爲シタル處分ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十九條　第十七條第二項ノ規定ニ依ル收用審查會ノ決定ニ對シ不服アル者ノ出訴ニ付テハ土地收用法第八十二條第一項及第二項ノ規定ヲ適用ス

第二十條　公益法人ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ本法ニ依リテ改良事業ヲ行フコトヲ得

本法ハ第二條ノ規定ヲ除クノ外前項ノ認可ヲ受ケタル法人ニ之ヲ適用ス但シ第一條及第八

條ノ規定ノ適用ニ付テハ同條中公共團體トアルハ前項ノ認可ヲ受ケタル法人トス

附　則

本法施行ノ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

【參　照】明治三十三年六月二日公布法律第八十四號行政執行法抄錄

第五條　當該行政官廳ハ法令又ハ法令ニ基ツキテ爲ス處分ニ依リ命シタル行爲又ハ不行爲ヲ强制スル爲左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコト

二　强制スヘキ行爲ニシテ他人ノ爲スコト能ハサルモノナルトキ又ハ不行爲ヲ强制スヘキトキハ命令ノ規定ニ依リ二十五圓以下ノ過料ニ處スルコト

前項ノ處分ハ豫メ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得但シ急迫ノ事情アル場合ニ於テ第一號ノ處分ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

行政官廳ハ第一項ノ處分ニ依リ行爲又ハ不行爲ヲ强制スルコト能ハスト認ムルトキ又ハ急迫ノ事情アル場合ニ非サレハ直接强制ヲ爲スコトヲ得ス

第六條　第三條及第五條ノ費用及第五條ノ過料ハ國稅徵收法ノ規定ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

行政官廳ハ前項ノ徵收金ニ付國稅ニ付キ先取特權ヲ有ス

第一項ノ費用及過料ニ關スル繰替支辨收入ノ所屬其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治三十三年三月七日公布法律第二十九號土地收用法抄錄

第十二條　土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ內閣之ヲ認定ス但シ軍機ニ關スル事業ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　內閣カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業ノ種類竝起業地ヲ公告スヘシ

第八十二條第一項及第二項　收用審查會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ訴訟ハ收用審查會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得ス

法律第十五號

（昭和二年三月二十九日　內閣總理大臣若槻禮次郎　大藏大臣　片岡直溫）

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國有財產整理資金特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御　名　御　璽

復興局廳舍新營費又ハ帝都復興事業費ヲ以テ建築又ハ購入シタル國有財產ニシテ不用ニ歸シタルモノノ賣拂代金ハ帝都復興ニ要スル經費ニ充用スル爲國有財產整理資金特別會計法第二條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ一般ノ歲入ニ組入ルルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ一般ノ歲入ニ組入ルルコトヲ得ル金額ハ千九百萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【參　照】大正十一年三月二十日法律第六號國有財產整理資金特別會計法抄錄

第二條　國有財產整理資金ハ國有財產ノ整理處分ニ因ル收入及附屬雜收入ヲ以テ之ニ充ツ但シ其ノ收入ニシテ他ノ特別會計ノ歲入ニ屬スルモノ及國有林野又ハ北海道國有未開地ノ處分ニ因ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

法律第十六號

（昭和二年三月二十九日　內閣總理大臣若槻禮次郎　大藏大臣　片岡直溫）

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル土地賃貸價格調查委員會法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御　名　御　璽

土地賃貸價格調查委員會法

第一條　土地賃貸價格調查法第四條ノ規定ニ依リ同法第三條ノ區域及標準賃貸價格ヲ定ムル爲稅務署長ハ其ノ調查書ヲ作成シ之ヲ賃貸價格調查委員會ニ提出スヘシ

第二條　各稅務署所轄內ニ賃貸價格調查委員會ヲ置ク但シ稅務署所轄內ニ在ル市ニ付テハ命令ヲ以テ特ニ賃貸價格調查委員會ヲ置クコトヲ得

第三條　賃貸價格調查委員會ハ之ヲ置クヘキ區域內ノ各市町村ニ於テ地租納稅義務者ノ選擧シタル調查委員ヲ以テ之ヲ組織ス

各市町村ニ於テ選擧スヘキ調查委員ノ數ハ市ニ在リテハ十人、町村ニ在リテハ一人トス但シ市町村ノ情況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ增減スルコトヲ得

第四條　選擧期日前十五日ノ現在ニ於テ地租名寄帳ニ納稅義務者トシテ記載セラレタル個人（地租條例第十三條ノ二ノ規定ニ依ル地租ヲ徵收セラレサル者ヲ含ム）ハ當該市町村內ニ於テ調查委員ヲ選擧シ又ハ調查委員ニ選擧セラルルコトヲ得但シ左ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一　無能力者

二　破產者ニシテ復權ヲ得サルモノ

三　國稅滯納處分ヲ受ケタル後一年ヲ經サル者

四　六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者

五　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト雖モ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノモノ

法人ニシテ地租ノ納稅義務ヲ有スル者ノ場合ニ於テハ選擧ニ關スル代表者ヲ定メ當該市町村長ニ申告スヘシ

第一項但書各號ノ一ニ該當スル者ハ前項ノ規定ニ依ル法人ノ代表者タルコトヲ得ス

第五條　投票及開票ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ擔任シ其ノ他ノ選擧ニ關スル事務ハ稅務署長之ヲ擔任ス

第六條　稅務署長ハ調查委員ノ選擧期日ヲ定メ之ヲ市町村長ニ通知スヘシ

市町村長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ少クトモ選擧期日七日前ニ之ヲ公示スヘシ

前項ノ公示ニハ投票及開票ノ日時及場所ヲ記載スヘシ

第七條　調查委員ノ選擧ハ無名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選擧人ハ選擧ノ當日投票時間內ニ自ラ投票所ニ至リ被選擧人一人ノ氏名ヲ投票用紙ニ記載シテ投票スヘシ

投票用紙ハ選擧ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選擧人ニ交付スヘシ

第八條　市町村長ハ當該市町村內ニ於テ選擧資格ヲ有スル者ノ內ヨリ二人ノ立會人ヲ選任シ投票及開票ニ立會ハシムヘシ

立會人ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ手當ヲ支給ス

第九條　投票ノ効力ハ立會人ノ意見ヲ聽キ市町村長之ヲ決定スヘシ

第十條　市町村長ハ投票ヲ調查シ直ニ左ノ事項ヲ稅務署長ニ通知スヘシ

一　投票人及投票ノ數竝有效投票及無效投票ノ數

二　投票ヲ無效ト決定シタル事由

三　被選擧人ノ住所、氏名、生年月日及其ノ得票數

第十一條　稅務署長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ調查シ當選人ヲ決定スヘシ

第十二條　投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス得票數同シキトキハ年齡多キ者ヲ取ル年齡モ亦同シキトキハ稅務署長抽籤シテ之ヲ定ム

第十三條　稅務署長當選人ヲ決定シタルトキハ其ノ氏名ヲ公示シ且之ヲ當選人及市町村長ニ通知スヘシ

市町村長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ當選人

議事ハ出席員ノ多數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第二十一條　賃貸價格調査委員ニ當選シタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第二十二條　昭和二年十一月二十日迄ニ賃貸價格調査委員ヲ生シタルトキハ其ノ職ヲ失フ

第二十三條　賃貸價格調査委員會ハ稅務署長ノ通知ニ依リ之ヲ開ク其ノ開會日數ハ五十日以內トシ地方ノ情況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條　稅務署長又ハ其ノ代理官ハ賃貸價格調査委員會ノ決議終了セサルトキハ稅務署長ノ通知ニ依リ之ヲ開ク其ノ開會日數ハ五十日以內トシ地方ノ情況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條　調査委員ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ手當及旅費ヲ支給ス

第二十六條　土地賃貸價格調査委員及標準賃貸價格ヲ定メタルトキハ稅務署長ハ其ノ決議ヲ不當ト認ムルトキハ十日以內ノ期間ヲ定メ再議ニ付ス仍其ノ決議ヲ不當ト認ムルトキハ賃貸價格調査法第三條ノ區域及標準賃貸價格ヲ定ム

第二十七條　自己ノ納稅義務ヲ有スル土地ニ適用セラルヘキ標準賃貸價格ニ關シテ異議アル者ハ前條ノ縱覽期間滿了ノ日ヨリ二十日以內ニ不服ノ事由ヲ具シ稅務署長ヲ經由シテ稅務監督局長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　前條ノ申立アリタルトキハ稅務監督局長ハ之ヲ審査決定シ異議申立人ニ通知スヘシ

第二十九條　前條ノ決定ニ對シ不服アルトキハ訴願ヲ爲シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十條　賃貸價格ノ調査又ハ決議ニ從事シタル者ハ其ノ調査又ハ決議ニ關シ知リタル秘密ヲ正當ノ事由ナクシテ他ニ漏洩スルコトヲ得ス

第三十一條　町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

市制第六條ノ市ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ之ヲ適用ス

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

ノ氏名ヲ公示スヘシ

第十四條　調査委員ニ當選シタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第十五條　調査委員第四條第一項但書各條ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

第十六條　調査委員ニ缺員ヲ生シタルトキハ當選人トナラサリシ者ノ內得票數多キ者ヨリ順次之ヲ補充ス其ノ得票數同シキトキハ第十二條ノ規定ヲ準用ス

第十七條　調査委員ノ選擧ニ於テ當選人ノ數カ定數ニ達セサルトキ又ハ調査委員ニ缺員ヲ生シ前條ノ規定ニ依リ補充スヘキ者ナキトキハ補缺選擧ヲ行フ但シ賃貸價格調査委員會開會後缺員ヲ生シタル場合ニ於テハ之ヲ行ハサルコトヲ得

第十八條　賃貸價格調査委員會ハ稅務署長ノ通知ニ依リ之ヲ開ク其ノ開會日數ハ五十日以內トシ地方ノ情況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條　賃貸價格調査委員會ハ開會ノ始ニ於テ調査委員中ヨリ會長ヲ選擧スヘシ

會長事故アルトキハ出席シタル調査委員中ノ年齡多キ者會長ノ職務ヲ代理ス

第二十條　賃貸價格調査委員會ハ定員ノ過半數ニ當ル委員出席スルニ非サレハ決議スルコトヲ得ス

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【參　照】大正十五年三月三十一日公布法律第四十五號土地賃貸價格調査抄錄

第三條　土地ノ賃貸價格ハ各地目每ニ土地ノ情況類似スル區域內ニ於ケル標準賃貸價格ニ依ル

標準賃貸價格トハ前項ノ區域內ニ於ケル標準ト爲ルヘキ土地ニ付貸主カ公課、修繕費其ノ他土地ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ之ヲ賃貸スル場合ニ於テ貸主ノ收得スヘキ金額ヲ謂フ

第四條　前條ノ區域及標準賃貸價格ハ別ニ定ムル所ニ依リ賃貸價格調査委員會ノ議ニ付シ政府ニ於テ之ヲ定ム

明治十七年三月十五日公布　大政官布告第七號地租條例抄錄

第十三條ノ二　前條ノ規定ニ依リ地租ヲ納ムヘキ者（法人ヲ除ク）ノ住所地市町村及其隣接市町村內ニ於ケル田畑地價ノ合計金額其同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其田畑ノ地租ヲ徵收セス但小作ニ付シタル田畑ニ付テハ此限ニ在ラス

明治四十四年四月七日公布法律第六十八號市制抄錄

第六條　勅令ヲ以テ指定スル市ノ區ハ之ヲ法人トス其ノ財產及營造物ニ關スル事務ヲ處理ス

令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理スル區ノ廢置分合又ハ境界變更其ノ他區ノ境界ニ關シテハ前二條ノ規定ヲ準用ス但シ第四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ關係アル市會ノ意見ヲモ徵スヘシ

◎內務省告示第二百九十八號

（昭和二年三月三十一日　內務大臣　濱口雄幸）

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修竝運河ノ改修ノ件街路ノ新設改修ノ部中第四十八整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件及大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線街路第十七號路線其ノ他ノ位置ヲ改ムルノ件昭和二年三月二十九日內閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設、改修ノ部

延長（約）	新設	幅員	三米	一九、八〇三	四、三五六
			六	一〇九、一三三	八三、四四〇
			七	三七〇	二、九六六
	改修		三米	四、三五六	二四、一五九
			六	一九二、五七三	
			七	三、三三六	
	計				

◎內務省告示第二百九十九號

（昭和二年三月三十一日　內務大臣　濱口雄幸）

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修並運河ノ改修ノ件街路ノ新設改修ノ部中第四十八整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件及大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中補助線街路第十一號路線、同第百十二號路線其ノ他ノ位置ヲ改ムルノ件昭和二年三月二十九日內閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設、改修ノ部

延長（約）	新設	幅員	三米	二〇、七七〇	四、六八一
			四	一五、六七七	九、二九〇
			六	一〇九、六七三	七二、二一三
			八	一六、六八三	一〇四、〇三〇
			一一		七一、二四三
	改修		三米	四、六八一	二五、四五一
			四	九、二九〇	二四、九六七
			六	一九四、三八四	
			八	一七六、二四三	
			一一	七一、二四三	八七、九二六
	計				

◎內務省告示第三百號

（昭和二年三月三十一日　內務大臣　濱口雄幸）

大正十四年八月十一日內務省告示第百四十號東

京都市計畫東京市下水道（速成）事業執行年割中大正十五年度以降ヲ左ノ通改ムルノ件昭和二年三月二十九日内閣ノ認可ヲ得タリ

大正十五年度	約三割四分六厘
昭和元年度	約二割六分
昭和二年度	約一割四分四厘
昭和三年度	

◉内務省告示第三百一號

（昭和二年三月三十一日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中東京府知事ノ執行スヘキ街路ノ新設及擴張事業ノ執行年割中大正十五年度以降ヲ左ノ通改ムルノ件昭和二年三月二十九日内閣ノ認可ヲ得タリ

大正十五年度	街路ノ新設及擴張事業執行年度割
昭和元年度	約一割一分二厘
昭和二年度	約一割三分八厘
昭和三年度	約一割三分七厘
昭和四年度	約一割一分七厘
昭和五年度	約一割一分六厘
昭和六年度	約一割一分三厘

◉内務省告示第三百二號

（昭和二年三月三十一日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中補助線街路第十二號路線ノ延長「約一、一四三米」ヲ「約一、一九〇米」ニ改ムルノ件昭和二年三月二十九日内閣ノ認可ヲ得タリ

◉内務省告示第三百三號

（昭和二年三月三十一日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十三年七月四日内務省告示第四百二十七號横濱都市計畫土地區劃整理施行地區ニ關シ左ノ通改ムルノ件及大正十三年十二月二十九日内務省告示第七百九十八號横濱都市計畫土地區劃整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理改修中第六整理施行地區ニ關シ左ノ通改ムルノ件昭和二年三月二十九日内閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

幅員	延長		改修計畫	
	新設	改修		
四米	二、七一一米	三、一八一米	五、八九二米	
六	二五、六七九	一〇、六五一	三六、三三〇	
八	九、三九〇	一〇、五二三	一九、九一三	
一一	三、九九六	一九、二〇八	二三、二〇四	
一五	二九〇	二、一九八	二、四八八	

◉内務省告示第三百四號

（昭和二年三月三十一日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部一等大路第三類第二十號路線ノ一部ヲ圖面ノ通變更スルノ件昭和二年三月二十九日内閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

法律第四十號

（昭和二年三月三十一日　内閣總理大臣若槻禮次郎　司法大臣　江木翼）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル防火地區内借地權處理法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

防火地區内借地權處理法

第一條　本法ニ於テ借地權ト稱スルハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權及土地ノ賃借權ヲ謂フ

第二條　市街地建築物法ニ依リテ指定セラレタル甲種防火地區内ニ於テ同法第十三條ニ基ク命令ニ定メラレタル建物以外ノ建物ノ所有ヲ目的トスル借地權ヲ有スル者ガ其ノ土地ニ建物築造セントスル場合ニ於テ借地條件ノ變更ニ關シ當事者間ニ協議調ハザルトキハ裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ防火地區内借地委員會ノ意見ヲ聽キ借地權ノ殘存期間、從前ノ借地條件、土地ノ狀況、借地ニ關スル從前ノ經過等一切ノ事情ヲ斟酌シテ借地條件ノ變更其ノ他當事者間ノ衡平ヲ維持スル爲相當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得甲種防火地區外ニ亙リテ借地權ヲ有スル者其ノ境界線ヲ超エテ建物ヲ築造スルノ必要アル場合亦同ジ

前項ノ申立ハ其ノ事件ニ付先ヅ借地假家調停法ノ申立アリテ其ノ調停ノ成ラザリシ場合ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第三條　前條ノ裁判ヲ爲ス場合ニ於テ裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ相當ノ出捐其ノ他適當ノ條件ニテ借地權ノ消滅ヲ命ズルコトヲ得

第四條　本法ノ裁判ハ借地ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第五條　防火地區内借地委員會ハ五人以上ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六條　防火地區内借地委員ハ特別ノ知識經驗アル者其ノ他適當ナル者ニ就キ每年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付裁判所之ヲ指定ス

第七條　防火地區内借地委員會ノ決議ハ委員ノ過半數ノ意見ニ依ル

第八條　防火地區内借地委員會ノ評議ハ秘密トス

第九條　防火地區内借地委員ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス其ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　本法ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

第十一條　本法ノ裁判ニシテ財産上給付ヲ命ズルモノハ執行力ヲ有スル債務名義タルノ効力ヲ有ス

第十二條　本法ノ裁判ノ費用ニ付テハ民事訴訟費用法第十六條及民事訴訟用印紙法第十六條ノ規定ニ依ル

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

【參照】　大正八年四月五日公布法律第三十七號市街地建築物法抄錄

第十三條　主務大臣ハ火災豫防上必要ト認ムルトキハ防火地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル防火設備又ハ建築物ノ防火構造ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

防火地區内ニ於テハ建物ノ部分ヲ爲ス防火壁ハ土地ノ彊界線ニ接シ之ヲ設クルコトヲ得

明治二十三年八月十六日公布法律第六十四號民事訴訟費用法抄錄

第十六條　強制執行及ヒ非訟事件ニ關スル費用ハ執達吏手數料規則ニ定メタルモノヲ除ク外前數條ノ規定ヲ準用シテ之ヲ算定ス

第九條　防火地區内借地委員ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス其ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　本法ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

法律第四十一號

（昭和二年三月三十一日）

内閣總理大臣　若槻禮次郎
陸軍大臣　宇垣一成
海軍大臣　財部彪
外務大臣　男爵　幣原喜重郎
文部大臣　岡田良平

内務大臣　濱口雄幸
遞信大臣　安達謙藏
司法大臣　江木翼
大藏大臣　片岡直溫
鐵道大臣　子爵　井上匡四郎
農林大臣　町田忠治
商工大臣　藤澤幾之輔

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル國產奬勵ノ爲メ會計法ノ特例ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

國產奬勵ノ爲必要アル場合ニ於テハ政府ハ當分ノ內勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ買入ルル物品ニ付國產品タルコトヲ指定シ又ハ其ノ請負ヲ爲サシムル工事若ハ製造ノ材料ノ全部若ハ一部ニ付國產品ヲ使用スヘキコトヲ指定シテ契約ヲ爲スコトヲ得

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

名古屋都市計畫

（昭和二年四月五日　內閣總理大臣若槻禮次郎）

名古屋都市計畫事業運河新設計畫竝執行年度割左ノ通變更ノ件認可ス

一、大正十三年十一月十七日認可名古屋都市計畫事業運河新設計圖面中別紙圖面ノ通變更ス（圖面省略）

一、名古屋都市計畫事業運河新設及建築敷地造成ハ大正十三年度ヨリ昭和三年度ニ至ル五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年度割左ノ通更ム

大正十三年度　約一割九分
大正十四年度　約二割二分
大正十五年度　約一割
昭和元年度　約二割八分
昭和二年度　約二割二分
昭和三年度　約二割

右公告ス

◎內務省告示第三百十三號

（昭和二年四月六日　內務大臣濱口雄幸）

新潟都市計畫區域內ニ於ケル市街地建築物法第一條ノ規定ニ依ル地域左ノ通指定シ昭和二年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第一　商業地域ノ部

イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地

新潟市內

一　古町通一番町、同二番町、同三番町、同四番町、同五番町、同六番町、同八番町、同九番町、同十番町、同十一番町、同十二番町、同十三番町、同十四番町、同十五番町、同十六番町、同十七番町、同十八番町、同十九番町、本町通一番町、同二番町、同三番町、同四番町、同五番町、同六番町、同七番町、同八番町、同九番町、同十番町、同十一番町、同十二番町、同十三番町、同十四番町、同十五番町、同十六番町、同十七番町、同十八番町、同十九番町、同二十番町、同二十一番町、同二十二番町、同二十三番町、同二十四番町、同二十五番町、同二十六番町、同二十七番町、同二十八番町、同二十九番町、同三十番町、同三十一番町、同三十二番町、同三十三番町、同三十四番町、同三十五番町、同三十六番町、同三十七番町、同三十八番町、同三十九番町、同四十番町、同四十一番町、同四十二番町、同四十三番町、同四十四番町、同四十五番町、同四十六番町、同四十七番町、同四十八番町、同四十九番町、同五十番町、同五十一番町、同五十二番町、同五十三番町、同五十四番町、同五十五番町、同五十六番町、同五十七番町、同五十八番町、同五十九番町、同六十番町、同六十一番町、同六十二番町、同六十三番町、同六十四番町、同六十五番町、同六十六番町、同六十七番町、同六十八番町、同六十九番町、同七十番町、同七十一番町、同七十二番町、同七十三番町、同七十四番町、同七十五番町、同七十六番町、同七十七番町、同七十八番町、同七十九番町、同八十番町、同八十一番町、同八十二番町、同八十三番町、同八十四番町、同八十五番町、同八十六番町、同八十七番町、同八十八番町、同八十九番町、同九十番町、同九十一番町、同九十二番町、同九十三番町、同九十四番町、同九十五番町、同九十六番町、同九十七番町、同九十八番町、同九十九番町、同百番町、同百一番町、同百二番町、同百三番町、同百四番町、同百五番町、同百六番町、同百七番町、同百八番町、同百九番町、同百十番町、同百十一番町、同百十二番町、同百十三番町、同百十四番町、同百十五番町、同百十六番町、同百十七番町、同百十八番町、同百十九番町、同百二十番町、同百二十一番町地先ニ至ル路線ノ內都市計畫街路二等大路第二類第二號線ト交叉點ニ至ル區間

二　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地

一　都市計畫街路一等大路第三類第一號線ノ全部

二　都市計畫街路一等大路第三類第二號線ノ內新潟市內ニ於ケル區間全部

三　都市計畫街路一等大路第三類第三號線ノ全部

四　都市計畫街路一等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ山田町貳丁目三千八百六十九番地地先ニ至ル區間

五　都市計畫街路一等大路第三類第五號線ノ內壹番堀通町地先市郡境界ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉点ニ至ル區間

六　都市計畫街路一等大路第三類第七號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第九號線トノ交叉點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

七　都市計畫街路一等大路第三類第八號線ノ內起點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

八　都市計畫街路一等大路第三類第九號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

九　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內都市計畫街路二等大路第三類第四號線トノ交叉點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第七號線トノ交叉點ニ至ル區間

十　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

十一　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

十二　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

二十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

二十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

二十六　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

二十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

二十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

二十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

三十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

三十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

三十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

三十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

三十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

三十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

三十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

三十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

三十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

三十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

四十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

四十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

四十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

四十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

四十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

四十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

四十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

四十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

四十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

四十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

五十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

五十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

五十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

五十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

五十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

五十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

五十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

五十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

五十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

五十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

六十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

六十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

六十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

六十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

六十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

六十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

六十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

六十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

六十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

六十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

七十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

七十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

七十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

七十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

七十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

七十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

七十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

七十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

七十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

七十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

八十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

八十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

八十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

八十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

八十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

八十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

八十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

八十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

八十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

八十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

九十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

九十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

九十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

九十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

九十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

九十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

九十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

九十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

九十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

九十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百二十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百二十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百二十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百二十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百二十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百二十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百二十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百二十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百二十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百二十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百三十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百三十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百三十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百三十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百三十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百三十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百三十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百三十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百三十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百三十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百四十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百四十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百四十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百四十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百四十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百四十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百四十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百四十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百四十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百四十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百五十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百五十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百五十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百五十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百五十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百五十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百五十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百五十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百五十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百五十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百六十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百六十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百六十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百六十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百六十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百六十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百六十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百六十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百六十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百六十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百七十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百七十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百七十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百七十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百七十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百七十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百七十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百七十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百七十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百七十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百八十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百八十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百八十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百八十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百八十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百八十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百八十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百八十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百八十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百八十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百九十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

百九十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百九十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

百九十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

百九十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

百九十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

百九十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

百九十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

百九十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

百九十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二百二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二百三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

二百五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

二百六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

二百七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

二百八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

二百九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二百十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二百十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

二百十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

二百十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

二百十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

二百十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

二百十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百二十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百二十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二百二十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第五號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二百二十三　都市計畫街路二等大路第二類第五號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路一等大路第三類第三號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百二十四　都市計畫街路二等大路第二類第六號線ノ內新潟市內ニ在ル區間全部

二百二十五　都市計畫街路二等大路第二類第七號線ノ全部

二百二十六　都市計畫街路二等大路第二類第八號線ノ內都市計畫街路一等大路第二類第九號線トノ交叉點ヨリ終點ニ至ル區間

二百二十七　古町通九番町千四百七十一番地地先ヨリ古町通ヲ經テ古町通十三番町二千八百九番地ノ一地先ニ至ル路線

二百二十八　本町通九番町千三百三十六番地地先ヨリ本町通ヲ經テ本町通十三番町三千四十九番地ノ二地先ニ至ル路線

二百二十九　都市計畫街路二等大路第三類第四號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第二類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百三十　都市計畫街路二等大路第二類第二號線ノ內起點ヨリ都市計畫街路二等大路第三類第二號線トノ交叉點ニ至ル區間

二百三十一　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路一等大路第三類第二號線トノ交叉點ヨリ市郡境界ニ至ル區間

二百三十二　都市計畫街路二等大路第三類第二號線ノ內都市計畫街路

六丁目、附船町一丁目、山田町壹丁目、同貳丁目、字濱浦、沼垂、蒲原、長嶺ノ一部
（圖面省略）

第三　住居地域ノ部

左記區域ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部及第二工業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク

新潟市內

一　上大川前通十番町、同十一番町、同十二番町、本町通十番町、同十一番町、同十二番町、同十三番町、東堀前通十番町、同十一番町、東堀通十番町、同十一番町、同十二番町、同十三番町、古町通十番町、同十一番町、同十二番町、同十三番町、西堀通二番町、同二番町、同三番町、同四番町、同五番町、同六番町、同七番町、同八番町、同九番町、同十番町、同十一番町、關屋、學校町通壹番町、同貳番町、同三番町、白山浦一丁目同二丁目、學校裏町、醫學町通一番町、同二番町、同壹番堀通町、旭町通壹番町、同貳番町、下旭町、東中通一番町、同二番町西中町、南橫堀町、寺裏通一番町、同二番町、營所通一番町、同二番町、寄居町、西大畑町、東大畑町壹番町、同貳番町、中大畑町、南大畑町、北大畑町、南濱通一番町、同二番町、北濱通一番町、同二番町、赤坂町一丁目、南毘沙門町、北毘沙門町、本間町一丁目、同二丁目、同三丁目、相生町、芳町、見方町、曙町、橫六番町、早川町一丁目、同四丁目、同五丁目、夕榮町、橫七番町通一丁目、同二丁目、同五丁目、浮州町、元祝町壽町壹丁目、同貳丁目、豐照町、早川町三丁目、湊町通三丁目、同貳丁目、西受地町、祝町、入船町通四丁目、同五丁目、同六丁目、東受地町四ッ屋町壹丁目、附船町一丁目、同二丁目同三丁目、山田町壹丁目、同貳丁目、田中町、湊町通一ノ町、同二ノ町、西湊町通一ノ町、東湊町通一ノ町、同二ノ町、窪田町忠藏町、室町一丁目、同二丁目、蒲原、長嶺ノ全部

二　赤坂町二丁目、豐照町、早川町三丁目、湊町通三ノ町、西湊町通二ノ町、東湊町通三ノ町、橫七番町通二丁目、同三丁目、寄合町、菅根町、西船見町、字濱浦、沼垂、流作物ノ一部（圖面省略）

◉内務省告示第三百十九號

（昭和二年四月十二日　內務大臣　濱口雄幸）

大阪都市計畫第二期下水道事業竝年度割中左ノ通變更ノ件認可ス

大阪都市計畫第二期下水道事業竝年度割

第三

一　四貫島春日出排水區

下水道延長　約一萬五千五百十一間

下水管種類　「鐵筋入膠泥管」ヲ「鐵筋混凝土管」ニ改ム

二　善源寺東野田排水區

下水道延長　約二萬五千七百七十一間

下水管種類　「鐵筋入膠泥管」ヲ「鐵筋混凝土管」ニ改ム

下水管內徑　一尺以上八尺以下

排除方法　「電動卿筒機械五臺」ノ次ヲ「四百七十五馬力ヲ設備シ晴天時下水ハ汲揚後主トシテ鳴野橋下流ニ於テ寢屋川ニ排出シ降雨時下水ハ榎並川ノ一部ヲ改修シテ鯰江川ニ排出ス其ノ排水容量ハ每秒二百二十立方尺トス」ニ改ム

三　西野田排水區

イ

下水道延長　約四千二十一間

下水管種類　「鐵筋入膠泥管」ヲ「鐵筋混凝土管」ニ改ム

下水管內徑　「八寸以上」ヲ「一尺以上」ニ改ム

排除方法　「約五十馬力」ヲ「六十馬力」ニ「每秒二十立方尺」ヲ「每秒三十立方尺」ニ改ム

ロ

下水道延長　約二百二十二間

下水管種類　鐵筋混凝土管及鐵筋混凝土暗溝

下水管內徑　二尺及六尺

排除方法　「木塲川」ノ次ニ「及六軒屋川」ヲ加フ

第五　施行年度割左ノ通定ム

大正十三年度　約三割五分

大正十四年度　約四割二分

大正十五年度　約一割四分

昭和元年度　約九分

昭和二年度

右公告ス

神戶都市計畫

（昭和二年四月十三日　內閣總理大臣若槻禮次郎）

神戶都市計畫事業年度割左ノ通決定ノ件認可ス

一、神戶都市計畫街路ノ新設及擴築事業年度割ヲ左ノ通更正ス

自大正十二年度　至大正十五年度

昭和二年度　約八割八分

右公告ス

◉内務省告示第三百二十六號

（昭和二年四月二十日　內務大臣　濱口雄幸）

昭和二年勅令第三十三號ノ規定ニ依リ特殊建築物指定竝構造設備規定ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　昭和二年勅令第三十三號第一條第一號ノ規定ニ依リ左ノ建築物ヲ指定ス

一　劇場、活動寫眞館、演藝場、觀物場及之ニ類スル建物ニシテ觀客定員五百人以上ノモノ

二　集會場、公會堂及之ニ類スル建物ニシテ收容定員七百五十人以上ノモノ

三　揮發油ヲ使用スル自動車ノ車庫ニシテ其ノ室面積十五坪以上ノモノ

四　倉庫ニシテ階數二且建築面積百坪以上ノモノ

五　市街地建築物法施行令第三條第二號ロ又ハホノ物品ノ製造、貯藏又ハ處理ニ供スル建物

六　建物ニシテ其ノ一部ハ前各號ノ建物ト同種ノ用途ニ供スルモノニ付テハ其ノ部分

第二條　昭和二年勅令第三十三號第二條ノ規定ニ依リ構造設備ヲ定ムルコト左ノ如シ

市街地建築物法施行規則第三章ニ規定スル構造設備

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【參照】昭和二年三月十九日公布　勅令第三十三號

大正十二年勅令第四百十四號ノ抄錄

大阪都市計畫

（昭和二年四月十三日　內閣總理大臣若槻禮次郎）

大阪都市計畫第二期下水道事業竝年度割中左ノ通變更ノ件認可ス

大阪都市計畫第二期下水道事業竝年度割

第三

一　四貫島春日出排水區

下水道延長　約一萬五千五百十一間

下水管種類　「鐵筋入膠泥管」ヲ「鐵筋混凝土管」ニ改ム

二　善源寺東野田排水區

下水道延長　約二萬五千七百七十一間

下水管種類　「鐵筋入膠泥管」ヲ「鐵筋混凝土管」ニ改ム

下水管內徑　「八寸以上」ヲ「一尺以上」ニ改ム

排除方法　「三百四十馬力」ヲ「二百七十五馬力」ニ「每秒百二十八立方尺」ヲ「每秒百三十立方尺」ニ改ム

◉内務省告示第三百十七號

（昭和二年四月十二日　內務大臣　濱口雄幸）

東京都市計畫土地區劃整理東京市長施行地區第四地區ノ換地處分ノ決定ヲ認可セリ

建築物ノ除却期限ニ關スル件

第一條　大正十二年勅令第四百第十四號ニ規定スル建築物除却期ハ左ノ如ク之ヲ延期ス

一　劇場、集會場、旅館、工場其ノ他ノ特殊建築物ニシテ內務大臣ノ命令ヲ以テ指定スルモノニ付テハ昭和八年八月末日迄

第二條　前條ノ規定ニ依ルモノヲ除クノ外大正十二年勅令第四百十四號ノ規定ニ依リ建築シタル建築物ニシテ內務大臣ノ定ムル構造設備ヲ有スルモノハ行政官廳ノ認定ヲ受ケ昭和三年九月一日以後ニ於テモ之ヲ除却セザルコトヲ得

前項ノ建築物ニシテ內務大臣ノ定ムル構造設備ヲ有セザルモノハ昭和八年八月末日迄之ヲ除却セザルコトヲ得但シ昭和八年八月末日迄ニ其ノ構造設備ヲ有スルニ至リタルモノハ行政官廳ノ認定ヲ受ケ昭和八年九月一日以後ニ於テモ之ヲ除却セザルコトヲ得

大正九年九月三十日　勅令第四百三十八號市街地建築法施行令抄錄

第三條　建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ工業地域內ニ非サレハ之ヲ建築スル事ヲ得ス

二　左ニ揭クル事業ヲ營ム工場但シ行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危險ノ虞ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

ロ　塩素酸塩類、過塩素塩酸類、「ピクリン」酸塩類、黃燐、赤燐、硫化燐、「カリウム」、「ナトリウム」、「マグネシウム」、過酸化水素過素化「カリウム」、過酸化「バリウム」、過酸化「ナトリウム」、過酸化「コロヂウム」、硫化炭素、「エーテル」、「コロヂウム」、「アルコホール」、木精、「アセトン」、「ベンゾール」、「トルオール」、「フエノール」、「セルロイド」、「テレビン」油、硝化纖維素、石油類其ノ他之ニ類スル引火性又ハ發火性物品ノ製造

ホ　燐火ノ製造

勅令第百三十六號

（昭和二年五月二十五日　內閣總理大臣男爵田中義一　司法大臣　原嘉道）

肺防火地區內借地權處理法ノ施行期日及施行區ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

肺防火地區內借地權處理法ノ借地委員ノ旅費、日當及止宿料ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

肺防火地區內借地權處理法ニ規定スル防火地區內借地委員ノ旅費、日當及止宿料ニ付テハ大正十一年勅令第三百三十九號第三條及第四條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

【參照】大正十一年七月十二日勅令第三百三十九號借地借家調停ノ手抄錄

第三條　調停委員及借地借家調停法第十七條ノ規定ニ依リ調停ノ補助ヲ爲シタル者ノ旅費ハ一日六圓以內止宿料ハ一日八圓以內ニ於テ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル

第四條　調停委員及借地借家調停法第十七條ノ規定ニ依リ調停ノ補助ヲ爲シタル者ノ旅費ハ鐵道又ハ汽船ヲ通スル水路ニ在リテハ二等旅客運賃、運賃ノ等級ヲ二階級ニ區分スルモノニ在リテハ上級ノ運賃、其ノ等級ヲ設ケサルモノニ在リテハ其ノ乘車又ハ乘船ニ要スル運賃ニ依リ汽船ヲ通セサル水路ニ在リテハ一海里每ニ十五錢、其ノ他ニ在リテハ一里每ニ九十錢トス但シ一海里未滿又ハ一里未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

◉內務省告示第三百五十五號

（昭和二年六月二十日　內務大臣鈴木喜三郎）

東京都市計畫土地計畫土地區劃整理施行第六十三地區ノ換地處分ヲ爲シタリ

追テ同地區內ニ於テ特別都市計畫法施行令第二十八條第一項ノ規定ニ依リ補償金ノ交付ヲ受クヘキ權利ヲ有スル者ハ昭和二年六月二十一日ヨリ同二十四日迄ノ間ニ復興局東京第三出張所ニ申告ヲ爲スヘシ

◉內務省告示第三百五十六號

（昭和二年六月二十日　內務大臣鈴木喜三郎）

橫濱都市計畫土地區劃整理橫濱市長施行地區第八地區ノ換地處分ノ決定ヲ認可セリ

◉內務省告示第三百五十七號

（昭和二年六月二十日　內務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日內務省告示第四百二十七號橫濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修中第八整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件及大正十三地三月十一日內閣認可橫濱都市計畫事業及其ノ執行年割中第四號路線ノ位置ヲ改ムルノ件昭和二年六月十八日內閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設改修ノ部

幅員	延長（約）			計
	新設	改修		
米	米	米		米
四	二、九八七	三、一八一		六、一六八
六	二五、四一六	一〇、六五一		三六、〇六七
八	九、三二三	一〇、五二三		一九、八四六
一一	四、三四六	一九、一二六		二三、七二
一五	二九〇	二、二八六		二、五七六

◉內務省告示第三百五十八號

（昭和二年六月二十一日　內務大臣鈴木喜三郎）

東京都市計畫土地區劃整理施行第十二地區ノ換地處分ヲ爲シタリ

追テ同地區內ニ於テ特別都市計畫法施行令第二十八條第一項ノ規定ニ依リ補償金ノ交付ヲ受クヘキ權利ヲ有スル者ハ昭和二年六月二十一日ヨリ同二十五日迄ノ間ニ復興局東京第二出張所ニ申告ヲ爲スヘシ

金澤都市計畫

（昭和二年六月二十二日　內閣總理大臣男爵田中義一　內務大臣　鈴木喜三郎）

金澤都市計畫街路左ノ通決定ノ件認可ス

金澤都市計畫街路

第一　街路ノ新設及擴築竝ニ位置及幅員左ノ如シ

第一號線　幅員十二間

袋町五十七番地ノ三ヨリ岩根町三十番地ノ一ノ二ニ至ルノ路線

第二號線　幅員十間半

五寶町百五十六番地ノ一ヨリ岩根町十一番地ノ三ニ至リ前號路線ニ接續スルノ路線

第三號線　幅員四間

彦三六番丁一番地ノ二ニ於テ第一號線ヨリ分岐シ五寶町百四十五番地ノ十三ニ至ルノ路線

第四號線　幅員四間

桶町三十七番地ヨリ鹽屋町百九十二番地ニ至ルノ路線

但シ彦三五番丁六十九番地ノ四ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員三間トス

第五號線　幅員四間

彦三一番丁二番地ヨリ岩根町三番地ニ至ルノ路線

第六號線　幅員四間

橫安江町八十六番地ヨリ彦三一番丁七十八番地ノ二ニ至リ前號路線ニ接續スルノ路線

第七號線　幅員八間

岩根町十九番地ニ於テ第一號線ヨリ分岐シ第五號路線終點ニ至ルノ路線

第八號線　幅員三間

彦三七番丁一番地ノ一地先ニ於テ第一號線ヨリ分岐シ彦三八番丁三十一番地ニ至リ右折シ彦三七番丁四十八番地ニ至リ第二號線ニ接續スルノ路線

第九號線　幅員三間

彦三七番丁二番地ノ一ニ於テ第一號線ヨリ分岐シ同四十六番地ノ六ニ至リ第二號線ニ接續スルノ路線

第十號線　幅員三間

彦三二番丁一番地ノ一ヨリ第七號線起點ニ至ルノ路線

第十一號線　幅員三間

横安江町六十一番地ヨリ彦三五番丁六十九番地ノ七ニ至リ第一號線ニ接續スルノ路線

第二　街路ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月內務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

右公告ス

◎內務省告示第三百六十號

（昭和二年六月二十七日）
內務大臣　鈴木喜三郎

金澤都市計畫區域內ニ於ケル市街地建築物法第一條ノ規定ニ依ル地域左ノ通指定シ昭和二年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

金澤都市計畫

地域ノ部

第一　商業地域ノ部

イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地

金澤市內

一　野町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、石坂角塲一番丁、同二番丁、下小柳町、本馬町、助九郎町、石坂町、裏千日町、南石坂町、北石坂町、石坂川岸一ノ小路、同二ノ小路、片町、河原町、大工町、下柿木畠、竪町、上近江町、下近江町、上今町、下今町、尾張町、上新町、下新町、橋塲町、主計町、材木町七丁目、石浦町、南町、上松原町、下松原町、上堤町、下堤町、袋町、青草町、石屋小路、松ヶ枝町、高岡町下藪ノ內、榮町、宗叔町五番丁、上傳馬町、下傳馬町、橫傳馬町、裏傳馬町、古寺町、木倉町、南長門町、北長門町、大藪小路、安江町、橫安江町、裏安江町一番丁、同二番丁、同三番丁、巴町、笠市町、古傅指町、堀川間ノ町、東堀川町、中堀川町、淵上町、白銀町、芳齋町、七寶町、新道、弓ノ町、鍛冶町、鍛冶片原町、象眼町、田丸町、玉井町、英町、六枚町、荒町一丁目、同二丁目、同三丁目、木ノ新保一番丁、同二番丁、同三番丁、同四番丁、同五番丁、同六番丁、同七番丁、此花町、柳町、島田町、折違町、觀音町一丁目、同二丁目、本町一番丁、同二番丁、同三番丁、同四番丁、愛宕一番丁、同二番丁、同三番丁、同四番丁、御歩町一番丁、同二番丁、同三番丁、森下町、東馬塲町ノ全部

二　千日町、西側町、白菊町、五十人町、北石坂新町、廣坂通、十三間町、上柿木畠、里見町、十間町、博勞町、殿町、中町、味噌藏町下中丁、同片原町、兒玉小路、並木町、仙石町、高岡町、高岡町上藪ノ內、同中藪ノ內、長町河岸、宗叔町二番丁、同三番丁、同四番丁、玉川町、三構、犀川下川除町、寶船路町、茶木町五寶町、岩根町、西堀川町、八幡町、下裏古寺町、木倉町、南長門町、豐國町、小橋町彦三六番丁、同七番丁、同八番丁、桶町ノ一部（圖面省略）

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地

一　蛤坂町七十五番地地先ヨリ野田町ノ百八十四番地地先ニ至ルノ路線

二　府縣道金澤白峰線ノ內犀川大橋西詰ヨリ六斗廣見ヲ經地黃煎町一番地地先市郡境界ニ至ルノ區間

三　野町五丁目一番地地先ヨリ泉新町八十番地ノ一地先ヲ右折シ有松町三十六番地ノ四地先市郡境界ニ至ルノ路線

四　府縣道金澤野々市停車塲線ノ內泉町百二番地地先ヨリ同百五番地地先市郡境界ニ至ルノ區間

五　三間道十九番地地先ヨリ同百十三番地ノ一地先ニ至ルノ路線

六　五十人町三十二番地地先ヨリ新橋西詰ニ至ルノ路線

七、長町二番丁十三番地ノ二地先ヨリ同十五番地ノ二地先ヲ右折シ寶船路町一番地地先ヲ左折シ同四十五番地地先ヲ右折シテ長土塀通、三構等ヲ經折違町百十八番地ノ二地先ニ至ルノ路線

八　中橋町一番地地先ヨリ國有鐵道北陸本線ヲ橫切リ長田町八十七番地ノ一地先市郡境界ニ至ルノ路線

九　長町河岸十七番地ノ二地先ヨリ同七十八番地ノ六地先ヲ右折シ高岡町二十七番地地先ニ至ルノ路線

十　高岡町六番地地先ヨリ高岡町上藪ノ內三十二番地ノ三地先ニ至ルノ路線

十一　廣坂通百四十五番地ノ二地先ヨリ同二十五番地ノ二地先ヲ右折シ仙石町、上松原町、下松原町ヲ經十間町三十五番地ノ一地先ヲ右折シテ殿町六十七番地ノ一地先ニ至ルノ路線

十二　新堅町三丁目七十六番地地先ヨリ同二丁目ヲ經同一丁目百十番地地先ヲ左折シ主馬町廣丁十五番地地先ヲ右折シ川上新町、下富出町ヲ經テ藤棚一番地ノ三地先市郡境界ニ至ルノ路線

十三　里見町三十七番地地先ヨリ上柿木畠二十一番地ノ一地先ヲ右折シテ廣坂通七十四番地地先ニ至ルノ路線

十四　下石引町五十八番地ノ二ノ二地先ヲ左折シテ廣坂通七十四番地地先ヨリ上柿木畠二十一番地ノ一地先ヲ右折シ同二十番地地先ニ至ルノ路線

十五　中石引町十四番地地先ヨリ上百々女木町十一番地地先ヲ右折シ下鶴間町九十六番地ノ一地先ヲ右折シテ上石引町二十八番地地先ニ至ルノ路線

十六　材木町六丁目三十五番地地先ヨリ天神町一丁目一番地地先市郡境界ニ至ルノ路線

十七　梅ノ橋西詰ヨリ淺野川ニ沿ヒ鈴見橋西詰ニ至ルノ路線

十八　上胡桃町四十八番地ノ一地先ヨリ材木町三丁目四番地地先ニ至ルノ路線

十九　上胡桃町一番地地先ヨリ同十三番地ノ一地先ニ至ルノ路線

二十　味噌藏町下中丁十一番地地先ヨリ同一番地ノ四地先ヲ右折シ尻垂坂通三丁目三番地ノ一地先ヲ左折シテ上胡桃町四十八番地ノ一地先ニ至ルノ路線

二十一　博勞町七十一番地地先ヨリ大手町三十六番地ノ二ノ一地先ヲ左折シ同十二番地地先ヲ左折シテ中町十四番地地先ニ至ルノ路線

二十二　五寶町二十七番地ノ二地先ヨリ同九十四番地地先ヲ右折シ岩根町百八番地地先ヲ斜右折シテ小橋西詰ニ至ルノ路線

二十三　五寶町百七番地地先ヨリ鹽屋町二十一番地ノ一地先ニ至ルノ路線

二十四　五寶町百二十九番地地先ヨリ鹽屋町一番地ノ一地先ヲ左折シ岩根町四十三番地地先ニ至ルノ路線

二十五　七ツ屋町二十九番地地先ヨリ諸江町ヨノ九十四番地ノ一地先ヲ斜左折シ同ハノ四十番地ノ二地先市郡境界ニ至ルノ路線

二十六　小橋東詰ヨリ馬塲五番丁二十一番地ノ二地先ヲ斜左折シ中牧町八十番地ノ一地先ヲ斜右折シテ山ノ上町一丁目十二番地地先ニ至ルノ路線

二十七　馬塲一番丁一番地ノ一地先ヨリ小橋町九番地ノ一地先ニ至ルノ路線

二十八　金屋町一番地地先ヨリ山ノ上町春日町ヲ經下大樋町四十四番地ノ二地先市郡境界ニ至ルノ路線

二十九　天神橋東詰ヨリ觀音町二丁目二十八番地ノ一地先ニ至ルノ路線

六番地地先ヲ左折シ同三丁目五十三番地地先ヲ右折シ木町二番丁二十九番地ノ一地先ヲ斜右折シ下小川町十一番地地先ヲ左折シテ同八十四番地地先ニ至ルノ路線

ハ　昭和二年六月二十二日官報ヲ以テ公告セル金澤都市計畫街路中左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地

一　第一號線

二　第二號線

三　第六號線ノ內起點ヨリ第一號線ニ至ルノ區間

四　第七號線

第二　工業地域ノ部

左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク

金澤市內

一　千日町、西側町、白菊町、五十人町、裏五十人町、北石坂新町、長土塀一番丁、同二番丁、同三番丁、同四番丁、同五番丁、同六番丁、勝尾町、三社宮ノ前、同宮ノ後、同川岸、同山田町、同垣根町、三社町、古道一番丁、同二番丁、木揚場、七曲リ、三社弓ノ町、三社五十人町、一番丁、同二番丁、同三番丁、福富町、簡田町、高儀町、下高儀町、谷町西御影町、元車町、竹田町、大豆田町、大豆田新町、梅鉢清水、蔦町、元菊町、堀川角場町、七ツ屋町、西堀川町、中橋町、日吉町、大隅町、醒ケ井町、深川町、長田町、長田弓ノ町一番丁、同二番丁、同三番丁、南安江町、北安江町、諸江町割出町、三ツ屋町、三口町ノ全部

二　三樽、長町五番丁、同六番丁、富本町西馬場町、新川除町、長土塀通ノ一部（圖面省略）

第三　住居地域ノ部

左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部及第二工業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク

金澤市內

一　宗叔町二番丁、同三番丁、同四番丁、玉川町、長土塀通、三樽、穴水町一番丁、同二番丁、同三番丁、同四番丁、同五番丁、長町八番丁、淺野新町、上中島町、下中島町、梅澤町ノ全部

二　仙人町、櫻町四番丁、長町河岸、長町七番丁、淺野町、下淺野町ノ一部（圖面省略）

◉內務省告示第三百六十二號

（昭和二年六月二十九日　內務大臣　鈴木喜三郎）

廣島都市計畫區域內ニ於ケル市街地建築物法第一條ノ規定ニ依ル地域左ノ通指定シ昭和二年七月二十二日ヨリ之ヲ施行ス

廣島都市計畫

地域ノ部

第一　商業地域ノ部

イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地

一　廣島市內

一　愛宕町、猿猴橋町、比治山町、稻荷町、山口町、銀山町、東引御堂町、斜屋町、胡町、堀川町、下流川町、藥研堀、三川町、立町、東魚屋町、研屋町、平田屋町、播磨屋町、革屋町、鐵砲屋町中町、袋町、西魚屋町、猿樂町、細工町、橫町、鳥屋町、壺屋町、紙屋町、尾道町、大手町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、中島本町、天神町、材木町、元柳町、木挽町、中島新町、西引御堂町、窓輪町、鷹匠町、十日市町、西丸軒町、左官町、鍛冶屋町、油屋町、西大工町、榎町、猫屋町、西地方町、小網町、西新町、塚本町、堺町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

二　荒神町、大須賀町、字品町、的場町、京橋町、金屋町、橋本町、石見屋町、

上流川町、八丁堀、鐵砲町、幟町、下柳町、田中町、平塚町、竹屋町、新川場町、下中町、水主町、河原町、船入町、廣瀨町、天滿町、觀音町、福島町ノ一部（別紙附圖第一圖乃至第十三圖表示ノ通）

二　安佐郡內

三篠町ノ內

一　大字楠木、大字打越ノ一部（別紙附圖第十六圖表示ノ通）

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地

一　八丁堀三十四番地ノ二地先ヨリ同町一番地ノ地先ニ於テ右折シ鐵砲町五十四番地ノ地先ニ至ルノ路線

二　八丁堀三十四番地ノ二地先ヨリ京橋ヲ經テ猿猴橋西詰ニ至ルノ路線

三　金屋町百十九番地ノ一地先ヨリ的場町九十六番地ノ一地先ニ至ルノ路線

四　的場町九十六番地ノ一地先ヨリ段原町字中比治三百六十四番地ノ地先ニ至ルノ路線

五　段原町字大畑六十四番地ノ一地先ヨリ同町字比治山中組千四十七番地ノ一地先ニ於テ左折シ同町字比治山下組千六十一番地ノ一地先ニ於テ右折シ皆實町字參之割九百四十番地ノ一地先ニ至ルノ路線

六　小町二十二番地ノ一地先ヨリ竹屋橋及鶴見橋ヲ經テ段原町字比治山下組千百五十四番地ノ一地先ニ至ルノ路線

七　小町五番地ノ一地先ヨリ國泰寺町千二百十二番地ノ三地先ニ於テ斜左折シ御幸橋ヲ經テ皆實町字參之割九百四十番地ノ地先ニ至ルノ路線

八　大手町九丁目二百二十八番地ノ一地先ヨリ同町六番地地先ニ於テ斜左折シ明治橋ヲ經テ水主町三百四十九番地地先ニ於テ右折シ同町三百四十八番地地先ニ於テ斜左折シ住吉橋ヲ經テ觀音橋東詰ニ至ルノ路線

九　水主町四十四番地ノ一地先ヨリ同町三百二十八番地ノ一地先ニ至ルノ路線

十　國道二號路線ノ內天滿橋西詰ヨリ福島橋ヲ經テ已斐橋東詰ニ至ルノ路線

第二　工業地域ノ部

左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク

一　廣島市內

一　大須賀町、段原町、的場町、土手町、松川町、臺屋町、京橋町、金屋町、白島中町、白島西中町、白島東中町、白島北町、白島九軒町、東白島町、西白島町、基町、橋本町、石見屋町、上柳町、上流川町、八丁堀、鐵砲町、幟町、下柳町、

田中町、平塚町、竹屋町、南竹屋町、新川場町、下中町、大手町九丁目、國泰寺町、千田町、小町、水主町、吉島町、寺町、河原町　船入町、江波町、天滿町、觀音町ノ全部
二　尾長町、皆實町、元宇品町、廣瀨町、福島町ノ一部（別紙附圖第二圖、第三圖第十一圖、第十三圖、第二十圖表示ノ通）
二　安藝郡內
牛田村ノ全部
矢賀村ノ全部
仁保村ノ一部（別紙附圖第二十一圖ノ表示ノ通）
三　安佐郡內
三篠町ノ內
一　大字新庄、大字楠木ノ全部
二　大字打越ノ一部（別紙附圖第十四圖表示ノ通）
四　佐伯郡內
已斐町ノ內
一　字才崎谷、字東、字平原、字上堤、字才崎、新開、字中堤、字西、字田中、字橫田、字中鄉、字大歲、字土井、字影平、字高林、字大影、字濱、字石龜、字七九、字下堤、字梅屋、字關、字一本松、字天保、字戶島、字山崎新開ノ全部

◎內務省告示第三百六十三號
（昭和二年六月三十日　內務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日內務省告示第四百二十七號橫濱都市計畫土地區劃整理施行區域並土地區劃整理事業及其ノ執行年割ノ件中第一、橫濱都市計畫土地區劃整理施行區域ニ、中山下町ノ一部ヲ變更シ、面積「約一、〇〇七、〇〇〇坪」ヲ「約一、〇〇八、六〇〇坪」ニ改ムルノ件昭和二年六月二十三日內閣ノ認可ヲ得タリ

◎內務省告示第三百六十四號
（昭和二年六月三十日　內務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日內務省告示第四百二十七號橫濱都市計畫土地區劃整理施行區域ニ、中山下町ノ一部ヲ變更シ、面積「約一、〇〇七、〇〇〇坪」ヲ「約一、〇〇八、六〇〇坪」ニ改ムルノ件昭和二年六月二十三日內閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

◎內務省告示第三百六十五號
（昭和二年六月三十日　內務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修竝運河ノ改修ノ件街路ノ新設、改修ノ部中第五十三整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件、大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中補助線街路第百十六號路線、其ノ他ノ位置ヲ改ムルノ件、大正十三年七月四日內務省告示第四百二十四號東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割中第三十九號中和公園及第四十五號菊川公園ノ位置ヲ改ムルノ件昭和二年六月二十三日內閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設改修ノ部

幅員	延長（約）		計
	新設	改修	
三米	二、九五一米	一、〇七六米	四、〇二七米
四	二、五八七	三、四六九	六、〇五六
五	〇	三七七	三七七
六	二四、三五一	一〇、八三七	三五、一八八
七	〇	二三八	二三八
八	八、五二七	一〇、二五八	一八、七八五
一一	四、二四六	一八、七六二	二三、〇〇八
一五	二九〇	二、七九五	三、〇八五

幅員

幅員	延長（約）		計
	新設	改修	
三米	二、二一八米	四、六八一米	六、八九九米
四	一六、五七五	九、五三七	二六、一一二
六	一一三、七一二	八四、六四五	一九八、三五七
八	六八、三五六	一〇四、九二五	一七三、二八一
一一	一六、五一三	七〇、六五五	八七、一六八

◎內務省告示第三百六十六號
（昭和二年六月三十日　內務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修竝運河ノ改修ノ件街路ノ新設、改修ノ部中第三整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件、大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線街路第十一號路線、同第三十三號路線ヲ左ノ通改メ其ノ他ノ幹線補助線街路ノ位置ヲ改ムルノ件昭和二年六月三十日內閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設改修ノ部

幅員	延長（約）		計
	新設	改修	
六米	一一三、七七七米	八四、六四五米	一九八、四二二米
八	六八、一五六	一〇四、九二五	一七三、〇八一
一〇	—	一、一九五	一、一九五

一一	一六、五一三	七〇、四四八	八六、九六一
一五	三五三	三、八〇四	四、一五七
一六	四四九	一、五七一	二、〇二〇
一九	—	二六二	二六二
二一	—	三八	三八
二二	二九六	四三六	七三二

幹線街路ノ部

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一一	東京驛北口鐵瓶町ヨリ新常盤橋、小傳馬町一丁目ヲ經テ淺草橋ニ至ル	一、五八〇米	三乃至七米
	內譯 鐵瓶町地內 鐵瓶町ヨリ新常盤橋小傳馬町一丁目ヲ經テ淺草橋迄	一九五	二二
三三	大手町一丁目ヨリ北轉町、荒布橋、濱町一丁目ヲ經テ兩國橋西詰ニ至ル	一、三八五	二七
	但シ常盤橋附近ニ於テ本號路線ニ接續スル者アルトキハ入札期日前十五日迄ニ官報又ハ新聞紙ヲ以テ二回ノ公告ヲ爲スコトヲ要ス	二、九八〇	二二

勅令第二百二十八號
（昭和二年七月十二日　內閣總理大臣男爵田中義一　內務大臣鈴木喜三郎）

朕不良住宅地區改良法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

不良住宅地區改良法施行令

第一條　不良住宅地區改良法第七條ノ規定ニ依ル國庫補助ハ支出精算額ニ對シ之ヲ爲ス但シ寄附金其ノ他事業ニ伴フ收入アルトキハ之ヲ控除シタル額ニ對シ補助ス

第二條　不良住宅地區改良法第十二條第一項ノ規定ニ依リ土地ヲ賣却セントスルトキハ事業施行者ハ入札期日前十五日目迄ニ官報又ハ新聞紙ヲ以テ二回ノ公告ヲ爲スベシ

第三條　前條ニ規定スル通知又ハ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　競爭入札ニ付スル土地ノ番號及面積

二　契約條項ヲ示ス場所

勅令第二百二十七號
（昭和二年七月十二日　內閣總理大臣男爵田中義一　內務大臣鈴木喜三郎）

朕不良住宅地區改良法施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

不良住宅地區改良法施行期日ノ件

不良住宅地區改良法ハ昭和二年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

三 競爭入札ノ場所及日時
四 入札保證金ニ關スル事項

第四條 不良住宅地區改良法第十四條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ移轉又ハ立退ヲ爲サシムベキ日前九十日目迄ニ之ヲ爲スベシ

附 則

本令ハ昭和二年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

【參照】昭和二年三月三十日公布 法律第十四號不良住宅地區改良法抄錄

第九條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業施行者ニ對シ其ノ事業ノ施行ノ爲支出スル經費ノ二分ノ一以內ヲ補助ス

第十一條 前條ノ規定ニ依テ收用シタル土地ニシテ改良事業トシテ行フ建物ノ建設及公共ノ用ニ供セザルモノハ第六條ノ事業ノ完了後之ヲ賣却スベシ

前項ノ事業ノ完了ハ主務大臣ノ認定ヲ受クベシ

第十二條 前條ノ規定ニ依ル土地ノ賣却ハ左ニ揭グル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ競爭入札ニ依リ之ヲ行フベシ
一 改良事業施行ノ爲收用セラレタル土地ノ全部又ハ一部ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者又ハ其ノ相續人
二 改良事業施行ノ爲收用セラレル土地ニ關シ其ノ土地收用ノ際權利ヲ所有シタル者（擔保權者ヲ除ク）又ハ其ノ相續人
三 改良事業施行ノ爲收用セラレタル土地ノ上ニ存シタル建物ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者

前項ニ揭グル者一人ナルトキハ隨意契約ニ依リ賣却スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ買却スルコトヲ得ザル土地ノ賣却ニ付テハ一般ノ競爭入札ニ依ルベシ

第十四條第一項

本法ニ依ル改良事業施行ノ爲必要アリト認ムルトキハ行政廳ハ地區內ノ建物其ノ他ノ工作物ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命ジ又ハ其ノ占有者ニ對シ立退ヲ命ズルコトヲ得

◎內務省令第三十三號
（昭和二年七月十三日 內務大臣鈴木喜三郎）

不良住宅地區改良法施行規則左ノ通定ム

不良住宅地區改良法施行規則

第一條 不良住宅地區改良法第一條第二項ノ規定ニ依ル地區指定ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ
一 地區ノ指定ヲ受ケントスル區域
二 前號區域ノ狀況
三 第一號ノ區域內ニ於ケル土地收用法施行令第三條ニ揭グル土地
四 改良事業計畫

五 改良事業費及其ノ支辨方法

第二條 不良住宅地區改良法第三條及第十三條第二項ノ規定ニ依ル公告ハ官報ヲ以テ之ヲ行フ

第三條 事業ニ著手シタルトキ及事業完了シタルトキハ事業施行者ハ遲滯ナク內務大臣ニ之ヲ報告スベシ

第四條 不良住宅地區改良法第十三條第二項ノ規定ニ依ル決定ヲ申請セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ
一 使用セントスル土地ノ番號及面積
二 使用セントスル建物其ノ他ノ工作物ノ所在地番號用途構造及面積
三 使用期間

第五條 不良住宅地區改良法第十四條ノ行政廳ハ事業施行者ガ市町村ナル場合ニ在リテハ當該市町村長其ノ他ノ場合ニ在リテハ地方長官トス

第六條 公益法人不良住宅地改良法第二十條ノ規定ニ依ル認可ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ
一 資產
二 改良事業ヲ施行セントスル區域
三 改良事業費見込額及其ノ支辨方法
四 定款又ハ寄附行爲

附 則

本令ハ昭和二年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

【參照】昭和二年三月三十日公布 法律第十四號不良住宅地區改良法抄錄

第一條 公共團體ハ不良住宅密集シ衞生、風紀保安等ニ關シ有害又ハ危險ノ虞アル一團地ニ付本法ニ依リ改良事業ヲ行フコトヲ得

公共團體前項ノ規定ニ依リ改良事業ヲ行ハントスルトキハ主務大臣ニ申請シテ地區ノ指定ヲ受クベシ

第三條 主務大臣前二條ノ規定ニ依リ地區ノ指定ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ公告スベシ
一 地區ノ區域
二 改良事業施行者

第十三條 第五條ノ規定ニ依ル一時收用設備ノ爲特別ノ必要アルトキハ事業施行者ハ地區附近ノ土地又ハ建物其ノ他ノ工作物ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ使用スル土地又ハ建物其ノ他ノ工作物ハ主務大臣決定シ之ヲ公告スベシ

第十四條 本法ニ依ル改良事業施行ノ爲必要アリト認ムルトキハ行政廳ハ地區內ノ建物其ノ他ノ工作物ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命ジ又ハ其ノ占有者ニ對シ立退ヲ命ズルコトヲ得

行政執行法第五條及第六條ノ規定竝ニ之ニ基キテ發スル命令ハ行政廳ガ前項ノ規定ニ依ル命令ヲ强制スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 公益法人ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ本法ニ依リ改良事業ヲ行フコトヲ得

本法ハ第二條ノ規定ヲ除クノ外前項ノ認可ヲ受ケタル法人ニ之ヲ適用ス但シ第一條及第八條ノ規定ノ適用ニ付テハ同條中公共團體トアルハ前項ノ認可ヲ受ケタル法人トス

明治三十三年三月三十一日公布 勅令第九十九號土地收用法施行令抄錄

第三條 起業者カ內閣ノ認定ヲ受ケムトスル場合ニ於テ起業地內ニ左ニ揭ケタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添付スヘシ
一 御陵墓地及御料地
二 國有地
三 現ニ公用ニ供スル土地
四 社寺境內地
五 名所舊跡古墳墓

◎內務省告示第三百八十一號
（昭和二年七月十五日 內務大臣鈴木喜三郎）

大正十四年四月內務省告示第七十八號橫濱都市計畫土地區畫整理施行區域內內務大臣執行地區第十三地區ニ左ノ地域ヲ追加ス

橫濱市山下町ノ一部（圖面省略）

◎內務省令第三十五號
（昭和二年七月二十七日 內務大臣鈴木喜三郎）

大正十二年一月內務省令第四號東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ道路ノ新設、擴築受益負擔ニ關スル件中左ノ通改正ス

第一條中「土地區劃整理事業ニ伴フ」ノ下ニ「四谷區ニ於ケル」ヲ加フ

第七條但書中「二年」ヲ「七年」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【參照】大正十二年一月三十一日內務省令第四號抄錄

第一條 東京市ハ大正十年五月二日內閣認可東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ道路ノ新設及擴張ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ハ負擔セシムヘシ

第七條 負擔金ハ事務著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ納付セシム但シ負擔金告知ノ日ヨリ二年內ニ分納セシムルコトヲ得

◎內務省告示第三百九十四號
（昭和二年八月六日 內務大臣鈴木喜三郎）

東京都市計畫東京市水道擴張設計變更竝其ノ事業執行年限延長及年度割變更左ノ通決定スルノ件昭和二年八月二日內閣ノ認可ヲ得タリ

第一　東京都市計畫東京市水道擴張設計左ノ通改ム

東京市水道擴張設計

東京市水道擴張設計ハ水源ヲ多摩川ニ取リ貯水池式ニ依リ一日一千七百二十八萬立方尺即チ一秒時ニ二百立方尺ノ水量ヲ供給スルヲ以テ標準トス其ノ設計ノ大要左ノ如シ但シ實際工事ノ情況ニ依リ多少ノ變更ヲ見ルヘシ

羽村村山線

多摩川左岸ノ西多摩郡西多摩村大字羽（通稱羽村）ニ取入口ヲ設ケ毎秒六百立方尺ノ水量ヲ取入ルル構造ト爲シ之ヨリ開渠、暗渠、隧道ニテ同郡西多摩、福生、石畑、殿ケ谷、北多摩郡村山、大和ノ諸村ヲ經テ村山貯水池ニ至ル導水渠ヲ羽村村山線ト稱ス

本水渠ハ延長約四千七百三十間ニシテ其ノ勾配開渠ハ千分ノ一、暗渠及隧道ハ千五百分ノ一、水深前者ハ四尺後者ハ十尺送水量毎秒六百立方尺トス

村山貯水池

北多摩郡大和村大字芋窪及大和村大字清水（通稱村山）ニ各土堰堤ヲ築キ貯水池ヲ設ケ地形上一ヲ上貯水池一ヲ下貯水池ト名付ク上貯水池ハ滿水有效容積約九千七百萬立方尺ニシテ其ノ堰堤ハ高根堀敷以上八十尺池底以上七十一尺長百七十五間堤頂二十一尺トス堰堤ノ南端ニ近ク上貯水池ノ灣入セル所ニ取水塔兼餘水吐ヲ設ケ塔内ニ引入レタル水及貯水池滿水面以上ノ餘水ヲ引出隧道ニ依リ下貯水池ニ放流スルモノトス

下貯水池ハ滿水有效容積約三億四千七百萬立方尺ニシテ其ノ堰堤ハ高根堀敷以上百尺池底以上八十五尺長三百二十三間堤頂幅二十四尺トス堰堤ノ南端ニ近ク下貯水池ノ灣入セル所ニ取水塔ヲ設ケ塔内ニ引入レタル水ハ引出隧道ニ依リ村山境線導水渠ニ導キ尚取水塔ニ接近シテ餘水吐ヲ設ケ開渠ニテ下貯水池滿水面以上ノ餘水ヲ村山川ニ放流スルモノトス

山口貯水池

埼玉縣入間郡山口村大字上山口ニ堰堤ヲ築キ山口、宮寺、元狹山、東京府西多摩郡石畑及北多摩郡村山ノ各村ニ跨リテ貯水池ヲ設ケ羽村村山線終點附近ヨリ引入水路ヲ分岐シ多摩川ノ流量豐富ナルトキ同線ヲ經テ之ニ導水ス其ノ滿水有效容積約六億三千六百萬立方尺ニシテ堰堤ハ高根堀敷以上百尺池底以上九十五尺長三百八十間堤頂幅二十四尺トス堰堤ノ南端ニ近ク取水塔ヲ設ケ塔内ニ引入レタル水ハ引出隧道ニ依リ村山下貯水池ニ導水ス尚取水塔ニ接近シテ餘水吐ヲ設ケ貯水池滿水面以上ノ餘水ヲ柳瀬川ニ放流スルモノトス

村山境線

村山貯水池ヨリ隧道、暗渠等ニテ北多摩郡大和、東村山、小平、田無、保谷、武藏野ノ諸町村ヲ經テ境淨水場ニ至ル導水渠ヲ村山境線ト稱ス本水渠ハ延長六千百九十間ニシテ其ノ勾配ハ地形ニ應シ千分ノ一又ハ千二百分ノ一トシ水深前者ハ五尺六寸後者ハ六尺送水量毎秒二百五十立方尺トス

境淨水場

北多摩郡武藏野村大字關前ニ濾池ヲ設ケ村山貯水池ヨリ來ル水量ヲ濾池ノ一側ニ設クル開渠ニ導キ其一半ハ開渠及鐵管ニテ各池ニ引入レ濾過シ和田堀線鐵管ニ依リ和田堀淨水池ニ送水シ他ノ一半ハ境和田堀線暗渠ニ依リ現在代田新水路ニ送水スルモノトス濾池ノ面積ハ合計百二萬三千八百八十平方尺ニシテ之ヲ二十箇ニ分チ毎秒百立方尺ヲ濾過ス其速度毎二十四時間ニ十尺ナルヲ以テ内三箇ヲ掃除其ノ他ノ豫備ニ充ツルコトヲ得

境和田堀線

境淨水場ヨリ北多摩郡武藏野、豊多摩郡高井戸、和田堀ノ諸町村ヲ經テ和田堀淨水池及代田新水路ニ至ル導水渠ヲ境和田堀線ト稱ス本水渠ハ境淨水場ヨリ一條ノ鋼鐵管ニ依リ濾過淨水ヲ和田堀淨水池ニ送ルモノト境淨水場開渠ノ終點ニ溺堰ヲ設ケ村山貯水池ヨリ來ル未濾過水ヲ集水渠ニ溢流セシメ暗渠及開渠ニ依リ現在代田新水路ニ送ルモノトノ二トス

鋼鐵管ハ外圍ヲ「コンクリート」ニテ卷キ内面ニ「モルター」ヲ塗裝シ内徑六呎三吋延長約五千九百十六間五分ニシテ送水量毎秒百立方尺トス暗渠及開渠ハ總延長約五千五百七十間ニシテ暗渠ハ勾配六百分ノ一又ハ二千分ノ一水深前者ハ三尺六寸五分後者ハ四尺八寸開渠ハ勾配二千分ノ一水深四尺二寸送水量毎秒百二十五立方尺トス

和田堀淨水池

荏原郡世田ケ谷、松澤兩町村ニ跨リ二箇ノ淨水池ヲ設ケ境淨水場ヨリ來ル濾過淨水ヲ貯溜ス其容積各約百五十萬立方尺有效水量百九萬四千立方尺ニシテ水面ノ高零點上百九十尺トス

配水本管

和田堀淨水池ヨリ内徑六十吋ノ鐵管二條ヲ導キ成ルヘク現在敷設セル鐵管ヲ利用シ自然流下法ニ依リ赤坂、麻布、芝、京橋、日本橋ノ五區及麴町、四谷、本郷、神田、小石川、牛込各區ノ一部ニ配水スルモノトス尚新ニ新宿追分附近ヨリ内徑三十三吋ノ鐵管一條ヲ本郷、小石川兩區ノ北部ニ導キ芝給水池ヨリ内徑四十二吋ノ鐵管一條ヲ深川區ニ導キ神田區昌平橋ヨリ内徑三十三吋ノ鐵管一條ヲ淺草區ニ導キ皆現在敷設セル配水本管ニ連絡シ淀橋淨水場給水區域内ニ於ケル配水本管ノ配置ヲ整理スルモノトス

新ニ數設スヘキ本管ハ六十吋ヨリ十六吋迄ノ十一種トシ其總延長ハ約五萬五千三百三十九間トス

市内配水小管

市内公道ニシテ鐵管未設ニ屬スル部分延長凡十四萬九千三百七十六間ニ對シ鐵管ヲ敷設スルモノトス

第二　前項ノ設計ハ之ヲ都市計畫事業トシテ大正二年度ヨリ昭和九年度ニ至ル二十二箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和二年度ヨリ昭和九年度ニ至ル年度割ヲ左ノ通定ム

東京市水道擴張設計事業執行年度割

昭和二年度	約一割二分四厘
昭和三年度	約八分一厘
昭和四年度	約六分一厘
昭和五年度	約七分
昭和六年度	約四分三厘
昭和七年度	約八厘
昭和八年度	約八厘
昭和九年度	約八厘

◉内務省告示第三百九十五號

（昭和二年八月六日　内務大臣鈴木喜三郎）

東京市區改正設計公園ノ部中第七號淺草公園ノ面積「凡六萬五千五百坪」ヲ「凡五萬一千三百坪」ニ改ムルノ件昭和二年八月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

◉内務省告示第三百九十六號

（昭和二年八月六日　内務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年五月二日内務省告示第二百五號東京都市計畫中央卸賣市場築地本場及江東分場ヲ左ノ通改ムルノ件昭和二年八月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

名稱	位置	面積（約）
築地本場	京橋區築地四丁目ノ内	五萬九千坪
江東分場	本所區横網町一丁目及横網二丁目ノ内	五千四百坪

◉内務省告示第三百九十七號

（昭和二年八月六日　内務大臣鈴木喜三郎）

東京都市計畫街路ノ新設左ノ通決定スルノ件昭和二年八月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一	京橋區築地四丁目地内幹線街路第五號路線起點ヨリ尾張橋東詰ニ至ル	六五三米	一五米乃至三三米
内譯	中央卸賣市場ニ接スル區間	二九三	三三
	中央卸賣市場前ヨリ尾張橋東詰迄	三六〇	一五
二	京橋區築地四丁目地内幹線街路第二十五號路線終點ヨリ中央卸賣市場前ニ至ル	一八七	二七

◎內務省告示第四百二號

（昭和二年八月十日 內務大臣鈴木喜三郎）

橫濱都市計畫土地區劃整理施行第四地區ノ換地處分ヲ爲シタリ

追テ同地區內ニ於テ特別都市計畫法施行法令第二十八條第一項ノ規定ニ依リ補償金ノ交付ヲ受クヘキ權利ヲ有スル者ハ昭和二年八月十日ヨリ同十九日迄ノ間ニ復興局橫濱出張所ニ申告ヲ爲スヘシ

◎內務省告示第四百九號

（昭和二年八月十八日 內務大臣鈴木喜三郎）

東京都市計畫道路ノ新設改修左ノ通決定スルノ件昭和二年八月十日內閣ノ認可ヲ得タリ

東京都市計畫道路ノ新設改修ノ件左ノ通定ム

郊外ノ部

幹線放射道路

路線番號	起點	終點	經過地	延長（約）	幅員
一	荏原郡大崎町大字桐ケ谷	荏原郡矢口村矢口ノ渡東方神奈川縣界	荏原郡荏原町、大井町、馬込村、池上町、調布村	八、一三六米	二五米
二	荏原郡大崎町大字桐ケ谷	荏原郡調布村丸子渡南方神奈川縣界	荏原郡荏原町、馬込村、池上町	七、〇〇九	二五
三	荏原郡目黑町大字下目黑	荏原郡玉川村下野毛渡東方神奈川縣界	荏原郡碑衾町	七、六三〇	二五
四	荏原郡目黑町大字上目黑	荏原郡玉川村二子橋神奈川縣界	荏原郡世田谷町、駒澤町	八、一二五	二五
五	四谷區旭町	北多摩郡千歲村大字上祖師ケ谷神代村界	豐多摩郡淀橋町、代々幡町、和田堀町、高井戶村、荏原郡松澤村、但シ大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫街路一等大路第三類第十八號路線ニ屬スル區間ヲ除ク	一〇、六二九	二五
六	豐多摩郡淀橋町淀橋東詰	北豐島郡石神井村大字關北多摩郡界	豐多摩郡中野町、杉並町、井荻町	一二、八六四	二五
七	豐多摩郡戶塚町大字下戶塚郡市界	北豐島郡大泉村大字小榑北多摩郡界	豐多摩郡落合町、長崎町、野方町、北豐島郡中新井村、上練馬村、石神井村、但シ大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫街路一等大路第三類第二十二號路線及二等大路第二類第二十五號路線ニ屬スル區間ヲ除ク	一四、六九六	二五
八	北豐島郡西巢鴨町大字池袋	北豐島郡赤塚村大字成增埼玉縣界	北豐島郡板橋町、上板橋村、下練馬村、上練馬村	一〇、一二七	二五
九	北豐島郡板橋町大字下板橋	北豐島郡志村戶田橋埼玉縣界		六、六三六	二五
一〇	北豐島郡王子町大字王子	北豐島郡岩淵町大字岩淵本宿埼玉縣界		四、四三八	二五
一一	北豐島郡日暮里町大字日暮里郡市界	南足立郡舍人村大字舍人埼玉縣界	北豐島郡尾久町、南足立郡西新井村、江北村、伊興村、但シ大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫街路二等大路第二類第二十七號路線ニ屬スル區間ヲ除ク	九、三〇八	二五
一二	南足立郡南千住町大字下谷通新	南足立郡淵江村大字保木間埼玉縣界	南足立郡千住町、梅島村、但シ千住大橋南詰ヨリ千住新橋北詰ニ至ル區間ヲ除ク	一五、九六一	三〇乃至二五
內譯	北豐島郡南千住町大字下谷通新	北豐島郡南千住町大字千住南		七三七	三〇
	北豐島郡南千住町大字千住南	北豐島郡千住町千住大橋南詰		二四〇	二五
	南足立郡千住町千住新橋南詰	南足立郡淵江村大字保木間埼玉縣界	南足立郡梅島村	四、九九四	二五
一三	南葛飾郡隅田町大字善左衛門新田荒川放水路右岸	南葛飾郡金町大字金町千葉縣界	南葛飾郡本田村、龜青村、新宿町	八、一二八	二五
一四	南葛飾郡龜戶町四丁目	南葛飾郡小岩村江戶川橋千葉縣界	南葛飾郡小松川町、奥戶村、鹿本村	八、三二七	二五
一五	南葛飾郡龜戶町九丁目	南葛飾郡篠地村大字上鎌田飛地千葉縣界	南葛飾郡小松川町、松江町、瑞江村	六、五九一	二五
一六	南葛飾郡砂町大字本砂町	南葛飾郡葛西村大字長島千葉縣界		五、四六九	二五

幹線環狀道路

路線番號	起點	終點	經過地	延長（約）	幅員
六ノ一	豐多摩郡澁谷町大字下澁谷	北豐島郡板橋町大字下板橋	豐多摩郡代々幡町、淀橋町、中野町、落合町、北豐島郡長崎町	一三、八五一	三三
六ノ二	南足立郡千住町大字千住中組國道四號路線	南葛飾郡砂町大字本砂町	南葛飾郡隅田町、寺島町、吾嬬町、小松川町、龜戶町、大島町、但シ大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫街路一等大路第三類第二十一號路線及二等大路第二類第二十八號路線ニ屬スル區間ヲ除ク	八、七〇一	三三
七	荏原郡大森町字美原國道一號路線	南葛飾郡葛西村大字桑川新田	荏原郡入新井町、馬込村、池上町、碑衾町、駒澤町、世田谷町、豐多摩郡和田堀町、杉並町、野方町、北豐島郡中新井町、下練馬村、上板橋村、板橋町、志村、王子町、岩淵町、南足立郡江北村、西新井村、梅島村、花畑村、東淵江村、南葛飾郡龜青村、新宿町、奥戶村、鹿本村、松江村、瑞江村	五二、七七八	三三
八	荏原郡羽田町大字鈴木新田	北豐島郡志村大字本蓮沼	荏原郡蒲田町、矢口村、調布村、玉川村、北多摩郡砧村、荏原郡世田谷町、松澤村、北多摩郡千歲村、豐多摩郡高井戶村、井荻町、北豐島郡石神井村、上練馬村、赤塚村	三八、九〇三	三三

補助線道路

路線番號	起點	終點	經過地	延長（約）	幅員
一	荏原郡大井町字立會原	荏原郡荏原町大字中延		三、〇六九米	一五米
二	荏原郡大井町字山中	荏原郡馬込村大字馬込	荏原郡荏原町	二、六九一	一五
三	荏原郡大井町字水神下	荏原郡大井町字金子		一、五二七	一一
四	荏原郡大森町字美原	荏原郡大森町字美原國道一號路線		二五五	一一
五	荏原郡大森町字中ノ島	荏原郡池上町大字堤方		三、三八二	一一
六	荏原郡六鄕村大字八幡塚	荏原郡池上町大字雪ケ谷	荏原郡矢口村	六、六五五	一一
七	荏原郡大森町字美原	荏原郡羽田町大字羽田		三、五六四	一一
八	荏原郡大井町字山中	荏原郡矢口村平間渡北方神奈川縣界	荏原郡入新井町、池上町、調布村	七、二二五	一五
九	荏原郡荏原町大字中延	荏原郡調布村大字鵜ノ木	荏原郡馬込村、池上町	四、九八九	一五

一〇	荏原郡荏原町大字中延	荏原郡碑衾町大字碑文谷	荏原郡馬込村	二、〇〇〇	一五
一一	荏原郡池上町大字雪ヶ谷	荏原郡碑衾町大字碑文谷	荏原郡馬込村	一、六〇〇	一
一二	荏原郡玉川村大字等々力	荏原郡碑衾町大字衾		一、七四五	二
一三	荏原郡大崎町大字桐ヶ谷	荏原郡玉川村大字等々力	荏原郡荏原町、碑衾町、馬込村	六、二三六	二乃至二五
內譯	荏原郡大崎町大字桐ヶ谷	荏原郡碑衾町大字衾	荏原郡荏原町	四、四〇〇	一五
	荏原郡碑衾町大字衾	荏原郡玉川村大字等々力	荏原郡馬込村	一、八三六	二
一四	荏原郡碑衾村大字碑文谷	荏原郡世田谷町大字池尻	荏原郡目黒町、駒澤町	二、六一八	一五
一五	荏原郡碑衾町大字衾	荏原郡駒澤町大字上馬		二、一六三	二
一六	荏原郡玉川村大字等々力	荏原郡駒澤町大字新町		二、二五八	一五
一七	荏原郡玉川村大字等々力	荏原郡玉川村大字用賀		二、四〇〇	二
一八	荏原郡目黒町大字中目黒	荏原郡玉川村大字野良田	荏原郡碑衾町、駒澤町	五、九四五	一五
一九	荏原郡目黒町大字上目黒	荏原郡駒澤町大字下馬		一、三三六	二
二〇	荏原郡世田谷町大字池尻	豊多摩郡代々幡町大字幡ヶ谷	荏原郡目黒町	三、二九一	一五
二一	荏原郡駒澤町大字新町	荏原郡松澤村大字松原	荏原郡世田谷町	四、三一八	二
二二	荏原郡玉川村大字用賀	荏原郡松澤村大字松原	荏原郡駒澤町、世田谷町	四、四〇九	二
二三	荏原郡玉川村大字用賀	豊多摩郡高井戸村大字下高井戸	荏原郡世田谷町、北多摩郡千歳村、荏原郡松澤村	四、七四五	二
二四	荏原郡玉川村大字瀬田	北多摩郡千歳村大字烏山	北多摩郡砧村	七、二二八	二
二五	荏原郡世田谷町大字世田ヶ谷	北多摩郡砧村大字喜多見狛江村界	荏原郡駒澤町玉川村	五、三三七	一五乃至一八
內譯	荏原郡世田谷町大字世田ヶ谷字上町	荏原郡世田谷町大字世田ヶ谷字八幡脇	荏原郡駒澤村	三九一	一八
	荏原郡世田谷町大字世田ヶ谷字八幡脇	北多摩郡砧村大字喜多見狛江村界	荏原郡玉川村	四、八三六	一五
二六	荏原郡世田谷町大字太子堂	北多摩郡砧村大字喜多見神代村界	荏原郡駒澤町、北多摩郡千歳村	六、七四五	二乃至一八
內譯	荏原郡世田谷町大字太子堂	荏原郡世田谷町大字世田ヶ谷	荏原郡駒澤町	二、三三七	一八
	荏原郡世田谷町大字世田ヶ谷	北多摩郡千歳村大字船橋		二、一二七	一五
	北多摩郡千歳村大字船橋	北多摩郡砧村大字喜多見神代村界		二、二九一	二
二七	豊多摩郡澁谷町大字中澁谷	北多摩郡千歳村大字船橋	荏原郡目黒町、世田谷町	六、〇一〇	二乃至二五
內譯	豊多摩郡澁谷町大字中澁谷	荏原郡世田谷町大字世田ヶ谷	荏原郡目黒町	四、五五五	二五
	荏原郡世田谷町大字世田ヶ谷	北多摩郡千歳村大字船橋		一、四五四	二
二八	豊多摩郡澁谷町大字中澁谷	北多摩郡千歳村大字上祖師ヶ谷神代村界	豊多摩郡代々幡町、荏原郡世田谷町、松澤村	九、五〇五	二乃至一五
內譯	豊多摩郡澁谷町大字中澁谷	荏原郡松澤村大字赤堤	豊多摩郡代々幡町、荏原郡世田谷町	四、七九六	一五
	荏原郡松澤村大字赤堤	北多摩郡千歳村大字上祖師ヶ谷神代村界		四、七〇九	二
二九	豊多摩郡代々幡町大字幡ヶ谷	豊多摩郡中野町大字中野		二、四八二	一五
三〇	荏原郡松澤村大字松原	豊多摩郡杉並町大字馬橋	豊多摩郡和田堀町	三、三五五	二

三一	豊多摩郡高井戸村大字下高井戸	豊多摩郡杉並町大字成宗		三、五七三	二
三二	北多摩郡千歳村大字烏山	豊多摩郡井荻町大字上井草	豊多摩郡高井戸村	四、六〇九	一
三三	北豊島郡石神井村大字鷺宮字須崎北多摩郡界	北豊島郡石神井村大字關字三ッ塚		一、〇七三	二
三四	豊多摩郡淀橋町大字柏木	豊多摩郡高井戸村大字久我山北多摩郡界	豊多摩郡代々幡町、中野町、和田堀町	八、九九一	一五
三五	豊多摩郡和田堀町大字堀ノ內	豊多摩郡高井戸村大字松庵北多摩郡界	豊多摩郡杉並町	五、八六四	二
三六	豊多摩郡中野町大字中野	豊多摩郡落合町大字葛ヶ谷	豊多摩郡野方町	三、八五九	二
三七	北豊島郡中新井村大字中新井字本村	北豊島郡中新井村大字中新井字宮北		九八四	二
三八	豊多摩郡杉並町大字馬橋	北豊島郡上練馬村大字上練馬	豊多摩郡野方町、北豊島郡中新井村	四、一六一	二
三九	豊多摩郡杉並町大字成宗	北豊島郡上練馬村大字上練馬	豊多摩郡井荻町、野方町	四、七三三	二
四〇	豊多摩郡井荻町大字上井草	北豊島郡石神井村大字下石神井		四、二七六	二
四一	北豊島郡石神井村大字關	北豊島郡大泉村大字上土支田		三、一六二	二
四二	豊多摩郡淀橋町大字柏木	豊多摩郡杉並町大字高圓寺	豊多摩郡中野町	三、八七一	二
四三	豊多摩郡戸塚町大字戸塚	豊多摩郡井荻町大字上井草	豊多摩郡落合町、中野町、野方町、杉並町	八、六五八	二乃至二五
內譯	豊多摩郡戸塚町大字戸塚	豊多摩郡井荻町大字下井草	豊多摩郡落合町、中野町、野方町、杉並町	七、四七六	一五
	豊多摩郡井荻町大字下井草	豊多摩郡井荻町大字上井草		一、一八二	二
四四	豊多摩郡落合町大字下落合北豊島郡界	北豊島郡石神井村大字上石神井	北豊島郡長崎町、豊多摩郡野方町、北豊島郡中新井村、豊多摩郡井荻町	一〇、八二六	一五乃至一八
內譯	豊多摩郡落合町大字下落合北豊島郡界	豊多摩郡落合町大字下落合字伊勢原	北豊島郡長崎町	一、〇七三	一八
	豊多摩郡落合町大字下落合字伊勢原	北豊島郡石神井村大字上石神井	豊多摩郡野方町、北豊島郡中新井村、豊多摩郡井荻町	九、七五三	一五
四五	北豊島郡中新井村大字中新井	北豊島郡石神井村大字上石神井	豊多摩郡野方町	六、二二八	一五
四六	北豊島郡石神井村大字谷原	北豊島郡大泉村大字小榑北多摩郡界		四、六〇九	二
四七	豊多摩郡野方町大字江古田	北豊島郡板橋町大字下板橋	北豊島郡板橋村、長崎町	二、八一八	二
四八	北豊島郡中新井村大字中新井	北豊島郡上板橋村字七軒耕地	北豊島郡下練馬村	三、六七三	二
四九	北豊島郡上練馬村大字上練馬	北豊島郡下練馬村字田柄		三、四七三	二
五〇	北豊島郡上練馬村大字上練馬字貫井	北豊島郡上練馬村大字上練馬字田柄		三、一一五	一
五一	北豊島郡大泉村大字上土支田	北豊島郡下練馬村字田柄	北豊島郡上練馬村	五、二七三	二
五二	北豊島郡大泉村大字上土支田	北豊島郡大泉村大字橋戸		二、七〇四	二
五三	北豊島郡大泉村大字小榑字西仲置	北豊島郡大泉村大字小榑字後原北多摩郡界		二、〇三一	二
五四	北豊島郡下練馬村字宿濕化味	北豊島郡大泉村大字小榑埼玉縣界	北豊島郡上練馬村、埼玉縣足立郡白子村	八、三三三	二
五五	北豊島郡西巣鴨町大字池袋	北豊島郡下練馬村字田柄	北豊島郡長崎町、上板橋村上練馬村	七、二四七	一五
五六	北豊島郡下練馬村字田柄	北豊島郡志村大字志		三、二七三	二

五七	北豐島郡巢鴨町大字巢鴨東側	南葛飾郡龜青村大字青戸	二、六二八	一五
五八	北豐島郡志村大字志	北豐島郡岩淵町大字岩淵本宿	二、八九二	一一
五九	北豐島郡王子町大字王子	北豐島郡王子町大字上十條	二、五五四五	一八
六〇	北豐島郡瀧野川町大字田端字峽附	北豐島郡瀧野川町大字田端三百九十兒	八二〇	一一
六一	北豐島郡瀧野川町大字上中里	北豐島郡三河島町大字町屋	二、三四五	一一
六二	北豐島郡王子町大字王子	南足立郡梅島村大字梅田	五、七四五	一一
六三	北豐島郡王子町神谷橋	北豐島郡王子町大字豐島	一、三〇九	一一
六四	南足立郡江北村大字加々皿沼埼玉縣界	南足立郡舍人村、伊興村	三、六三	一一
六五	北豐島郡三河島町大字三河島	南足立郡西新井村大字本木	二、一八一	一五
六六	南足立郡千住町大字千住中組	南足立郡伊興村字梅島村	七、三〇九	二乃至一五
	內 住町大字千	南足立郡西新井村大字本木	一、三五六	
	譯 南足立郡西新井村大字本木	南足立郡伊興村	五、九七三	一一
六七	南足立郡千住町大字千住一丁目	南足立郡千住町北千住驛前	九二八	一五乃至一八
	內 南足立郡千住町大字千住一丁目	南足立郡千住町大字千住二丁目國道四號路線	四七三	一五
	譯 南足立郡千住町大字千住二丁目國道四號路線	南足立郡千住町北千住驛前	四五五	二八
六八	南葛飾郡南綾瀨村大字小谷野	南葛飾郡本田村大字四ッ木	一、五二七	一八
六九	南足立郡千住町大字千住一丁目飛地	南葛飾郡龜青村大字青戸	二、六二八	一五
七〇	南足立郡東淵江村大字大谷田	南葛飾郡金町	三、二九一	一一
七一	南足立郡淵江村大字保木間	南葛飾郡水元村大字猿ヶ又	五、一〇九	一二
七二	南足立郡千住町大字千住二丁目飛地	南足立郡花畑村大字花又埼玉縣界	五、八七三	一二
七三	北豐島郡南千住町白鬚橋西詰	南足立郡花畑村大字久左衞門新田埼玉縣界	七、六四七	一五乃至一八
	內 北豐島郡南千住町白鬚	南足立郡千住町大字千住三丁目	一、二九一	一五
	橋西詰	南足立郡花畑村大字久左衞門新田埼玉縣界	六、二五六	八
	譯 南足立郡千住町大字千住三丁目	南葛飾郡隅田町南綾瀨村、南足立郡東淵江村	三、六三	一一
七四	南葛飾郡寺島町大字寺島	南葛飾郡隅田町大字隅田	九〇九	三
七五	南葛飾郡南綾瀨村大字下千葉	南葛飾郡龜青村大字青戸	一、八一三	一一
七六	南葛飾郡南綾瀨村大字小菅	南葛飾郡新宿町字北二丁目	三、〇六四	一一
七七	南葛飾郡龜青村大字龜有	南足立郡花畑村大字六ッ木	三、三二七	一一
七八	南葛飾郡新宿町字宮田耕地	南葛飾郡水元村大字猿ヶ又埼玉縣界	三、三五七	一一
七九	木所區柳島元町柳島橋西詰	南葛飾郡龜戸町福神橋南詰	七、九	三
八〇	南葛飾郡吾嬬町大字小村井	南葛飾郡小松川町大字下牛井	一、三〇〇	一一
八一	南葛飾郡小松川町大字下平井	南葛飾郡小松川町大字逆井	一、三二七	一五
八二	南葛飾郡本田村大字東小松川	南葛飾郡龜戸村	四、七五五	一八
八三	南葛飾郡龜青村大字青戸	南葛飾郡本田村大字立石	一、四〇〇	一一
八四	南葛飾郡金町大字金町	南葛飾郡奥戸村、小岩村、鹿本村、篠崎村	七、四九一	一一
八五	南葛飾郡龜青村大字青戸	南葛飾郡金町大字柴又	南葛飾郡新宿町 三、〇五五	一一
八六	南葛飾郡本田村大字原	南葛飾郡小岩村大字中小岩	南葛飾郡鹿本村 四、二七三	一五
八七	本所區向島押上町京成橋北詰	南葛飾郡菅嬬町大字大畑	南葛飾郡寺島町 二、二四五	一一
八八	南葛飾郡松江町大字東小松川	南葛飾郡小岩村大字伊昔田	南葛飾郡鹿本村 四、四三六	一一
八九	南葛飾郡龜戸町九丁目	南葛飾郡大島町八丁目	一、三〇九	一五
九〇	南葛飾郡砂町大字又兵衞	南葛飾郡砂町大字八郎右衞門	一、四九一	一五
九一	南葛飾郡松江町大字東小松川	南葛飾郡葛西村大字下今井ノ內	三、七三七	一八
九二	南葛飾郡瑞江村大字谷河內	南葛飾郡篠崎村大字上篠田千葉縣界	二、二九一	一一
九三	南葛飾郡松江町大字東小松川	南葛飾郡瑞江村大字上今井千葉縣界	二、九一八	一一
九四	南葛飾郡大島町三丁目	南葛飾郡小松川町一丁目荒川放水路右岸	二、三五五	三
九五	南葛飾郡小松川町一丁目荒川放水路右岸	南葛飾郡松江町、瑞江村	五、七二六	一乃至八
	內 南葛飾郡小松川町日荒川放水路右岸	南葛飾郡松江村	二、三三七	八
	譯 南葛飾郡松江村大字二ノ江			
九六	南葛飾郡葛西村大字下今井ノ內	南葛飾郡瑞江村大字上篠田	三、三〇九	一一
九七	芝區白金臺町二丁目	荏原郡大崎町大字桐ヶ谷	一、七四五	一一
九八	豐多摩郡澁谷町大字下澁谷	豐多摩郡澁谷町大字澁谷廣尾町	二五五	一五
九九	豐多摩郡澁谷町天現寺橋西詰	豐多摩郡澁谷町大字下澁谷	一、二四	二五
一〇〇	麻布區笄町	豐多摩郡澁谷町大字下澁谷	一、三六三	三三
一〇一	小石川區大塚坂下町護國寺前	北豐島郡西巢鴨町	一、〇七三	一三
一〇二	小石川區上野櫻木町	北豐島郡瀧野川町	北豐島郡高田町	一三
一〇三	下谷區上野櫻木町	北豐島郡瀧野川町大字四ヶ原	池袋驛前 三、二七三	三三
一〇四	北豐島郡南千住町大字千住南常磐線	北豐島郡南千住町大字千住南宿南	四、四三六	一一
一〇五	豐多摩郡代々幡町大字代々木	豐多摩郡千駄ヶ谷町	九五〇	二五
一〇六	北豐島郡板橋町大字上十條	北豐島郡王子町大字王子	二、〇七五	二
一〇七	本所區柳島元町	澁草區橋場町	南葛飾郡吾嬬町、寺島町、本所區向島須崎町	二五
一〇八	南葛飾郡吾嬬町大字謀地	南葛飾郡吾嬬町大字小村井	九〇九	二

市內ノ部

路線番號	起點	終點	經過地	延長（約）	幅員
一	下谷區入谷町	下谷區上根岸町	下谷區坂本町二丁目	六〇〇	三
二	小石川區春日町	北豐島郡巢鴨町巢鴨南詰	小石川區指ヶ谷町、西丸町	三、九二一	一七
三	小石川區小石川町	小石川區初音町	小石川區早稻田鶴卷町	九、一六	三
四	小石川區小石川町	牛込區早稻田鶴卷町豐多摩郡界	小石川區江戸川町、牛込區新小川町二丁目、小石川區江戸川町	二、九七六	二五乃至七
內	小石川區小石川町	牛込區新小川町二丁目江戸川右岸	牛込區新小川町二丁目東五軒町	一、〇八	一七
譯	南葛飾郡瑞江村大字上篠田	牛込區早稻田鶴卷町豐多摩郡界	牛込區東五軒町	一、九〇九	二五

五　小石川區西青柳町　小石川區高田豊川町　小石川區雜司ヶ谷町　七七　三
六　小石川區音羽町九丁目　小石川區關口臺町　小石川區關口町　四八二　八
七　牛込區辨天町　牛込區馬場下町　牛込區早稻田南町　七七三　三
八　牛込區辨天町　四谷區傳馬町三丁目　牛込區市谷柳町、四谷區荒木町　一、九六四　三
九　麴町區土手三番町　豐多摩郡淀橋町大字柏木　牛込區市谷本村町、四谷區片町、花園町、三光町　三、七二二　三五
一〇　芝區神谷町　荏原郡大崎町目黑驛前　麻布區飯倉町三丁目、芝區赤羽町、三田北寺町、三田松坂町、白金臺町二丁目　四、四五五　三五乃至七七

一三　芝區芝浦町一丁目　麻布區四ノ橋北詰　芝區芝浦町三丁目、本芝四丁目、三田四國町、三田四丁目、麻布區新堀町　二、三三　二五乃至三六
一四　下谷區池ノ端七軒町　下谷區池ノ端七軒町、本郷區駒込千駄木町、下谷區谷中初音町三丁目豐島郡界　本郷區駒込千駄木町、下谷區谷中初音町四丁目　二、〇〇〇　三乃至三五
一五　芝區濱松町一丁目　芝區芝浦町二丁目　芝區日出町　一、八五五　二七
一六　芝區白金三光町　荏原郡大崎町大字上大崎　芝區白金臺町　一、一四〇　三三

一一　芝區三田三丁目　芝區三田臺町一丁目、二本榎町一丁目、二本榎西町　二、三七七　二五
一二　芝區高輪南町品川驛前　豐多摩郡澁谷町天現寺橋西詰　芝區白金臺町二丁目、白金今里町、白金猿町　二、八九一　三三

◎内務省告示第四百十號

（昭和二年八月十八日　内務大臣鈴木喜三郎）

東京都市計畫道路ノ新設、改修事業及其ノ執行年割左ノ通決定スルノ件昭和二年八月十日内閣ノ認可ヲ得タリ

第一　昭和二年八月十八日内務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設、改修事業ヲ執行スヘキ行政廳ハ東京府知事トス

右都市計畫法施行令第三條ニ依リ指定ス

◎内務省告示第四百十一號

（昭和二年八月十八日　内務大臣鈴木喜三郎）

昭昭二年八月十八日内務省告示第四百十號東京都市計畫道路ノ新設、改修事業ヲ執行スヘキ行政廳ハ東京府知事トス

右都市計畫法施行令第三條ニ依リ指定ス

◎内務省告示第四百十二號

（昭和二年八月十八日　内務大臣鈴木喜三郎）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中左ノ通變更スルノ件昭和二年八月十日内閣ノ認可ヲ得タリ

東京都市計畫事業街路ノ部

二等大路第二類第三十一號路線ヲ削ル

二等大路第二類第三十四號路線ヲ左ノ通改ム

一等大路第三類第二十三　幅員十二間

大森町字千代田二千七百六十三番地地先國道ヨリ同町字中田、羽田町大字麵谷ヲ貫キ大鳥居西ニ於テ京濱電車線路ヲ横切リ同町大字羽田字前耕地千百七十四番地ニ至ルノ路線

第四十四號路線中起點ヨリ豐多摩郡落合町大字落合ニ至ル區間　約一割六分六厘

第六十號路線　約一割六分六厘

第六十五號路線　約一割六分六厘

第六十七號路線中南足立郡千住町國道四號路線ヨリ終點ニ至ル區間　約一割六分六厘

第六十八號路線　昭和九年度

第七十四號路線　昭和十年度

第八十二號路線　約一割六分六厘

第八十六號路線　昭和十一年度

第九十一號路線中南葛飾郡松江村大字東小松川地内　約一割六分六厘

第九十三號路線中起點ヨリ南葛飾郡瑞江村大字上今井江戸川堤防ニ至ル區間　約一割六分六厘

第九十八號路線　昭和十一年度

第二　前項ノ事業ハ昭和二年度ヨリ昭和十一年度迄十箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

道路ノ新設、改修事業執行年割

昭和二年度　約一分八厘
昭和三年度　約三分八厘
昭和四年度　約三分八厘
昭和五年度　約三分八厘
昭和六年度　約三分八厘
昭和七年度　約一割六分六厘
昭和八年度　約一割六分六厘

二等大路第三類第十號…線ヲ左ノ通改ム

二等大路第三類第十幅員六間

下谷區谷中茶屋町五番地地先ヨリ本郷區駒込坂下町四番地地先電車通ニ至ルノ路線

◉内務省告示第四百十三號

（昭和二年八月十八日　内務大臣鈴木喜三郎）

大正十年十二月内務省告示第二百四十五號東京都市計畫事業ヲ執行スル行政廳指定ノ件中左ノ通變更ス

東京都市計畫事業街路ノ部

二等大路第二類第三十四號路線ヲ左ノ通改ム

一等大路第三類第二十三

大森町字千代田二千七百六十三番地地先國道第一號路線ヨリ同町字中田、羽田町大字麵谷ヲ貫キ大鳥居西ニ於テ京濱電車線路ヲ横切リ同町大字羽田字前耕地千百七十四番地ニ至ルノ路線

◉内務省告示第四百五十七號

（昭和二年十月十五日　内務大臣鈴木喜三郎）

横濱都市計畫土地區劃整理横濱市長施行第六地區ノ換地處分ノ決定ヲ認可セリ

◉内務省告示第四百五十九號

（昭和二年十月十八日　内務大臣鈴木喜三郎）

岐阜都市計畫區域内ニ於ケル市街地建築物法第一條ノ規定ニ依ル地域左ノ通指定シ昭和二年十一月十五日ヨリ施行ス

岐阜都市計畫

地域ノ部

第一　商業地域ノ部

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地

一　岐阜市内

一　末廣町、靱屋町、上竹屋町、中竹屋町、米屋町、新櫻町、伊奈波通二丁目同三丁目、萬力町、間之町、大和町、松屋町、白木町、榮町ノ扇町、常盤町、笹土居町、上竹町、司町、岩根町、七軒町、下竹町、室町、上太田町、今小町、玉森町、玉宮町一丁目、同二丁目、住田町、一番町、東住田町、二番町、三番町、北吉町、吉津町一丁目、同二丁目、同三丁目、美殿町、霞町、中吉町、長旗町一丁目、同二丁目、元町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、縣町、清住町一丁目同二丁目、同三丁目、住ノ江町一丁目同二丁目、長住町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、高砂町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、駒爪町二丁目、同三丁目、同四丁目、御室町、美浪町、鷹見町、明德町、海老町、杉山町、八ツ寺町一丁目同二丁目、北八ツ寺町、江川町、住吉町、彌八町、銀町、金町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目同六丁目、同七丁目、同八丁目、大正町、榮枝町、花吹町、仲之町、大富町、大門通、雲雀町、柳ケ瀨町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、彌生町、小柳町、日ノ出町、神室町一丁目、同二丁目、同三丁目、千歳町、徹明町一丁目、同二丁目、蕪城町、玉姫町、金岡町、八幡町、金寶町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、玉姓町、羽根町、玉森町、玉宮町一丁目、同二丁目、住田町、一番町、東住田町、二番町、三番町、北吉町、吉津町一丁目、同二丁目、同三丁目、美殿町、霞町、中吉町、長旗町一丁目、同二丁目、元町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同六丁目、同七丁目、同十丁目、縣町、清住町一丁目同二丁目、同三丁目、住ノ江町一丁目同二丁目、長住町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、高砂町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、幸ノ町一丁目、同二丁目、溝旗町一丁目、同二丁目、清田町、天王町、本郷町一丁目、吉野町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、金園町一丁目、同二丁目、同三丁目、金龍町一丁目、同二丁目、安良田町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目高野町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、殿町一丁目、同二丁目、海老河戸、八ッ梅、松葉町ノ全部

二　本町一丁目、同二丁目、同三丁目、矢島町一丁目、同二丁目、泉町、伊吹町一丁目、西野町一丁目、佐久間町、今川町二丁目、菅原町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、本郷、本郷町二丁目、春日町一丁目、高野、神室町四丁目、神室、大寶町、大寶寺、高野町七丁目、同八丁目、吉野町六丁目、橋本町一丁目、伊奈波通一丁目、大門町、初音町、金屋横町、柳澤町、多賀町、駒爪町一丁目、粕森町、寺町、金園町四丁目、高森町一丁目、同二丁目、同三丁目、金龍町三丁目、粟矢田町、白山町一丁目、田生越、安良田町五丁目、同六丁目、松鴻ノ一部（附圖第一圖乃至第十二圖表示ノ通）

二　稻葉郡内

一　加納町東加納、同西加納、同下加納ノ一部（附圖第十三圖表示ノ通）

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地

一　矢島町一丁目四十番地地先ヨリ柳生町二十三番地地先ニ至ルノ路線

二　本町一丁目六番地地先ヨリ東材木町八番地地先ニ至ルノ路線

三　東材木町八番地ノ一地先ヨリ元濱町三十七番地地先ニ至リ斜右折シ港町五十二番地地先ニ至リ斜右折シ港町四百二十一番地ノ一地先ニ至リ右折シ大宮町二丁目八百十一番地地先ニ至ルノ路線

四　大寶町三千八百十一番地地先ニ至ルノ路線（岐阜都市計畫街路三等大路第二類第二號線（本莊野一色線）以北ヨリ忠節町五丁目三百七番地ノ二地先ニ至ルノ路線

ハ　岐阜都市計畫街路ノ部中左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地

一　一等大路第三類第十一號線（岩戸前線）ノ内起點ヨリ八頭千七十三番地ニ至ルノ區間

一〇　一等大路第三類第十二號線（北一色切通線）ノ内起點ヨリ二等大路第二類第二號線（本莊野一色線）ニ至ル區間

三　一等大路第三類第三號線（千壽堂本莊線）ノ内起點ヨリ本莊村三百三十三番地ニ至ル區間

四　一等大路第三類第四號線（岐阜笠松線）ノ内起點ヨリ二等大路第二類第二號線（本莊野一色線）ニ至ル區間

五　一等大路第三類第五號線（美江寺三里線）ノ内京町二丁目五番地ヨリ一等大路第三類第三號線（千壽堂本莊線）ニ至ル區間

六　一等大路第三類第八號線（加納森屋線）ノ内加納町西加納百七番地ノ七ヨリ一等大路第三類第九號線（岐阜驛下加納線）ニ至ル區間

七　一等大路第三類第九號線（岐阜驛下加納線）ノ内加納町東加納百十八番地ノ一ヨリ終點ニ至ル區間

八　一等大路第三類第十號線（厚見三里線）ノ内加納町下加納千七百五番地ヨリ加納町下加納九百七十六番地ニ至ル區間

九　一等大路第三類第十一號線（岩戸前線）ノ内起點ヨリ八頭千七十三番地ニ至ルノ區間

一〇　一等大路第三類第十二號線（北一色切通線）ノ内起點ヨリ二等大路第二類第二號線（本莊野一色線）ニ至ル區間

一一　二等大路第三類第二號線（本莊野一色線）ノ內北長森村大字北一色千四百三番地ヨリ終點ニ至ル區間

一二　二等大路第二類第六號線（美江寺忠節線）ノ內西野町一丁目三番地ヨリ終點ニ至ル區間

一三　二等大路第二類第七號線（忠節町線）

一四　二等大路第二類第八號線（福光堀田線）ノ內起點ヨリ長良村大字長良八百七十七番地ノ二ニ至ル區間

一五　二等大路第三類第一號線（金津島田線）ノ內高野六百四十六番地ヨリ本莊村八百六十八番地ニ至ル區間

一六　二等大路第三類第四號線（鵜飼屋高見線）

一七　二等大路第三類第五號線（長良太田線）

岐阜都市計畫街路ノ部中左記道路ノ片側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地

一　一等大路第三類第三號線（千壽堂本莊線）ノ內本莊村三百三十三番地ヨリ同九百九十六番地地先ニ至ル區間ノ北側

二　一等大路第三類第五號線（美江寺三里線）ノ內本莊村三百三十三番地ヨリ二等大路第二類第二號線（本莊野一色線）ニ至ル區間ノ東側

三　一等大路第三類第八號線（加納森屋線）ノ內加納町東加納百十八番地ノ一ヨリ同二百三十八番地ノ一ニ至ル區間ノ南側

四　一等大路第三類第十二號線（北一色切通線）ノ內北長森村大字北一色千四百四番地ヨリ同二番地ニ至ル區間ノ東側

五　二等大路第二類第二號線（本莊野一色五坪、新年、一松道、松鴻、白山町二丁目、同三丁目、鶴田町三丁目、同四丁目、高森町三丁目、栗矢田町、白山町二丁目、田生越、安良田町五丁目、同六丁目、大寶寺、高野町七丁目、同八丁目、吉野町六丁目、橋本町一丁目ノ全部

二　高森町二丁目、老松町、鶴田町三丁目、鶴田、中澤南、八頭、大寶町、神室ノ一部（附圖第十四圖乃至第十六圖及第六圖表示ノ通）

二　稻葉郡內

一　厚見村大字上川手ノ全部

二　加納町東加納、同西加納、同下加納ノ一部（附圖第十三圖表示ノ通）

本莊村ノ一部（附圖第十七圖表示ノ通）

北長森村大字北一色ノ一部（附圖第十八圖表示ノ通）

六　二等大路第三類第四號線（鵜飼屋高見線）ノ內本莊村八百八十八番地ヨリ終點ニ至ル區間ノ北側

第二　工業地域ノ部

イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部及第二工業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク

一　岐阜市內

一　岐阜市ノ全部但シ藤右エ門洞二番地ノ一、同二番地ノ二、上加納山四千七百十六番地ノ一ノ一ノ一ノ三十二、上加納山四千七百十二番地ノ一合ノ一ノ一及上加納山四千七百十九番地ノ二十五ヲ除ク

二　稻葉郡內

一　長良村大字長良、大字福光ノ全部

本莊村ノ全部

加納町ノ全部

北長森村大字岩戶、大字北一色、大字野一色ノ全部

（圖面省略）

◎內務省令第四十五號

（昭和二年十一月一日　內務大臣鈴木喜三郎）

防火地區建築補助規則中左ノ通改正ス

第二條ノ二　一棟ノ土地ニ付所有權又ハ借地權ヲ有スル者數人共同シテ其ノ土地ニ第一條ニ該當スル建物ノ建築ヲ爲ス場合ニ於テ土地ノ利用上善シク有利ト認メラルルトキハ前條ノ補助金額ヲ床面積一坪ニ付金二十五圓以內ニ於テ增加スルコトヲ得

復興建築助成株式會社ノ前項ニ該當スル建物ノ建築ヲ爲サムトスル者ノ申込ヲ受ケ割賦販賣ノ方法ニ依リ之ニ賣却スル爲其ノ建築ヲ爲ス場合亦前項ニ同シ

別記補助金交付願樣式中添付書類ニ左ノモノヲ加フ

一　第二條ノ二ニ該當スヘキ場合ニハ之ヲ證スルニ足ル書類

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【參　照】　大正十三年八月二日內務省令第十九號防火地區建築補助規則抄錄（第一條）

◎內務省告示第四百七十六號

（昭和二年十一月四日　內務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中補助線街路第百二十四號路線ノ擴築位置ヲ改ムルノ件昭和二年十月二十七日內閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

◎內務省告示第四百七十七號

（昭和二年十一月四日　內務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中左ノ通改ムルノ件昭和二年十月二十七日內閣ノ認可ヲ得タリ

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線街路第二十一號路線ヲ左ノ通改ム

幹線街路ノ部

番號	路線名（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
二一	九段坂下ヨリ富士見町一丁目、半藏門ヲ經テ新議事堂前ニ至ル但シ九段坂上ニ於テ本路線ニ接續スル面積約七百坪ノ廣場ヲ設ク	二、一五〇米	二七米

◎內務省告示第四百七十七號

（昭和二年十一月四日　內務大臣鈴木喜三郎）

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業街路ノ部二等大路第二類第十五號路線ノ街角前羽除ヲ改ムルノ件昭和二年十月二十七日內閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

◎内務省告省第四百七十八號

（昭和二年十一月四日 内務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線第二號路線位置ヲ改ムルノ件昭和二年十月二十七日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

◎内務省告示第四百七十九號

（昭和二年十一月四日 内務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日内務省告示第四百二十七號横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修中第五整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫路都市計畫事業及其ノ執行年割中第十三號路線及其ノ他ノ路線位置ヲ改ムルノ件及大正十三年十二月十九日内務省告示第七百九十八號横濱都市計畫運河ノ改修及其ノ事業執行年割中大岡川附屬公共物揚場ヲ設置スルノ件昭和二年十月二十七日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長(約) 新設	改修	計
三米	四、三六八米	一、二〇六米	五、五七四米
四	四、二二九	三、七八八	八、〇一七
六	二一、七五八	八、六七五	三〇、四三三
七		四七〇	四七〇
八	八、八四六	一一、二二八	二〇、〇七四
一一	四、二四六	一八、六七〇	二二、九一六

◎内務省告示第四百八十號

（昭和二年十一月四日 内務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日内務省告示第四百二十七號横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修中第七整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件昭和二年十月二十七日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長(約) 新設	改修	計
四米	五、二五三米	三、九一〇米	九、一六三米
六	一九、五一八	八、三一六	二七、八三四
七	—	一、三一〇	一、三一〇
八	七、八二一	一〇、四三六	一八、二五七
一一	四、三二九	一八、八六五	二三、一九四
一五	二一九	三、一九九	三、四一八

◎内務省告示第四百八十一號

（昭和二年十一月四日 内務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日内務省告示第四百二十七號横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修中第十二整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件昭和二年十月二十七日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長(約) 新設	改修	計
三米	四、五二四米	一、三三〇米	五、八五四米
四	五、五八〇	三、七九八	九、三七八
五	—	八五一	八五一
六	一八、五四二	八、四〇七	二六、九四九
七	—	一、六七七	一、六七七
八	七、八七一	一〇、四九九	一八、三七〇
九	—	二八五	二八五
一一	四、三八〇	一八、一八〇	二二、五六〇

◎内務省告示第四百八十二號

（昭和二年十一月四日 内務大臣鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日内務省告示第四百二十七號横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修中第十三整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中第三號路線位置ヲ改ムルノ件及大正十三年十二月二十九日内務省告示第七百九十八

號横濱都市計畫運河ノ改修及其ノ事業執行年割中大岡川附屬公共物揚場ヲ設置スルノ件昭和二年十月二十七日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長(約) 新設	改修	計
四米	六、七四二米	四、五二二米	一一、二六四米
五	八〇	八五一	九三一
八	七、八七一	一〇、六八九	一八、五六〇
九	三八八	二、五三五	二、九二三
一〇	七八	—	七八
一一	三、九二〇	一七、三〇六	二一、二二六
一二	—	七〇四	七〇四
一三	—	六六七	六六七
一四	—	五四四	五四四
一五	二一九	二、九四五	三、一六四
一六	—	二一〇	二一〇
一七	—	四四一	四四一
一八	—	八八	八八
二二	—	一、〇八九	一、〇八九

鹿兒島都市計畫

（昭和二年十一月十一日 内務大臣鈴木喜三郎）

鹿兒島都市計畫街路左ノ通決定シ昭和二年十一月七日内閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ部

第一 街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一 廣路 幅員 二十四間以上

二 一等大路ハ左ノ三類トス

第一類 幅員 二十間以上

第二類 幅員 十六間以上

第三類 幅員 十二間以上

三 二等大路ハ左ノ三類トス

第一類 幅員 十間以上

第二類 幅員 八間以上

第三類 幅員 六間以上

四 一等小路 幅員 四間以上

五 二等小路 幅員 一間半以上

第二 前項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月内務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第三 街路ノ新設及擴築竝ニ位置及幅員左ノ如シ

一 一等大路第三類

第一號線(鹿兒島武驛線) 幅員十三間半

惠美須町六十九番ノ三ヨリ和泉屋町、易居町金生町、中町、山之口町、加治屋町ヲ經テ武町五百五十一番ノ一ニ於テ左折シ同町五百三十七番ニ至ルノ路線

但シ起點ニ於テ約千三百五十坪終點ニ於テ約千四百七十坪ノ驛前廣場ヲ設ク

第二號線(高見馬場郡元線) 幅員十二間

加治屋町一番ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ甲突川新架橋ヲ經テ中郡宇村大字郡元字鶴ケ崎二千四百六十四番ノ一地先ニ至ルノ路線

第三號線(山下町柿本寺線) 幅員十二間

山下町四十六番ノ二ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ同町六十九番及平之町百三十八番ニ於テ左折シ西千石町百九番ノ一ニ至リ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

但シ平之町百三十八番ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十間半トシ山下町百八十四番地地先ニ約千八百三十坪ノ廣場ヲ設ク

第四號線(石燈籠武線) 幅員十二間

大黒町六十番ノ二ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ新町、松原町、南林寺町、鹽屋町、新屋敷町及甲突川新架橋ヲ經テ武町五百二十九番ニ至ルノ線路

第五號線(石燈籠通線) 幅員十二間

金生町百番ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ住吉町十二番ニ至リ二等大路第一類第五號線ニ接續スルノ路線

第六號線(武南林寺線) 幅員十二間

武町四百二十九番ヨリ上荒田町六百七十五番ニ至リ左折シ下荒田町三百八番ニ於テ左折シ甲突川及清瀧川新架橋ヲ經鹽屋町字中關四十番ニ於テ左折シテ南林寺町百八十七番ニ至リ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線

第七號線(上荒田鴨池線) 幅員十二間
上荒田町六百八十二番ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ中郡宇村大字中ヲ經テ同村大字郡元字立田二千六百九十番ノ五ニ至リ一等大路三類第二號線ニ接續スルノ路線

第八號線(武西田線) 幅員十二間
武町五百七十番ノ十一ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ西田町百六十一番ノ一ニ至リ二等大路第一類第二號線ニ接續スルノ路線

第九號線(棧橋通線) 幅員十二間
生産町三十番ノ二ニ於テ二等大路第一類第五號線ヨリ分岐シ易居町三十六番ニ至リ一等大路第三類第一號線ニ接續スルノ路線

第十號線(洲崎町堀江町線) 幅員十二間
洲崎町十二番ノ二ニ於テ二等大路第一類第五號線ヨリ分岐シ堀江町七十八番ノ六ニ至リ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線

第十一號線(鹽屋西林寺線) 幅員十二間
鹽屋町十二番ノイニ於テ二等大路第一類第五號線ヨリ分岐シ南林寺町二百四十四番ニ至リ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線

二 二等大路第一類

第一號線(舘馬場永安橋線) 幅員十間半
山下町六十九番ニ於テ一等大路第三類第三號線ヨリ分岐シ長田町ニ於テ國有鐵道肥薩線線路ヲ跨キ春日町八十四番ニ至リ右折シ永安橋西詰ニ至ルノ路線
但シ長田町九番地ノ三地先ヨリ下龍尾町六番地地先ニ至ル區間ハ幅員十五間トス

第二號線(柿本寺草牟田線) 幅員十間半
平之町百四十六番ノイニ於テ一等大路第三類第三號線ヨリ分岐シ西田橋ヲ經西田町ニ於テ國有鐵道肥薩線線路下ヲ過キ藥師町、原良町及甲突川新架橋ヲ經テ草牟田町四千五百九番ニ至リ二等大路第二類第二號線ニ接續スルノ路線

第三號線(柿本寺郡元線) 幅員十間半
加治屋町三十二番ノ一ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ高麗橋ヲ經テ中郡宇村大字中騎射場九百三十一番ノ三ニ至リ一等大路第三類第七號線ニ接續スルノ路線

第四號線(三宮橋通線) 幅員十間半
西千石町三十一番ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ平之町四番ノ二ニ至ルノ路線
但シ平之町四十五番ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員八間トス

第五號線(海岸通線) 幅員十間
和泉屋町五十四番ノ一地先ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ阿蘇橋、錦江橋ヲ經テ鹽屋町字中關四十番ニ至リ一等大路第三類第六號線ニ接續スルノ路線

第六號線(武天保山線) 幅員十間
武町三百五番ニ於テ一等大路第三類第六號線ヨリ分岐シ下荒田町字天保山六十九番ニ至リ一等大路第三類第六號線ニ接續スルノ路線

第七號線(菩薩堂南泉院馬場通線)幅員十間
山之口町百四十一番ノイニ於テ二等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ東千石町三十五番ノ一ニ至ルノ路線

三 二等大路第二類

第一號線(菩薩堂通線) 幅員八間
住吉町八十四番ニ於テ二等大路第一類第五號線ヨリ分岐シ甲突川新架橋ヲ經テ高麗町五十六番ニ至リ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線

第二號線(二號國道線) 幅員八間
平之町百三十七番ノイニ於テ一等大路第三類第三號線ヨリ分岐シ新照院町ニ於テ國有鐵道肥薩線線路下ヲ過キ草牟田町及伊敷村大字下伊敷ヲ經テ同村大字上伊敷字村ノ下八十二番ノロニ至ルノ路線

第三號線(南林寺樋之口線) 幅員八間
松原町十三番ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ樋之口町九十一番ノ一ニ至リ一等大路第三類第二號線ニ接續スルノ路線

第四號線(武西田町線) 幅員八間
武町三百九番ニ於テ一等大路第三類第六號線ヨリ分岐シ國有鐵道肥薩線線路ヲ橫切リ同町六十二番ノ一ニ於テ右折シ西田町百二十番ノ二ニ至リ二等大路第一類第二號線ニ接續スルノ路線

第五號線(西田原良線) 幅員八間
西田町二十二番ニ於テ二等大路第一類第二號線ヨリ分岐シ鷹師町藥師町ヲ經テ原良町千百九十二番ニ至リ二等大路第一類第二號線ニ接續スルノ路線

第六號線(下荒田鴨池線) 幅員八間
下荒田町三百十一番ノ一ニ於テ一等大路第三類第六號線ヨリ分岐シ中郡宇村大字中ヲ經テ同村大字郡元字立田二千六百九十番ノ八ニ至リ一等大路第三類第二號線ニ接續スルノ路線

第七號線(韓元脇田線) 幅員八間
一等大路第三類第二號線終點ヨリ中郡宇村大字郡元ヲ經テ同村大字宇宿字下田六百三十八番ニ至ルノ路線

第八號線(和泉屋町池之上町線) 幅員八間
和泉屋町五十二番ノイニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ國有鐵道肥薩線線路ヲ橫切リ上龍尾町ヲ經テ池之上町三十四番ニ至ルノ路線

第九號線(鹽屋町線) 幅員八間
鹽屋町字長州二百四十七番ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ同町字揚田二百十一番ニ至ルノ路線

四 二等大路第三類

第一號線(高麗町上荒田線) 幅員六間
高麗町五十七番ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ上荒田町二百八十七番ニ至リ一等大路第三類第六號線ニ接續スルノ路線

第二號線(新照院藥師町線) 幅員六間
新照院町百六十八番ニ於テ二等大路第二類第二號線ヨリ分岐シ甲突川新架橋ヲ經テ藥師町二百九十一番ニ至リ二等大路第一類第二號線ニ接續スルノ路線

第三號線(中下荒田線) 幅員六間
中郡宇村大字前田三百九十三番ノ一ニ於テ二等大路第一類第三號線ヨリ分岐シ下荒田町四百四十一番ニ至リ二等大路第二類第六號線ニ接續スルノ路線

第四號線(武田上線) 幅員六間
武町八百十四番ノ三ニ於テ二等大路第二類第四號線ヨリ分岐シ西武田村大字武ヲ經テ同村大字田上字吉田九十三番ノ一ニ至ルノ路線

第五號線(諏訪馬場線) 幅員六間
春日町七十七番ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ戸柱橋ヲ經テ清水町百二十五番ニ至ルノ路線

第四 事業ノ實施ニ方リ設計ニ些少ノ異動ヲ生スル場合ニハ都市計畫鹿兒島地方委員會限リ之ヲ變更スルコトヲ得

右公告ス

靜岡都市計畫

(昭和二年十二月十三日 內務大臣 鈴木喜三郎)

靜岡都市計畫街路左ノ通決定シ昭和二年十二月六日內閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ部

第一 街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一 廣路 幅員二十四間以上

二 一等大路ハ左ノ三類トス
第一類 幅員二十間以上
第二類 幅員十六間以上
第三類 幅員十二間以上

三 二等大路ハ左ノ三類トス
第一類 幅員十間以上
第二類 幅員八間以上
第三類 幅員六間以上

四 一等小路 幅員四間以上

五 二等小路 幅員一間半以上

第二 前項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月內務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第三 街路ノ新設及擴築竝ニ位置及幅員左ノ如シ

一、一等大路第三類

第一號線（靜岡驛江川町線）　幅員十三間半

榮町三番谷ノ二ヨリ江川町三番地先ニ至ルノ路線

第二號線（追手町宮ヶ崎町線）　幅員十二間

追手町三十七番地先ヨリ中町、馬場町ヲ經テ宮ヶ崎町四十一番地先ニ至ルノ路線

第三號線（靜岡驛若松町線）　幅員十二間

榮町一番ノ一地先ヨリ大里村大字川邊字東裏門ニ於テ右折シ一番町、安西四丁目ヲ經テ若松町百二十九番地先ニ至ルノ路線

第四號線（本通線）　幅員十二間

中町十六番ノ二地先ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ中町、本通一丁目、本通西町ヲ經テ大里村大字安倍川字道還三十七番ノ一地先ニ至ルノ路線

第五號線（中原國吉田線）　幅員十二間

大里村大字中原字天王田三番地先ヨリ大里村大字稻川、豐田村大字小黑、同村大字池田ヲ經テ同村大字國吉田字道上坪七百八十番地先ニ至リ國道一號ニ接續スルノ路線

但シ豐田村大字池田字油木坪二百四十四番ノ一ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十間半トス

第六號線（新久能街道線）　幅員十二間

東町二十番地先ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ國有鐵道東海道本線ヲ跨キ豐田村大字小黑、同村大字有東ヲ經テ大里村大字高松字高松字神明原一千七百十八番ニ至リ二等大路第一類第十六號線ニ接續スルノ路線

二、二等大路第一類

第一號線（江川町川邊線）　幅員十間半

一等大路第三類第一號線終點ヨリ下桶屋町ヲ經テ大里村大字川邊字駒形三百七十六番ニ至ルノ路線

第二號線（北街道線）　幅員十間半

前號路線起點ヨリ府縣道靜岡千代田線ヲ千代田村大字上土新田字上土ノ坪十二番ノ一地先ニ至ルノ路線

第三號線（馬場町十二艘川線）　幅員十間半

馬場町十九番ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ西草深町ヲ經テ安東村北安東字道窒陰七百九十六番ニ至ルノ路線

第四號線（南安東字東下島線）　幅員十間半

豐田村大字南安東字三百二十三番地先ヨリ大里村大字稻川、同村大字石田ヲ經テ同村大字高松字宮添一千十四番ノ二ニ於テ二等大路第一類第十六號線ニ接續スルノ路線

但シ起點ヨリ大里村大字稻川字地先ニ至ル區間ハ幅員十二間トス

第五號線（北番町通線）　幅員十間半

片羽町七十八番ノ一地先ニ於テ二等大路第一類第六號線ヨリ分岐シ北番町ヲ經テ柳町二百十四番地先ニ至ルノ路線

第六號線（賤機街道線）　幅員十間半

一等大路第三類第二號線終點ヨリ片羽町ニ至リ右折シ井宮町賤機村大字籠上ヲ經テ同村大字松富下組字中割三百六十三番地先ニ至ルノ路線

第七號線（廠機街道線）　幅員十間半

前號路線起點ヨリ宮ヶ崎町ニ於テ左折シ安東村大岩字舟原一千三十三番ノ三ニ至ルノ路線

第八號線（日出町宮ヶ崎町線）　幅員十間半

日出町五番ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ鑄物師町、鷹匠町三丁目、水落町一丁目、東草深町一丁目、西草深町ヲ經テ宮ヶ崎町四十四番ノ一ノ二ニ至リ前號路線ニ接續スルノ路線

第九號線（清水通線）　幅員十間半

東町三十五番ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ音羽町ヲ經テ千代田村大字上足洗字ホウセンボ二百十一番ニ至ルノ路線

第十號線（大岩通線）　幅員十間半

安東村北安東字堂田三百七十七番ヨリ安東村大岩字宮下二百十番ノ一ニ至リ二等大路第一類第七號線ニ接續スルノ路線

第十一號線（川邊籠上線）　幅員十間半

二等大路第一類第一號線終點ヨリ本通八丁目ヲ經テ新富町ニ於テ右折シ三組町、若松町ヲ經テ十四番地先ニ至ルノ路線

第六號線（賤機街道線）　幅員十間半

一類第十六號線ニ接續スルノ路線

二、二等大路第一類

第一號線（江川町川邊線）　幅員十間半

一等大路第三類第一號線終點ヨリ片羽町ニ至リ右折シ井宮町賤機村大字籠上ヲ經テ同村大字松富下組字中割三百六十三番地先ニ至ルノ路線

第七號線（廠機街道線）　幅員十間半

前號路線起點ヨリ宮ヶ崎町ニ於テ左折シ安東村大岩字舟原一千三十三番ノ三ニ至ルノ路線

第八號線（日出町宮ヶ崎町線）　幅員十間半

日出町五番ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ鑄物師町、鷹匠町三丁目、水落町一丁目、東草深町一丁目、西草深町ヲ經テ宮ヶ崎町四十四番ノ一ノ二ニ至リ前號路線ニ接續スルノ路線

第九號線（清水通線）　幅員十間半

東町三十五番ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ音羽町ヲ經テ千代田村大字上足洗字ホウセンボ二百十一番ニ至ルノ路線

第十號線（大岩通線）　幅員十間半

安東村北安東字堂田三百七十七番ヨリ安東村大岩字宮下二百十番ノ一ニ至リ二等大路第一類第七號線ニ接續スルノ路線

第十一號線（川邊籠上線）　幅員十間半

二等大路第一類第一號線終點ヨリ本通八丁目ヲ經テ新富町ニ於テ右折シ三組町、若松町ヲ經テ十四番地先ニ至ルノ路線

テ賤機村大字籠上字川久保百九十四番ニ於テ二等大路第一類第六號線ニ接續スルノ路線

第十二號線（平ケ谷北街道線）　幅員十間半

二等大路第一類第七號線終點ヨリ千代田村大字沓ノ谷字大島ノ坪一千八十一番ニ至リ二等大路第一類第二號線ニ接續スルノ路線

第十三號線（北街道小鹿線）　幅員十間半

前號路線終點ニ於テ二等大路第一類第二號線ヨリ分岐シ豐田村大字長沼ニ於テ國有鐵道東海道本線路ヲ跨キ同村大字池田字油木坪ニ於テ右折シ同村大字小鹿字六反田ノ坪四百十七番ニ至ルノ路線

第十四號線（小鹿中線）　幅員十間半

前號路線終點ヨリ大里村大字石田ヲ經テ同村大字中字桔梗川東二百二十八番ニ至リ二等大路第一類第十五號線ニ接續スルノ路線

第十五號線（川邊西島線）　幅員十間半

二等大路第一類第一號線終點ヨリ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ大里村大字中原ヲ經テ同村大字西島字立割九百二十八番ニ至ルノ路線

第十六號線（西島大谷線）　幅員十間半

前號路線終點ヨリ大谷村二千百五十八番ニ至ルノ路線

第十七號線（小鹿大谷線）　幅員十間半

二等大路第一類第十三號線終點ヨリ前號路線終點ニ至ルノ路線

第十八號線（久能街道大谷線）　幅員十間半

二等大路第一類第十六號線終點ヨリ府縣道靜岡久能線ヲ大谷村二千七百三十五番地先ニ至ルノ路線

三、二等大路第二類

第一號線（七間町通線）　幅員八間

追手町二百五十一番地先ヨリ札之辻町、藤右衛門町ヲ經テ大里村大字川邊字苺山一千二十九番ニ至ルノ路線

但シ起點ヨリ追手町二百二十九番ノ七地先ニ至ル區間ハ幅員十五間トス

第二號線（熊野通線）　幅員八間

追手町二百八番地先ヨリ外濠新架橋ヲ經テ安東村北安東字畑方三百二十三番ノ四地先ニ至ルノ路線

但シ起點ヨリ外濠新架橋東詰ニ至ル區間ハ幅員十五間トス

第三號線（練兵場下足洗線）　幅員八間

千代田村大字上足洗字青木二百六十九番地先ヨリ同村大字下足洗ヲ經テ同村大字下足洗新田字關方十九番地先ニ至ルノ路線

第四號線（臨濟寺小鹿線）　幅員八間

安東村大岩字深田三百三十三番ノ一ニ於テ二等大路第一類第七號線ヨリ分岐シ千代田村大字上足洗ヲ經テ豐田村大字柚木ニ於テ國有鐵道東海道本線線路ヲ橫切リ二等大路第一類第十三號線終點ニ至ルノ路線

第十八號線（久能街道大谷線）　幅員十間半

二等大路第一類第十六號線終點ヨリ府縣道靜岡久能線ヲ大谷村二千七百三十五番地先ニ至ルノ路線

三、二等大路第二類

第一號線（七間町通線）　幅員八間

追手町二百五十一番地先ヨリ札之辻町、藤右衛門町ヲ經テ大里村大字川邊字苺山一千二十九番ニ至ルノ路線

但シ起點ヨリ追手町二百二十九番ノ七地先ニ至ル區間ハ幅員十五間トス

第二號線（熊野通線）　幅員八間

追手町二百八番地先ヨリ外濠新架橋ヲ經テ安東村北安東字畑方三百二十三番ノ四地先ニ至ルノ路線

但シ起點ヨリ外濠新架橋東詰ニ至ル區間ハ幅員十五間トス

第三號線（練兵場下足洗線）　幅員八間

千代田村大字上足洗字青木二百六十九番地先ヨリ同村大字下足洗ヲ經テ同村大字下足洗新田字關方十九番地先ニ至ルノ路線

第四號線（臨濟寺小鹿線）　幅員八間

安東村大岩字深田三百三十三番ノ一ニ於テ二等大路第一類第七號線ヨリ分岐シ千代田村大字上足洗ヲ經テ豐田村大字柚木ニ於テ國有鐵道東海道本線線路ヲ橫切リ二等大路第一類第十三號線終點ニ至ルノ路線

第四號線（本通線）　幅員十二間

中町十六番ノ二地先ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ中町、本通一丁目、本通西町ヲ經テ大里村大字安倍川字道還三十七番ノ一地先ニ至ルノ路線

第五號線（中原國吉田線）　幅員十二間

大里村大字中原字天王田三番地先ヨリ大里村大字稻川、豐田村大字小黑、同村大字池田ヲ經テ同村大字國吉田字道上坪七百八十番地先ニ至リ國道一號ニ接續スルノ路線

但シ豐田村大字池田字油木坪二百四十四番ノ一ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十間半トス

第六號線（新久能街道線）　幅員十二間

東町二十番地先ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ國有鐵道東海道本線ヲ跨キ豐田村大字小

等大路第三類第五號線ニ接續スルノ路線

（第五號線（鷹匠町内濠線）幅員六間

追手町二百二十九番ノ十二ニ於テ二等大路第一類第二號線ヨリ分岐シ追手町二百二十八番地先内濠道路ニ接續スルノ路線

第四　事業ノ實施ニ方リ設計ニ些少ノ異動ヲ生スル場合ニハ都市計畫靜岡地方委員會限リ之ヲ變更スルコトヲ得

右公告ス

靜岡都市計畫事業

（昭和二年十二月十三日
内務大臣　鈴木喜三郎）

靜岡都市計畫事業並執行年度割左ノ通決定シ昭和二年十二月六日内閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ部

第一　街路ノ新設及擴築並ニ位置及幅員左ノ通

定ム

一　一等大路第三類

第一號線（靜岡驛江川町線）幅員十三間半

築町三七十四番各ノ二ヨリ江川町三番地先ニ至ルノ路線

第三號線（靜岡驛若松町線）幅員十二間

築町一番ノ一地先ヨリ大里村川邊ニ於テ右折シ七間町二丁目ヲ經テ本通三丁目十六番ノ一地先ニ至ル區間

二　二等大路第二類

第一號線（七間町通線）幅員八間

寺町三丁目三十九番ヨリ大里村大字川邊字駒形三百三十九番地先ニ至ル區間

第二　事業ノ實施ニ方リ設計ニ些少ノ異動ヲ生スル場合ニハ都市計畫靜岡地方委員會限リ之ヲ變更スルコトヲ得

第三　街路ノ新設及擴築事業執行年度割左ノ通定ム

昭和三年度　約一割八分

昭和四年度　約三割五分

昭和五年度　約四割七分

右公告ス

清水都市計畫

（昭和二年十二月十三日
内務大臣　鈴木喜三郎）

清水都市計畫街路左ノ通決定シ昭和二年十二月六日内閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ部

第一　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一　廣路　幅員二十四間以上

二　一等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員二十間以上

第二類　幅員十六間以上

第三類　幅員十二間以上

三　二等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員十間以上

第二類　幅員八間以上

第三類　幅員六間以上

四　一等小路　幅員四間以上

五　二等小路　幅員一間半以上

第二　前項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月内務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第三　街路ノ新設及擴築並ニ位置及幅員左ノ如シ

一　一等大路第三類

第一號線（停車場前線）幅員十五間

辻字島崎一千四百九十八番ノ十四ノ一ヨリ辻字中内濱八百三十番ニ至リ國道一號改築線ニ接續スルノ路線

第二號線（大曲波止場線）幅員十二間

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ入江字割堀田ニ至リ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ上清水ニ至リ左折シ巴川新架橋ヲ經テ入江字受新田ニ至リ右折シ清水受新田字向島百弐番ノ一ニ於テ築港陸上計畫既定道路（幅員十二間）ニ接續スルノ路線

第三號線（村松折戸線）幅員十二間

村松字濱新開二十八番ノ二（築港陸上計畫既定道路（幅員十二間）終端）ヨリ宮加三ヲ經テ折戸字北新田二番ニ至ルノ路線

二　二等大路第一類

第一號線（清水受新田横砂線）幅員十間半

清水受新田字向島四百二十二番ノ七ノ一ヨリ辻字西内濱ニ至リ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ袖師村大字西久保字松原ヨリ國道一號ヲ庵原川右岸ニ至リ同川新架橋ヲ經テ袖師村大字横砂字長者前七百三十番ニ至ルノ路線

但シ辻字西外濱一千十三一千十五番ヨリ辻字中内濱八百七十二番ニ至ル區間ハ幅員十五間トス

第二號線（上清水駒越西村線）幅員十間半

上清水南堀田三百十番ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ駒越字西村一千八百八番ノ三ニ至リ二等大路第一類第十一號線ニ接續スルノ路線

第三號線（上清水上原線）幅員十間半

前號路線起點ヨリ有度村大字上原字春甫田三十八番ノ二地先ニ至ルノ路線

第四號線（小芝町楠線）幅員十間半

江尻字三ノ丸一千百五十七番ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ澁川橋、有度村大字北脇新田、堀込、長崎ヲ經テ有度村大字楠字宮東百六十四番ノ二ニ至ルノ路線

第五號線（小芝町西久保線）幅員十間半

前號路線起點ヨリ飯田村大字西久保新田ヲ經テ袖師村大字西久保字黒坊十六番ニ至ルノ路線

第六號線（村松龍華寺線）幅員十間半

一等大路第三類第三號線起點ヨリ村松字塚田六百二十三番ニ至リ二等大路第一類第二號線ニ接續スルノ路線

第七號線（船越梅ヶ谷線）幅員十間半

船越字七反通九十六番ニ於テ二等大路第三類第三號線起點ヨリ分岐シ入江元追分ニ至リ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ高部村大字鳥坂ニ至リ巴川新架橋ヲ經テ高部村大字梅ヶ谷字二本杉六百二十八番ニ至ルノ路線

第八號線（上原大内線）幅員八間

二等大路第一類第三號線終點ヨリ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ有度村大字吉川、堀込、巴川新架橋ヲ經テ高部村大字大内字三反田百三十三番ノ一ニ於テ國有鐵道東海道本線線路ヲ横切リ巴川新架橋、江尻ヲ經袖師村大字横砂字上河原一千二百四十五番ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線

第九號線（鎭大内線）幅員八間

袖師村大字鎭字外濱二千八百先海岸ヨリ國有鐵道東海道本袖師村大字西久保ニ於テ左折川ヲ經テ高部村大字大内字三百四十二番ニ於テ二等大路第二類第五號線ニ接續スルノ路線

第十號線（折戸三保眞崎線）幅員十間半

一等大路第三類第三號線終點ヨリ宮方ヲ經テ三保字池二千七百十七番ニ至ルノ路線

第十一號線（折戸蛇塚線）幅員十間半

前號路線起點ヨリ府縣道久能江尻停車場ヲ蛇塚字山越六十七番ニ至ルノ路線

第十二號線（草薙鳥坂線）幅員十間半

有度村大字草薙字門前一千九百十八番ノ一ヨリ同村大字草薙ニ至リ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ高部村大字鳥坂ニ至リ巴川新架橋ヲ經同村大字島坂字中通六百八番ニ於テ二等大路第二類第五號線ニ接續スルノ路線

三　二等大路第二類

第一號線（駒越横砂線）幅員八間

駒越字東村一千二百四十二番ノ一ニ於テ二等大路第一類第十一號線ヨリ分岐シ村松、下清水ヲ經入江ニ於テ國有鐵道東海道本線線路ヲ横切リ巴川新架橋、江尻ヲ經袖師村大字横砂字上河原一千二百四十五番ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線

第二號線（清水受新田南矢部線）幅員八間

清水受新田字向島二百十八番ノ二ニ於テ築港陸上計畫既定道路（幅員十二間）ヨリ分岐シ巴川新架橋、下清水ヲ經南矢部字海老ノ子三百四十二番ニ於テ二等大路第三類第五號線ニ接續スルノ路線

第三號線（大曲澁川線）幅員八間

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ有度村大字濵川字岩畑八百二十九番ノ三ニ至リ二等大路第一類第四號線ニ接續スルノ路線

第四號線（濵川山原線）　幅員八間

有度村大字濵川字久保八百九十三番ノ一ニ於テ二等大路第一類第四號線ヨリ分岐シ飯田村大字高橋ヲ經テ同村大字山原字中村四百八十八番ニ至ルノ路線

第五號線（嶺鳥坂線）　幅員八間

袖師村大字嶺字西濱一千五百七十五番ノ一ノ一地先海岸ヨリ國有鐵道東海道本線線路ヲ横切リ飯田村大字高橋ヨリ府縣道千代田江尻線ヲ高部村大字鳥坂字山鼻一千三百六十九番ノ二地先ニ至ルノ路線

四　二等大路第三類

第一號線（大曲大正橋線）　幅員六間

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ入江ヲ經入江字濱田三百八十九番ノ五ニ於テ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

第二號線（上清水船越線）　幅員六間

上清水字南堀田三百十番ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ二等大路第一類第七號線起點ニ至ルノ路線

第三號線（清水清開妙音寺線）　幅員六間

清水清開百四十九番ニ於テ築港陸上計畫既定道路（幅員十二間）ヨリ分岐シ村松字藤九郎第一　街路ノ新設及擴築並ニ位置及幅員左ノ通定ム

一　一等大路第三類

第二號線（大曲波止場線）　幅員十二間

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ入江字劃堀田ニ至リ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ上清水ニ至リ左折シ巴川新架橋ヲ經テ入江字受新田ニ至リ右折シ清水受新田字向島百五十六番ノ一ニ於テ築港陸上計畫既定道路（幅員十二間）ニ接續スルノ路線

第三號線（村松折戸線）　幅員十間半

村松字濵新開十八番ノ二（築港陸上計畫既定道路（幅員十二間）終端）ヨリ宮方ヲ經テ折戸字北新田二番ニ至ルノ路線

二　二等大路第一類

第十號線（折戸三保眞崎線）　幅員十間半

一等大路第三類第三號線終點ヨリ宮方ヲ經テ三保字池二千七百十七番ニ至ルノ路線

第十一號線（折戸蛇塚線）　幅員十間半

前號路線起點ヨリ駒越字東村一千二百四十二番ノ一ニ至ル區間

三　二等大路第三類

第一號線（大曲大正橋線）　幅員六間

和二年十二月六日内閣ノ認可ヲ得タリ

街　路　ノ　部

第一　街路ノ新設及擴築並ニ位置及幅員左ノ通定ム

一　一等大路第三類

第二號線（大曲波止場線）　幅員十二間

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ入江字劃堀田ニ至リ國有鐵道東海道本線線路ヲ跨キ上清水ニ至リ左折シ巴川新架橋ヲ經テ入江字受新田ニ至リ右折シ清水受新田字向島百五十六番ノ一ニ於テ築港陸上計畫既定道路（幅員十二間）ニ接續スルノ路線

第三號線（村松折戸線）　幅員十間半

村松字濵新開十八番ノ二（築港陸上計畫既定道路（幅員十二間）終端）ヨリ宮方ヲ經テ折戸字北新田二番ニ至ルノ路線

二　二等大路第一類

第十號線（折戸三保眞崎線）　幅員十間半

一等大路第三類第三號線終點ヨリ宮方ヲ經テ三保字池二千七百十七番ニ至ルノ路線

第十一號線（折戸蛇塚線）　幅員十間半

前號路線起點ヨリ駒越字東村一千二百四十二番ノ一ニ至ル區間

三　二等大路第三類

第一號線（大曲大正橋線）　幅員六間

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ入江字濵田三百八十九番ノ五ニ於テ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

第二號線（上清水船越線）　幅員六間

上清水字南堀田三百十番ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ二等大路第一類第七號線起點ニ至ルノ路線

第三號線（清水清開妙音寺線）　幅員六間

一西宮市
一武庫郡　今津町、精道村、大社村、鳴尾村、
　瓦木村、芝村、甲東村

右公告ス

◉内務省告示第五百十一號

（昭和二年十二月二十日）
（内務大臣　鈴木喜三郎）

大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區畫整理ニ依ル街路ノ新設、改修並運河ノ改修ノ件街路ノ新設、改修ノ部中第三十八整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件、大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線街路第五號路線及補助線街路第七十四號路線ノ位置ヲ改ムルノ件大正十三年七月四日内務省告示第四百二十四號東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割中第三十四號金龍公園ノ位置ヲ改ムルノ件昭和二年十二月十五日内閣認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設、改修ノ部

		延長（約）		計
幅員		新設	改修	
三米		二二、三八八米	四、八五一米	二七、二三九米
四		一六、九七六	九、七五五	二六、七三一
五		三三九		二、〇八〇

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ有度村大字濵川字岩畑八百二十九番ノ三ニ至リ二等大路第一類第四號線ニ接續スルノ路線

第四號線（濵川山原線）　幅員八間

有度村大字濵川字久保八百九十三番ノ一ニ於テ二等大路第一類第四號線ヨリ分岐シ飯田村大字高橋ヲ經テ同村大字山原字中村四百八十八番ニ至ルノ路線

第五號線（嶺鳥坂線）　幅員八間

袖師村大字嶺字西濱一千五百七十五番ノ一ノ一地先海岸ヨリ國有鐵道東海道本線線路ヲ横切リ飯田村大字高橋ヨリ府縣道千代田江尻線ヲ高部村大字鳥坂字山鼻一千三百六十九番ノ二地先ニ至ルノ路線

四　二等大路第三類

第一號線（大曲大正橋線）　幅員六間

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ入江ヲ經入江字濵田三百八十九番ノ五ニ於テ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

第二號線（上清水船越線）　幅員六間

上清水字南堀田三百十番ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ二等大路第一類第七號線起點ニ至ルノ路線

第三號線（清水清開妙音寺線）　幅員六間

入江字大曲二千六百三十七番ノ一ニ於テ國道一號改築線ヨリ分岐シ入江字濵田三百八十九番ノ五ニ於テ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

第二號線（上清水船越線）　幅員六間

上清水字南堀田三百十番ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ二等大路第一類第七號線起點ニ至ルノ路線

第三號線（清水清開妙音寺線）　幅員六間

一西宮市
一武庫郡　今津町、精道村、大社村、鳴尾村、
　瓦木村、芝村、甲東村

右公告ス

◉内務省告示第五百五號

（昭和二年十二月十五日）
（内務大臣　鈴木喜三郎）

西宮都市計畫區域左ノ通決定シ昭和二年十二月九日内閣ノ認可ヲ得タリ

西宮都市計畫

（昭和二年十二月十四日）
（内務大臣　鈴木喜三郎）

第二　事業ノ實施ニ方リ設計ニ些少ノ異動ヲ生スル場合ニハ都市計畫靜岡地方委員會限リ之ヲ變更スルコトヲ得

第三　街路ノ新設及擴築事業執行年度割左ノ通定ム

昭和三年度　約三割
昭和四年度　約三割五分
昭和五年度　約三割五分

右公告ス

◉内務省告示第五百七號

（昭和二年十二月十五日）
（内務大臣　鈴木喜三郎）

西宮都市計畫區域左ノ通決定シ昭和二年十二月九日内閣ノ認可ヲ得タリ

◉内務省告示第五百五號

（昭和二年十二月十五日）
（内務大臣　鈴木喜三郎）

横濱都市計畫土地區劃整理施行第六十四地區ノ處分ヲ爲シタリ

◉内務省告示第五百六號

（昭和二年十二月十五日）
（内務大臣　鈴木喜三郎）

横濱都市計畫土地區劃整理施行第一地區ノ換地處分ヲ爲シタリ

追テ同地區内ニ於テ特別都市計畫法施行令第二十八條第一項ノ規定ニ依リ補償金ノ交付ヲ受クヘキ權利ヲ有スル者ハ昭和二年十二月十日ヨリ同十九日迄ノ間ニ復興局横濱出張所ニ申告スヘシ

◉内務省告示第五百七號

（昭和二年十二月十五日）
（内務大臣　鈴木喜三郎）

横濱都市計畫土地區劃整理施行第二地區ノ換地處分ヲ爲シタリ

追テ同地區内ニ於テ特別都市計畫法施行令第二十八條第一項ノ規定ニ依リ補償金ノ交付ヲ受クヘキ權利ヲ有スル者ハ昭和二年十二月十日ヨリ同十九日迄ノ間ニ復興局横濱出張所ニ申告スヘシ

◉内務省告示第五百十一號

（昭和二年十二月二十日）
（内務大臣　鈴木喜三郎）

大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區畫整理ニ依ル街路ノ新設、改修並運河ノ改修ノ件街路ノ新設、改修ノ部中第三十八整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件、大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線街路第五號路線及補助線街路第七十四號路線ノ位置ヲ改ムルノ件大正十三年七月四日内務省告示第四百二十四號東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割中第三十四號金龍公園ノ位置ヲ改ムルノ件昭和二年十二月十五日内閣認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設、改修ノ部

		延長（約）		計
幅員		新設	改修	
三米		二二、三八八米	四、八五一米	二七、二三九米
四		一六、九七六	九、七五五	二六、七三一
五		三三九		二、〇八〇

六	一一四、三〇二	八四、二八五	一九八、五八七	
七	三七〇	三、二〇〇	三、五七〇	
八	六八、二〇八	一〇四、九〇七	一七三、一一五	
一〇	—	一、二四七	一、二四七	
一一	一六、五五二	七〇、三七七	八六、九二九	

◉内務省告示第五百十二號

（昭和二年十二月二十日　内務大臣　鈴木喜三郎）

大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修竝運河ノ改修ノ件街路ノ新設、改修ノ部中第二十一整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件、大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中補助線街路第二十五號路線、同第五十七號路線ノ位置ヲ改ムルノ件、大正十三年七月四日内務省告示第四百二十四號東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割中第十四號鐵砲洲公園ノ位置ヲ左ノ通改ムルノ件昭和二年十二月十五日内閣認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長（約）	新設	改修	計
三米		二三、一二八米	五、一四九米	二八、二七七米
四		一七、三七〇	一〇、〇七三	二七、四四三
五		五〇五	一、七四一	二、二四六

東京都市計畫土地區劃整理施行區域中、一東京深川區中越中島ノ一部ヲ變更シ面積「約一、七二七、一五四坪」ヲ「約一、七三一、六八四坪」ニ改ムルノ件昭和二年十二月五日内閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

◉内務省告示第五百十六號

（昭和二年十二月二十日　内務大臣　鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日内務省告示第四百二十七號横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修中第一整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件昭和二年十二月十五日内閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長（約）	新設	改修	計
三米		五、七三八米	一、四三九米	七、一七七米
四		八、八七一	五、二八四	一四、一五五
六		一六、一六一	八、二六七	二四、四二八
七		—	一、七二五	一、七二五
八		六、六〇〇	一一、二一九	一七、八一九
一一		三、一八二	一七、七七〇	二〇、九五二
一五		一一〇	二、九三四	三、〇四四

◉内務省告示第五百十七號

（昭和二年十二月二十日　内務大臣　鈴木喜三郎）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部中二等大路第二類第六號路線ヲ左ノ通改ムルノ件昭和二年十二月十五日内閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

二等大路第二類第七號　幅員八間

芝區西久保城山町一番地ヨリ背手町、麻布區市兵衛町等ヲ經テ谷町東京市區改正設計第五等線ヲ横切ル赤區福吉町、氷川町、中ノ町、桑町ヲ經テ表町三丁目一番地地先東京市區改正設計第二等線ニ接續スルノ路線

◉内務省告示第五百十八號

（昭和二年十二月二十日　内務大臣　鈴木喜三郎）

大正十三年七月四日内務省告示第四百二十七號横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修中第一整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ左ノ通改ムルノ件昭和二年十二月十五日内閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長（約）	新設	改修	計
三米		二三、一九九米	五、三五八米	二八、五五七米
四		一七、四一〇	一〇、〇七三	二七、四八三
六		一一四、四八九	八四、一九三	一九八、六八二
七		五九二	三、五二一	四、一一三

街路ノ部

第一　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一　廣路　幅員二十四間以上

二　一等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員二十間以上

第二類　幅員十六間以上

第三類　幅員十二間以上

三　二等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員十間以上

第二類　幅員八間以上

第三類　幅員六間以上

第二　橋梁ノ主要部ハ鐵、石、鐵筋「コンクリート」等不燃質耐久材料ヲ以テ築造スルモノトス

第三　前二項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月内務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第四　街路ノ新設及擴築竝ニ位置及幅員左ノ如シ

一等大路第一類

第一號線（仙臺驛東口線）　幅員二十間

東六番丁百番地ヨリ東八番丁八十二番地ニ至リ一等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

一等大路第二類

第一號線（中央環狀線）　幅員十六間

仙臺驛前ヨリ末無掃部丁八番地ニ至リ右折シ

六	一一四、六〇五	八四、五一四	一九九、一一九	
八	六八、〇六二	一〇四、〇八一	一七二、一四三	
一一	一六、五二五	七一、四四四	八七、九五九	
一五	四〇三	三、八〇四	四、二〇七	

小公園ノ部

番號	名稱	位置	面積（約）
一四	鐵砲洲公園	京橋區新湊町一丁目ノ内	九〇〇坪

◉内務省告示第五百十四號

（昭和二年十二月二十日　内務大臣　鈴木喜三郎）

大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修竝運河ノ改修ノ件街路ノ新設、改修ノ部中第六十四整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ幅員三米、四米、六米及八米ノ街路ノ延長ヲ左ノ通リ改メ其ノ他路線ノ位置ヲ改ムルノ件、大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線第三十七號路線及補助線第三十七號路線ノ位置ヲ改ムルノ件昭和二年十二月十五日内閣ノ認可ヲ得タリ（圖面省略）

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長（約）	新設	改修	計
三米		二三、三三九米	五、五二二米	二八、八六一米
四		一七、五三三	九、九五一	二七、四八四
六		一一四、四四八	八四、一九三	一九八、六四一
八		六八、一〇三	一〇四、〇八一	一七二、一八四

◉内務省告示第五百十五號

（昭和二年十二月二十日　内務大臣　鈴木喜三郎）

大正十三年三月二十日内務省告示第百三十一號

東六番丁三十六番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線ヲ跨キ小田原山本町四番地ニ至リ右折シ東八番丁二十一番地地先ニ於テ宮城電氣鐵道線路ヲ横切リ同丁五十四番地ニ至リ右折シ清水小路二十七番地ノ二地先ニ於テ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ北目町通三番地ニ至リ右折シ東五番丁ヲ經テ仙臺驛前ニ至ルノ路線

一等大路第三類

第一號線(清水小路線)　幅員十二間

清水小路二十八番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ清水小路一番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第七號線ニ接續スルノ路線

第二號線(仙臺驛七郷線)　幅員十三間半

東八番丁五十五番地ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ新寺小路ヲ經宮城郡七郷村大字南小泉字二丁町上三十五番地ニ於テ一等大路第三類第十二號線ニ接續スルノ路線

第三號線(仙臺驛原町線)　幅員十二間

小田原山本町二番地ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ小田原弓ノ町、宮城郡原町大字苦竹字坂下ヲ經テ同町大字苦竹字金屋敷六十七番地地先ニ至リ宮城電氣鐵道線路ヲ横切リ同町大字苦竹字苦竹東九番地ニ於テ一等大路第三類第十二號線ニ接續スルノ路線

第四號線(仙臺驛小田原線)　幅員十二間

小田原裏山本町二十七番地ノ一ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ同町一番地ノ六地先ニ於テ國有鐵道東北本線ヲ跨キ宮城郡原町大字小田原字十文字西二十五番地ニ於テ一等大路第三類第八號線ニ接續スルノ路線

第五號線(光禪寺通線)　幅員十二間

末無掃部丁十番地ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ北四番丁百五十六番地ニ於テ一等大路第三類第八號線ニ接續スルノ路線

第六號線(仙臺驛立町線)　幅員十二間

末無掃部丁七番地ノ四ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ元柳町二十五番地ニ至ルノ路線

第七號線(堤町長町線)　幅員十二間

通丁百三十番地ヨリ勾當臺通、定禪寺通、東二番丁ヲ經土樋百十三番地ニ於テ一等大路第三類第八號線終點ヨリ宮城郡原町新河原町、廣瀬橋ヲ經名取郡長町大字小田原字下河原ヲ經同町大字苦竹字樋下横切リ同町大字郡山字諏訪町二十九番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線ルノ路線但シ定禪寺通圖書館前ニ於テ約六百坪ノ廣場ヲ設ク

第八號線(八幡町案内線)　幅員十二間

八幡町百八番地ヨリ北四番丁、宮城郡原町大字小田原字蟹澤ヲ經テ同町大字郡山字缺上二十九番地ニ至ルノ路線

第十二號線(案内蒲町線)　幅員十二間

十三番地地先ニ至ルノ路線

第九號線(定禪寺通松原線)　幅員十二間

元常盤丁一番地ヨリ定禪寺通、長丁、宮町ヲ經宮城郡原町大字小田原字下河原一番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第十一號線ニ接續スルノ路線

第十號線(小田原新河原町線)　幅員十二間

宮城郡原町大字小田原字二本松上三十七番地ニ於テ一等大路第三類第八號線ヨリ分岐シ同町大字小田原字杉山五番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線ヲ横切リ榴ヶ岡公園西端ヲ經東十番丁十七番地ノ二ニ於テ宮城電氣鐵道線路ヲ跨キ長町通ヲ經南五十人町四十番地ノ一地先ニ於テ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ新河原町三十三番地ニ於テ一等大路第三類第七號線ニ接續スルノ路線

第十一號線(案内長町線)　幅員十二間

一等大路第三類第八號線終點ヨリ宮城郡原町大字小田原字下河原ヲ經同町大字苦竹字樋下上百三十一番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線ヲ、同町大字苦竹字町東百三十七番地ノ二地先ニ於テ宮城電氣鐵道線路ヲ横切リ同町大字苦竹字新屋敷、廣瀬川新架橋ヲ經テ名取郡長町大字郡山字缺上二十九番地ニ至ルノ路線

第十二號線(案内蒲町線)　幅員十二間

前號路線起點ヨリ宮城郡原町大字苦竹字松山

下北二百二十五番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線ヲ、同町大字苦竹新田字十二番地地先ニ於テ宮城電氣鐵道線路ヲ横切リ同町大字苦竹字苦竹東、同七郷村大字南小泉字二丁町上ヲ經テ同村大字南小泉字七曲百十番地ニ至ルノ路線

第十三號線(土樋蒲町線)　幅員十二間

土樋六十四番地ニ於テ一等大路第三類第七號線ヨリ分岐シ三百人町七十二番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ宮城郡七郷村大字南小泉字中倉ヲ經テ前號路線終點ニ至ルノ路線

第十四號線(新河原町古城南線)　幅員十二間

新河原町百八十二番地ニ於テ一等大路第三類第十號線ヨリ分岐シ五ツ谷四十九番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ宮城郡七郷村大字南小泉字古城南九十六番地ニ於テ一等大路第三類第十一號線ニ接續スルノ路線

第十五號線(長町北目線)　幅員十二間

名取郡長町大字長町字南町七十八番地ニ於テ一等大路第三類第七號線ヨリ分岐シ同地地先ニ於テ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ同町大字郡山字新々田東十八番地ニ於テ一等大路第三類第十一號線ニ接續スルノ路線

第十六號線(諏訪町缺上線)　幅員十二間

第六號線(堤町線)　幅員八間

一等大路第三類第七號線終點ヨリ名取郡長町大字郡山字諏訪町東浦十七番地地先ニ至リ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ一等大路第三類第十一號線終點ニ至ルノ路線

二等大路第二類

第一號線(仙臺驛堤町線)　幅員八間

東五番丁三十番地ノ一ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ元寺小路、同心町通、上杉山通ヲ經堤町四十五番地ノ一地先ニ於テ道四號線ニ接續スルノ路線

第二號線(細横丁線)　幅員八間

狐小路十番地ノ一ヨリ狐小路、細横丁ヲ經北十番丁七番地ニ於テ二等大路第二類第五號線ニ接續スルノ路線

第三號線(元常盤丁線)　幅員八間

北二番丁七十一番地ヨリ北四番丁五十六番地ノ一ニ至リ一等大路第三類第八號線ニ接續スルノ路線

第四號線(河内新坂通線)　幅員八間

大町頭二番地ヨリ大橋ヲ經第二師團司令部正門前ニ於テ右折シ澁橋ヲ經テ新坂通八十四番地ニ至ルノ路線

第五號線(臺ノ原新坂通線)　幅員八間

宮城郡七北田村大字荒巻字日野中五番地ヨリ同村大字荒巻字臺ノ原十二番地ニ至リ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

第六號線(堤町線)　幅員八間

一等大路第三類第七號線終點ヨリ名取郡長町大字郡山字諏訪町東浦十七番地地先ニ至リ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ一等大路第三類第十一號線終點ニ至ルノ路線

二類第一號線終點ニ至ルノ路線

第七號線(宮町線)　幅員八間

東六番丁八十一番地ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ北六番丁二百九十二番地ノ一ニ至ルノ路線

第八號線(東八番丁線)　幅員八間

東八番丁五十四番地ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ同丁二十九番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線ヲ横切リ土樋六十四番地ニ於テ一等大路第三類第七號線ニ接續スルノ路線

第九號線(仙臺驛宮城野線)　幅員八間

東八番丁百十五番地ノ二ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ宮城郡原町大字南目字悪水下百六番地ヲ經一等大路第三類第三號線終點ニ至ルノ路線

第十號線(片平丁線)　幅員八間

土樋百十二番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第七號線ヨリ分岐シ片平丁五十八番地ノ一ニ至ルノ路線

第十一號線(小田原門前線)　幅員八間

宮城郡原町大字小田原字沼田十二番地ニ於テ一等大路第三類第八號線ヨリ分岐シ同町大字小田原字杉山六十二番地地先ニ於テ國有鐵道

東北本線ヲ、東十番丁五十番地地先ニ於テ宮城電氣鐵道線路ヲ横切リ連坊小路九十三番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線ヲ跨キ廣瀬川新架橋、名取郡長町大字長町字福聚院前ヲ經テ同町大字長町字砂押屋敷十八番地ニ至ルノ路線

第十二號線（原町長町線）　幅員八間

宮城郡原町大字小田原字蟹澤中百九十番地ニ於テ一等大路第三類第八號線ヨリ分岐シ同町大字小田原字大梶九十一番地地先ニ於テ國有鐵道東北本線ヲ、同町大字南目字悪水上四十七番地地先ニ於テ宮城電氣鐵道線路ヲ横切リ西新丁、廣瀬川新架橋ヲ經名取郡長町大字郡山字的場六十二番地ニ於テ一等大路第三類第十六號線ニ接續スルノ路線

第十三號線（連坊小路線）　幅員八間

土染師町二十番地ヨリ連坊小路百十五番地ノ一地先ニ至リ國有鐵道東北本線ヲ跨キ木ノ下通五十二番地ヲ經宮城郡七郷村大字南小泉字不動東三十番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第十一號線ニ接續スルノ路線

第十四號線（土樋南小泉線）　幅員八間

石名坂六番地ニ於テ一等大路第三類第七號線ヨリ分岐シ宮城郡七郷村大字南小泉字八軒小路十八番地ノ一地先ニ於テ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ同村大字南小泉字屋敷十八番地ニ於テ一等大路第三類第十一號線ニ接續スルノ路線

第十五號線（土樋下河原線）　幅員八間

土樋二百二十番地ニ於テ一等大路第三類第七號線ヨリ分岐シ愛宕橋ヲ經テ左折シ名取郡長町大字長町字北町百二十七番地ノ一地先ニ於テ國有鐵道東北本線線路下ヲ過キ同町大字長町字下河原三十一番地ニ於テ二等大路第二類第十二號線ニ接續スルノ路線

第十六號線（長町福聚院前線）　幅員八間

名取郡長町大字長町字南町十六番地ニ於テ一等大路第三類第七號線ヨリ分岐シ同町大字長町字福聚院前四番地ニ於テ二等大路第二類第十一號線ニ接續スルノ路線

第一號線（北八番丁線）　幅員六間

土橋通二十六番地ニ於テ二等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ北九番丁三番地ニ於テ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線

第二號線（北一番丁線）　幅員六間

二等大路第二類第三號線起點ヨリ小田原高松通七番地ニ至リ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線

第三號線（北目町通線）　幅員六間

北目町通三番地ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ北目町四十一番地ニ至ルノ路線

第四號線（土橋通線）　幅員五間

北一番丁七十一番地ヨリ土橋通ヲ經テ二等大路第二類第五號線起點ニ至ルノ路線

右公告ス

長崎都市計畫公告

（大正十五年一月二十三日　内閣總理大臣加藤高明）

長崎都市計畫區域左ノ通決定ノ件認可ス

一西彼杵郡、西浦上村、小榊村、深堀村、土井ノ首村、小ケ倉村、茂木町ノ一部（大字本郷名、田上名）

名古屋都市計畫公告

（大正十五年一月二十七日）

内閣總理大臣臨時代理
内務大臣　若槻禮次郎

名古屋都市計畫街路新設及擴築左ノ通追加ノ件認可ス

一等大路第三類第二十五號路線　幅員十三間半

東區布池町三十二番地ノ十一ヨリ同區車道東町五十一番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第二十六號線ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第二十六號路線　幅員十三間半

東區東大曾根町字神戸一七九九番地ノ一ヨリ市電大曾根電車通ヲ經テ同町字元屋敷ニ於テ瀬戸電氣鐵道線路ヲ横切リ千種驛前電車通ヲ經テ中區千早町三ノ九番地ノ一ニ至ルノ路線

一等大路第三類第二十七號路線　幅員十三間半

名古屋衛戍病院前ニ於テ一等大路第二類第二號路線ヨリ分岐シ東區長堀町二ノ九番地ノ二ニ至ルノ路線

一等大路第三類第二十八號路線　幅員十三間半

東區東大曾根町字神戸一一五一番地ノ五ヨリ瀬戸電氣鐵道線路ヲ横切リ同區山口町一番地ノ一ニ至ルノ路線

一等大路第三類第二十九號路線　幅員十三間半

西春日井郡萩野村大字光菅寺字古墓一一三六番地地先矢田川堤防ヨリ西區志賀町字勘定寺前一〇〇番地ニ於テ一等大路第二類第七號路線ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第三十號路線　幅員十三間半

西春日井郡萩野村大字辻子字新田一三二六番地ニ於テ一等大路第三類第二〇號路線ヨリ分岐シ黒川新架橋ヲ經テ東區上飯田町及下飯田町ヲ貫キ同區東大曾根町字長田一〇二〇番地ニ於テ一等大路第三類第九號路線ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第三十一號路線　幅員十三間半

東區古出來町二〇四番地ニ於テ一等大路第三類第八號路線ヨリ分岐シ同區北千種町ヲ貫キ愛知郡天白村大字八事字東山三六〇七番地ニ至ルノ路線

一等大路第三類第三十二號路線　幅員十三間半

同區鍋屋上野町字東山三六〇七番地ノ四ニ於テ一等大路第三類第三十二號路線終點ヨリ同區大幸町字砂田七九七番地ニ至リ右折シ同區鍋屋上野町字道上二二七四番地ノ二ニ於テ前號路線ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第三十三號路線　幅員十三間半

東區鍋屋上野町字道上二三一三番地ニ於テ一等大路第三類第三十一號線ヨリ分岐シ同區田代町ヲ貫キ中區廣路町字山花ニ於テ尾張電車線路ヲ横切リ一等大路第三類第一四號路線終點ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第三十四號路線　幅員十三間半

前號路線終點ヨリ南區彌富町字丸根六番地ニ於テ一等大路第三類第三十九號路線ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第三十五號路線　幅員十三間半

一等大路第三類第六號路線終點ヨリ同町字瓶杁一番地ノ八ニ至ルノ路線

一等大路第三類第三十六號路線　幅員十三間半

東區千種町字下古井四十八番地ノ六鐵道中央路線東側ヨリ尾張電車通ヲ經テ中區廣路町ヲ貫キ愛知郡天白村大字八事字東嵨野七七番地ニ至ルノ路線

一等大路第三類第三十七號路線　幅員十三間半

一等第三類第六號路線終點ヨリ中區廣路町字石坂一〇二番地ノ四ニ於テ一等大路第三類第三十六號路線ニ接續スルノ路線

一等大路第二類第三十八號線　幅員十三間半

中區廣路町字石坂三四番地ニ於テ一等大路第三類第三十六號路線ヨリ分岐シ一等大路第三類第八號路線終點ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第三十九號路線　幅員十三間半
南區瑞穗町字砂間九十一番地ニ於テ一等大路第二類第九號路線ヨリ分岐シ山崎川新架橋ヲ經テ同區彌富町及愛知郡天白村大字八事ヲ貫キ島田橋北詰ニ至ルノ路線

一等大路第三類第四十號路線　幅員十三間半
南區熱田新田東組字根走リ九十五番地ノ一ヨリ堀新架橋ヲ經テ同區東築地ニ於テ市電東築地電車通ヲ同區豐田町字氷室道西ニ於テ愛知電氣鐵道常滑線路ヲ横切リ同町字操出ニ於テ鐵道東海道線路ヲ跨キ山崎川新架橋ヲ經テ同區呼續町字野屋ニ於テ愛知電氣鐵道岡崎線路ヲ横切リ野並橋西詰ニ至ルノ路線

一等大路第三類第四十一號路線　幅員十三間半
南區星崎町字殿海道六〇二番地ニ於テ一等大路第三類第二十二號路線ヨリ分岐シ同區本星崎町字土場前ニ於テ鐵道東海道線路ヲ跨キ同區鳴尾町イノ割ニ於テ愛知電氣鐵道常滑線路ヲ横切リ同町字トノ割二七五九番地ヲ經テ同町地先埋立豫定地ニ至ルノ路線

一等大路第三類第四十二號路線　幅員十三間半
一等大路第二類第三號路線終點ヨリ山崎川新架橋ヲ經テ南區大江町ニ於テ愛知電氣鐵道築港線路ヲ横切リ大江川新架橋ヲ經テ前號路線ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第四十三號路線　幅員十三間半
南區寶神町字一三三三番地ヨリ築地電車通ヲ經テ同區熱田前新田字中川東ニ於テ鐵道臨港線路ヲ跨キ同區千年字二ノ割七〇六番地ノ一ヨリ堀川渡船場ヲ渡リ同區豐田町字汐遊番外一五四番地ニ於テ前號路線ニ接續スルノ路線

一等大路第三類第四十四號路線　幅員十三間半
西區稻葉地町字中道一〇番地ノ一ノ一庄田川堤防ヨリ同區日比津町ヲ貫キ同區則武町字向エニ於テ鐵道東海道路線下ヲ過キ同區菊井町八ノ八番地ニ至ルノ路線

清水都市計畫

大正十五年一月二十七日
内閣總理大臣臨時代理
内務大臣若槻禮次郎

清水都市計畫區域左ノ通決定ノ件認可ス
一、安倍郡有度村　一、庵原郡飯田村、神師村、高部村、

名古屋都市計畫公告

大正十五年一月二十八日
内閣總理大臣臨時代理
内務大臣若槻禮次郎

名古屋都市計畫公園新設及擴築左ノ通決定ノ件認可ス

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部
公園第一號　面積約一〇萬坪　位置名古屋市南區稻永新田字い、へ、と、ち、ぬノ全部字ろは、に、ほノ一部
公園第二號　面積約二四、〇〇〇坪　位置名古屋市南區上古町字落杁山起ノ全部　字東上百間通、東川田、一〇〇間下山起、福井田、東一ノ三角、小碓町字南堤起ノ一部
公園第三號　面積一八、八〇〇坪　位置名古屋市南區小碓町字三三番割、西亥新田ノ一部
公園第四號　面積約一一、〇〇〇坪　位置名古屋市南區荒子町字六田池、大和池、亭方西、高畑町字六田池ノ一部
公園第五號　面積約一八、〇〇〇坪　位置名古屋市中區篠原町字東井領、西井領、東元屋敷、四女子町字大上坊西、大上坊東、小塚東ノ一部
公園第六號　面積約五二、三〇〇坪　位置名古屋市南區横井町字一本杉、西坂海道、吹留、東坂海道、山下、砂留、村西ノ全部
公園第七號　面積約三二、六〇〇坪（内既設公園面積九五八四坪四合）位置名古屋市西區中村町字高畑ノ全部、字河原、茶ノ水、木下屋敷、待屋ノ一部
公園第八號　面積約二三、一〇〇坪　位置名古屋市中區白川町一、二、三、四、五丁目、日出町、南桑名町四、五丁目ノ一部
公園第十號　面積約一五、〇〇〇坪　位置名古屋市西區北押切町字切籔、天神山ノ一部
公園第十一號　面積約四四、四〇〇坪　位置西春日井郡庄内村大字名塚字土手、墓南、柳原、定井下ノ全部、大字堀越字新替、宮東、大字名塚、字北浦、東坪堀田、西坪堀田、大字稻生字杁先ノ一部
公園第十二號　面積約二三、九〇〇坪　位置名古屋市西區西志賀町字機場ノ全部、字揚戸、四反田ノ一部
公園第十三號　面積約三四五〇〇坪　位置名古屋市東區筒井町一、三丁目、車道町二丁目ノ一部
公園第十四號　面積約二八六〇〇坪　位置名古屋市東區矢田町字寺畑、寺西ノ一部
公園第十五號　面積約三九六〇〇坪　位置名古屋市東區田代町字城山、姫ノ池上ノ一部
公園第十六號　面積約八一〇〇〇〇坪　位置愛知郡天白村大字八事字裏山、山田、名古屋市東區田代町字唐山、瓶杁、新池ノ一部
公園第十七號　面積約八五〇〇〇坪（内既設公園面積七三五四八）　位置名古屋市中區鶴舞町御器所町字西坪
公園第十八號　面積約七三三〇〇坪　位置名古屋市南區瑞穗町字赤塚、彌富町字中奥、大廻間ノ全部、瑞穗町字中内田、内山、彌富町孤塚、下山、密柑山、石川ノ一部
公園第十九號　面積約二八三〇〇坪　位置名古屋市南區瑞穗町字西津賀田、池側、天神下、鳥喰城腰、道德、柳ケ坪、田光、下坂ノ一部
公園第二十號　面積約一九六〇〇坪　位置名古屋市南區熱田白鳥町、熱田旗屋町、熱田中瀬町、熱田新宮坂町、熱田市場町、熱田東町字新宮坂、森後ノ一部
公園第二十一號　面積約二二五〇〇坪　位置名古屋市西區熱田西町字根山、幣懸、白鳥、熱田旗屋町ノ一部
公園第二十二號　面積約二六六〇〇坪　位置名古屋市南區呼續町字元屋敷、學頭、吹上ノ全部、字神林、志水、藥師、汐見、門所ノ一部
公園第二十三號　面積約一三八〇〇坪　位置名古屋市南區笠寺町字上新町、七反田、一色、西ノ門、呼續町字三丈坊、櫻田、寶珠庵、東一色ノ一部
公園第二十四號　面積約二五六〇〇坪　位置名古屋市南區豐田町字縱横、三町歩ノ一部
公園第二十五號　面積約一一〇〇〇〇坪　位置名古屋市南區鳴尾町字チノ割リノ割、神德、神德地先海面ノ一部

内務省告示第九號

大正十五年二月十二日
内務大臣若槻禮次郎

大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號「東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件」ヲ「東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修並運河ノ改修ノ件」ニ改メ第六十二整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ街路ノ新設改修中幅員三米、四米、六米、八米ノ街路ヲ左ノ通變更シ、運河ノ改修ヲ左ノ通定ムルノ件及大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中補助線街路第百二二號路線ヲ左ノ通改メ補助線街路第四十一號路線同第四十六號路線位置ヲ變更スルノ件大正十五年二月三日内閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	延長約 新設	改修	計
三米	一二、〇〇七米	二、七九二米	一四、七九九米
四	一〇、七九七	五、八七六	一六、六七三
六	一〇七、九三五	八二、三二八	一九〇、二六三
八	七四、四四六	一〇五、二〇〇	一七九、六四六

圖面省略

運河改修ノ部

	延長約	幅員	深度（零點下）
古石場川	八八〇米	一八米	一、二米

圖面省略

補助線街路ノ部

番號	線路（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一二二	深川區大島町ヨリ平富町二丁目ヲ經テ平久町二丁目ニ至ル	一、〇七四米	一一乃至一五米
	深川區大島町ヨリ平富町二丁目迄	八三四	一五
	平富町二丁目ヨリ平久町二丁目迄	二四〇	一一

內務省告示第十號

（大正十五年二月十二日 內務大臣若槻禮次郎）

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修並運河ノ改修ノ件街路ノ新設、改修ノ部中第十三整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ幅員三米、四米、六米、八米、十一米ノ街路ヲ左ノ通變更スルノ件及大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中補助線街路第六十號路線位置ノ變更並同第六十一號路線ノ起點位置ヲ變更シ延長「約七八八米」ヲ「約七六二米」ニ改ムルノ件並大正十三年七月四日內務省告示第四百二十四號東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割中第十一號日本橋公園ヲ左ノ通改ムルノ件及東京市區改正設計公園ノ部中第二十七蠣殼町公園ヲ削ルノ件大正十五年二月三日內閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ新設、改修ノ部

延長（約）

幅員	新設	改修	計
三米	一二、一七二米	二、七九二米	一四、九六四米
四	一〇、九六二	六、五一二	一七、四七四
六	一〇九、二〇〇	八三、四六〇	一九二、六六〇
八	七三、〇二四	一〇四、三〇三	一七七、三二七
一一	一五、五〇九	六七、九九八	八三、五〇七

圖面省略

小公園ノ部

番號	名稱	位置	面積（約）
一三	蠣殼町公園	日本橋區蠣殼町三丁目ノ內	一三〇〇坪

內務省告示第十一號

（大正十五年二月十二日 內務大臣若槻禮次郎）

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ部中、第五十二整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ巾員三米、四米、五米、六米、八米十一米ノ街路ヲ左ノ通變更スルノ件及大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中補助線街路第四十號線路同第百八號線路、同第百十五號路線、位置ヲ變更スルノ件並大正十三年七月四日內務省告示第四百二十四號東京都市計畫小公園ノ設置及其ノ事業執行年割中第四十八號八名川公園ノ位置「深川區西元町ノ內」ヲ「深川區八名川町及西六間堀町ノ內」ニ改メ第四十九號森下公園ノ位置ヲ變更スルノ件大正十五年二月三日內閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ新設、改修ノ部

延長（約）

幅員	新設	改修	計
三米	一四、三六四米	三、三六二米	一七、七二六米
四	一一、〇七〇	六、八四八	一七、九一八
五	、一一五	、九〇二	一、〇一七
六	一一〇、二五二	八三、九三二	一九四、一八五
八	七一、七四三	一〇四、五九三	一七六、三三六
一一	一六、一三〇	六七、四六一	八三、五九一

圖面省略

內務省告示第十二號

（大正十五年二月十二日 內務大臣若槻禮次郎）

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修並運河ノ改修中第五十六整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ幅員三米、四米、六米、八米、十一米ノ街路ヲ左ノ通變更スルノ件及大正十三年七月四日內務省告示第四百二十四號東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割中第四十九號元加賀公園ノ位置「深川區元加賀町ノ內」ヲ「深川區東大工町ノ內」ニ變更スルノ件大正十五年二月三日內閣ノ認可ヲ得タリ

街路ノ新設、改修ノ部

幅員	新設	改修	計
三米	一四、四一六米	三、四〇三米	一七、八一九米
四	一一、二〇三	六、八四八	一八、〇五一
六	一一一、三三二	八四、三一〇	一九五、六四二
八	七一、九四〇	一〇四、七八四	一七六、七二四
一一	一五、六二五	六七、四六一	八三、〇八六

圖面省略

內務省告公第十三號

（大正十五年二月十二日 內務大臣若槻禮次郎）

大正十三年三月二十日內務省告示第百三十一號東京都市計畫土地區劃整理施行區域中一東京市本所區向島須崎町、向島小梅町ノ一部ヲ變更シ面積「約一、五一二、一七〇坪」ヲ「約一、五一六、三〇五坪」ニ改ムルノ件及右土地區劃整理施行區域ノ變更ニ關聯シ大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計劃土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修並運河ノ改修ノ件街路ノ新設改修ノ部中幅員四米、六米、八米、ノ街路ヲ左ノ通變更スルノ件大正十五年二月三日內閣ノ認可ヲ得タリ

延長（約）

幅員	新設	改修	計
四	一一、二〇三米	六、九〇七米	一八、一一〇米
六	一一一、五五一	八四、二三五	一九五、七八六
八	七二、一七五	一〇四、九四〇	一七七、一一五

圖面省略

大阪都市計畫公告

（大正十五年三月二十九日 內閣總理大臣若槻禮次郎）

大阪都市計畫高速度交通機關路線左ノ通決定ノ件認可ス

大阪都市計畫高速度交通機關路線

各路線ノ起終點及重要ナル經過地點並延長左ノ如シ

第一號線

豐能郡豐澤村大字榎阪ヨリ東淀川區北川口町國有鐵道東海道大阪驛都市計畫路線御堂筋線南海鐵道線難波驛西端都市計畫路線難波住吉線、浪速區市電大國町交叉國有鐵道關西線天王寺驛南側、住吉區西田邊町ヲ經テ住吉區我孫子町ニ至ル 延長約十二哩四分

第二號線

東成區森小路町南端ヨリ都市計畫路線善源寺野江線、北區天神橋筋六丁目新京阪電車線路終點南側、阪神電鐵北大阪線、國有鐵道東海道線大阪驛都市計畫路線北野線、北區扇橋南詰、東區天神橋南詰都市計畫路線松屋町筋線ヲ經テ國有鐵道關西線天王寺驛南側ニ至ル

延長約八哩五分二厘

第三號線

浪速區市電大國町交叉點ヨリ都市計畫路線難波住吉線ヲ經テ西成區玉出町南端ニ至ル延長約二哩三分一厘

第四號線

港區築港棧橋東側ヨリ市電築港線同線花園橋停留場、西區伯樂橋西詰、都市計畫路線長堀線東成區大今里町大阪市區改正設計二等大線第一類第十九號線、住吉區今林町西端住線區平野泥堂町國有鐵道關西線平野驛西端ヲ經テ住吉區平野西脇町ニ至ル 延長約十哩二分三厘

堺都市計畫公告

（大正十五年三月二十九日 內閣總理大臣若槻禮次郎）

堺都市計畫街路左ノ通リ決定ノ件認可ス

街路ノ部

第一街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル 類分

廣路 幅員二十四間以上

二 一等大略ハ左ノ三類トス

第一類 巾員二十間以上 第二類幅員 十間以上 第三類 幅員十二間以上

三 二等大路ハ左ノ三類トス

第一類 幅員十間以上

第二類 幅員八間以上 第三類 幅員六間以上

第二橋渠の主要部は鐵石鐵筋『コンクトリー』

等不燃質耐久材料ヲ以テ築造スルモノトス

第三　前二項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月內務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第四　街路ノ新設及擴築並位置及幅員左ノ如シ

一　一等大路第三類

第一號線（三寶濱寺線）　三寶村大字南島四十二番地先ヨリ大阪市境界ヨリ大濱公園地內ヲ經テ濱寺町下一一八九番地先ニ至リ右折シ下九四九番地ノ一五ニ至ルノ路線幅員十五間　但シ大濱北町九番地ノ七八地先ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十三間トス

第二號線（遠里小野鳳線）　遠里小野町一一一番地ノ二地先大和川大阪市境界ヨリ向陽町ヲ經新町八七八番地ニ至リ右折シ神石村ヲ經テ濱寺町船尾二二六番地ニ至ルノ路線幅員十三間　但シ新町一六〇〇番地ヨリ神石村大字山石津七八五番地ニ至ル區間ハ幅員十二間トシ同番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第三號線（新町大濱線）　新町一六〇〇番地ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ安井町一一六四番地ニ至リ右折シ南海鐵道阪堺線ヲ橫切リ內川新橋梁ヲ經テ南海鐵道本線ヲ跨キ大濱北町九番地ノ三十一ニ至ルノ路線幅員十三間

第四號線（下石津百舌鳥線）　濱寺町下石津二一ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ南海鐵道本線及同阪堺線ヲ橫切リ神石村大字上石津一〇〇一番地ノ二ニ至ルノ路線幅員十二間　但シ神石村大字山石津七八五番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第四號線（小林寺濱寺線）　西湊町一二九番地ノ三ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ東湊町四一一番地ニ至リ右折シ石津川新橋梁ヲ經テ濱寺町下七九二番地ノ三ニ至リ二等大路第三類第七號線ニ接續スルノ路線幅員八間　但シ濱寺町下石津六四六番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

三　二等大路第三類

第一號線（三寶向陽線）　三寶村大字山本四七番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ南海鐵道本線ヲ橫切リ內川新橋梁ヲ經テ南海鐵道阪堺線ヲ橫切リ材木町東四ノ七番地ニ至リ左折シ向陽町八九番地ニ於テ一等大路第三類第二號線ニ接續スルノ路線幅員六間

第二號線（國分堺線）　花田口町七七四番地ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ南海鐵道高野線ヲ橫切リ東雲町七五三番地ノ二ニ至ルノ路線幅員六間

第三號線（大濱宿院線）　大濱町三ノ二六番地ノ二ヨリ南海鐵道本線ヲ橫切リ住吉橋ヲ經テ大町西四ノ八番地ノ三ニ至ルノ路線幅員六間

第四號線（湊汐穴線）　出島町六〇三番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ南海鐵道本線及同阪堺線ヲ橫切リ神石村大字上石津一六四番地ニ於テ一等大路第三類第二號線ニ接續スルノ路線

第五號線（下石津市線）　濱寺町下石津二一〇番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ南海鐵道本線及同阪堺線ヲ橫切リ神石村大字市一五番地ニ至リ一等大路第三類第二號線ニ接續スルノ路線幅員六間

第六號線（濱寺公園船尾線）　濱寺町下一一八九番地先ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ南海鐵道本線及同阪堺線ヲ橫切リ同町船尾四六一番地ニ至ルノ路線幅員六間

第七號線（濱寺鳳線）　一等大路第三類第一號線終點ヨリ南海鐵道本線ヲ橫切リ二等大路第二類第四號線終點ヲ經テ濱寺町下二一七番地ノ一ニ至ルノ路線幅員六間

第八號線（小栗街道線）　濱寺町下石津六四六番地ニ於テ二等大路第二類第四號線ヨリ分岐シ神石村大字市一五番地ニ至リ一等大路第三類第二號線ニ接續スルノ路線幅員六間

宮都市計畫公告

（大正十五年三月二日　內閣總理大臣若槻禮次郎）

一宮都市計畫區域左ノ通決定ノ件認可ス

一　一宮市　一　申島郡大和村今伊勢村、奧起町

富山都市計畫公告

（大正十五年四月十二日　內務大臣若槻禮次郎）

富山都市計畫區域左ノ通決定ノ件認可ス

一　富山市　一　婦負郡東吳羽村、神明村

一　上新川郡堀川村ノ一部（大泉、小泉、西田地方、太郎丸、西中野、布瀨、今泉、根塚大町）根宝村ノ一部（館山、清水、西公文名、西長江、長江、石金、中市、公文名新庄町、廣田村ノ一部（鍋田、中富居、上富居、赤江、下赤江）奧田村、豐田村ノ一部（粟島字市田開）

右公告ス

高岡都市計畫

（大正十五年四月十二日　內閣總理大臣若槻禮次郎）

高岡都市計畫區域左ノ通決定ノ件認可ス

一　高岡市　一　射水郡橫田村、能町村、二上村、伏木町、新湊町（牧野村內飛地ヲ除ク）佐野村木津、牧野村ノ一部（庄川以西）

右公告ス

神戶都市計畫公告

（大正十五年四月十五日　內閣總理大臣若槻禮次郎）

左記神戶都市計畫事業街路ノ新設及擴築並其ノ事業年度割ノ件認可ス

一　神戶都市計畫事業街路ノ新設擴築並其ノ位置及幅員左ノ通追加ス

第十二號線ノ二號　幅員十三間五分

前號路線終點ヨリ東尻池町八丁目ニ至リ左折シ運河ニ架スル橋梁ヲ經テ第八號線ノ二終點ニ至ルノ路線

一　神戶都市計畫街路ノ新設及擴築事業年度割ヲ左ノ通更正ス

自大正十二年度大正十四年度約八割一分

大正十五年度約一割九分

右公告ス

岡崎都市計畫公告

（大正十五年四月十九日　內閣總理大臣若槻禮次郎）

岡崎都市計畫區域左ノ通決定ノ件認可ス

一　岡崎市　一　額田郡岡崎村、美合村、男川村、岩津村ノ一部（大字東藏前、青木川以南）西河知和（青木川以南）東阿知和（青木川以南）鴨田、大門、上里、百々、藪田井ノ口、大樹寺ノ碧海郡六ツ美村ノ一部（大

字土井、井内、宮地、上和田、法性寺、牧御堂、赤濱、中ノ郷）

右公告ス

大分都市計畫公告

（大正十五年四月三十日　内閣總理大臣若槻禮次郎）

大分都市計畫區域左ノ通決定ノ件認可ス

一　大分市　一　大分郡東大分村瀧尾村

右公告ス

勅令第百五十四號

大正九年勅令第五百四〇號中左ノ通改正ス

第一項中「及名古屋市」ヲ「名古屋市、札幌市、函館市、小樽市、堺市、尼崎市、長崎市、佐世保市、新潟市、長岡市、津市、豐橋市、岡崎市一宮市、靜岡市、濱松市、清水市、岐阜市、大垣市、長野市、松本市、仙臺市、金澤市、富山市、高岡市、岡山市、廣島市、吳市、下關市、和歌山市、高松市、丸龜市、高知市、福岡市、門司市、小倉市、若松市（福岡縣）、大牟田市、八幡市、大分市、熊本市及鹿兒島市」ニ改ム

第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項ニ掲グル市ノ外市街地建築物法ハ茨城縣新治郡土浦町及其ノ外ニ亘ル區域ニシテ內務大臣ノ告示スルモノニ之ヲ適用ス

附則　本會ハ大正十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）大正九年十一月十八日公布勅令第五四〇號抄錄

第一項　市街地建築物法ハ東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戸市及名古屋市ニ之ヲ適用ス

濱松都市計畫公告

（大正十五年八月六日　内閣總理大臣若槻禮次郎）

濱松都市計畫事業ニ執行年度割左ノ通決定ノ件認可ス

濱松都市計畫事業　街路ノ部

第一街路ノ新設及擴築竝位置及幅員左ノ通定ム

一　一等大路第三類

第一號線（停車場通線）　旭町六五番地ヨリ傳馬町二六番地ノ一ニ至ル路線及鍛冶町二〇番地ノ六ニ於テ本線ヨリ分岐シ田町四五番地ノ一ニ至ル路線　幅員十二間　但シ鍛冶町二二〇番地ノ六ヨリ田町四五番地ノ一ノ一ニ至ル區間ハ幅員一〇間半トス

二　二等大路第一類

第一號線（國道筋）　天神町一番地ヨリ國道一號路線ニ沿ヒ天神町、板屋町、連尺町、成子町ヲ經テ菅原町一六六番地ニ至リ更ニ可美村東一一五一番地地先ヨリ國道一號路線ニ沿ヒ同村西四八四六番地地先ニ至ル路線　幅員十間半但シ板屋町八八番地ヨリ連尺町九番地ニ至ル區間ハ幅員八間、成子町八八番地ノ一地先ヨリ菅原町一六六番地ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第二號線（連尺和知山線）　連尺町九番地ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ府縣道靜岡氣賀線ニ沿ヒ高町ヲ經テ追分町六七番地ノ一ニ至ル區間　幅員六間

第三號線（旭町上島線）　一等大路第三類第一號線起點ヨリ板屋町、東田町ヲ經テ八幡町六四九番地ノ一地先ニ至ル區間　幅員十間半　但シ起點ヨリ板屋町八八番地ニ至ル區間ハ幅員一二間トス

第四號線（成子若林線）　成子町八八番地ノ一ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ菅原町ニ於テ國有鐵道東海道線路ヲ跨キ淺田町一九四〇番地ニ至ル區間　幅員十間半

第五號線（傳馬掛塚線）　傳馬町八二ノ一ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ平田町ニ於テ國有鐵道東海道線路ヲ橫切リ新川新架橋ヲ經テ砂山町二九二ノ三ニ於テ右折シ馬込川新架橋ヲ經テ中島町一六一〇番地地先ニ至ル區間　幅員十間半

第六號線（追分植松線）　野口町一九三一番地ノ二ヨリ船越町馬込川新架橋ヲ經テ佐藤町一五七一地地先ニ至ル區間　幅員六間

三　二等大路第二類

第一號（砂山飯山線）　砂山町二九二番地ノ三ニ於テ三等大路第一類第五號線ヨリ分岐

シ北寺島町馬込川新架橋ヲ經テ中島町二三二〇地地先ニ至ル區間　幅員八間

第二號線（松江町中田島線）　松江町九番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ國有鐵道東海道線路下ヲ過キ寺島町三〇九番地ノ六地先ニ於テ二等大路第一類第五號線ニ接續スル區間　幅員八間　但シ起點ヨリ北寺島町八七番地地先ニ至ル區間ハ幅員六間トス

四　二等大路第三類

第二號線（雄踏街道）　菅原町一六六番地地先ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ東伊場町ヲ經テ西伊場町三九七三番地ノ一地先ニ至ル區間　幅員六間

第四號線（松江町曳馬線）　松江町一九番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ馬込町ヲ經テ野口町一九三一番地ノ二地先ニ至ル區間　幅員六間

第二事業ノ實施ニ方リ設計ニ些少ノ異動ヲ生スル場合ニハ都市計畫靜岡地方委員會限リ之ヲ變更スルコトヲ得

第三街路ノ新設擴築事業施行年度割左ノ通定ム

大正十六年度約七分　大正十七年度約七分　大正十八年度約一割八分　大正十九年度約二割三分　大正二十年度約二割二分　大正二十一年度約二割三分

右公告ス

濱松都市計畫公告

（大正十五年八月六日　内閣總理大臣若槻禮次郎）

濱松都市計畫街路左ノ通決定ノ件認可ス

濱松都市計畫　街路ノ部

第一　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一　廣路　幅員二四間以上

二　一等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員二十間以上　第二類　幅員十六間以上　第三類　幅員十二間以上

三　二等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員十間以上　第二類　幅員八間以上　第三類　幅員六間以上

第二　橋梁ノ主要部ハ鐵、石、鐵筋「コンクリート」等不燃質耐久材料ヲ以テ築造スルモノトス

第三　前二項ニ定ムルモノヲ除クノ外街路及橋梁ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月內務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第四　街路ノ新設及擴築並位置及幅員左ノ如シ

一　一等大路第三類

第一號線（停車場通線）　旭町六五番地ヨリ傳馬町二六番地ノ一ニ至ル路線及鍛冶町二〇番地ノ六ニ於テ本線ヨリ分岐シ田町四五番地ノ一ニ至ル路線　幅員十二間　但シ鍛冶町二二〇番地ノ六ヨリ田町四五番地ノ一ノ一ニ至ル區間ハ幅員一〇間半トス

二　二等大路第一類

第一號線（國道筋）　蒲村北浦二八三番地地先ヨリ國道一號路線ニ沿ヒ天神町、板屋町、連尺町、成子町ヲ經テ菅原町一六六番地ニ至リ更ニ可美村東一一五一番地地先ヨリ國道一號路線ニ沿ヒ同村西四八四六番地地先ニ至ル路線　幅員十間半但シ板屋町八八番地ヨリ連尺町九番地ニ至ル區間ハ幅員八間、成子町八八番地ノ一地先ヨリ菅原町一六六番地ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第二號線（連尺和地山線）　連尺町九番地ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ府縣道靜岡氣賀線ニ沿ヒ高町追分町六七番地ノ一ヲ經テ和地山町九〇番地地先ニ至ル路線　幅員十間半　但シ連尺町九番地ヨリ追分町六七番地ノ一ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第三號線（旭町上島線）　一等大路第三類第一線起點ヨリ板屋町、東田町、八幡町、六四九番地ノ一地先ヲ經テ遠州電氣鐵道線路ニ沿ヒ成馬村上島一四七一番地ニ至ルノ路線　幅員十間半　但シ起點ヨリ板屋町八八番地ニ至ル區間ハ幅員十二間

第四號線（成子若林線）　成子町八八番地ノ一ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ菅原町ニ於テ國有鐵道東海道線ヲ跨キ淺田町一九四〇番地ヲ經テ可美村明神野一八三六番地ニ至リ右折シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五號線（傳馬掛塚線）　傳馬町八二番地ノ一ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ平田町ニ於テ國有鐵道東海道線路ヲ横切リ新川新架橋ヲ經テ砂山町二九二番地ノ三ニ於テ右折シ馬込川新架橋、中島町一六一〇番地地先、芳川村都盛四四六一番地ノ一ヲ經テ府縣道濱松、掛塚線ニ沿ヒ芳川村立野六五二番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員十間半

第六號線（追分植松線）　追分町六七番地ノ一ヨリ上池川町、下池川町、山下町、元濱町ヲ經テ八幡町ニ於テ遠州電氣鐵道線路ヲ横切リ野口町一九三一番地ノ二、船越町、馬込川、新架橋、佐藤町一五七一番地地先ヲ經、蒲村植松一五六〇番地ノ一地先ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半　但シ八幡町六四九番地ノ一地先ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第七號線（淺田領家線）　淺田町一九四〇番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ龍禪寺町馬込川新架橋、中島町ヲ經領家町一一四八番地ニ於テ二等大路第一類第五號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八號線（追分鴨江線）　追分町二六番地ノ一ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ名殘町五三五番地ニ於テ左折シ廣澤町鴨江町ヲ經テ同町一二九六番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第十三號線（和地山三方原線）　二等大路第一類第二號線終點ヨリ富塚村和合、曳馬村、小豆餅ヲ經テ同村追分五一一〇番地ノ五ノ一ノ一地先ニ至ル路線　幅員十間半

第九號線（和地山蒲村線）　二等大路第一類第二號線終點ヨリ中澤町曳馬村助信、船越町、馬込川新架橋ヲ經テ蒲村植松一五六〇番地ノ一地先ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半　天神町一一六番地先ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ大工町、榮町、鴨江町、東伊場町ヲ經テ西伊場町三九七三番地ノ一地先ニ至ルノ路線　幅員十間半

第十號線（天神町丸塚線）　傳馬町一一三番地ノ二ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ大工町、榮町、鴨江町、東伊場町ヲ經テ西伊場町三九七三番地ノ一地先ニ至ルノ路線　幅員十間半

第十一號線（天神町寺脇線）　天神町一六〇番地地先ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ國有鐵道東海道線路下ヲ過キ相生町、領家町ヲ經テ白脇村寺脇二一八番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ淺田町、馬込川新架橋、白脇村三島ヲ經テ芳川村思地七二八六番地ニ至ルノ路線　幅員八間

第一七號線（停車場南口線）　砂山町二九二番地ノ三ニ於テ二等大路第一類第五號線ヨリ分岐シ同町九一六番地地先ヘ至ルノ路線　幅員十間半

三　二等大路第二類

第一號線（砂山飯田線）　砂山町二九二番地ノ三ニ於テ二等大路第一類第五號線ヨリ分岐シ北寺島町、馬込川新架橋、中島町二三三〇番地地先、向宿町、芳川村西傳寺ヲ經テ飯田村下飯田一三五一番地ノ一地先ニ至ルノ路線　幅員八間

第二號線（松江町中田島線）　松江町九番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ國有鐵道東海道線路下ヲ過キ寺島町三〇九番地ノ六地先、龍禪寺町、馬込川新架橋ヲ經テ白脇村白羽一六八四番地ニ至ルノ路線　幅員八間但シ起點ヨリ北寺島町八七番地地先ニ至ル區間白脇村西川原六六四番地地先ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第三號線（入野可美村線）　入野村入野八五三三番地ノ一地先ヨリ可美村ニ至リ國有鐵道東海道線路ヲ横切リ同村增樂四八八番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ馬込川町野口町一九三一番地ノ二地先船越町ヲ經テ曳馬村本鄉一〇五五番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員六間

四　二等大路第三類

第一號線（連尺二俣線）　連尺町九番地地先ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同町、山下町ヲ經テ元城町、下池川町、山道ニ俣濱松停車場線ニ沿ヒ曳馬村上上島三〇一五番地地先ニ至リ二等大路第一類第三號線ニ接續スルノ路線　幅員六間但シ起點ヨリ下池川町一六五番地地先ニ至ル區間ハ幅員一〇間半トス

第二號線（薙鎌街道）　宵原町一六六番地地先ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ東伊場町、西伊場町三九七三番地ノ一地先ヨリ入野村西鴨江入一〇五番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員六間　但シ西伊場町三九七三番地ノ一地先ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第三號線（入野可美村線）　入野村入野八五三三番地ノ一地先ヨリ可美村ニ至リ國有鐵道東海道線路ヲ横切リ同村增樂四八八番地ノ一地先ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第七號線（淺田領家線）　淺田町一九四〇番地ニ於テ二等大路第一類第四號線ヨリ分岐シ龍禪寺町馬込川新架橋、中島町ヲ經領家町一一四八番地ニ於テ二等大路第一類第五號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八號線（追分鴨江線）　追分町二六番地ノ一ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ名殘町五三五番地ニ於テ左折シ廣澤町鴨江町ヲ經テ同町一二九六番地ヨリ終點ニ至ル區間及芳川村思地七二八六番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員六間トス

第十三號線（和地山三方原線）　二等大路第一類第二號線終點ヨリ富塚村和合、曳馬村、小豆餅ヲ經テ同村追分五一一〇番地ノ五ノ一ノ一地先ニ至ル路線　幅員十間半

第九號線（和地山蒲村線）　傳馬町一一三番地ノ二ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ大工町、榮町、鴨江町、東伊場町ヲ經テ西伊場町三九七三番地ノ一地先ニ至ルノ路線　幅員十間半

第一四號線（大工伊場線）　傳馬町一一三番地ノ二ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ大工町、榮町、鴨江町、東伊場町ヲ經テ西伊場町三九七三番地ノ一地先ニ至ルノ路線　幅員十間半

第一五號線（伊場可美村線）　西伊場町二二七五番地ノ二ヨリ可美村ニ至リ國有鐵道東海道線路ヲ跨キ同村若林八五四番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第十六號線（可美村明神野一八三六番地ニ於テ二等大路第一類第四號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第二十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第三十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第四十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第五十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第六十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第七十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第八十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第九十九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇〇號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一〇九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一〇號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一一九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二〇號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一二九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三〇號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一三九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四〇號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一四九號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五〇號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五一號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五二號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五三號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五四號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五五號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五六號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五七號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員十間半

第一五八號線（可美村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同村東一二七二番地ニ於テ二等大路第一類第一號線ニ接續スルノ路線

リ分岐シ同町一一六番地ノ一四ニ於テ右折シ三組町鴨江町ヲ經入野村蜆塚一九七六一番地地先ニ於テ二等大路第三類第七號線ニ接續スルノ路線　幅員六間

第十號線(村櫛濱松線)　二等大路第三類第三號起點ヨリ富塚村善五郎谷三一番地ノ七及二等大路第三類第七號線、同第八號線、同第六號線ノ終點ヲ經テ府縣道村櫛濱松線ニ沿ヒ富塚村福江平三七七九番地ノ五四ニ至ルノ路線　幅員六間

第十一號線(中田島大柳線)　白脇村白羽一六八四番地ヨリ芳川村鼠野三一一番地ニ至ルノ路線　幅員六間

第十二號線(若林米津線)可美村村東一二七一ニ於テ二等大路第一類第一號線ヨリ分岐シ同一五七四番地ニ至ルノ路線　幅員六間

右公告ス

都市計畫公告

(大正十五年九月十四日
内務大臣若槻禮次郎)

京都都市計畫土地區劃整理左ノ通決定ノ件認可ス

京都都市計畫土地區劃整理

第一區域

京都市上京區田中飛鳥井、田中野神、田中里ノ内、田中里ノ前、田中古川、田中門前、高野上開、下鴨森ケ前、下鴨膳部、下鴨芝之本、紫野雲林院、大宮頭今宮御旅所西入若宮横、大宮西裏鞍馬口上ル鞍馬口大宮西入北側西若宮北半、紫野築山、紫野西野、紫野御所田、鷹野花ノ坊、鷹野東、衣笠殿、衣笠北道、衣笠南道、衣笠大秡、平野櫻木、平野宮北、平野宮本、平野八丁柳、今小路御前通西入下ル紙屋川、北野紅梅、御前通西裏一條上ル大上之、一條御前通西入二、西大將軍川端、大將軍西、上ノ下立賣御前通西入二、堀川、鹿ケ谷高岸、北白川追分、田中大堰、田中玄京、田中樋ノ口、田中西浦、田中大久保、田中高原、高野下開高野淸水、高野竹屋、下鴨蓼倉、下鴨高木下鴨松ノ木、下鴨北園、下鴨中川原、下鴨半木、下鴨上川原、賀茂今井、出雲路松ノ下、出雲路内河原、出雲路立テ本、小山堀池、小山花ノ木、小山上總、小山大野、賀茂板倉、紫野柳、紫野宮西、紫野門前、紫野宮東、大宮鞍馬口上ル今宮御旅所東裏下ル若宮竪、鞍馬口大宮東入東若宮、鞍馬口大宮西入西若宮南半、紫野東藤ノ森、堀川鞍馬口上ル下ル東入西入兵瑞光院前、大宮鞍馬口下ル筋違橋、紫野北船岡、紫野大德寺、紫野郷ノ上、衣笠開キ衣笠紙屋、衣笠天神森、紫野西土居、金閣寺平野上柳、平野鳥居前、小松原北、今小路御前通西入上ル觀音寺門前、小松原南、御前通今小路上ル下ル東入圖子共馬喰、大北山字不動山、大北山字鏡石、大北山字天神ケ岡、北野白梅、大將軍一條、仁和寺街道御前通西入上ル下ル下横、御前通西浦上ノ下立賣上ル北大將軍鷹司、上ノ下立賣御前通西入大宮、御前通仁和寺街道上ル下ル下竪、一條御前通西入下ル東側大東、下立賣御前通西入二行衞、下立賣御前通西入突拔、御前通一條上ル下ル共東竪、岡崎東天王、岡崎法勝寺、南禪寺下河原、永觀堂、黑谷、鹿ケ谷宮ノ前、南禪寺北ノ坊、鹿ケ谷櫻谷、鹿ケ谷寺ノ前、淨土寺眞如、鹿ケ谷法然院、淨土寺南田、淨土寺馬場、淨土寺石場、北白川久保田、北白川小倉北白川下池田、淨土寺西田、吉田神樂岡、銀閣寺山、下京區西ノ京中保、西ノ京圓、西ノ京平、西ノ京上合、西ノ京笠殿、西ノ京原、西ノ京中合、西ノ京南原、西ノ京下合、西ノ京新建、西ノ京北小路、西ノ京三條坊、西七條比輪田、西七條市部、西七條衣田、西七條西野、西七條中野、西七條御領、朱雀北ノ口西七條東野、朱雀裏畑、七條御所ノ内東、西鹽小路石井、西鹽小路久保、七條御所ノ内本唐橋大宮尻、唐橋川久保、唐橋羅城門、八條内田、八條四ツ塚、大宮入條下ル三但四ツ塚上ル信濃小路共片原、西九條南小路、西九條

唐橋、西九條川原城、西九條藏王、西九條春日、東九條中殿田、東九條中殿田、東九條鳥丸、東九條御靈、西ノ京興岡、西ノ京鹿垣、西ノ京大炊御門、西ノ京中御門、西ノ京壺井西ノ京冷泉、西ノ京兩、西ノ京銅駝、西ノ京樋ノ口、西ノ京堅原、西院大竹、西院淵田、西院土居ノ内、西院檜、西院東高田、西七條御前田、西七條石ケ坪、西七條八反、西七條名倉、西七條月續、朱雀分木、朱雀寶藏、朱雀堂ノ口、朱雀内畑、七條御所ノ内西、梅小路日影、梅小路石橋、梅小路中、唐橋高畑ケ、唐橋平垣、唐橋門脇、唐橋花園、唐橋琵琶、唐橋經田、西九條唐戸、西九條大國、西九條南田、大宮九條上ル九條、大宮八條下ル二、下中野、西九條猪熊、西九條針小路、西九條比永城、西九條開ケ、西九條島、西九條北ノ内、西九條鳥居口、東九條明田、東九條西山、東九條上殿田、東九條札ノ辻、東九條山王、東九條宇賀邊、東九條松ノ木、東九條岩本、東九條北河原、東七條屋形

愛宕郡修學院村大字一乘寺字赤ノ宮、大字一乘寺字地藏本、大字一乘寺字大原田、大字一乘寺字河原田、大字一乘寺字大新開、大字一乘寺字拂殿、大字一乘寺字御祭田、大字一乘寺字水干、松ケ崎村字森ケ本、字小竹籔、字村ケ内、字中海道、字柳井田、字泉川、鷹ケ峰村字木之畑町

葛野郡西院村大字西院字今田、大字西院字淳和院、大字西院字三藏、大字平町、大字西院字西高田、大字西院字中溝、大字西院字花田大字西院字辰條、大字西院字巽條、大字西院字矢掛、大字西院字五條、大字西院字溝崎紀伊郡吉祥院村大字吉祥院字淸水、大字吉祥院字井之口、大字西中字東屋敷、大字西中字黑ノ内、大字西中字門口、大字西中字猪之馬場、大字吉祥院字中島、大字吉祥院字定成、大字吉祥院車道、大字吉祥院字舟戸、大字吉祥院字落合

面積約三一三萬坪　(圖面省略)

都市計畫土地區劃整理事業ノ施行ニ當リ區域ニ些少ノ異動ヲ生スル場合ニ於テハ都市計劃京都地方委員會限リ變更シタルモノヲ以テ本區域ト看做ス

第二設計

一　京都都市計畫道路新設擴築事業中第一號線第三號線及第四號線ノ一部(圖面省略)

二　都市計畫又ハ都市計畫事業トシテ決定シタル道路以外ノ道路ハ特別ノ事由アル場合ヲ除ク外總テ幅員六米以上トナシ土地ノ狀況ヲ精査シテ其ノ配地ヲ定ムルモノトス

第三　施行方法

一　區域内ニ於ケル土地ノ所有者又ハ關係人ニ於テ土地區劃整理ヲ施行セントスルトキハ前項ノ設計ニ從フモノトス　二、内閣ノ認可ヲ受ケタル後一年内ニ前號ノ土地區劃整理ノ施行ニ著手スルモノナキ土地ニ付テハ京都市ハ都市計畫事業トシテ土地區劃整理ヲ施行シ命令ヲ受ケタル日ヨリ三年内ニ工事ヲ完了セルモノトス　三、前項第一號ノ道路ノ工事及其ノ境域内ニ在ル工作物移轉ハ都市計畫道路新設擴築事業トシテ京都市長之ヲ執行ス

右公告ス

内務省告示第百二十六號

(大正十五年九月十四日
内務大臣　濱口雄幸)

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計劃並都市計劃事業及其施行年割中補助線街路第五八號路位置ヲ改メ神田川改修幅員「四七米」ヲ「三六米」ニ改ムルノ件大正一五年九月八日内閣ノ認可ヲ得タリ

内務省告示第百二十七號

(同　上)

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其執行年割中幹線街路第十九號路線ヲ左ノ通改メ幹線街路第四三號路線ヲ削ルノ件大正十五年九月八日内閣ノ認可ヲ得タリ

番號　路線(起終點及經過地)　延長(約)　幅員

一等大路第三類第十一　幅員十二間
四谷區新宿三ノ二番地地先東京市區改正設計第二等線ヨリ西大久保ヲ經テ陸軍用地ヲ貫通シ舊神田上水新架橋ヲ過キ高田町大字高田字後田五六五ニ至ルノ路線
一等大路第三類第十二　幅員十二間
前號路線終點ヨリ高田千登世町學習院用地角及池袋驛前ヲ經テ西巢鴨町大字池袋字蟹ケ窪第六六六番地ニ至ルノ路線

内務省告示第百三十號

（同　上）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部中二等大路第二類第二十五號路線ヲ左ノ通變更スルノ件大正十五年九月八日内閣ノ認可ヲ得タリ

二等大路第一類第五　幅員十間
瀧野川町大字瀧野川字飛鳥山前九十一番地ノ一地先東京市區改正設計第二號線ヨリ石神井川新架橋ヲ過キ王子町大字王子字岸ノ上一〇〇〇番地地先ニ至ルノ路線

内務省告示第百三十二號

（同　上）

大正十年十二月内務省告示第二百四十五號都市計畫事業ヲ執行スル行政廳指定ノ件中左ノ通變更ス

一等大路第三類第十一　四谷區新宿三ノ二番地地先東京市區改正設計第二等線ヨリ西大久保ヲ經テ陸軍用地ヲ貫通シ舊神田上水新架橋ヲ過キ高田町大字高田字後田五六五番地ニ至ルノ路線中郡分ニ屬スル部分
一等大路第三類第十二　前號路線終點ヨリ高田千歳町學習院用地角及池袋驛前ヲ經テ西巢鴨町大字池袋字蟹ケ窪六六六番地ニ至ルノ

内務省告示第百三十一號

（同　上）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部二等大路第一類第五號路線ヲ左ノ通變更スルノ件大正十五年九月八日内閣ノ認可ヲ得タリ

二等大路第一類第五　幅員十間
瀧野川町大字瀧野川字飛鳥山前九十一番地ノ一地先東京市區改正設計第二號線ヨリ石神井川新架橋ヲ過キ王子町大字王子字岸ノ上一〇〇〇番地先ニ至ルノ路線

内務省告示第百三十二號

（同　上）

大正十年十二月内務省告示第二百四十五號都市計畫事業ヲ執行スル行政廳指定ノ件中左ノ通變更ス

一等大路第三類第十一　四谷區新宿三ノ二番地地先東京市區改正設計第二等線ヨリ西大久保ヲ經テ陸軍用地ヲ貫通シ舊神田上水新架橋ヲ過キ高田町大字高田字後田五六五番地ニ至ルノ路線
一等大路第四類第二十五　幅員八間
一等大路第三類第二十二號路線終點ヨリ高田馬場驛脇鐵道路線下ヲ過キ二等大路第二類第二十三號路線終點ニ至ルノ路線

雜子橋外ヨリ鎌倉河岸城邊河岸加賀町ヲ經テ新橋驛ニ至ル　一九　一、〇米　二二及至二七米

内譯
雜子橋外ヨリ鎌倉河岸城邊河岸、加賀町ヲ經テ二葉町迄　三、九二二
二葉町ヨリ新橋驛迄　八八　二二

内務省告示第百二十八號

（同　上）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部中二等大路第三類第四號路線ヲ創リ大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中街路ノ部ニ左ノ路線ヲ加フルノ件大正十五年九月八日内閣ノ認可ヲ得タリ

補助線

番號　路線（起終點及經過地）　延長（約）　幅員

一二四　九段坂上ヨリ富士見小學校前ヲ經テ牛込見附内ニ至ル　五五三米　二一米

内務省告示第百二十九號

（大正十五年九月十四日内務大臣　濱口雄幸）

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部一等大路第三類第十一號路線及同十二號路線ヲ左ノ通變更スルノ件大正十五年九月八日内閣ノ認可ヲ得タリ

路線

二等大路第一類第五　瀧野川町飛鳥山前九一番地ノ一地先東京市區改正設計第二等線ヨリ石神井川新架橋ヲ過キ王子町王子字岸ノ上一〇〇〇番地地先ニ至ルノ路線
二等大路第二類第二十五　一等大路第三類第二十二號路線終點ヨリ高田馬場驛脇鐵道路線下ヲ過キ二等大路第二類第二十三號路線終點ニ至ルノ路線
一等大路第三類第二十一號路線ノ次ニ左ノ路線ヲ加フ
一等大路第三類第二十二　戸塚町大字下戸塚字松原五八五番地ノ二地先郡市境界ヨリ同町大字源兵衛字向原ニ於テ一等大路第三類線ヲ横切リ大字戸塚七七番地ノ一ニ至ルノ路線

内務省告示第百三十三號

（同　上）

大正十四年一月内務省告示第十四號東京都市計畫區域内ニ於ケル市街地建築物法第一條ノ規定ニ依ル地域及同法第四條第二項ニ依ル工業地域内特別地區中左ノ通改ム

第一商業地域ノ部

一東京市内
イ、麹町區内　一ノ内「外櫻田町」ノ下ニ「裏霞ケ關二丁目」ヲ「霞ケ關一丁目」ヲ「霞ケ關二丁目」ノ下ニ三年町ヲ加フ　二ノ内「霞關一丁目」ヲ創ル
イ、芝區内　一ノ内「田村町」ノ下ニ「琴平町」ヲ加フ　二ノ内「新堀江町」ノ下ニ「花園町」ヲ加フ　二ノ内「麹町十三丁目」ノ下ニ「新宿一丁目」ヲ加ヘ「永住町ノ一部、新宿二丁目ノ一部」ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）
イ、赤坂區内　一ノ内「田町六丁目」ノ下ニ「葵町」ヲ加フ
「同七丁目」ヲ加フ　二ノ内「駒込神明町」ノ下ニ「駒込富士前町」ヲ加フ
「田町七丁目」ヲ削リ「溜池町ノ一部」ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）
イ、四谷區内　一ノ内「萬年町二丁目」ヲ「萬年町一丁目」ニ改ム　二ノ内「向島須崎町ノ一部」ヲ圖面ノ通改メ（圖面省略）「同須崎町」ノ下ニ「同小梅町」ヲ加フ
イ、本所區内　一ノ内「麻布區簞笥町、霞町、笄町及赤坂區青山北町六ノ四六番地ノ一地先ヲ經テ同四八番地地先市郡境界ニ至ルノ路線　三〇

イ、深川區内　二ノ内「門前河岸ノ一部」圖面ノ通改ム（圖面省略）
ロ第四號、第八號、第十號、第十一號、第二十八號乃至第三十號、第三十四號、第三十五號、第四十號、第四十三號、第五十八號及第九十七號ヲ左ノ通改ム　四、麹町區飯田町二丁目五四番地ノ一地先ヨリ飯田橋、牛込區津久戸町、肴町及市谷柳町ヲ經テ若松町六番地ノ一地先ヲ左折シ余丁町一一九番地ノ二地先市郡境界ニ至ルノ路線　八、幹線第十五號ノ内芝區西久保巴町補助線第十四號接合點ヨリ神谷町終點迄及幹線第十五終點ヨリ麻布區飯倉町三丁目及赤羽橋ヲ經テ芝區田町四丁目一二番地地先ニ至ルノ路線　十、幹線第三十六號ノ内芝區愛宕町一丁目補助線第四十七號接合點迄　十一、幹線第十八號ノ内赤坂區溜池町三〇番地ノ一三地先ヨリ田町一丁目同線終點迄及幹線十八號終點ヨリ辨慶橋南詰ヲ經テ傳馬町三ノ二番地ノ一地先ニ至ルノ路線　二十八、赤坂區田町七ノ一三番地ノ二地先ヨリ同二番地ノ二地先ニ至ルノ路線　二十九、赤坂區田町七ノ二番地ノ二地先ヨリ麻布區簞笥町、霞町、笄町及赤坂區青山北町六ノ四六番地ノ一地先ヲ經テ同四八番地地先市郡境界ニ至ルノ路線　三〇

赤坂區一ツ木町五番地ノ一地先ヨリ新町三ノ三一番地地先ヲ右折シ同五丁目ヲ經テ檜町五番地ノ一〇地先ニ至ルノ路線　三十四

四谷區三光町一二七番地ノ一地先ヨリ豐多摩郡大久保町大字西大久保及戸塚町大字戸塚ヲ經テ大字源兵衛舊神田上水新架橋ニ至ルノ路線　三十五

四谷區永住町三二番地地先ヨリ牛込區市谷富久町二七番地ノ一地先ヲ經テ四谷區片町一二番地地先ヲ右折シ牛込區市谷本村町及船河原橋ヲ經テ小石川區市兵衛河岸十號地先ニ至ルノ路線　四十

牛込區天神町三番地ノ一地先ヨリ山吹町、小石川區關口水道町及江戸川橋ヲ經テ晉羽町一ノ二〇番地ノ一地先ヲ右折シ大塚仲町及氷川下町ヲ經テ鶉籠町七番地ノ一地先ニ至ルノ路線、　四十二

ノ牛込區柳町八番地ノ一地先ヨリ原町一ノ一番地地先ヲ右折シ喜久井町及馬場下町ヲ經テ高田町一二番地地先市郡境界ニ至ルノ路線五十八　補助線第八號ノ內神田區小川町幹線第二號交叉點ヨリ本鄉區本鄉一丁目幹線第十二號交叉點迄　九十七

補助線第七十一號ノ內淺草區龍泉寺町幹線第五號交叉點ヨリ下谷區金杉上町起點迄、補助線第三十二號及金杉上町補助線第三十二號起點ヨリ下根岸町四十四番地地先市郡境界ニ至ルノ路線

ロ　第一一〇號ノ次ニ左ノ通加フ

百十一　幹線第十二號ノ內神田區小川町幹線第二號交叉點ヨリ本鄉區湯島四ノ四番地他先迄　百十二

芝區白金臺町一ノ二番地地先ヨリ二榎木西町ヲ經テ白金猿町二番地ノ一地先ニ至ルノ路線　百十三

四谷區永住町三二番地地先ヨリ三光町五二番地ノ一地先郡市境界ニ至ルノ路線　百十四

北豐島郡內ロ第二十一先路線ノ內本鄉區駒込上富士前町地內ニ屬スル部分

ニ荏原郡內

イ　「大森町ノ一部」ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）

イ　「大井町ノ一部」ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）

イ　「大井町ノ一部」ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）

イ　「大井町ノ次ニ左ノ通加フ

入新井町ノ內一　大字不入斗ノ一部（圖面省略）

ロ　第三號及第八號ヲ左ノ通改ム

三　大井町字一本松二四六〇番地ノ一地先、同字馬場大字西大久保及大字百人町ヲ經テ淀橋町大字柏木字成子町北一八四番地地先ニ至ルノ路線　二十

ロ　第三號及第八號ヲ左ノ通改ム

三　大井町字一本松二四六〇番地ノ一地先、同字馬場大字高田町一二番地ヨリ大森町字美原三四番地先及大森橋ヲ經テ同字前方三四八三番地地先蒲田町境界ニ至ルノ路線　八、一東京市內ロ第十七號路線終點ヨリ大崎町大字上大崎及目黑町大字下目黑新橋ヲ經テ同字油面九八六番地地先ヨリ同字神泉谷六八四番地ノ一地先ニ至ルノ路線　十一

澁谷町大字中澁谷及千駄ヶ谷町大字穩田ヲ經テ大字原宿字石田二五〇番地ノ一地先ニ至ルノ路線　十一　澁谷町大字中澁谷、大字澁谷廣尾町」ヲ加フ

イ　「澁谷町」ノ次ニ左ノ通加フ　中野町ノ內一　大字中野ノ一部（圖面省略）

ロ　第七號、第十號乃至第十三號、第十八號及第二十號ヲ左ノ通改ム

七　一東京市內ロ第二十六號路線終點ヨリ澁谷町宮益橋ヲ經テ大字中澁谷字宇田川九五九番地ノ二地先ニ至ルノ路線及大字中澁谷字豐澤五九一番地ノ一二地先ヨリ同字豐澤五八四番地ノ一地先目黑町境界ニ至ルノ路線　十

澁谷町大字中澁谷及千駄ヶ谷町大字穩田ヲ經テ大字原宿字石田二五〇番地ノ一地先ニ至ルノ路線　十一　澁谷町大字中澁谷大字向八七三番地地先ヨリ同字神泉谷六八四番地ノ一地先ニ至ルノ路線　十二

一東京市內ロ第百十三號路線終點ヨリ淀橋町大字角筈字矢場及淀橋ヲ經テ中野町大字

中野字西町三五九五番地地先杉並町境界ニ至ルノ路線　十三　淀橋町大字角筈字新町一ノ三一二番地ノ一地先ヨリ代々幡町大字幡ヶ谷字笹塚一一一二番地地先和田堀內村境界ニ至ルノ路線　二八　一東京市內ロ第四十五號路線終點ヨリ大久保町大字東大久保字天神前二一〇番地ノ一地先、同字馬場大字西大久保及大字百人町ヲ經テ淀橋町大字柏木字成子町北一八四番地地先ニ至ルノ路線　二十　一東京市內ロ第三十四號ノ內大久保町及戸塚町ニ屬スルノ部分

ロ　第二十四號ノ次ニ左ノ通加フ

二十五　澁谷町大字澁谷下廣尾町一二番地ノ一地先ヨリ新橋ヲ經テ大字下澁谷字豐澤一七六一番地ノ一地先ニ至ルノ路線二十六　澁谷町大字下澁谷字田町一六六一番地ノ一地先ヨリ惠比壽橋ヲ經テ同町字町田一五六一番地ノ五地先ニ至ルノ路線二十七　澁谷町大字澁谷廣尾町九番地ノ一地先ヨリ大字下澁谷字四反町九八五番地ノ三地先ニ至ルノ路線二十八　澁谷町大字中澁谷大向八七三番地地先ヨリ代々幡町大字代々木字富ケ谷一五六三番地ノ一地先ニ至ルノ路線　二十九　一東京市內口第四號路線終點ヨリ大久保町大字東大久保字天神前二一〇番地ノ一地先ニ至ルノ路線三十　戸塚町大字下戸塚字

三島二七九番地ノ一地先ヨリ同字石田前二八七番地地先及同四二二番地地先ヲ右折シ同四二三番地地先ニ至ルノ路線

四北豐島郡內

イ　「巢鴨町大字巢鴨ノ一部」ヲ圖面ノ通改メ（圖面省略）「大字巢鴨」ノ下ニ「大字巢鴨同二丁目、大字駒込染井、大字上駒込」ヲ加フ

イ　板橋町ノ內「大字下板橋」ノ下ニ「大字金井窪」ヲ加フ

イ　板橋町ノ次ニ左ノ通加フ

西巢鴨町ノ內　一　大字巢鴨大字池袋ノ一部（圖面省略）　高田町ノ內　一　大字高田大字雜司ヶ谷ノ一部（圖面省略）

ロ　第三號、第九號乃至第十三號ヲ左ノ通改ム

三　一東京市內第五九號路線終點ヨリ巢鴨町大字巢鴨字宮下一七七一番地ノ一地先ニ至ルノ路線及巢鴨町大字巢鴨字宮下一七五番地ノ三地先ヨリ同字下新田一〇〇八番地ノ四地先ニ至ルノ路線　九　瀧野川町大字瀧野川字飛鳥山前九五番地ノ二地先ヨリ大字下十條ヲ經テ岩淵町荒川放水路南岸ニ至ルノ路線　十　王子町大字王子字森下九一東京市內口第四號路線終點ヨリ大久保町大字東大久保字天神前二一〇番地ノ一地先ニ至ルノ路線三十　戸塚町大字下戸塚字

宿ヲ經テ大字下十條字高本一八五三番地地先ニ至ルノ路線十一　一東京市內ロ第六十一號路線終點ヨリ巢鴨町大字巢鴨字宮下一六九四番地ノ一地先ニ至ルノ路線及西巢鴨町大字池袋字下リ谷二一番地地先ヨリ大字堰ノ內及巢鴨町大字巢鴨ヲ經テ瀧野川町大字瀧野川字飛鳥山前六八番地ノ二地先ニ至ルノ路線十三

西巢鴨町大字池袋字西山六二八番地ノ九地先ヨリ同字原九一〇番地地先ニ至ルノ路線

ロ　第一七號次ニ左ノ通加フ

十八　西巢鴨町大字池袋字西山六二四番地ノ一地先ヨリ同字他領四八四番地地先ニ至ルノ路線　十九　板橋町大字下板橋字平尾裏八八八番地地先ヨリ大字金井窪字東前一七〇番地地先ニ至ルノ路線　二十　板橋町大字瀧野川字北谷端二三七九番地地先ヨリ同二五九番地ノ三地先ヲ右折シ大字金井窪字東前一二六番地地先同一二三番地地先ヲ經テ同一四番地地先ニ至ルノ路線　二十一　巢鴨町大字巢鴨一ノ四六番地地先ヨリ東京市本鄉區駒込上富士前町ヲ經テ巢鴨町大字駒込染井一五番地ノ二四地先ニ至ル

路線　二二一東京市内ロ第九七號路線ヨリ日暮里町大字金杉字谷中前九七五番地ノ二地先ニ至ルノ路線

五南足立郡内

イ　千住町字内「一」ノ下ニ「大字千住中組ノ一部（圖面省略）」ヲ加フ

ロ　第一號ヲ左ノ通改ム

一　千住町大字千住中組一五七番地地先ヨリ同三四一番地ノ二地先ニ至ルノ路線及大字千住一ノ九七一番地ノ二地先ヨリ大字千住二、三、四、五丁目ヲ經テ荒川放水路南岸ニ至ルノ路線

ロ　第一號ノ次ニ左ノ通加フ

二　千住町千住大橋北詰ヨリ大字千住中組一〇四八番地ノ四地先ヲ左折シ千住新橋南詰ニ至ルノ路線　三　千住町大字千住五ノ二一番地地先ヨリ千住新橋南詰ニ至ルノ路線

二荏原郡内

イ　「大井町ノ一部」ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）

イ　「入新井町大字不入斗ノ一部」ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）

三北豐島郡内

イ　「王子町大字王子ノ一部」ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）

内務省告示第百三十四號

（大正十五年九月十四日　内務大臣　濱口雄幸）

東京都市計畫區域内ニ於ケル都市計畫法第二〇條第二項ノ規定ニ依ル風致地域左ノ通指定シ大正十五年十月四日ヨリ之ヲ施行ス

東京都市計畫風致地區

（大正十五年九月十四日　内務大臣　濱口雄幸）

一　東京市區改正設計一等道路第一類十一號路線ノ道線及其ノ兩側境界線ヨリ奥行各一〇間ノ區域並之ニ接續スル部分ノ府縣道第一號東京厚木線ノ道路及其線側境界區ヨリ奥行一〇間ノ區域（圖面省略）

二　大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫二等大道第二類第一號路線中千駄ヶ谷町字北ノ脇三三八番地ヨリ明治神宮ニ至ル道路及其ノ兩側境界線ヨリ奥行各一〇間ノ區域（圖面省略）

三　府縣道第二二一號代々幡神宮線ノ道路及其ノ兩側境界線ヨリ奥行各一〇間ノ區域並之ニ接續スル部分ノ國道八號路線ノ道路及其ノ北側境界線ヨリ奥行十間ノ區域（圖面省略）

四　明治神宮外苑青山口ニ於ケル外苑兩側境界線ヨリ奥行各十間ノ區域並青山口外苑其ノ兩側境界線ヨリ奥行十間ノ區域ニ接續スル部分ノ府縣道第一號東京厚木線ノ道路及其南側境界線ヨリ奥行十間ノ區域（圖面省略）

内務省告示第百三十五號

（同　上）

大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫並都市計畫事業及其執行年割中左ノ通變更スルノ件大正十五年九月八日内閣ノ認可ヲ得タリ

一　第一號路線ヲ左ノ通改ム

番號　路線（起終點及經過地）　延長（約）　幅員

一　子安町市郡界ヨリ神奈川町横濱驛前、西戸部町、久保町、道土ヲ經テ保土ケ谷町岩間ニ至ル　米　二二　八五〇五　乃至　三六

内譯

子安町市郡界ヨリ神奈川町十番町迄　三、一五九　二七

神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄　一、〇五四　三三

青木町七軒町ヨリ横濱驛前迄　一、二七一　三六

横濱驛前ヨリ保土ケ谷町岩間迄　三、〇二〇　二二

（圖面省略）

二　第八號路線ヲ圖面ノ通改ム（圖面省略）

内務省告示第百三十六示

（大正十五年九月十四日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中第十六號路線、第十七號路線ヲ左ノ通變更スルノ件大正十五年九月八日内閣ノ認可ヲ得タリ

番號　路線（起終點及經過地）　延長（約）　幅員

一六　子安町海道通ヨリ子安町神ノ木ニ至ル　一、一五〇　米　一六

一七　車橋北詰ヨリ山元町ニ至ル　五七一　一八

（圖面省略）

内務省告示第百三十七號

（大正十五年九月十四日　内務大臣　濱口雄幸）

大正十四年八月内務省告示第一三七號横濱都市計畫地域内ニ於ケル市街地建築物法第一條ノ規定ニ依ル地域中左ノ通改ム

第一商業地域之部ロ（一）第一六號ヲ左ノ通改ム

一六　都市計畫第一六號ノ内子安町字七島一三三番地イ一地先ヨリ同字神ノ木終點迄

都市計畫公告

（大正十五年十月十九日　内閣總理大臣若槻禮次郎）

大阪都市計畫事業中第一街路ノ新設及ヒ擴築ノ部二等大路第二類第一路線左ノ通リ變更ノ件認可ス

大阪都市計畫事業

第一街路ノ新設及擴築ノ部

第一等大路第二類

第一號線（北安治川通線）

大阪市區改正設計二等大路第二類第一號線中福島南一ノ五五番地ニ於テ二等大路第二類第四號線ヨリ分岐シ下福島二ノ六二番地先ニ至リ西南ニ屈折シ東芦分橋、西芦分橋ヲ經テ北安治川通一ノ八番地先ニ至ルノ路線及下福島二ノ六二番地先ニ於テ本路線ヨリ分岐シ同八二番地ニ於テ本路線ニ合ス

一部大字下條線長兵衛新田、鵜取島、長兵衛外島外新田、六三横山

内務省告示第百五十號

（大正十五年十月十三日　内務大臣　濱口雄幸）

大阪府泉北郡神石村濱寺町

長岡都市計畫公告

（大正十五年十月　内務大臣濱口雄幸）

長岡都市計畫區域左ノ通リ決定ノ件認可ス

一　長岡市

一　古志郡　上組村ノ一部（大字左近、溝曲新町、宮内（太田川左岸ヲ除ク）撫田屋（太田川左岸ヲ除ク）山通村ノ一部（大字長倉、大町）栖吉村ノ一部（大字中澤長右衛門、戸左衛門）富曾龜村ノ一部（大字新保、堀金）黒條村ノ

土地建物

土地收用法

（明治三十三年三月七日法律第二十九號）
改正　大正三年第一五號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル土地收用法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、內務大臣副署）

土地收用法

第一章　總則　第二章　事業ノ準備　第三章　事業ノ認定　第四章　收用ノ手續　第五章　收用審査會　第六章　損失ノ補償　第七章　收用ノ效果　第八章　費用ノ負擔　第九章　監督、强制及罰則　第十章　訴願及訴訟　附則

土地收用法

第一章　總則

第一條　公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ノ爲之ニ要スル土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要アルトキハ其ノ土地ハ本法ノ規定ニ依リ之ヲ收用スルコトヲ得　本法ニ於テ使用ト稱スルハ權利ノ制限ヲ包含ス

第二條　土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

一　國防其ノ他軍事ニ關スル事業　二　官廳又ハ公署建設ニ關スル事業　三　教育、學藝又ハ慈善ニ關スル事業　四　鐵道、軌道索道、道路、橋梁、河川、堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠頭、水道、下水、市場、電氣裝置、瓦斯裝置又ハ火葬場ニ關スル事業　五　衞生、測候、航路標識、防風、防火、水害豫防其ノ他公共ノ目的ヲ以テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ施設スル事業

第三條　本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル起業者ノ權利義務ハ事業ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

第四條　本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ起業者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第五條　本法ニ於テ土地所有者ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ謂フ本法ニ於テ關係人ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第六條　本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　本法ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八條　本法ノ規定ハ土地ニ屬スル土石砂礫ノ收用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二章　事業ノ準備

第九條　事業ノ準備ノ爲必要アルトキハ起業者ハ事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ得テ土地ニ立入リ測量又ハ檢査ヲ爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テ宮內省又ハ國ノ起業ニ係ルトキハ宮內大臣又ハ主務大臣ノ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ　地方長官前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ起業者、事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ公告シ又ハ之ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ　第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ノ準備ノ爲其ノ土地ニ立入リ測量又ハ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ本條ノ許可又ハ通知ヲ要セス

第十條　前條ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ五日前ニ其ノ日時及場所ヲ市町村長ニ通知スヘシ市町村長ハ之ヲ公告シ又ハ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ　邸內ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ豫メ其ノ占有者ニ通知スヘシ　日出前日沒後邸內ニ立入ル場合ニ於テハ

起業者ハ特ニ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條　第九條ノ規定ニ依ル測量又ハ檢査ノ爲必要アルトキハ起業者ハ行政廳ノ許可ヲ得テ障害物ヲ除却スルコトヲ得　前項ノ規定ニ依リ障害物ノ除却ヲ爲ス場合ニ於テハ起業者ハ三日前ニ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

第三章　事業ノ認定

第十二條　土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ內閣之ヲ認定ス但シ軍機ニ關スル事業ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　起業者カ內閣ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ內務大臣ニ申請スヘシ內務大臣ハ之ヲ審査シ內閣ニ提出スヘシ　宮內省又ハ國ノ起業ニ係ルトキハ宮內大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫及圖面ヲ添ヘ內務大臣ニ協議ヲ爲シ之ヲ內閣ニ提出スヘシ

第十四條　內閣カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業ノ種類竝起業地ヲ公告スヘシ

第十五條　天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ郡市長ハ其ノ事業ノ認定ヲ爲スコトヲ得　前項ノ使用ノ期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス　軍事上臨時急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ主務大臣ハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第十六條　起業者カ郡市長ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ及使用ノ期間ヲ定メ郡市長ニ申請スヘシ

第十七條　郡市長カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者、事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

第十八條　起業者カ內閣ノ認定ノ公告ノ後三箇年內ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認定ハ效力ヲ失フ

第四章　收用ノ手續

第十九條　內閣ノ認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ　軍機ニ關スル事業ニ付テハ主務大臣ハ地方長官ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ通知シ地方長官ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十條　前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ起業者ハ其ノ土地ニ立入リ土地物件ヲ調査スルコトヲ得　前項ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ三日前ニ其ノ日時及場所ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ　日出前日沒後ハ占有者ノ承諾アルニ非サレハ邸內ニ立入ル

コトヲ得ス

第二十一條　第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ必要ト認ムルトキハ土地所有者又ハ關係人ト共ニ土地物件ニ關スル調書ヲ作ルコトヲ得　前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人カ調書ヲ作ルコトヲ拒ミタルトキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作ルコトヲ得但シ市町村長カ起業者ナルトキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ揭ケタル關係ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス　土地所有者又ハ關係人カ調書ノ必要ヲ認メタルトキハ前二項ノ規定ヲ準用ス　起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作リタル調書ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十二條　第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スコト前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

第二十三條　收用審査會ノ裁決ヲ求メムトスルトキハ起業者ハ其ノ申請書ニ左ニ揭ケタル書類ヲ添ヘ地方長官ニ差出スヘシ但シ軍機ニ關スル事業ニ付テハ事業計畫書及圖面ヲ添フルコトヲ要セス

一　事業計畫書及圖面　二　市區町村別ニ左

ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類

收用又ハ使用スヘキ土地ノ番號、地目、收用又ハ使用スヘキ土地ノ面積及其ノ土地ニ在ル物件ノ種類、數量但シ土地物件カ分割ヲ來スヘキ場合ニ於テハ其ノ全部ノ面積建坪等ヲ併記スヘシ、損失補償ノ見積金額及內譯、收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間、土地所有者及關係人ノ氏名住所

收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條　前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ之ヲ市町村長ニ下付スヘシ市町村長ハ豫メ公告ヲ爲シ一週間之ヲ公衆ノ縱覽ニ供スヘシ

第二十五條　土地所有者及關係人ハ前條縱覽期間ノ初日ヨリ二週間內ニ地方長官ニ意見書ヲ差出スコトヲ得

第二十六條　地方長官ハ前條ノ期間ヲ經過シタル後收用審査會ヲ開クヘシ

第二十七條　收用審査會ハ開會ノ日ヨリ一週間內ニ裁決ヲ爲スヘシ但シ地方長官ハ必要ト認ムルトキハ二週間內ノ延期ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　收用審査會カ前條ノ期間內ニ裁決ヲ爲サヽルトキハ地方長官ハ事情ヲ具シ內務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ內務大臣ハ收用審査會ニ一定ノ期間內ニ裁決ヲ爲スヘキコトヲ命シ又ハ之ニ代テ裁決ヲ爲スヘキコトヲ地方長官ニ命スルコトヲ得　收用審査會カ前項ノ期間內ニ裁決ヲ爲サヽルトキハ地方長官ハ之ニ代テ裁決ヲ爲スヘシ

第二十九條　收用審査會カ招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ地方長官ハ內務大臣ノ認可ヲ得テ之ニ代テ裁決ヲ爲スコトヲ得事業ノ急施ヲ要スルトキ亦同シ

第三十條　收用審査會カ裁決ヲ爲シタルトキハ其ノ裁決書ノ謄本ヲ添ヘ地方長官ニ報告スヘシ

第三十一條　前條ノ報告ヲ受ケ又ハ收用審査會ニ代テ裁決ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ裁決書ノ謄本ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ送達スヘシ

第三十二條　軍機ニ關スル事業又ハ內閣ノ認定シタル事業ノ施行ニ因リテ必要ヲ生シタル道路、堤防其ノ他公用ニ供スル工作物ノ新築、改築又ハ增築ノ爲土地ヲ收用又ハ使用スルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ直ニ本章ノ規定ニ依ルコトヲ得

第三十三條　郡市長カ認定ヲ爲シ又ハ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第十七條ノ通知ノ後起業者ヲシテ直ニ其ノ土地ヲ使用セシムルコトヲ得但シ損失ノ補償ニ關シテハ本法ノ規定ニ依ルヘシ

第三十四條　起業者カ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年內ニ收用審査會ノ裁決ヲ求メサルトキハ其ノ公告又ハ通知ハ效力ヲ失フ

第五章　收用審査會

第三十五條　收用審査會ハ內務大臣ノ監督ニ屬シ左ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ爲スモノトス

一　收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域　二　損失ノ補償　三　收用ノ時期又ハ使用ノ時期期間

起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違反スルトキハ收用審査會ハ却下ノ裁決ヲ爲スヘシ

第三十六條　收用審査會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十七條　會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其ノ他ノ會務ヲ統理シ會ヲ代表ス

第三十八條　委員ハ高等文官及府縣名譽職參事會員各三人ヲ以テ之ニ充ツ　高等文官ニシテ委員タルヘキ者ハ內務大臣之ヲ命シ府縣名譽職參事會員ニシテ委員タルヘキ者ハ其ノ互選トス

第三十九條　收用審査會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

收用審査會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第四十條　委員カ起業者、土地所有者又ハ關係人ナルトキハ收用審査會ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス　委員カ起業者、土地所有者若ハ關係人ノ配偶者、四親等內ノ親族、戶主、家族代理人及保佐人ナルトキ又ハ起業者、土地所有者若ハ關係人タル市町村ノ市參事會員、町村長、合名會社ノ社員、合資會社及株式合資會社ノ無限責任社員、株式會社ノ取締役及監查役其ノ他法人ノ理事及監事ナルトキ亦前項ニ同シ本條ノ規定ニ依リ委員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ地方長官ハ左ニ掲ケタル順序ニ從ヒ其ノ本條ノ規定ニ牴觸セサル者ノ內ヨリ臨時ニ指名シテ之ヲ補充スヘシ

一　府縣名譽職參事會員　二　府縣名譽職參事會員ノ補充員　三　府縣會議員

第四十一條　收用審査會ノ裁決ハ起業者、土地所有者及關係人ノ申立タル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十二條　收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ヒ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

前項ノ鑑定人ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス

第四十三條　收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ起業者、土地所有者又ハ關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得　收用審査會ハ事實參考ノ爲必要ト認ムルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地以外ノ土地所有者ヲ呼出シ其ノ供述ヲ聽クコトヲ得

第四十四條　裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ會長之ニ署名捺印スヘシ

裁決書ノ謄本ニハ會ノ印章ヲ押捺スヘシ

第四十五條　鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第四十六條　二府縣以上ニ涉ル事業ニ係ルトキハ關係地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ合同シテ收用審査會ヲ開クコトヲ得

第六章　損失ノ補償

第四十七條　土地所有者及關係人ノ受クル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

損失ノ補償ハ各人別ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ各人別ニ見積リ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條　收用スヘキ土地物件ニ付テハ相當ノ價格ニ依リ其ノ損失ヲ補償スヘシ　使用スヘキ土地ニ付テハ其ノ土地及近傍類地ノ料金ニ依リ其ノ損失ヲ補償スヘシ

第四十九條　土地ノ一部ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ損失ヲ補償スヘシ

第五十條　土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用ヰタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十一條　收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ補償シテ移轉セシムヘシ但シ物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用ヰタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得　前項ノ場合ニ於テ物件ヲ移轉スルニ因リテ從來用ヰタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條　前條ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十三條　土地ノ收用又ハ使用スルニ因リテ通路、溝渠、墻柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、增築又ハ修繕ヲ爲ス必要ヲ生スルトキハ其ノ費用ヲ補償スヘシ

第五十四條　前數條ニ規定シタルモノヽ外土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十五條　土地ノ使用カ三箇年以上ニ亙ルトキ又ハ土地ノ地質ヲ變更スルトキ若ハ使用スヘキ土地ニ建物アルトキハ所有者ハ其ノ土地ノ收用ヲ請求スルコトヲ得但シ空間ヲ使用ス

ル場合ニ於テ土地ノ使用ヲ妨ケサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條　第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、增築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加增置シタル土地所有者又ハ關係人ハ之ニ關スル損失ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス

第五十七條　第九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ土地ニ立入リ測量、檢査又ハ調査ヲ爲スニ因リテ他人ニ及ホシタル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

第五十八條　第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十九條　前二條ノ補償ニ付キ協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十一條及第四十一條乃至第四十五條ノ規定ヲ準用ス

第七章　收用ノ效果

第六十條　起業者ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

左ニ揭ケタル場合ニ於テハ補償金ヲ供託スルコトヲ得

一　補償金ヲ受クヘキ者カ其ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受領スルコト能ハサルトキ　二　起業者カ過失ナクシテ補償金ヲ受クヘキ者ヲ確知スルコト能ハサルトキ　三　起業者カ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アルトキ但シ補償金ヲ受クヘキ者ノ請求アルトキハ起業者ハ自己ノ見積金額ヲ拂渡スヘシ　四　起業者カ補償金拂渡ノ差押又ハ假差押ヲ受ケタルトキ

第六十一條　土地所有者及關係人ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スヘシ但シ左ニ揭ケタル場合ニ於テハ起業者ノ請求ニ依リ市町村長ハ土地所有者及關係人ニ代ルモノトス

一　土地所有者及關係人カ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スルコト能ハサルトキ　二　起業者ノ過失ナクシテ土地所有者及關係人ヲ確知スルコト能ハサルトキ

第六十二條　起業者カ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ收用審査會ノ裁決ハ其ノ效力ヲ失フ但シ土地所有者及關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第六十三條　土地物件ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス　土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條　收用審査會ノ裁決ノ後收用又ハ使用スヘキ土地物件カ土地所有者又ハ關係人ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ滅失又ハ毀損ハ起業者ノ負擔ニ歸ス

第六十五條　先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ收用又ハ使用ニ因リテ債務者カ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第六十六條　收用ノ時期ヨリ二十箇年內ニ事業ノ廢止其ノ他ノ事故ニ因リテ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタルトキハ舊所有者又ハ其ノ相續人ハ補償價格ヲ以テ之ヲ買受ルコトヲ得但シ第五十條ノ規定ニ依リテ收用シタル殘地ハ其ノ接續部分ノ不用ニ歸シタル時ニ非サレハ之ヲ買受ルコトヲ得ス　前項ノ場合ニ於テ買受ハ第三者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス　第一項ノ期間內ニ於テ收用シタル土地ヲ他ノ軍機ニ關スル事業又ハ內閣ノ認定シタル事業ニ供スルトキハ不用ニ歸シタルモノト看做サス

第六十七條　前條ノ不用ノ土地アルトキハ起業者ハ舊所有者又ハ其ノ相續人ニ通知スヘシ但シ起業者ノ過失ナクシテ之ヲ確知スルコト能

ハサルトキハ少クトモ三回ノ公告ヲ爲スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二箇月內又ハ第三回ノ公告終了ノ日ヨリ六箇月內ニ舊所有者又ハ其ノ相續人カ買受ノ通知ヲ爲ササルトキハ其ノ權利ヲ失フ

第八章　費用ノ負擔

第六十八條　起業者、土地所有者及關係人カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル手續其ノ他ノ行爲ヲ爲シ又ハ義務ヲ履行スル爲ニ要シタル費用ハ各其ノ負擔トス

第六十九條　收用審査會ニ要シタル費用ハ命令ヲ以テ別ニ負擔者ヲ定メタルモノヲ除クノ外府縣ノ負擔トス第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テ亦同シ　第七十二條ノ規定ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開クヘキ收用審査會ニ要シタル費用ハ之ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ負擔セシムルコトヲ得ス

第七十條　第七十三條第一項ノ規定ニ依リ地方長官カ義務者ノ爲スヘキ事項ヲ自ラ執行シ又ハ他人ヲシテ執行セシメタル爲ニ要シタル費用ハ府縣ノ負擔トス　府縣ハ前項ノ費用ヲ各其ノ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得但シ其ノ義務者ノ受領スヘキ補償金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第七十一條　土地所有者又ハ關係人ノ負擔スヘキ費用ハ第六十一條但書ノ場合ニ於テハ市町村ノ負擔トス　前項ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九章　監督強制及罰則

第七十二條　收用審査會カ其ノ權限ヲ超エ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲シタル裁決ハ內務大臣之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條　義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ一定ノ期間內ニ終了スル見込ナキトキハ地方長官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得　義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ地方長官ハ直接ニ之ヲ強制スルコトヲ得

第七十四條　前章ノ規定ニ依リ私人ノ負擔スヘキ費用ヲ支出セサル者アルトキハ行政廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付テハ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第七十五條　收用審査會員人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタルトキハ一年以下ノ【重禁錮】ニ處シ『四十圓以下ノ罰金ヲ附加』ス其ノ賄賂ヲ贈與シ又ハ贈與スルコトヲ約シタル者亦同シ

第七十六條　第十一條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ障害物ヲ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條　第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ニ立入リタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條　故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十九條　鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者カ詐僞ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ【重禁錮】ニ處シ『五十圓以下ノ罰金ヲ附加』ス賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ詐僞ノ鑑定ヲ爲サシメタル者亦同シ

第八十條　鑑定人又ハ第四十三條第二項若ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出ヲ受ケタル者故ナク出頭セサルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十章　訴願及訴訟

第八十一條　收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得　收用審査會ノ違法裁決ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

本法ノ規定ニ依リ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタ

ル事項ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第八十二條　收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス　前項ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得ス　第五十九條ノ規定ニ依ル地方長官ノ決定ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第八十三條　本法ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ事業ノ進行及土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セス

附　則

第八十四條　本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第八十五條　明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス　明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニ關シテハ第六十六條ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス　明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ現ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス

第八十六條　收用審査會ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テハ地方長官之ヲ行フ　郡長ノ爲スヘキ職務ハ支廳長又ハ島司ヲ置キタル地ニ於テハ、支廳長又ハ島司之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ　市長ノ爲スヘキ職務ハ區長之ヲ行フ　町村長ノ爲スヘキ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ郡長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

第八十七條　明治二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則其ノ他別段ノ定アルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

第八十八條　明治二十二年法律第十九號土地收用法明治二十三年法律第五十四號土地收用協議會規則及明治三十二年法律第七十二號ハ之ヲ廢止ス

土地收用法施行令

（明治三十三年三月三十一日勅令第九十九號）

朕土地收用法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（內務大臣副署）

土地收用法施行令

第一條　土地收用法第十條第三項及第十一條第一項ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ市町村長之ヲ行フ

第二條　土地收用法第九條、第十一條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ起業者ノ爲土地ニ立入リ又ハ障害物ヲ除却スル者ハ其ノ證票ヲ携帶スヘシ　日出前日沒後邸內ニ立入ル者又ハ障害物ヲ除却スル者ハ行政廳ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第三條　起業者カ內閣ノ認定ヲ受ケムトスル場合ニ於テ起業地內ニ左ニ揭ケタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添付スヘシ

一　御陵墓地及御料地　二　國有地　三　現ニ公用ニ供スル土地　四　社寺境內地　五　名所、舊蹟及古墳墓

第四條　土地收用法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第五條　內閣ノ認定ノ公告ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地收用法第十九條ノ申請ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告スヘシ

第六條　土地收用法第二十一條ノ規定ニ依リ調書ヲ作リタル者ハ之ニ署名又ハ捺印スヘシ

第七條　土地收用法第二十四條ノ規定ニ依リ公

告ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ縱覽期間ノ始期ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第八條　土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ工事計畫書及圖面ヲ添ヘ左ニ揭ケタル事項ヲ記載シ出願スヘシ

一　工事ノ種類　二　收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目　三　其ノ必要ヲ生セシメタル事業ト ノ關係

本條ノ場合ニ於テハ第三條ノ規定ヲ準用ス

第九條　土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ與ヘラレタルトキハ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ト共ニ起業者及工事ノ種類ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十條　土地收用法第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告シ又ハ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十一條　收用審査會長及委員ニハ旅費ヲ支給ス

第十二條　收用審査會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費額及其ノ支給方法ハ內閣旅費規則ノ定ムル所ニ依ル

高等文官ニ非サル委員ノ旅費及其ノ支給方法ハ府縣制第九十四條ノ規定ニ從ヒ定ムル所ニ依ル

第十三條　鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ左ノ範圍內ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

一　汽車賃一哩ニ付三錢以上六錢以下　二　船賃一海里ニ付三錢以上六錢以下　三　車馬賃一里ニ付十錢以上三十錢以下

通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス

第十四條　鑑定人及事實參考人ノ手當ハ一日金一圓乃至五圓ノ範圍內ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル　鑑定ヲ爲スニ付數多ノ時間又ハ特別ノ技能若ハ費用ヲ要スルトキハ前項ノ手當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ支給スルコトヲ得

第十五條　土地收用法第五十九條ノ規定ニ依リ地方長官カ決定ヲ爲シタルトキハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間カ午前零時ヨリ始マルトキハ此ノ限ニ在ラス　前項ノ場合ニ於テハ期間ノ末日ノ終了ヲ以テ期間ノ滿了トス

第十六條　土地收用法第五十六條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ但シ物件ノ附加增置ニ關シテハ之ヲ郡市長ニ委任スルコトヲ得

第十七條　土地收用法第六十七條ノ規定ニ依ル公告ハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十八條　土地收用法第七十四條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ同法第七十一條ノ場合ニ於テハ市町村長之ヲ行ヒ其ノ他ノ場合ニ於テハ地方長官之ヲ行フ

附　則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

土地收用法第六條ニ據ル命令

（明治三十三年三月三十一日勅令第百號）

朕土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（內務大臣副署）

第一條　本令ハ土地收用法又ハ土地收用法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテ之ヲ適用ス

第二條　期間ヲ定ムルニ時ヲ以テシタルトキハ卽時ヨリ之ヲ起算ス

第三條　期間ヲ定ムルニ日、週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間カ午前零時ヨリ始マルトキハ此ノ限ニ在ラス　前項ノ場合ニ於テハ期間ノ末日ノ終了ヲ以テ期間ノ滿了トス

第四條　期間ノ末日カ大祭日、日曜日ニ當ルトキハ期間ハ其ノ翌日ヲ以テ滿了ス但シ行政廳ニ對スル期間ハ其ノ末日カ行政廳ノ休日ニ當ルトキハ其ノ休日ノ終了シタル翌日ヲ以テ滿了ス

第五條　期間ヲ定ムルニ週、月又ハ年ヲ以テシ

タルトキハ曆ニ從ヒテ之ヲ算ス　週、月又ハ年ノ始メヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ハ最後ノ週、月又ハ年ニ於テ其起算ノ日ニ應答スル日ノ前日ヲ以テ滿了ス但シ月又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタル場合ニ於テ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ滿了ス

第六條　土地收用法第十八條第二十五條及第三十四條ノ期間ハ郵便ニ依リ書類ヲ差出シタル場合ニ於テハ其ノ遞送ニ要スル日時ヲ算入セス

第七條　通知ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ內務大臣カ定メタル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條　書類ノ送達ニシテ送達者自ラ送達セサル場合ニ於テハ使丁又ハ書留郵便ニ依ルコトヲ得

第九條　數人カ一人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ一通ノ書類ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得　一人カ數人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十條　委任ニ因ル代理人アル場合ニ於テモ其ノ委任者ニ爲シタル送達ハ其ノ效力ヲ妨ケス

第十一條　無能力者ニ對スル送達ハ其ノ法定代理人ニ之ヲ爲スヘシ但シ委任ニ因ル代理人アルトキハ此ノ限ニ在ラス　法人又ハ組合ニ對スル送達ハ其ノ代表者又ハ業務執行者ニ之ヲ爲スヘシ　前項ノ代表者又ハ業務執行者數人アル場合ニ於テハ其ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得　組合ニシテ業務執行者ヲ定メサル場合ニ於テハ送達ハ其ノ組合員ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十二條　現役及召集中ノ豫備、後備ノ軍籍ノ在ル下士以下ノ軍人ニ對スル送達ハ其ノ所屬ノ長官又ハ隊長ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十三條　在監人ニ對スル送達ハ其ノ監獄ノ長ニ之ヲ爲スヘシ

第十四條　送達ハ送達ヲ受クヘキ人ノ現所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得　前項ノ規定ハ送達ヲ受クヘキ人カ其ノ地ニ於テ住所、居所又ハ事務所ヲ有スル場合ニ於テ其ノ受領ヲ拒ミタルトキハ之ヲ適用セス

第十五條　送達ヲ受クヘキ人其ノ住所、居所又ハ事務所ニ在ラサルトキハ其ノ送達ハ理場ニ在ル成年ノ同居者又ハ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得　第十一條第二項ノ場合ニ於テ代表者又ハ業務執行者事務所ニ在ラサルトキハ送達ハ其ノ所屬場ニ在ル他ノ役員又ハ成年ノ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得　前二項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲ス場合ニ於テ代表者又ハ業務執行者カ其ノ地ニ於テ住所、居所又ハ事務所ヲ有スル場合ニ於テハ送達ハ其ノ地ノ市町村長ニ於テ之ヲ公告スヘシ　前項ノ場合ニ於テ公告ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタルトキハ送達ヲ爲シタルモノト看做ス

第十六條　法令上ノ理由ナクシテ送達書類ヲ受領セス又ハ受領スルコト能ハサルトキハ其ノ書類ヲ送達ノ場所ニ差置クコトヲ得此ノ場合ニ於テ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第十七條　書類ノ送達ヲ受領シタル者ハ其ノ場所及年月日時ヲ記載セル受領書ヲ交付スヘシ　前項ノ受領書ヲ交付セス又ハ交付スルコト能ハサルトキ又ハ第十五條第三項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲シタルトキハ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第十八條　送達ヲ受クヘキ者ノ住所、居所又ハ事務所不明ナルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地所在ノ市町村長ニ於テ之ヲ公告スヘシ　前項ノ場合ニ於テ公告ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタルトキハ送達ヲ爲シタルモノト看做ス

第十九條　書類ノ送達ニ關スル規定ハ通知ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十條　訴願及訴訟提起期間ノ計算法ハ訴願法行政裁判法及民事訴訟法ノ規定ヲ適用ス

第二十一條　書留郵便ニ依リテ爲ス送達ニ付テハ郵便ニ關スル法令ノ規定ヲ適用ス

附　則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關スル件

（明治三十三年三月三十一日勅令第百一號）

鰀土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（內務大臣副署）

第一條　合同收用審査會ヲ開カムトスルトキハ關係地方長官協ヲ議爲シ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ協議調ハサルトキハ內務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第二條　合同收用審査會長ハ開會地ノ地方長官ヲ以テ之ニ充テ其ノ委員ハ關係府縣收用審査會委員ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　土地收用法第二十六條乃至第二十九條ニ規定シタル地方長官ノ職權ハ合同收用審査會ヲ開キタル場合ニ於テハ開會地ノ地方長官之ヲ行フ

第四條　合同收用審査會ノ費用ニシテ府縣ノ負擔スヘキモノノ中高等文官ニ非サル委員ノ旅費ハ其ノ所屬府縣ノ負擔トシ其ノ他ハ關係府縣ノ分擔トス

附　則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

土地收用法第六十九條ニ據ル命令

（明治三十三年三月三十一日勅令第百二號）

鰀土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（內務大臣副署）

第一條　收用審査會ノ費用中左ニ揭ケタルモノハ起業者ノ負擔トス

一　鑑定人及事實參考人ノ旅費及手當　二　郵便及電信料

三　明治三十二年勅令第三百三十三號第一條ノ規定ニ依リ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ所有權ヲ取得ハスコルトヲ得ヘキ土地

四　土地收用法施行前不用ニ歸シタル土地

五　土地收用法施行前第三者ニ讓渡スヘキ契約ヲ爲シタル土地

附　則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

特別都市計畫區域內ニ於ケル寺院ノ國有境內地讓與等ニ關スル法律（大正十四年三月二十七日法律第四號）

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル特別都市計畫區域內ニ於ケル寺院ノ國有境內地讓與等ニヨル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、內務、文部、大藏大臣副署）

第一條　寺院若ハ佛堂ノ國有地境內地又ハ寺院ノ管理スル國有ノ墳墓地カ特別都市計畫法第五條ノ規定ニ依ル土地區劃整理ノ施行地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ其ノ寺院、佛堂又ハ墳墓カ大正十七年八月三十一日迄ニ其ノ換地ニ非サル土地移轉スルトキハ政府ハ國有財

産法第五條ノ規定ニ拘ラス寺院境内地讓與審査會ノ議ヲ經テ其ノ換地及從前ノ土地ニ定著スル國有物件ヲ當該寺院又ハ佛堂ニ讓與スルコトヲ得、寺院境内地讓與審査會ノ組織及權限ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　寺院又ハ佛堂カ前條ノ規定ニ依リテ讓與ヲ受ケタル土地ヲ讓渡シ、貸付シ又ハ擔保ニ供セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス許可ヲ受ケスシテ之ヲ爲シタルトキハ其ノ效力ヲ生セス

第三條　特別都市計畫法第五條ノ規定ニ依ル土地區劃整理ヲ施行スル都合ニ於テ必要アルトキハ耕地整理法第四十三條ノ規定ニ拘ラス寺院若ハ佛堂ノ境内地又ハ墳墓地ヲ土地區劃整理施行地區ニ編入スルコトヲ得

第四條　特別都市計畫第法五條ノ規定ニ依ル土地區劃整理委員會ノ組織ニ關スル法令ノ適用ニ付テハ國有財産法第二十四條ノ規定ニ依リテ國有地ノ貸付ヲ受クル寺院及佛堂竝國有又ハ公有ノ墳墓地ヲ管理スル寺院及佛堂ハ之ヲ借地法ニ謂フ借地權者ト看做ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

建築物除却期限ニ關スル件

（昭和二年三月十九日勅令第三十三號）

朕大正十二年勅令第四百十四號ノ建築物ノ除却期間ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（總理、內務大臣副署）

第一條　大正十二年勅令第四百十四號ニ規定スル建築物除却期限ハ左ノ如ク之ヲ延期ス

一　劇場、集會場、旅館、工場其ノ他特殊建築物ニシテ內務大臣ノ命令ヲ以テ指定スルモノニ付テハ昭和八年八月未日迄　二　前號ノ規定ニ依ルモノヲ除クノ外甲種防火地區內ニ又ハ其ノ內外ニ亘リ建築シタル建築物ニ付テハ昭和十三年八月未日迄

第二條　前條ノ規定ニ依ルモノヲ除クノ外大正十二年勅令第四百十四號ノ規定ニ依リ建築シタル建築物ニシテ內務大臣ノ定ムル構造設備ヲ有スルモノハ行政官廳ノ認定ヲ受ケ昭和三年九月一日以後ニ於テモ之ヲ除却セザルコトヲ得

前項ノ建築物ニシテ內務大臣ノ定ムル構造設備ヲ有セサルモノハ昭和八年八月未日迄ノ間除却セサルコトヲ得但シ昭和八年八月未日迄ニ其ノ構造設備ヲ有スルニ至リタルモノハ行政官廳ノ認定ヲ受ケ昭和八年九月一日以後ニ於テモ之ヲ除却セサルコトヲ得

第三條　路線、道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ府知事ハ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

第四條　受益者ノ負擔スヘキ金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ專業費ノ三分ノ一道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔區每ニ之ヲ定ム但シ第二條第三項ノ規定ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テハ第二條第一項

東京都市計畫事業道路（環狀線、放射線）受益者負擔ニ關スル件

（昭和二年三月八日內務省令第十一號）

東京都市計畫事業道路（環狀線、放射線）受益負擔ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　東京府ハ大正十年（十二月）內務省告示第二百四十五號ニ依リ東京府知事ニ於テ執行スル東京都市計畫事業道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシム

第二條　大正九年（九月）內務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ附近ニ於テ道路ノ境界線ヨリ道路ノ幅員ノ七倍ノ地域トス

前項ノ地域ニ內ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘等地物ノ狀況ニヨリ必要アリト認ムルトキハ內務大臣ハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トスルコトヲ得

第三條　路線、道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ府知事ハ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

第四條　受益者ノ負擔スヘキ金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ專業費ノ三分ノ一道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔區每ニ之ヲ定ム但シ第二條第三項ノ規定ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テハ第二條第一項ノ地域內ニ在ル限界外ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔スヘキモノトセハ其ノ負擔金額ハ之ヲ控除シ負擔區內ニ負擔金ヲ負擔セサル土地アル場合ニ於テ其ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔スヘキモノトセハ其ノ負擔金額ニ付亦同シ　道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築スヘキ部分ノ平均幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

第五條　府知事ハ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ一定ノ率ニ依リ各地帶ノ負擔額ヲ定ム

第六條　新設又ハ擴築スル道路ニ接スル地帶內ニ在リテハ其ノ地帶ノ負擔額ノ三分ノ一ヲ土地ノ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ其ノ三分ノ二ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帶內ニ在リテハ其ノ地帶ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

第七條　同一ノ土地ニシテ重複シテ道路ノ新設又ハ擴築ノ費用ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スルモノニ付テハ其ノ負擔ノ一部ヲ免除スルコトヲ得　地形ニ依リ斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ノ減免スルコトヲ得

第八條　負擔金ハ事業費豫算額ヲ以テ其ノ負擔區ノ事業著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ第二項ノ納付期間內ニ受益者ニ異動アリタルトキハ新ニ受益者トナリタル者ヨリ殘額ヲ納付セシム　前項ノ負擔金ハ七年間ニ均分シテ納付セシム　第一項ノ負擔金カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徵ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條　第二條第二項ノ規定ニ依ル負擔區劃ノ限界、負擔區、第五條ノ地帶及率、事業費豫算額及精算額竝事業著手ノ日ハ府知事之ヲ告示スヘシ

第十條　道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍內ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得府知事カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

第十一條　本令施行ノ際既ニ著手セル事業ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ以テ事業著手ノ日ト看做ス

第十二條　本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

都市計畫法第二條ノ規定ニ依ル市指定

（大正十五年勅令第十一號）

都市計畫法第二條ノ規定ニ依ル市ヲ左ノ通指定ス

西宮市　戸畑市

附　則

本令ハ大正十五年四月一日ヨリ施行ス

參照

都市計畫法

第二條　前條ノ規定スル市ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス其ノ市ノ都市計畫區域ハ關係市町村及都市計畫委員會ノ意見ヲ聞キ主務大臣之ヲ決定シ內閣ノ認可ヲ受クベシ

市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依ル市指定

（大正十五年內務省令第十五號）

市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依ル市指定ス左ノ如シ

函館市	小樽市	長崎市	佐世保市
新潟市	長岡市	津市	豊橋市
宮市	靜岡市	濱松市	岡崎市
澤市	富山市	高岡市	一宮市
松市	清水市	岐阜市	金澤市
岡市	岡山市	廣島市	呉市
下關市	和歌山市	高松市	丸龜市
知市	福岡市	門司市	若松市
岡縣）	大牟田市	小倉市	八幡市
鹿兒島市		大分市	熊本市

附　則

本令ハ大正十五年十月一日ヨリ施行ス

昭和二年內務省令第五號

戸畑市

附　則

本令ハ昭和二年三月一日ヨリ施行ス

昭和二年內務省令第六號

沼津市

附　則

本令ハ昭和二年二月一日ヨリ施行ス

參照

市街地建築物法施行令

第三十一條　第四條乃至第十六條ノ規定ハ市街地建築物法通用區域ニシテ內務大臣ノ規定スルモノニ之ヲ適用セス

勅令第二百七十二號

（昭和二年八月二十六日
内閣總理大臣　男爵　田中義一
内務大臣　鈴木喜三郎）

朕昭和二年法律第三十九號土地收用法中改正法律施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和二年法律第三十九號ハ昭和二年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第二百七十三號

（昭和二年八月二十六日
内閣總理大臣　男爵　田中義一
内務大臣　鈴木喜三郎）

朕土地收用法施行令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

土地收用法施行令中左ノ通改正ス

第一條中「第十條第三項及」ヲ削ル

第二條第二項中「日出前日沒後邸内ニ立入ル者又ハ」ヲ削ル

第三條　起業者ガ内務大臣ノ認可ヲ受ケントスル場合ニ於テ起業地内ニ左ニ揭ゲタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添付スベシ

一　御料地及皇族所有地

二　國有地

三　現ニ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ用ニ供スル土地

四　寺院境内地

五　名所舊蹟及古墳墓

前項ニ規定スル調書ニハ其ノ土地ヲ起業地ニ編入スルニ付土地管理權者ノ意見ヲ記載スベシ

第五條第一項中「内閣」ヲ「内務大臣」ニ改ム

第六條　土地收用法第二十一條ノ規定ニ依ル調書ハ土地調書及物件調書トス

土地調書ニハ收用又ハ使用セントスル土地ニ付左ノ事項ヲ記載シ實測平面圖ヲ添附スベシ

一　土地所在ノ郡、市、區、町村及字、土地ノ番號、地目及面積並ニ土地所有者ノ名及住所

二　收用又ハ使用セントスル土地ノ面積

三　土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ノ名及住所並ニ其ノ權利ノ種類及内容

四　調書ヲ作リタル年月日

五　其ノ他必要ナル事項

物件調書ニハ收用若ハ使用又ハ移轉セントスル物件ニ付左ノ事項ヲ記載スベシ

一　物件ノ在ル土地所在ノ郡、市、區、町村及字並ニ土地ノ番號及地目

二　物件ノ種類及數量並ニ其ノ所有者ノ名及住所

三　物件ニ關シテ權利ヲ有スル者ノ名及住所並ニ其ノ權利ノ種類及内容

四　調書ヲ作リタル年月日

五　其ノ他必要ナル事項

物件ガ建物ナル場合ニ在リテハ物件調書ニハ前項ニ揭グルモノノ外建物ノ種類ニ區別シ其ノ構造又建坪ヲ記載シ實測平面圖ヲ添附スベシ

土地收用法第七條ノ規定ニ依リ權利ヲ收用又ハ使用スル場合ニ於ケル調書ニ關シテハ第二項ノ例ニ依ル

土地收用法第七條ノ二ノ規定ニ依リ物件ニ關スル權利ヲ收用又ハ使用スル場合ニ於ケル調書ニ關シテハ第三項及第四項ノ例ニ依ル

調書ニハ調書ヲ作リタル起業者、土地所有者及關係人記名捺印スベシ立會人アルトキハ立會人モ亦之ニ記名捺印スベシ

第七條中「縱覽期間ノ始期」ヲ「其ノ旨」ニ改ム

第十三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ鐵道賃及船賃ハ二等以下ノ運賃ニ於テ、車馬賃（汽船ヲ通ゼザル水路ノ船賃ヲ含ム）ハ一里ニ付七十五錢以下ニ於テ收用審查會ノ定ムル所ニ依ル

第十四條中「一日金一圓乃至五圓」ヲ「一日二圓乃至十圓」ニ改ム

第十六條　土地收用法第十九條ノ二及第五十六條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ但シ物件ノ附加增置其ノ他輕易ナル事項ニ關シテハ地方長官ハ之ヲ市町村長ニ委任ス

第六條　土地收用法第二十一條ノ規定ニ依リ調書ヲ作リタル者ハ之ニ署名又ハ捺印スヘシ

第七條　土地收用法第二十四條ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ縱覽期間ノ始期ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十三條第一項

鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ左ノ範圍内ニ於テ收用審查會ノ定ムル所ニ依ル

一　汽車賃一哩ニ付三錢以上六錢以下

二　船賃二海里ニ付三錢以上六錢以下

三　車馬賃一里ニ付十錢以上三十錢以下

第十四條第一項

鑑定人及事實參考人ノ手當ハ一日金一圓乃至五圓ノ範圍内ニ於テ收用審查會ノ定ムル所ニ依ル

第十六條　土地收用法第五十六條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ但シ物件ノ附加增置ニ關シテハ之ヲ郡市長ニ委任スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和二年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

明治三十三年三月三十一日公布　勅令第九十九號土地收用法施行令抄錄

第一條　土地收用法第十條第三項及第十一條ノ規定ニ依リ收用又ハ使用スル土地ノ所有者ノ名及住所ヲ調書ニ記載スヘシ

第一項ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ市町村長ニ之ヲ行フ

第二條第二項

日出前日沒後邸内ニ立入ル者又ハ障害物ヲ除却スル者ハ行政廳ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第三條　起業者カ内閣ノ認定ヲ受ケムトスル場合ニ於テ起業地内ニ左ニ揭ケタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添付スヘシ

一　御陵墓地及御料地

二　國有地

三　現ニ公用ニ供スル土地

四　社寺境内地

五　名所、舊蹟及古墳墓

第五條第一項

内閣ノ認定ノ公告ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地收用法第十九條ノ申請ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

建築資金

復興建築助成株式會社

起業目論見書

一、本會社の資本金は金壹千萬圓として之を二十萬株に分ち第一回の拂込は一株に付金拾貳圓五十錢とし第二回以後の拂込時期及金額等は事業の狀況に依り臨時之を定む

二、本會社は事業資金として東京、橫濱兩市より合計金六千萬圓の低利且長期の貸下を受くべき確約を得たり尙此の外兩市は將來本會社事業資金に關し必要なる別途貸付又は相當の支援を與へらるべき旨の確約あり

三、本會社の事業は東京、橫濱兩市に於て大正十二年の大震火災に因る燒失地區內に於ける耐火建物の建築に關し(一)希望者の申込を受けて建物を建築し二十年以內の期限を以て割賦販賣すること(二)二十年以內の返濟期限を以て建築資金の貸付を爲すことを主とするものにして何れも元利支拂に對し確實なる擔保を提供せしむるものとす

四、本會社が拂込資本金に對し年八分の利益配當を爲すこと能はざるときは東京、橫濱兩市より其の配當を爲すに必要なる不足額の補給を受け且本會社に損失を生じたるときは其の損失を塡補するに必要なる金額の補給を受くるものとす

五、本會社が拂込資本金に對し年八分の利益配當をなし剩餘あるときは其の剩餘金より從前の補給金を兩市に對して補償し尙剩餘金あるときは其の剩餘金を兩市に對し年四分の割合に達する迄は兩市に其の剩餘額の半額を納付し殘り半額を本會社の利益とするものとす

六、前項の剩餘が拂込資本金に對し年四分の割合に當る金額を超過するときは其の超過額の三分の一を損失塡補及配當補充の爲め別に積立て三分の一を兩市に納付し殘り三分の一を本會社の利益とするものとす

七、本會社が解散したるときは前項の積立金現存額の半額を兩市に納付し殘り半額を本會社の收得とするものとす

復興建築助成株式會社

定款

第一章　總　則

第一條　本會社ハ大正十二年ノ大震火災ニ因ル東京市及橫濱市ノ燒失地區內ニ於ケル建物ノ建築ニ關シテ左ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トス

一、希望者ノ申込ヲ受ケ一定ノ規格ニ依ル建物ヲ建築シ二十年以內ノ返濟ニ依ル割賦販賣ノ方法ニ依リ之ヲ賣却スルコト

二、前號ノ建物ヲ建築スルモノニ對シ二十年以內ノ返濟ノ方法ニ依リ建築資金ヲ貸付スルコト

本會社ハ前項ニ規定スル業務ニ附帶スル事業ヲ經營シ又ハ投資スルコトヲ得

第二條　本會社ハ復興建築助成株式會社ト稱ス

第三條　本會社ノ資本總額ハ金壹千萬圓トス

第四條　本會社ハ本店ヲ東京市ニ置キ支店ヲ橫濱市ニ置ク

第五條　本會社ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ三十年トス

第六條　本會社ノ公告ハ本店ノ所轄裁判所カ商業登記事項ノ公告ヲ揭載セシムル新聞紙ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章　株　式

第七條　本會社ノ株式ハ二十萬株トシ一株ノ金額ヲ金五拾圓トス

第八條　株金ノ拂込ハ第一回ノ拂込金額ヲ一株ニ付金拾貳圓五拾錢トシ第二回以後ノ拂込金額竝其ノ拂込ノ期日及方法ハ取締役會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　株金ノ拂込ヲ遲滯シタル者ハ其ノ拂込期日ノ翌日ヨリ拂込當日迄金百圓ニ付一日金四錢ノ割合ヲ以テ延滯利息ヲ支拂ヒ且ツ遲滯ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシ

第十條　本會社ノ株券ハ記名式トシ壹株券、拾株券及百株券ノ三種トス

第十一條　株式ヲ讓受ケタル者ハ本會社所定ノ名義書換請求書ニ株券ヲ添ヘ之ヲ提出スヘシ

相續、遺贈其ノ他ノ事由ニ因リテ株式名義ノ書換ヲ要スルトキハ本會社ニ於テ必要ト認ムル證明書ヲ添ヘ前項ニ準シテ名義書換ヲ請求スヘシ

第十二條　株券ヲ喪失シタル者新株券ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ本會社所定ノ請求書ニ本會社ノ相當ト認ムル保證人二名以上連署ノ上之ヲ提出スヘシ

本會社前項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタルトキハ請求者ノ費用ヲ以テ其ノ旨ヲ公告シ其ノ最後ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ故障ヲ申出テタル者ナキトキニ限リ新株券ヲ交付ス

第十三條　株券ノ毀損又ハ種類變更ノ爲新株券ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ本會社所定ノ請求書ニ舊株券ヲ添ヘ之ヲ提出スヘシ

第十四條　株式名義書換ノ手數料ハ株券一通ニ付金十錢トシ前二條ノ規定ニ依ル新株券交付ノ手數料ハ一通ニ付金五十錢トス

第十五條　株主及其ノ法定代理人ハ本會社所定ノ書式ニ依リ其ノ氏名、住所及印鑑ヲ届出ツヘシ之ニ變更アリタルトキ亦同シ

法定代理人前項ノ届出ヲ爲ストキハ其ノ資格ヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第十六條　外國ニ住所ヲ有スル株主ハ帝國領土內ニ假住所ヲ定メ之ヲ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ爲ササル者ニ對スル通知又ハ催告ハ他ノ株主ニ對スルモノト同時ニ之ヲ發スルヲ以テ足ル

第十七條　本會社ハ定時株主總會終了ノ日迄三十日以內ノ期間株式名義ノ書換ヲ停止ス但シ豫メ其ノ旨ヲ公告ス

前項ノ場合ヲ除クノ外名義書換停止ノ必要アルトキハ豫メ之ヲ公告ス

第三章　株　主　總　會

第十八條　定時株主總會ハ每年二月及八月之ヲ招集ス

第十九條　株主總會ノ議長ハ社長ヲ以テ之ニ充ツ社長事故アルトキハ社長ノ指名シタル取締役之ニ代リ其ノ取締役事故アルトキハ出席株主中ヨリ議長ヲ選擧ス

第二十條　株主總會ノ決議ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十一條　株主又ハ法定代理人ハ他ノ株主ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得但シ本會社所定ノ委任狀ヲ以テ其ノ代理權ヲ證スヘシ

第二十二條　株主總會ニ於テ決議シタル事項ハ之ヲ議事錄ニ記載シ議長及出席株主二名以上署名捺印スヘシ

第四章　取締役及監査役

第二十三條　本會社ニ取締役十名以內、監査役五名以內ヲ置ク

取締役及監査役ハ二百株以上ノ株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選擧ス

第二十四條　取締役ノ任期ハ二年トシ監査役ノ任期ハ二年トス但シ補缺又ハ增員ニ因リテ就任シタル取締役又ハ監査役ノ任期ハ其ノ前任者又ハ從來ノ在任者ノ殘任期間トス

取締役又ハ監査役ノ任期カ任期中最終ノ決算期ニ關スル定時株主總會ノ期日前ニ滿了スルトキハ其ノ總會ノ終結ニ至ル迄之ヲ仲長ス

第二十五條　取締役ハ其ノ互選ヲ以テ社長一名ヲ定ム社長ハ本會社ノ業務ヲ統理シ本會社ノ代表ス

第二十六條　取締役ハ在任中其ノ所有ノ本會社株券二百株ヲ監査役ニ供託スヘシ

第五章　計　算

第二十七條　本會社ノ營業年度ハ每年一月一日ヨリ六月三十日迄及七月一日ヨリ十二月三十一日迄トス

第二十八條　本會社ハ會社財產ノ減價額ヲ控除スルニ代ヘ每營業年度ニ於テ生シタル收入利息ノ百分ノ七ヲ經費中ヨリ支出シ減損塡補金

トシテ之ヲ積立ツ

前項ノ減損塡補金ハ滯貸塡取立不能其他會社財産ノ毀損ニ因リテ現ニ生シタル損害ヲ塡補スルノ外之ヲ處分スルコトヲ得ス

本會社カ解散シタルトキハ第一項ノ減損塡補金ヲ支出シテ會社財産ノ減價額ヲ塡補シ其ノ剩餘額ノ十二分ノ五ヲ東京市ニ、十二分ノ一ヲ橫濱市ニ納付ス

第二十九條　本會社カ每營業年度ニ於テ年八分ノ割合ニ依ル利益ノ配當ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ配當ヲ爲スニ必要ナル不足金額ノ六分ノ五ヲ東京市ニ、六分ノ一ヲ橫濱市ニ請求シテ之カ補給ヲ受ク會社ニ損失ヲ生シタル場合ニ於テハ其ノ損失ヲ塡補スルニ必要ナル金額ニ付亦同シ但シ先ッ法定準備金ヲ支出シテ其ノ塡補ニ充當スルコトヲ要ス

第三十條　本會社カ每營業年度ニ於テ年八分ノ割合ニ依ル利益ノ配當ヲ爲シ剩餘アルトキハ其ノ剩餘額中ヨリ前條ノ規定ニ依ル從前ノ補給金ヲ東京市及橫濱市ニ對シ按分シテ補償尙剩餘アルトキハ其ノ剩餘カ拂込資本金額ニ對シ年四分ノ割合ニ當ル金額ニ達スル迄ハ其ノ剩餘額ノ十二分ノ五ヲ東京市ニ、十二分ノ一ヲ橫濱市ニ納付ス

剩餘カ前項ノ金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ノ三分ノ一ヲ別ニ積立テ十八分ノ五ヲ東京市ニ、十八分ノ一ヲ橫濱市ニ納付ス

第三十一條　前條第二項ノ規定ニ依ル積立金ハ損失ヲ塡補シ且ツ本會社カ年八分ノ割合ニ依ル利益ノ配當ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ其ノ配當ヲ爲スニ必要ナル不足金額ヲ支出スルノ外之ヲ處分スルコトヲ得ス

本會社カ解散シタルトキハ前項ノ積立金現存額ノ十二分ノ五ヲ東京市ニ、十二分ノ一ヲ橫濱市ニ納付ス

第三十二條　本會社ノ利益配當金ハ本會社ノ本店又ハ本會社指定ノ場所ニ於テ之ヲ支拂フ株主利益配當金ノ支拂ヲ請求セスシテ二ケ年ヲ經過シタルトキハ其ノ配當金ハ本會社ニ歸屬ス

第六章　雜　則

第三十三條　左ニ揭ク事項ハ東京市長及橫濱市長ノ承認ヲ受クルモノトス

一、定款及其ノ變更　二、事業計畫及其ノ變更　三、株金ノ拂込　四、社債ノ募集　五、拂込資本金ノ十分ノ一ヲ超エテ借入金ヲ爲ス　六、建物其ノ他重要ナル財産ヲ擔保ニ供シ之ニ關スル其ノ他ノ處分ヲ爲シ擔保物權ヲ處分スルコト　七、第一條第一項ニ規定スル業務ニ附帶スル事業ヲ經營シ又ハ之ニ投資スルコト　八、利益金ノ處分　九、合併及任意解散

第一條第一項第一號ノ規定ニ依リ會社ノ建築スル建物ノ割賦販賣其ノ他會社ノ營業ニ屬スル處分行爲ニ付テハ第一項第六號ノ規定ヲ適用セス

第三十四條　本會社ハ左ノ事項ニ付內務大臣及大藏大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

一、定款及其ノ變更　二、事業計畫及其ノ變更　三、社債ノ募集　四、利益金ノ處分　五合併及任意解散

三復興建築助成株式會社の營業

右により創立せられし復興建築助成株式會社は大正一五年一月頃より次の如き營業方針を以て開業する筈である

營業の範圍

【營業地域】營業區域は東京、橫濱兩市の燒失地區に限るのであつて其地區內に於ては次に述ぶる如き建築なれば申込者が罹災者であると否と、個人であると、法人であるとを問はないのである。

【助成建築】助成すべき建築物は市街地建築物法及其施行に關する規定に適合する耐火的建築たることが必要である右規定に適合したるものにても建築費の單價著しく高き高級建物、廣大なる建物、其他特殊なる建物は取扱はず。

右の目的を達する爲め次の二方法を設く。

一家屋を建築して之れを割賦販賣する方法

（割賦販賣）

二建築せんとする建物に對する必要資金の貸付（資金貸付）

割賦販賣

【申込】割賦販賣は一定の規格に依る建物希望者の申込に依り會社に於て建築し落成の上は其建物を使用に供し其代金を最長二十箇年以內の割賦返濟の方法を以て拂込を受ける販賣方法であり最初申込の節希望の間取り、坪數、建築費豫算、償還計畫、其他必要なる事項を以て申込に應じ希望者に於て設計書、圖面等を提出するか然らざれば希望に依り會社より適當の設計業者を紹介す

【手附金】契約締結の際建築費見込額の一割を手附とす。

【割賦販賣金】建物の割賦販賣金額は建築及之に伴ふ實費であつて建築實費中には左の費用を含む。

設計費、現場監督費、材料費、工費、請負金其他一切の工事費、借地料、登記料、工事中の火災保險料、其他一切の附帶費用及此等の費用に對する建物引渡の時に至る迄の利息。

防火地區建築補助規則に依り會社が政府より受くる補助金及前記手附金は右實費中より之を控除す。

【利息】割賦販賣金に對する利息及前記建築實費中の利息は年九分。

【割賦販賣建物の所有權】割賦販賣の契約に基づき建築したる建物の所有權は割賦販賣金の皆濟に至るまで會社に於て所有權を保留し會社に於て相當と認むる現金又は確實なる擔保（當該建物を含む）を提供せらるゝが如き場合には買主に所有權を移すこともある。

【敷地の借地權】前記割賦販賣の契約に於ては建物に要する敷地の地上權又は賃借權は契約成立と共に無償會社へ提供するものにして割賦販賣金の皆濟其の他の理由に依り買主に建物所有權の移轉する際は無條件にて之れを返付す。

【保證人】割賦販賣契約には二名以上の保證人を要す。

元金一萬圓に對する割賦販賣資金貸付元利均等賦金表（利率年九分）

償還期限	年賦金	半年賦金	四ケ月賦金	三ケ月賦金	月賦金
	円	円	円	円	円
一ケ年	一〇、九〇〇、〇〇	五、三九、八	三、五六、三〇	二、六四、一九	八七四、五一
二ケ年	五、六四、六九	二、九七、四四	一、八四五、九八	一、三九九、八五	四五六、八五
三ケ年	三、九五〇、五五	一、九三八、九八	一、二六四、三四	九六〇、一七	三一八、〇〇
四ケ年	二、九七〇、六九	一、五一六、一〇	一、〇〇四、六二	七五二、一七	二四八、八五
五ケ年	二、三七〇、九二	一、二六三、九	八三七、六七	六三六、四二	二〇七、五八
六ケ年	一、九六六、六六	一、〇九六、六六	七三七、〇九	五四三、八〇	一八〇、二六
七ケ年	一、八九六、九一	九七八、二〇	六四八、七二	四八六、二五	一六一、八九
八ケ年	一、八〇六、七四	九四〇、一五	六四〇、四七	四八〇、三五	一五六、五〇
九ケ年	一、六六七、九九	八三一、三七	五四四、六四	四〇八、二五	一三五、四二

資金貸付

【申込】建築資金、貸付は最長二十箇年以內の割賦返濟の方法を以て貸出す。希望者の借入希望の金額、償還計畫、建築の概要、擔保物等、申出次第相談に應じ、契約締結には建築設計書圖面、官廳の建築許可書等必要なる書類の提出を要す。

【貸付額】借主に於て建築費總額の三割以上に相當する建築を自費施工したるときはその建築費總額に對し最高七割までの貸付を爲す。

【利息】年九分

【擔保】資金貸付契約に基き建築したる建物には當社の爲め第一順位の抵當權を設定す。尙二人以上の保證人を要す。

十ヶ年	一、五五八、三〇	七六八、七六	五二〇、一九	三八一、七七	一三六、六八
十一ヶ年	一、四六九、四七	七二五、四六	四八一、五六	三六〇、三九	一二九、六二
十二ヶ年	一、三九六、五一	六八九、八七	四六八、〇四	三四二、八二	一二三、八〇
十三ヶ年	一、三三五、六七	六六〇、一二	四三八、四四	三二八、一九	一〇八、九七
十四ヶ年	一、二八四、一三	六三五、一二	四二一、九二	三一五、八五	一〇四、八九
十五ヶ年	一、二四〇、五九	六一三、九二	四〇七、八五	三〇五、三五	一〇一、四三
十六ヶ年	一、二〇三、〇〇	五九五、六三	三九五、七八	二九六、三四	九八、四五
十七ヶ年	一、一七〇、四六	五七九、八二	三八五、三四	二八八、五五	九五、八八
十八ヶ年	一、一四二、一三	五六六、〇六	三七六、二六	二八一、七七	九三、六四
十九ヶ年	一、一一七、三〇	五五四、〇二	三六八、三一	二七五、八五	九一、六九
二十ヶ年	一、〇九五、四六	五四三、四三	三六一、一三	二七〇、六四	八九、九七

耐火的復興建築に對し建築助成株式會社の現在融通を決定したものは左の通りである。

（昭和二年三月三十一日現在）

區分		件數	建築坪數	建築費概算額	融通見込金額
東京	割賦販賣	三四	四、二九六、二七	一、四六二、一一三	一、一二三、六五〇
	資金貸付	六九	一四、五〇三、六七	五、三七四、七四八	三、六八〇、六五〇
	計	一〇三	一八、六九九、九四	六、八三六、八六〇	四、八〇六、三〇〇
横濱	割賦販賣	一二	一、六七八、五八	五九一、八〇〇	四五三、三〇〇
	資金貸付	四	一、九七四、一〇	五九五、六八〇	三五五、四〇〇
	計	一六	三、六五三、六八	一、一八七、四八〇	八〇八、七〇〇
合計		一一九	二二、三五三、六二	八、〇二三、三四〇	五、六一五、〇〇〇

右の外決定にはいたらないが、商議中に屬するもの百四十九件、融通見込金額約八百萬圓あつて、これを合計すれば件數二百六十八件融通見込金額約一千三百餘萬圓になる、しかして官公署・大會社の事務所その他當社の助成を要せざる建築を除いて、一般の耐火建築に關しては殆んど當社を利用される狀況である。

今當社創立以來融通を決定したるもの百件に付き一戸當建築費概算額、一戸當貸出豫定額、申込人資産狀態は左の通りである。

一戸當り建築費概算額

東京市

貸付種類	壹萬圓未滿	壹萬圓以上五萬圓未滿	五萬圓以上拾萬圓未滿	拾萬圓以上貳拾萬圓未滿	貳拾萬圓以上	計
資金貸付	六	三五	一一	一〇	六	六八
割賦販賣		一四	五	二		二一

横濱市

貸付種類	壹萬圓未滿	壹萬圓以上五萬圓未滿	五萬圓以上拾萬圓未滿	拾萬圓以上貳拾萬圓未滿	貳拾萬圓以上	計
資金貸付			一	一	一	三
割賦販賣		五	二	一		八
計	六	五四	一九	一四	七	一〇〇

備考

一、最高建築費は參拾壹萬圓にして最低六千八百圓平均六萬四百八拾圓

二、一戸當り平均建築坪數は百八拾貳坪

三、一坪當り建築費最高五百圓最低貳百五拾圓平均參百貳拾貳圓

一戸當り貸付豫定額

東京市

貸付種類	壹萬圓未滿	壹萬圓以上五萬圓未滿	五萬圓以上拾萬圓未滿	拾萬圓以上貳拾萬圓未滿	貳拾萬圓以上	計
資金貸付	一〇	三七	九	一一	一	六八
割賦販賣	一	一八	一	一		二一

横濱市

貸付種類	壹萬圓未滿	壹萬圓以上五萬圓未滿	五萬圓以上拾萬圓未滿	拾萬圓以上貳拾萬圓未滿	貳拾萬圓以上	計
資金貸付		一	一		一	三
割賦販賣	一	六	一			八
計	一二	六二	一二	一二	二	一〇〇

備考

一、建築費概算額に對し貸付割合は平均七割參分八厘

二、最高貸付額は貳拾萬圓最少貸付高は四千八百圓平均四萬四千六百五十圓

申込人正味資産狀態調査表

貸付種類	壹萬圓未滿	五萬圓未滿	拾萬圓未滿	拾萬圓以上	計
資金貸付	四	二九	九	二九	七一
割賦販賣	二	十五	六	六	二九
計	六	四四	十五	三五	一〇〇

備考

一、申込人會社の場合には假りに拂込資本金額を以て資産と見做す。

産業建築資金

特殊銀行

我國の工業金融機關としての特殊銀行は、日本勸業銀行、農工銀行、日本興業銀行等があるが、建築の如き中小工業に於ては、此等の金融機關を利用するのは至つて少ない。「僅かに一部の需要を滿たしつゝある有樣である。然して其利息は普通九分乃至一割前後である。

一日本勸業銀行　日本勸業銀行法は明治二九年の制定に係り、爾後一〇數回の改正を經た株式會社であるが、商法の一般規定の適用を受けず種々の制限に服して政府の特別監督の下に立つてゐる。創立後十年間は株式配當金年五分まで國庫から補給の保證を與へられた。現行法に於ける主なる營業科目及之に對する制限は次のやうなものである。

(一)五十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トシテ貸付ヲナスコト。(二)拂込資本及積立金總高ニ相當スル金額ヲ限リ不動産ヲ抵當トシ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコト。(三)工場財團及工場ニ屬スル敷地又ハ建物ヲ除クノ外市制施行地及勅令ヲ以テ指定スル市街地ニ存在スル宅地又ハ建物ヲ抵當トスル貸付金額ハ拂込資本金額及勸業債券發行額ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得サルコト。(四)府縣郡市町村其他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ抵當ヲ徵セサルヲ得ルコト。(五)耕地整理組合産業組合漁業組合森林組合畜産組合住宅組合又ハ聯合會ニハ抵當ヲ徵セスシテ定期償還貸付若ハ年賦貸付ヲ爲スコトヲ得ルコト。(六)抵當ハ總テ第一抵當ニ限ルコト。(七)抵當トシテ徵スル土地ハ永續スヘキ確實ナル收益ノ見込アルモノニ限ルコト。(八)抵當トシテ徵スル建物ハ原則トシテ保險付ノモノニ限ルコト。(九)不動産ヲ抵當トシテ貸付クル金額ハ査定價格ノ三分ノ二以内トスルコト。(一〇)農工債券ノ引受ヲナスヲ得ルコト。(一一)預リ金又ハ地金銀若ハ有價證券ノ保證預リヲナスコトヲ得ルコト。

同銀行は營業資本として拂込株金額の一五倍を限度として勸業債券を發行する權能を與へられて居る。債券は券面金額十圓以上として無記名利札附としてゐる。毎年二回以上抽籤を以て償還することを要し其際豫め大藏大臣の許可を受けた方法及金額に依り割增金を附與することを得る。

二農工銀行　農工銀行法は明治二九年の制定に係り、爾後二〇餘回の改正を經た。同銀行は資本金二〇萬圓以上の株式會社で各府縣に一箇を設ける。之が設立の手續は府縣知事が政府の認可を經て、設立委員を置き、發起事務を處理せしめて定款を作り政府の認可を經た後株主を募集し、株式申込書を政府に差出し設立の免許を受けるものである。政府は同銀行の設立を容易ならしめ且つ其營業を補助する目的を以て農工銀行補助法の規定に依り、豫算の定むる所に依り銀行の營業區域を管轄する府縣に對し其株式引受資金を交付する。其金額は當該府縣の宅地鑛泉池沼を除き、有租地段別百町に付七〇圓以内として居る。但し如何なる場合に於ても、一府縣に對して三〇萬圓を超えず且つ拂込資本金の三分の一を超ゆることを得ざるものとして居る。而して此資金に依り府縣の引受けた株式に對しては創立の初期から一五箇年間に利益配當を爲すことを要せない。

同銀行設立の趣意は長期低利の資本を融通して農工業の發達を助長せんとするに在ることは日本勸業銀行と同一であるが、勸業銀行は大規模な企業に對し多額の資本を融通するを主眼と

し、農工銀行は小規模な地方的産業に對して少額の資本を融通するのを本領とする。農工銀行の主なる營業科目並に營業上の制限は次のやうなものである。

（一）五〇箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トシテ貸付ヲナスコト。（二）拂込資本金及積立金總高ニ相當スル金額ニ限リ不動産ヲ抵當トシテ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲナスコト。（三）右二項ノ貸付ハ郡市町村産業漁業森林畜産住宅ノ諸組合又ハ法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ對シテハ無抵當ニテ之ヲ行フコトヲ得ルコト。（四）連帶責任ヲ有スル一〇人以上ノ農業漁業者ニシテ信用ノ確實ナルモノニ對シ五箇年以内ノ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲナスコト。（五）其他抵當物ニ關スル諸制限ハ勸業銀行ノ規定ト同樣ナリトス。（六）勸業銀行ノ代理店タルヲ得ルコト。

農工銀行は資本金四分の一以上の拂込があつた時は、拂込金額の十倍を限り農工債券を發行することを得。同債券は券面金額十圓以上とし無記名利札附とする。其償還は毎年二回抽籤を以て之を行ふ。

日本興業銀行　勸業農工の兩銀行は不動産擔保の貸付をした爲め自然農業偏重に傾いたのを以て、新に動産を擔保として工業資本の融通を主眼とする別種の銀行を設ける必要を認められ明治三五年日本興業銀行の設立を見るに至つた。

日本興業銀行法は明治三三年に制定され爾後六回の改正を經た。其營業科目は當初、普通銀行との差別を明かにする爲、手形の割引爲替及株式の買入等を禁止されたが、其後漸次營業の範圍を擴張せられ、現今は次の如く定められた。

（一）國債地方債社債ノ諸證券及株券ヲ質トスル貸付。（二）國債地方債社債ノ應募又ハ引受。（三）預リ金及保護預リ。（四）信託ノ業務。（五）手形ノ割引。（六）爲替及荷爲替。（七）法律ノ規定ニ依リ設定シタル財團ヲ抵當トスル貸付。（八）一五年以内ニ於ケル年賦償還又ハ五年以内ニ於ケル定期償還ノ方法ニ依リ船舶又ハ製造中ノ船舶ヲ抵當トスル貸付。（九）造船材料又ハ船舶附屬具ヲ擔保トスル貸付。（十）政府ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テ株式ノ應募又ハ引受。（十一）營業上餘裕金アル場合ニ於テ國債地方債社債株券及金銀ノ買入。（十二）工場ニ屬スル敷地及建物並ニ市制施行地及勅令ヲ以テ指定スル市街地ニ存在スル宅地又ハ建物ヲ擔保トスル當座貸又ハ定期貸。但此貸付金總高ハ拂込資本金額ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス。

同銀行は拂込資本金額の十倍を限り債券を發行することを得、又外國に於ける公益事業に對して資金の需要ある場合に限り、政府の認可を受け右の制限に依らず、債券を發行する事が出來る。債券は券面金額二〇圓以上として無記名利札附を原則とする。債券の利子は毎年二回以上之を支拂ひ元金は發行後三〇箇年以内に拂籤を以て償還する。

同銀行は創立當時から五箇年間毎營業年度の配當金が年百分の五に達しない時は、其不足額を國庫から補給する保證を與へられてゐる。而して其營業に就いては政府は特別監督の下にあること勸業銀行と同一である。

普通銀行　元來普通銀行は其性質上、動産に投資するを好まず、即ち預金の固定に依る不利益と、火急に資金の回收を欲する場合を考慮して出來得る限り此方面への投資を差控へる傾向がある。故に普通銀行を利用する金融に於ては、期待し得る好結果を齎らさないものと豫め覺悟するを要する。

保險會社　前記の普通銀行に比し保險會社殊に生命保險に於ては、借出し得る可能率が比較的高い。即ち保險會社は被保險人の拂込む保險料を蓄積し突發的事項に備へる性質のものであるから、當然の歸結として其蓄積方法に安全且利息收入の多いのを求めるのである。然して火災保險と生命保險とを比較するに、前者は若し大都市が一朝大火災に遭遇した場合。急速に巨額の保險金を支拂ふ關係上、多額の金高を不動産に固着せしめるのは萬一の際に不安を醸す。玆

に勢ひ薄利なるも公債社債の融通可能の證券に投資する事となる。之に反し生命保險は其安全率に於て遙に前者をしのぐ故、收入保險料の一定率を不動産抵當に投資するも敢て危險を伴はない。さりながら之も一割乃至一割二分の利率であると覺悟せねばならぬ。

工場抵當法　工業經營中共運轉又は擴張の資金に不足を生じ之を他人より借入れんとするに當り之が擔保として工場の敷地建物機械裝置又は工場所有權等を提供せねばならぬ場合がある。然るに工場は是等の諸財產が綜合關聯して系統的組織の下に協働することに依つて、其能力を發揮するものであるから、之を個々に切離す時は著しく現存の價値を減じ、擔保價格は甚だしく低落するを免かれない。故に是等の諸財產を一括し現存の作業能力を其儘維持せしむる形態に於て、之を擔保に供する制度を設ける時は、工業資本の融通力は大に增加するに至る。之工場抵當法の制定を見た所以である。然るに我建築にあつては、移動工業なる故、斯くの如き工場抵當法の恩典に浴することが甚だ尠い。同工場抵當法の細則を細す。

住宅資金　我國では銀行や個人の住宅資金を有利に融通する施設が甚だ少い。僅かに住宅協會住宅組合、建築會社等を算へるのみである。其他の機關としては、政府の低利資金利用、地方公共團體の準備金利用、銀行及保險會社の利用或は個人資產家よりの借入である。

一住宅組合　住宅組合を簡單に云へば七人以上が團結して組合を作り、各自の住むべき家を購入又は新築することを目的とする一つの、非營利的の社團法人であつて、其組織の手續きに要する書類は次の通りである。

住宅組合許可申請書

今般住宅組合法ニ依リ有限責任（營友）住宅組合設立致度候ニ付御許可相成度別紙定款組合員ニ關スル調書、事業方法書添へ此段及申請候也

年　月　日　有限責任（營友）住宅組合
代表者　姓　名

東京府知事　殿

委任狀

何某外六名　ヲ以テ總代ト相定メ左ノ權限ヲ委任ス

一、有限責任（營友）住宅組合設立認可申請書提出ニ關スル一切ノ件

二、右提出書類ノ不備、誤謬ノ訂正、文句ノ挿入削除ニ關スル一切ノ件

三、其他有限責任（營友）住宅組合ヲ代表スベキ一切ノ件

右委任狀依而如件

年　月　日　住所氏名　聯名各印

組合員ニ關スル調書

勤務所名	職業	住所	氏名	生年月日

出資口數	出資金額	供給ヲ受クベキ住宅延坪數	同上ノ建築費	本人ノ資產	本人ノ月給	家族人員	備考

事業方法書

（一）事業ノ大要。（二）火災其他ノ事由ニ因リ住宅滅失ノ場合ニ於ケル處理方法。（三）出資口數增減ノ場合ニ於ケル爾後ノ拂込金計算方法。

初年度收支豫算表　（自昭和　年　月　至昭和　年　月）

收入 種別	金額	備考	支出 種別	金額	備考
收支差引殘					

各人別建築費表

出資口數	出資金額	延建坪	單價	建築費	附屬設備費合計	建設費計	氏名

借入金年賦償還表（借入先東京府　利率年　分　厘）

年度別	償還期日	元金償還	利子支拂額	元利合計	未償還額

借入金償還財源表

收入 年度	出資拂込額	借入元利償還金	地代	預金利子	諸稅	保險料	組合費	計	支出 年度	豫備費	諸稅	保險料	組合費	計	收支差額

東京府内務部長　氏　名

住宅組合設立者總代殿

豫ヲ御提出相成候住宅組合設立許可申請ノ件調査候處、低利資金借入希望額トハ共ノ需給ノ徑庭甚ダシク全部ノ組合ニ融通難致事情有之候ニ付、抽籤ヲ以テ其ノ審査順位ヲ決定致ス事ト相成候間左記御心得ノ上當日　時マデニ會場へ御參集相成度候

記

一、抽籤開始日時　月日（曜日）時

一、會　場

一、本狀封筒トモ御持參ノ方ヲ以テ組合總代ト認メ候ニ付、必ス御持參相成度コト

一、出席セラルル方ハ認メ印御持參相成度コト

一、當日定刻ニ出席セラレサルトキハ適宜本府ニ於テ其ノ代理者ヲ選定シ抽籤セシムルコト

東京市社會局長事務取扱
東京市助役　氏　名

金

住宅建設資金貸付ニ關スル件

豫而御申請相候住宅組合設立ニ關シ今般東京府住宅建築資金ヨリ頭書金額貸付方內定相成候旨通牒有之候ニ付テハ左記事項御了知ノ上、至急相當手續御取運相成度候也。

記

一、本文貸付金ヲ借入ルヤ否ヤ本月十三日迄ニ東京府ニ到達スル樣書面ヲ以テ回報スルコト

但シ該書面ハ當局ヲ經由スルコト

二、前項期日迄ニ回報ナキトキハ借入ルル意思ナキモノト認メ處理セラルルモノトス

三、本文貸付資金ガ組合ノ借入希望額以下ニ減額査定セラレタル組合ニ在リテハ事業方法書其他變更ヲ要スベキヲ以テ至急組合設立許可申請書ノ訂正ヲナスコト

四、本文貸付資金ニ依ル全部ノ住宅建設ヲ了セザル間ニ於テ生ジタル組合員ノ異動（死亡、脫退、讓渡、區域外ニ轉任等）ハ其補充ヲ認メラレズ

但シ缺員ヲ生ジタル結果組合設立要素ヲ缺如スル場合ニ限リ東京府ノ承認ヲ受ケ之ガ補充ヲ爲スコトヲ得

五、願書提出後ノ組合員ノ異動（死亡、讓渡、區域外轉任等）ハ其ノ部度東京府ニ報告スルコト

六、本文貸付資金ハ住宅建設費ニ充ツルノ外、住宅ノ購入ハ之ヲ認メラレズ倘燒跡地ニ建設スルモノ及業務所ノ建築費ニ充當スベカラズ

七、一戶當建設費貸付額ハ平均三千圓以下トス　但シ特別ノ事情アルモノハ組合ニ對スル貸付總額ノ範圍內ニ於テ四千圓迄之ヲ認メラルルコトアルベシ

八、一戶當建坪ハ二五坪以下タルコト

九、前項ノ制限ハ自己ノ資金ヲ以テ補充スル場合ト雖モ之ヲ認メラレズ

一〇、本文貸付資金借入願書ハ組合設立許可ヲ受ケタル後、速ニ提出スルコト

一一、本文貸付資金貸出シハ左ノ方法ニ依ルI住宅建設ヲ了シ、東京府評價員ノ評價ヲ經タル上資金ノ貸付ヲ受クルヲ原則トス、2前項ノ貸付ニ依リ難キ特別ノ事情アルモノハ左ノ方法ヲ以テ建設終了前貸付ヲ受クルコトヲ得イ、不動產、國債證券、公債證書、其ノ他東京府ニ於テ適當ト認メラレタル有價證券ヲ以テ提供シタル場合、ロ、東京府ニ於テ承認ヲ受ケタル保證人二名以上ヲ立テタル場合、2擔保物件ノ評價額ガ貸付金額ニ相當セザル場合ハ別ニ擔保ヲ提供シ、又ハ保證人ヲ立ツルコト、4貸借契約書ハ公正證書トスルコト、5公正證書成作ニ要スル關係書類ハ全部ヲ提出スルニアラザレバ第一回現金ノ交付ヲ爲サズ、現金第二回ノ交付ハ公正證書作成後トス、6現金ハ數回ニ區分シ交付セラルベシ

一二、本文貸付資金第一回ノ交付ヲ受ケタル後三ケ月以內ニ工事ニ着手セザル場合ハ當該資金ノ返還ヲ命ゼラルルコトアルベシ

一三、本文貸付資金ニ依ル住宅ハ遲クモ本年十二月二十日迄ニ完成スルコト、万一右期日迄ニ全部ノ完成ヲ爲サザル場合ハ貸付ヲ打切ルコトアルベシ

一四、本文貸付資金ニ依リ住宅ノ建設ヲ爲シタルトキハ速ニ火災保險ニ附シ東京府ニ對シ第一順位ノ抵當權設定ノ登記ヲ爲スコト

社發第七四號

東京府市區町番地
有限責任住宅組合
設立者總代　氏　名

昭和十三年一月二十五日付申請有限責任營友住宅組合設立ノ件許可ス

昭和　年　月　日

東京府知事　氏　名

社發第七四號

昭和　年　月　日

內務部長

東京府書記官

有限責任營友住宅組合長殿

住宅組合設立許可ニ關スル件

貴組合設立許可ノ件今般別紙ノ通リ指令相成候處第一回出資拂込ヲ了シ候ハバ共届書ト同時ニ別記御心得ノ上資金借入申請書ヲ御提出相成度追テ別記事項（資金貸付並保證人ニ關スル件）及公正證書ト爲スベキ資金貸付契約書樣式ハ別

記ノ通ニ候條承知相成度

記

一、資金貸付ニ關スル件

（イ）資金借入申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スルコト

一、事業計畫書（本府印刷住宅組合關係法規附錄五九頁參照）

二、保證人又ハ擔保物件承認願

（ロ）第一回資金ノ交付ハ公正證書作成ニ要スル書類（組合章記簿抄本、組合長及保證人、委任狀、並印鑑證明書）ヲ提出シタル後トス、但シ組合長ノ印鑑證明書ハ二通ヲ要ス

（ハ）第二回資金ノ交付ハ公正證書作成ノ後トス

（ニ）第二回以後資金ノ交付ハ一時ニ全部ニ對シ工事ニ着手セザル場合ハ漸次着手セル住宅ニ關スル土地貸借契約書寫、請負契約書寫及之ニ伴フ仕樣書、見積書寫住宅平面圖ヲ提出シタルモノニ限リ之ヲ交付スルモノトス

二、保證人ニ關スル件

保證人ハ二名以上トス

保證人ハ全員ニテ本府貸付金額二倍以上ノ資產（不動產）ヲ有シ信用確實ナルモノヲ立ツルコト

但シ左記ノ者ニ對シテハ特ニ保證人タルノ適格ヲ認ムルコトアルベシ

記

（各省）局長、課長、（市役所）助役、局長、（其ノ他）之ニ準ス、（銀行會社）重役、（新聞社）社長、社主、（知名ノ士）

保證人ノ資產ニ付テハ市區町村長、稅務署其ノ他ノ證明書ヲ添付スルコト

二、保證人又ハ擔保物件承認願

（ロ）第一回資金ノ交付ハ公正證書作成ニ要スル書類（組合章記簿抄本、組合長及保證人、委任狀、並印鑑證明書）ヲ提出シタル後トス、但シ組合長ノ印鑑證明書ハ二通ヲ要ス

（ハ）第二回資金ノ交付ハ公正證書作成ノ後トス

（ニ）第二回以後資金ノ交付ハ一時ニ全部ニ對シ工事ニ着手セザル場合ハ漸次着手セル住宅ニ關スル土地貸借契約書寫、請負契約書寫及之ニ伴フ仕樣書、見積書寫住宅平面圖ヲ提出シタルモノニ限リ之ヲ交付スルモノトス

二、保證人ニ關スル件

保證人ハ二名以上トス

保證人ハ全員ニテ本府貸付金額二倍以上ノ資產（不動產）ヲ有シ信用確實ナルモノヲ立ツルコト

第五條　貸付金ノ利率ハ一ケ年　分　厘トシ貸付又ハ第七條ニ依ル中途辨濟ノ場合ニ於ケル一ケ月ニ滿タザル利息ノ計算ハ貸付ノ際ニアリテハ資金交付ノ翌日ヨリ第七條ニ依ル中途辨濟ノ場合ニアリテハ辨濟ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第六條　乙ハ第一條ノ借受金ヲ住宅ノ建設及其ノ附屬設備費以外ニ使用セザルモノトス

第七條　左ノ場合ニ於テ乙ハ甲ノ請求アリタルトキハ借受金ノ全部又ハ一部ニ利息ヲ添ヘ甲ノ指定スル期限內ニ辨濟ス

一、乙ガ法令ノ規定ニ違反シタルトキ

二、乙ガ甲ノ命令ニ從ハザルトキ又ハ本契約ニ基ク義務ヲ怠リタルトキ

三、乙ガ借受金ヲ第六條ノ目的以外ニ消費シタルトキ

四、乙ガ資金ノ交付ヲ受ケ三ケ月以內ニ工事ニ着手セザルトキ

五、乙ガ本契約ニ基ク甲ノ債權ヲ侵害スベキ行爲アリタルトキ

六、乙ノ事業ノ不能、困難等ノ爲甲ニ於テ回收ノ必要ヲ認メタルトキ

七、甲ガ將來債權ノ執行ニ付困難アリト認メタルトキ

八、其ノ他甲ニ於テ回收ノ必要ヲ認メタルトキ

第八條　乙ハ第三條及第四條ノ期日ニ其ノ辨濟ヲ怠リ又ハ前條ノ場合ニ於テ甲ノ指定スル期限內ニ辨濟ヲ爲サザルトキハ其ノ翌日ヨリ辨濟額ニ對シ百圓ニ付一日二錢三厘ノ割合ヲ以テ延滯利子ヲ支拂フ

第九條　乙ガ借入金ヲ以テ住宅ノ建築又ハ購入ヲナシタルトキハ甲ハ其ノ住宅ノ上ニ何等ノ意思表示ヲ要セズシテ直ニ第一順位抵當權ヲ取得ス但シ乙ハ遲滯ナク當該住宅ヲ火災保險ニ付スルモノトス

第十條　擔保物ノ滅失毀損其ノ他ノ事由ニ依リ甲ガ追徵ノ必要ヲ認メタルトキハ乙ハ甲ノ請求ニ依リ直ニ相當ノ擔保ヲ提供ス

第十一條　第九條ノ住宅ガ火災ノ爲滅失シ直ニ再建築ニ着手セザル場合ハ乙ハ甲ノ請求ニ從ヒ其ノ受領保險金ノ全部又ハ一部ヲ甲ノ指定スル銀行ニ預入ス

第十二條　丙ハ各自本契約ニ基ク乙ノ一切ノ債務ノ辨濟ニ付連帶ノ責ニ任ズ

第十三條　丙ガ民法第四百五十條第一項各號ノ條件ヲ缺クニ至リタルトキ又ハ甲ノ請求アリタルトキハ乙ハ遲滯ナク前條及第十五條ノ義務ヲ負擔スル保證人ヲ立ツルモノトス

第十四條　乙ハ何時タリトモ甲ノ請求アリタルトキハ保證人ヲ變更ス

第十五條　乙及丙ハ本契約ニ基ク債務ノ辨濟ヲ爲サザルニ付直ニ强制執行ヲ受クルモ何等ノ異議ヲ申立ツルコトナシ

出資第一回拂込濟届

本組合出資第一回拂込金　圓也本日完了候ニ付監事ノ證明書ニ添へ此段及御届候也

昭和　年　月　日

有限責任住宅組合

組合長　理事　氏　名印

東京府知事　殿

前記ノ事項調査候處相違無之候テ證明候也

昭和　年　月　日

監　事　何　某印

同　何　某印

住宅建設資金借入申請書

一、借入金額

二、資金ノ用途

三、償還方法

四、完濟期限

右借入致度總會決議錄寫相添ヘ此段申請候也

付記　資金所要ノ時期大正　年　月　日

昭和　年　月　日

有限責任住宅組合

組合長理事　氏　名印

東京府知事　殿

有限責任住宅組合臨時總會決議錄

一、昭和　年　月　日組合事務所ニ於テ臨時總會ヲ開ク總組合員何名出席ス

一、午後一時開會組合長　議長席ニ着キ左ノ議案ヲ附議シ提案ノ理由ヲ說明ス

議案第一號當組合ノ事業施行資金トシテ東京府住宅建設資金中ヨリ金　圓ヲ昭和　年　月日迄据置、爾後　年間半年賦均等償還利率年　分　厘ヲ以テ借入ノ件

議案第二號事業計算書

一、滿場異議ナク右第一號及第二號原案ニ決ス

一、午後　時閉會

右決議錄ノ正確ヲ證スル爲メ左ニ署名捺印ス

昭和　年　月　日

有限責任住宅組合

組合長理事　氏　名印

組合員　何　某印

同　何　某印

第一號　議案

借入金ニ關スル件

一、借入金額

二、資金ノ用途

三、借入先

四、利率

五、償還方法

六、完濟期限

有事項ノ通リ資金借入方ヲ東京府知事ヘ申請スルモノトス

第二號　議案

事業計畫書

一、借入金　　圓也

二、建設敷地

住宅番號	所在地	地坪數	購入借入區別	貸借料	同上坪當價格	取得年月日	備考

三、建設家屋

住宅番號	家屋種類	建坪	室數	着手年月	竣成年月	建築費	同上坪當價格

四、付屬設備

住宅番號	種類	數量	着手年月	竣成年月	金額	單價	摘要

保證人承認願

住所
何職　何某

ニ相立申度候間御承認相成度候也

昭和　年　月　日

住所
有限責任住宅組合
組合長　理事　氏名

殿

有ハ御府ヨリ借入可申住宅資金ニ關スル保證人

貳錢收入印紙

委任狀

拙者儀都合ニヨリ何某ヲ代理ト定メ左ノ權限内ノ事ヲ委任ス

一、有限責任住宅組合ガ東京府ヨリ金　圓也借入ニ對シ其ノ契約各種ノ條項ヲ承認シ連帶保證人タルコトヲ承諾シ强制執行ヲ認諾シ公正證書作成ヲ囑託スル一切ノ件

昭和　年　月　日

住所
氏名　印

請求書

一金　　圓也

但住宅建設資金　圓也ノ内第一回交付金

右請求候也

昭和　年　月　日

住所
有限責任住宅組合
理事　氏名

東京府知事
殿

丑社發第一九四號

昭和　年　月　日

内務部長
東京府書記官

有限責任營友住宅組合長
殿

住宅建設資金貸付ニ關スル件

豫而貴組合ヨリ申請ニ係ル住宅建設資金貸付ノ件左記ノ通リ決定相成候條御承知相成度此段及通牒候也

記

一、貸付資金總額金　圓也

二、第一回交付金　圓也トス

殘額ハ事業ノ進捗ノ狀況ニ依リ後日之ヲ交付ス

三、月　日伺出ニ係ル何某及何某ハ保證人トシテ支障ナシ

四、本通牒ヲ領シタルトキ速ニ第一回資金ノ交付願ヲ差出スベシ

五、第一回資金ノ交付願ニハ　月　日丑社發第七四號通牒ニ依リ公正證書作製ニ要スル書類ヲ添付スルコト

六、第一回資金ノ交付ヲ受ケタルトキハ速ニ公正證書ヲ作成スルコト、但其ノ費用一切ハ組合ノ負擔トス

七、第二回資金ノ交付願ニハ土地貸借契約書寫請負契約書寫、之ニ伴フ仕樣書、見積書寫、及住宅ノ平面圖ヲ添付スルコト

八、住宅建設ヲ了シタルトキハ直チニ本府ニ對シ、第一順位ノ抵當權設定ノ登記ヲナスベシ但シ抵當權設定ニ要スル一切ノ費用ハ組合ノ負擔トス

第二回借入金交付申請

有限責任住宅組合
一金　　圓也
右御交付相成度別紙工程書添付此段申請候也

昭和　年　月　日

住所
有限責任住宅組合
組合長　理事　氏名　印

東京府知事
殿

有限責任(營友)住宅組合事業進行工程表（昭和　年　月　日現在）

住宅番號	所在地	建坪數	進捗狀況

有限責任(營友)住宅組合定款

參錢印紙

第一章　總則

第一條　本組合ハ住宅ノ建設又ハ購入ヲ爲シ之ヲ組合員ノ使用ニ供シ又ハ其所有權ヲ讓渡スルヲ以テ目的トス

第二條　本組合ハ有限責任(營友)住宅組合ト稱ス

第三條　本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條　本組合ノ區域ハ東京府トス

第五條　本組合ノ事務所ハ東京帝國大學營繕課内ニ置ク

第六條　本組合ノ公告ハ事務所ノ掲示場ニ掲示シテ之ヲ爲ス

第七條　本組合ノ存立時期ハ滿十九ケ年トス

第八條　本組合ノ財產ニ付組合員ノ有スル持分ハ其ノ拂込濟出資金額ニ應ジ之ヲ算定ス

第二章　組合員

第九條　本組合ノ組合員ハ左ノ各號ニ該當スル者ニ限ル

一、出資金完納ノ資力アリ又ハ出資金ノ完納ニ付適當ナル保證人アルコト

二、他ノ住宅組合ノ組合員ニ非ザルコト

三、本組合ノ區域内ニ於テ居住ニ適スル住宅ヲ有セザルコト

第十條　新ニ組合ニ加入セムトスル者ニ對スル承諾ハ總會ノ決議ニ依ル

第十一條　組合長ハ持分ノ相續又ハ讓受ニ依ル加入ノ場合ヲ除ク外加入者ヲシテ遲滯ナク第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十二條　持分ノ相續ヲ爲シタル者ハ遲滯ナク其旨ヲ組合長ニ届出ヅベシ

第十三條　組合員持分ヲ讓渡セントスル場合ニ於ケル承諾ハ總會ノ決議ニ依ル

但シ讓渡ヲ受ケントスルモノガ組合員ナルトキハ組合長之ヲ爲スコトヲ得

第十四條　組合員住宅ノ所有權ヲ取得スル前左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ除名ス

一、二月以上出資拂込ノ義務ヲ怠リ組合ノ戒告ヲ受ケタル後一ケ月内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ

二、第三十二條ニ規定スル住宅使用條件ニ違反シ組合ノ戒告ヲ受クルモ尚之ニ從ハサルトキ組合員前項ノ規定ニ依リ除名セラレタルトキハ速ニ住宅ヲ引渡ヲ爲スヘシ

第十五條　組合員住宅ノ所有權ヲ取得シタル後出資拂込ノ完了ニ至ル迄ノ間前條第一項各號ノ一ニ該當スルトキハ組合長ハ住宅ノ所有權ヲ組合ニ讓渡スルコトヲ請求スベシ

第十六條　組合員除名又ハ住宅組合法第八條ノ事由ニ由リ組合ヲ脫退シタル場合ニ於テモ其脫退ニ至ル迄ノ出資拂込其他組合ニ對シ負擔シタル義務ハ之ヲ免ルルコトヲ得ス

第十七條　出資拂込ノ完了前脫退シタル組合員ハ脫退後其住宅ノ引渡迄ノ間ニ於ケル住宅使用料ヲ本組合ニ支拂フヘシ前項使用料ノ額ハ組合員トシテ當該期間ニ拂込ムヘカリシ金額ト同額トス

第十八條　持分ノ讓渡ニ因リ脫退シタル場合ノ外住宅ノ所有權ヲ取得セズ又ハ取得後組合ニ之ヲ讓渡シテ脫退シタル組合員ニ對シテハ其ザレバ出資口數ノ減少又ハ增加ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十條　組合員ハ出資二十口以上五十口以下ヲ有スヘシ

第二十一條　出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス

第二十二條　出資第貳回以後ノ拂込ハ左ノ區別ニ因リ每月二十八日限リ之ヲ爲スベシ

一、住宅供給ヲ受クル前ニ在リテハ每月第一回拂込金額ノ十分ノ一ニ相當スル金額

二、住宅ノ供給ヲ受ケタル後ニ在リテハ出資金額及之ニ對スル利子相當額ノ合算額ヨリ住宅の供給ヲ受クル前ニ於ケル拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ組合存立期間滿了迄ノ月數ニ依リ均等ニ分割シタル金額

前項第二號ニ規定スル利子相當額の算定方法ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第二十三條　前條ニ規定スル拂込ヲ怠リタルトキハ期限後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ千分ノ一ノ過怠金ヲ徵收ス

第二十四條　組合ハ組合長ノ承諾ヲ受クルニ非之ヲ讓渡シテ脫退シタル組合員ニ對シテハ其住宅ノ供給ヲ受ケタル以前ニ於ケル拂込濟出資金ノ一〇ノ八ニ相當スル金額の拂戻ヲ爲スコトヲ得ズ

第三章　事　業

第二十五條　本組合ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲住宅用地ノ借受ヲ爲シ之ヲ當該住宅の供給ヲ受クル組合員ニ貸付クルコトアルベシ

第二十六條　組合員本組合ノ貸付スル住宅用地以外ノ土地ニ於テ住宅ノ供給ヲ受ケムトスルトキハ組合長ノ承諾ヲ受ク可シ

第二十七條　住宅ノ設計ハ出資金額ニ應シ當該組合員ノ希望ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第二十八條　住宅供給ノ順位ハ組合員ノ協議ニ依リ之ヲ定ム其協議調ハザルトキハ抽籤ニ依ル

第二十九條　住宅ノ所有權ハ出資金額貳分ノ一以上ヲ拂込ミタルトキ又ハ相當資力アル保證人貳名以上ノ連帶保證アルモノニ對シテハ之ヲ當該組合員ニ讓渡スルコトアルベシ

但シ組合員ノ協議ニ依リ出資拂込ノ完了ニ至ル迄之ヲ延期スルコトヲ得

第三十條　出資拂込ノ完了セザル組合員ニ對シ住宅ノ所有權ヲ讓渡スル場合ニ於テハ組合長ハ其組合員ヲシテ未拂込出資額ニ付其ノ住宅ノ上ニ抵當權ヲ設定セシメ所有權移轉登記ト同時ニ其ノ登記ヲ爲サシムベシ

第三十一條　組合員出資拂込ノ完了前住宅ノ所有權ヲ取得シタルトキハ出資拂込ノ完了ニ至ル迄ノ間之ヲ他ニ讓渡スルコトヲ得ズ

第三十二條　住宅ノ供給ヲ受ケタル組合員ハ出資拂込ノ完了ニ至ル迄ノ間其ノ住宅ノ使用ニ關シ左ノ各號ノ條件ヲ遵守スベシ

一、相當ノ事由アル場合ヲ除クノ外他人ヲシテ其ノ住宅ヲ使用セシメザルコト

二、修繕其ノ他住宅ノ保存上必要ナル管理ヲ爲スコト

三、理事ノ承諾ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外住宅ノ模樣替ヲ爲サザルコト

前項各號ノ外特ニ必要ナル條件ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第三十三條　本組合ノ貸付ニ係ル住宅用地ノ借賃每月出資ノ拂込ト同時ニ之ヲ拂込ムベシ

第三十四條　組合員ニ對スル住宅用地ノ讓渡ハ月賦賣却ノ方法ニ依リ其ノ月賦代金ハ每月出資ノ拂込ト同時ニ之ヲ拂込ムベシ、但シ組合員ノ希望ニヨリ月賦賣却ノ方法ニ依ラザルコトアルベシ

第三十五條　本組合ノ供給スル住宅ハ本組合ニ於テ之ヲ火災保險ニ付ス其ノ保險金額ハ保險價格ニ依ル保險料ハ當該組合員ノ負擔トシ月割ヲ以テ每月出資ノ拂込ト同時ニ之ヲ拂込ムベシ

第三十六條　本組合ノ經費ハ出資金額ニ應ジ組合員ノ之ヲ分擔シ每月出資ノ拂込ト同時ニ之ヲ拂込ムベシ

第五章　機　關

第三十七條　本組合ニ理事參名監事貳名ヲ置ク

第三十八條　理事中壹名ヲ組合長トシ理事互選ニ依リ之ヲ定ム

組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事

故アルトキハ理事中ノ年長者之ヲ代理ス

第三十九條　理事ノ任期ハ參年監事ハ貳年トス

但シ再選ヲ妨ゲズ、補缺ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者就任期間在任ス、理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄尚其職務ヲ行フ

第四十條　理事又ハ監事ハ通常總會ニ於テ之ヲ選任ス但シ猶豫スル能ハザル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議スル時ハ同時ニ其ノ補缺選任ヲ行フ

第四十一條　通常總會ハ每年一回一月中ニ之ヲ開ク

第四十二條　總會ノ招集ハ書面ヲ以テ之ヲ組合員ニ通知ス

第四十三條　總會ハ組合員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ

但シ同一ノ事件ニ就キ招集再回ニ至ルモ尚半數ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ非ズ

第四十四條　總會ハ組合長ヲ以テ議長トス組合長事故アルトキハ理事中ノ年長者之ヲ代理ス

監事ノ招集シタル總會ハ招集シタル監事中ノ年長者ヲ以テ議長トス

第四十五條　組合員ハ參人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ズ

第四十六條　總會ニ於テハ決議錄ヲ作リ會議ノ顚末及出席者員數ヲ記載スベシ

決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上署名スベシ

第六章　解　散

第四十七條　解散ノ決議ハ組合員三分ノ二以上出席シタル總會ニ於ヲ出席者四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ之ヲナスコトヲ得ズ

第四十八條　本組合解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ノ處分方法ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第七章　補　則

第四十九條　本定款施行ノ爲必要ナル細則ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第五十條　本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ

但シ第一回ノ通常總會ニ於テ改選ス

理事　何　某
同　何　某
同　何　某
監事　何　某
同　何　某

昭和　年　月　日

設立者住所氏名

住所　氏名印
住所　氏名印

復興建築助成株式會社

本項に關しては第二編復興建築助成株式會社の創立を參照せられたし。

建築協會

其他の金融機關としては建築協會を擧げる事が出來るが之は地方的なもので、一般普及の目的には緣遠い。

東京府知事を會長として、主として政府の役人が理事となり、府の保護の下に組織してゐる會員は極めて僅少な準備金即ち入會金と極めて簡便な年賦又は月賦償却で住宅を所有し得るやうな組織である。但し元來が社會政策的施設である故に會員を中產者以下に限定してある。會則の要領を示せば、即ち資本金は府より交付せる五萬圓を基にし、會員は協會に於て中產階級以下と認めた者に限る。會員を分ちて甲乙丙の三種とし、乙と丙とは家屋を借用するだけのもので、會費として家賃を仕拂ふ譯である。甲種會員は入會金及月又は年額會費を拂つて定屋を使用し、契約年月に達して之を自己の所有となす。甲種會員の住宅は一戶建で三室四室五室六室七室の五種で住宅所有權の移轉期限は五、七、十、十五箇年の四種である、會員は住宅を他に轉貸することを得ず。甲種會員の會費年額は所有權移轉期限に依て差があるが十箇年の場合には建築費一千圓につき年額百二十八圓程に當る。其入會金は一千圓につき約二十圓である。協會の仕組は以上の如く申込みに依り住宅を建てるのであるが、不便な點を擧げれば、建築位置の選定範圍が狹い事、自己の權利の讓渡は矢張り會員たる資格ある者に限る事、土地の所有が出來ない事、家を見てから申込む譯にいかぬ事等である。

參考法規

住宅組合法
（大正十年四月十一日法律第六十六號）
住宅組合法施行規則
（大正十年七月六日內務省令第二十一號）
住宅組合施行細則
（大正十二年九月一日東京府令第五十七號）
住宅組合法施行細則取扱手續
（大正十二年九月一日東京府令第二十三號）
住宅組合關係書類並帳簿樣式
（大正十二年九月一日東京府告示第三百八〇一號）
東京府住宅建設資貸付規則
（大正九年三月十六日東京府令第三十三號）

第三編　建築材料

最近建築用新材料の出現は東西共に甚だ多く我國は又之等の追從的の進歩に依りて直に同化製造を計り國產品として取扱ひ得るは驚くべく又獨創的研究の許に我國に於て製造されるも數多きに至れり。

但し此種材料は社會の信用を得るに又相當の時日を必要として特に學術的批判研究と相俟つて經濟的關係の完全を期せざれば廣く建築界に使用される事を得ざるは言を俟たず、而して今年度に於て經濟界の動搖甚だしく企業家に與へし影響大にして特に小工業に屬するもの多き一般建築材料製造業に及ぼせる資本欠乏は甚だしく閉鎖合併多く或は之を樂觀すれば茲に一面の堅實さを認め得たりとも言ふ事が出來よふ。

セメント、又は硝子製造の如きは大工業に屬し其發展極めて顯著にして自然其間の競爭甚だしく、日進月步に伴ひ工場設備の改良新設に追はれ爲めに資本戰の止むなきの狀を示せるに至つた。但し世界的に之れを見れば何れも其製品の優秀なるものを有するに至れる事同慶に耐えない。

建築樣式構造の新しきに伴ひ材料又新趣向のものを要し特に壁材料の如き其種類枚擧に遑なく其他新材料に伴ふべき職工の新智識を必要とするに際し其智識向上をはかるの機關なく爲めに材料の採用上極めて不完全なる結果を殘す事多く直接材料界に與へる影響が大きい、各新材料商は此點に注意する事が必要である。

尙施工上に於ける機械設備多く現はれたる爲め材料界に與ふる關係復雜なり、如斯今や材料界は昔日の比にあらず只に內容に律はざる表面的の廣告に依つて建築界に信を得るが如きは不可能事にして其研究經營共に合理的なる研究を必要とする事言を俟たざる所である。社會は自然に其必要の方向に進展す今年度の一般傾向は正に其れを實證するものがある。

建築材料目錄統一　何人も知る米國のスウイートカタログの如き最近目覺しき發展を來たし只に材料宣傳に止まらずして他方社會的信用の標準を意味するものである。今年度は三部に分冊して閱覽に便す我國に於ても此種の計劃必要にして希望する久し、先に建築資料協會に於て共同目錄を發行する事三回建築資料研究會に於て一般目錄の大冊を出版する事二回何れも其目的に對し貢獻する所ありしと雖も此二者を含して完全を期する事は現狀に最も必要なりと認め茲に權威者相集まつて相當の日子をもつて研究と交涉を重ね今回其組織を完成されたるは我建築界の爲め慶賀すべき事である。建築土木資料集覽刊行會と稱し東京商工奬勵館內に之れを置かれた。

次に其要旨、役員、体裁、揭載料其他を揭げる。

建築土木資料集覽刊行要旨

本會の目的は、建築及土木に關する優良資料全部の一大集成たる『建築土木資料集覽』を刊行し、之を以て我が資料界の現狀を廣く江湖に紹介する一機關たらしめようとするに在ります。

尙、建築資料協會は大正十三年以降『建築資料共同型錄』三卷を發行し、また建築資料研究會は大正十五年以降『土木建築資料總覽』二卷を刊行したことは大方の知らるゝ通りでありますが、這回本會は右兩會に相謀り、其事業を合同するの趣旨を以て、專ら本會に於て刊行事業を繼承遂行することの諒解を得、一面また

建築學會

日本建築協會、日本建築士會、建築業協會、建築資料協會の五會が、本會の有力なる後援者として事業上大に幇助を與へらるゝこととなりましたので、茲に新に内容体裁共に全き一大資料全書の類纂を期するに至つた次第で、今年以後毎年一巻を編輯發行する計畫を立てたのであります。

今本會に於ける編纂方針の要點を擧げれば、(一)建築及土木資料の全部を蒐集する主意を以て、工事用材料は勿論、汎く各種設備及び各種機關に關する記事を網羅すること、(二)專ら信頼すべき資料を集纂紹介するに努め、本書の收錄は一面信用の左券たるに至らしめること、(三)各種資料につき整然たる分類体系を與へ、之れに詳細平易なる解説を施し、一般研究上好個の參考書たらしめること、(四)完全なる目錄及索引を作製して檢索自在の便に供すること、(五)努めて明細なる圖解と、精巧なる寫眞版とを挿入して書册の完美を圖ること、等であります。

尚本書の頒布については、主として建築及土木界の重なる關係者と社會の要路とに之れを無料寄贈致す考へであります。

第一巻の發行は本年十二月上旬の豫定で、まだ餘日のあることですが、こゝに豫め本會の刊行計畫を披露致し、偏に大方の贊同を仰いで置く次第であります。

本會役員

評議員

安藤德之助　中條精一郎
内田祥三　戸田利兵衛
大熊喜邦　鳥羽總治
大林義雄　内藤多仲
片岡安　中村恒
古宇田實　中谷芳邦
鴻池忠三郎　早崎龜壽
櫻井小太郎　橋本政吉
佐藤功一　松井清足
佐野利器　森井健介
清水釘吉　山口萬次郎
錢高善造　吉田亨二
武田五一　横山信毅
竹中藤右衛門　横河民輔
田口清吉

理事

理事長　横河民輔
理事　片岡安
理事　佐野利器
理事　早崎龜壽
理事　松井清足
理事　山口萬次郎
理事　吉田亨二

主事　横山信

東京市麹町區有樂町
府立東京商工奬勵館内
建築土木資料集覽刊行會
電話丸ノ内一三〇七番

本書体裁　菊倍版、上質布裝、アート紙刷、九ポイント組約七百頁。

發行期日　昭和三年十二月上旬記事揭載料一頁に付金四十圓とし挿圖に對しては揭載料の外製版料として寫眞版凸版とも一平方寸に付金十五錢を申受く。

料金拂込方法　申込と同時に豫約金一頁に付金二十圓を拂込み、殘金は昭和三年十月十五日迄に拂込まること。

揭載申込期日　昭和三年五月三十一日限文案及挿圖の調製　記事原稿、寫眞圖解の原版は何れも揭載主より提供を望むも御希望に依り便宜本會に於て文案及挿圖調製の依頼に應じ實費を申受く。尚揭載主提供の原稿に對しては紙面の体裁及記述の統一上、挿圖の取捨行文の添刪本會に一任を乞ふ。

原稿枚數　本書一頁に對する記事原稿枚數は標準原稿用紙(二十字詰二十行)にて約八枚、挿圖あるときは挿圖面積六平方寸に付記事原稿一枚を減ずる割合となる。

本書印刷部數　四千部の豫定。

本書頒布方法　建築及土木界の重なる關係者及び其他の要路に無料寄贈する外、記事揭載主に贈呈す。

尚建築及土木事業に關する一般廣告附載する事とし其内規の如し。

廣告料　菊倍版四分の一頁(二十字詰四十二行)二十五圓、半頁五十圓一頁百圓、割込(二十字詰十四行)十圓。

申込と同時に拂込まるゝこと。

廣告申込期日　昭和三年八月三十日限り

廣告文原稿　廣告は貴名、業務、所在地等の外、なるべく御事業の說明記事を添附願ひたく、御申込の際その原稿を御送附のこと。

○建築資料協會(東京商工奬勵館内)

創立以來事業の發展大に見るべきものあり大阪に支部を有し會員數も增加し材料界に貢獻する事極めて大きい。今年度に於て特記すべきは秋季に塗料に關する講習會を開催せる事である聽講生は豫定數を遙かに超過し其盛會驚くべきであつた其講師並に題目は次の樣であつた。

第一回建築資料(塗料)講習會

一、日　時　昭和二年十一月十一日より十二日まで
二、會　場　府立東京商工奬勵館講堂
三、講習科目　塗　料
四、細　目　時間割、講師

(別紙)

1 建築資料に就て　一時間　東京帝國大學教授　工學博士　佐野利器
2 資料の一般　二時間　東京高等工業學校　工學博士　内藤多仲
3 ペイント及水性ペイント　六時間　東京帝國大學教授　工學博士　田中芳雄
4 レーキ類　一時間　東京工業試驗所　鉛市太郎
5 ヴニスラック及エナメル　三時間　東京工業試驗所　技師　工學士　野茂平
6 漆　一時間　鐵道技師　工學士　瀨誠一
7 特種塗料　一時間　東京工業試驗所　技師　澤口悟一
8 色彩學の概念　一時間　同所　技師　工學士　野茂平
9 塗料の施工　八時間　東京美術學校講師　工學博士　新太郎　東京高等工業學校講師　工學博士　田桂太郎　内務技師　工學士　大江　大澤三之助　營繕管財局

技師　津田元四郎　汽車製造株式會社　技師　澤田義一

10 組合代表講演　一時間三十分

五、終了式　一時間

六、講習證書交付

七、聽講者及定員

中等學校卒業程度の學力ある者又は實務に經驗ある者　約八十名

○日本ボートランド、セメント業技術會

(大阪市東區京橋三丁目六十五番地二)

内地各セメント會社の技術者を網羅しセメント界の指導機關たる本會は笠井眞三博士會長の許に數多の出版物を今年度も發行し又技術會を東京に開催し講演研究をした特に大阪に於て各方面の建築家に出張を乞ふてコンクリートに關する協議會を開き各方面より見たるセメント並にコンクリートに關する協議をした而して今後コンクリート協會を設立するものとして其準備研究を談合し他日に備えたのである。

○復興局土木試驗所　材料試驗は連續して研究を進め今年度に於て發表せられた物又多し

其他帝國大學早稻田大學高工等にて材料試驗に關する件も尠なからず尚内務省東西工業試驗所林業試驗所等に於て出版されたる報告書も尠なくない。

建築請負

本調査は建築工事費金一萬圓以下の分は凡て掲載せず又建築工事費十萬圓以下の分は各等二位以下に屬する入札金額を悉く省略せり

入札調

陸軍省（指名八月廿六日開札）
偕行社本館防火壁取設工事　偕行社編纂部事務室改築工事　二二、四六八圓（超過）　山田松之助
東京市役所
厩橋下部構造改築並組立工事（指名）　四九四、八〇〇圓（超過）　栗原源藏
三味線堀小賣市場改築工事　二三、八〇〇圓（超過）　安藤熊吉
東京府内務部土木課（指名入札二十八日開札）
第七號國道自南葛飾龜戸町五之橋通至同郡同町淺草道路改修工事　長七〇五間八巾右側七間五長五間七巾左側四間五分　八二、八〇〇圓（落札）　藤田組
横濱市社會局工事（指名入札）
第二隣保館新築工事　五一、八〇〇圓（落札）
東京鋼材株式會社
一等大路第三類第九號線の一部自荏原郡目黑町大字中目黑四六二至同郡同町大字同七七一番地道路長四八五間一分改修工事再入札の分　三三、七〇〇圓（超過）　三尾金助
鐵道省第一改良事務所工事（指名入札）
上野驛橋梁工事　三六七、〇〇〇圓（落札）　鹿島組
東京遞信局（九月一日開札）
東京靜岡間長距離電話ケーブル架設工事の內小田原沼津間負荷線輪用入孔及塔築工事　四五、八九五圓（落札）　石川省吾
遞信省經理局
東京中央電話局大塚分局門新設其他工事（指名）
一七、二五二圓（超過）　小泉岩吉
同再入札
一五、九〇〇圓（超過）　小泉岩吉
同再入札
一四、六〇〇圓（隨契）　小泉岩吉
東京遞信局
大久保電話地下線路新設工事　二二〇（落札）　久原鑛業株式會社
東京市役所
芝區三田小山町自三番地至五番地地先古川筋改修混凝土塊護岸改築並淩渠切擴工事　三三、六〇〇圓（超過）　田淵源次郎
芝區三田小山町自一番地至五番地々先古川筋改修混凝土塊護岩改築並淩渠切擴工事（五日超過再入札　三二、二〇〇圓（超過）　大阪出水組
再入札　三〇、七〇〇圓（超過）　田淵源次郎
東京市役所
區劃整理第三五號路線自日比谷至櫻田本鄉町車道歩道工事（指名）　二九、四三〇圓（落札）　日本石油會社
東京市電氣局（指名入札）
櫻田門外霞ヶ關間軌道位置變更工事　二九、四五〇圓　橋本組工業合資會社
遞信省營繕課工事（指名入札）　上田郵便局電話分室新築工事　一交換室其他新營（マンホール付）木造二階建　四〇五平方米七五、一男子洗面所其他新營　木造平家建　建坪三〇平方米、一物置平家建　建坪二八平方米、一渡廊下新營木造平家建　建坪六四平方米、一屋上物干渡棧橋及箱梯子付　建坪二一坪　七六、九八〇圓（落札）　合名會社野口組
長野中央郵便局新築第二期其他工事　一五八、八八七圓（落札）　野口浦一、一六六、四八〇圓合名會社野口組、一七〇、一二三圓四五　村田良之助、一七〇、三六〇圓　小林榮重、一七四、五三九圓　守谷駒次郎、一八六、九七九圓三〇　小柳寅次、一九五、五三〇圓　大倉土木株式會社、一九六、四四〇圓　宮本長作、二〇五

、八九〇圓〇九　合資會社錢高組、二三〇、〇〇〇圓　清水組、二三三、〇〇〇圓　株式會社大林組
復興局第一出張所工事（指名入札）
尾張橋——來女橋間一部新設工事の內土運搬
一七、九〇八圓八〇（落札）　川島源十郎
文部省司計課工事（指名入札）
福井高等工業學校外五廉新營工事　六六、八八〇圓（落札）　村松熊吉
厩橋下部構造改築並組立工事　四七八、八〇〇圓（隨契）　栗原源藏
横濱市土木局工事（指名入札）
横濱市港町一部及六筒町一部下水工事　四六、一〇〇圓（落札）　永島傘次郎
復興局隅田川出張所工事（入札）
永代橋中央徑間架設工事用支保工建設工事　五五、〇〇〇圓（直營）
永代橋兩側徑間鐵桁組立（直轄）工事　一、〇七三、五〇〇圓（直轄工事）
相生橋々臺築造其他直轄工事　三七、五〇〇圓
東京府內務部土木課（指名入札三日開札）
東京府北豐島郡岩淵町埼玉縣北足立郡川口町入會岩淵橋下部構造工事　三六七、八〇〇圓（超過）　水野甚次郎、三七八、〇〇〇圓　大塚盛一、三九一、五〇〇圓　古久根組、三九六、〇〇〇圓、鈴木辰五郎、四〇八、〇〇〇圓　下川和三郎、四一五、三〇〇圓　渡邊濱次郎、四二二、〇〇〇圓　間組、四二三、〇〇〇圓　鹿島組、四二五、〇〇〇圓　大林組、四六二、一〇〇圓　栗原源藏、四九三、〇〇〇圓　中野喜三郎、五〇二、八五〇圓　中野喜三郎、五九三、一〇〇圓　有馬組
再入札
三六六、八〇〇圓（超過）　水野甚次郎、一〇〇圓　大塚盛一
石川縣穴水町役場
穴水小學校々舍增築及講堂建築工事　八七、〇〇〇圓（落札）　國永善四郎
復興局土木課（工事入札）
黑龜橋新設工事の內土部工事（隨契）　日本築造株式會社
神田區役所工事（指名入札）
東京市立西小川尋常小學校建設工事　三三九、三〇〇圓（落札）　合資會社清水組　三四八、六〇〇圓　合資會社錢高組
東京府內務部土木課（指名入札四日開札）
第三六號寺島田端線北豐島郡南千住町南葛飾郡寺島町入會木橋工事　一三、一二五圓（落札）　下川和三郎
神奈川縣廳工事（指名入札）
山王橋新營工事　六七、六〇〇圓（落札）　矢野組
東京府內務部土木課（指名入札）
幹線第三十三號目濱町一丁目至兩國橋一部歩道舖裝其他工事　一八、六八六圓七八（不調）　渡邊豐重
再入札
一六、三〇〇圓（落札）　中野喜三郎
復興局第四出張所工事（指名入札）
幹線第二十七號街路自一四〇五至一七三六米間新設工事　一五三、〇〇〇圓（不調）　錢高組、一五九、五〇〇圓　橋本店、一六三、〇〇〇圓　大倉土木株式會社、
再入札
一三八、〇〇〇圓（不調）　錢高組、一四六、〇〇〇圓　橋本店、一四八、〇〇〇圓　日本工業株式會社、一四九、五〇〇圓　小泉岩吉外四名
右再入札の結果不調に付き
一三三、九〇〇圓（隨契）　錢高組
東京市役所（一般競爭入札九日開札）